

栃木県埋蔵文化財調査報告第320集

西根2遺跡・小野寺城跡

—北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査XII—

2009.3

栃木県教育委員会
（財）とちぎ生涯学習文化財団

にし ね

お の でら

西根 2 遺跡・小野寺城跡

－北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査ⅩⅡ－

2009.3

栃 木 県 教 育 委 員 会
（財）とちぎ生涯学習文化財団



西根2道跡調査区遠景（東から）



西根2道跡調査区（南から）



西根2道跡調査区（東から）



小野寺城跡遠景（南から）

序

北関東自動車道は群馬・栃木・茨城の3県を結ぶ高速道路で、古くからの歴史・産業を合わせ持つ北関東の各都市を繋ぎ、魅力ある都市として再発展させる役割を担うべく計画されました。その建設に先立ち、路線内に所在する遺跡について関係機関と協議の結果、記録による保存のための発掘調査を実施することとなりました。

西根2遺跡及び小野寺城跡は、群馬県境から東北自動車道岩舟ジャンクションとの間に位置する遺跡で、県南西部の岩舟町に所在しています。岩舟町においては古代の窯業遺跡をはじめとする数多くの遺跡が知られています。

今回の西根2遺跡の発掘調査では主に古墳時代から江戸時代にいたる集落跡が対象となり、当時の人々の生活をうかがい知るための様々の資料を得ることができました。なかでも室町時代から江戸時代はじめにかけての井戸跡等から、多数の木製品や漆器等の遺物が出土したことが特筆されます。また、小野寺城跡の発掘調査では、館跡に伴う溝跡を確認するといった成果が得られています。

本書はその調査成果をまとめ、報告書として刊行するものです。

県民の皆様にとりまして、郷土の歴史を理解する一助となるとともに、各方面において広くご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査から報告書作成に至るまで多くのご協力をいただきました東日本高速道路株式会社、岩舟町教育委員会、栃木県県土整備部をはじめとする関係機関並びに関係各位に厚くお礼申し上げます。

平成21年3月

栃木県教育委員会

教育長 須藤 稔

例 言

1. 本書は栃木県下都賀郡岩舟町小野寺地内に所在する西根2遺跡および小野寺城跡の発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は、北関東自動車道（足利～岩舟）建設に伴う記録保存調査であり、東日本高速道路株式会社（旧日本道路公団）の委託事業として栃木県教育委員会事務局文化財課の指導のもと、財団法人とちぎ生涯学習文化財埋蔵文化財センターが実施した。
3. 発掘調査から整理作業、報告書作成までの期間及び担当者は、以下のとおりである。

平成15年度（小野寺城跡確認調査）平成15年12月1日～平成16年1月8日
主査 芹澤 清八、主査 森口 尚史

平成16年度（西根2遺跡確認調査）平成16年7月5日～平成16年8月6日
主査 中村 享史、嘱託調査員 鈴木 芳英

平成17年度（西根2遺跡発掘調査）平成17年6月1日～平成17年12月28日
主査 西田 知生、主任 合田 恵美子

平成20年度（西根2遺跡・小野寺城跡整理・報告書作成）平成20年4月1日～平成21年3月31日
係長 進藤 敏雄、主査 仲山 英樹
5. 本書の執筆・編集は進藤、仲山が行った。
6. 整理作業・調査にあたり、以下の委託業務を実施した。

基準点測量及び基準杭設定・航空写真撮影：中央航業株式会社、自然科学分析：株式会社バレイオ・ラボ、
漆器分析・処理：財団法人元興寺文化財研究所、遺物図版作成：日立レフ・テクノ株式会社、
7. 発掘調査の実施ならびに報告書の作成にあたり、次の方より御指導・御協力を賜った。

東日本高速道路株式会社関東支社宇都宮工事事務所、栃木県教育委員会事務局文化財課、栃木県県土整備部高速道路対策室、岩舟町教育委員会、
8. 発掘調査の参加者は次のとおりである。（五十音順）

天野崇弘、荒井トク子、五十嵐裕子、石川文子、伊藤紀子、大久保保江、栗原伊豆美、小林吉雄、櫻井芳子、清水玉一、鈴木孝市、高久委代、高橋洋子、高橋芳雄、立木和夫、土田和夫、角田英昭、永島正夫、根本 薫、松島軍治、松島 広、森尻吉男、山市勝男、山崎克夫、山中久巳、湯沢比佐子、渡邊百代、
9. 整理作業・報告書作成の参加者は次のとおりである。（五十音順）

石田静枝、金井千佳子、横田通子、吉田祐紀
10. 本遺跡の概要については、年報等で報告されているが、本書をもって正式報告とする。
11. 本遺跡の出土遺物・資料類は、財団法人とちぎ生涯学習文化財埋蔵文化財センターに保管している。

凡 例

遺跡

- 1, 本遺跡の略号は、西根2遺跡が「IF-NN2」、小野寺城跡が「IF-ON」である。

遺構

- 1, 遺構は発掘調査時、竪穴住居跡：S I、掘立柱建物跡：S B、土坑：S K、井戸跡：S E、溝跡：S D、性格不明遺構：S X、の略号で示し、番号は遺構の種類にかかわらず発見された順に付した。報告書においても原則としてこれを踏襲している。なお、竪穴住居跡に付属する柱穴や貯蔵穴は遺構毎に「P1, P2…」と発番したものもある。
- 2, 各遺構の位置については、国家座標第IX系に基づくグリッドにより表記した。方位については、国家座標第IX系に基づく座標北である。
- 3, 現地での遺構実測は、原則として縮尺1/20で行った。本報告掲載の遺構実測図は、竪穴住居跡と掘立柱建物跡は1/80、井戸跡は1/40を原則とした。
- 4, 遺構実測図中の断面水準は、海拔標高を示す。
- 5, 竪穴住居跡等主な遺構以外は単独の遺構図面は掲載しなかった。これについては、全体図と一覧表を参照されたい。
- 8, 遺構実測図中の遺物番号は、遺物実測図の遺物番号と一致する。木製品、石製品は木1、石1などと表示した。

遺物

- 1, 遺物は発掘調査時、器種や材質によらず、概ね出土遺構単位に1, 2, 3, ……と付して取りあげた。本報告においては、遺構単位に土器（縄文土器、土師器、須恵器）、土製品、に番号を付した。そのた、石製品、木製品等は種別毎にまとめた。その際、一部他時代の遺物を便宜上まとめて掲載したものもある。
- 2, 遺物実測図の縮尺は、主として縄文土器：1/3、土器・陶磁器類、木製品：1/4、石製品：1/5を原則とした。
- 3, 遺物実測図中、灰釉陶器断面、黒色処理された土師器内面にはスクリーントーンを貼付した。また、須恵器断面は黒く塗りつぶした。
- 4, 写真図版の遺物番号は、挿図の遺物番号に一致する。
- 7, 遺物写真図版の縮尺は、不統一である。

目 次

序	
例言	
凡例	
第1章 調査の経緯	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2節 調査の経過	5
(1) 調査の方法	5
(2) 調査の経過	8
第2章 遺跡の立地と環境	12
第1節 地理的環境	12
第2節 歴史的環境	13
第3章 西根2遺跡	21
第1節 古墳時代から古代の遺構と遺物	21
(1) 竪穴住居跡	21
(2) 溝跡	25
(3) 井戸跡	25
(4) 不明遺構	26
(5) 土坑	26
第2節 中～近世の遺構と遺物	55
(1) 掘立柱建物跡	56
(2) 井戸跡	58
(3) 不明遺構	62
(4) 溝跡	65
(5) 土坑	69
第3節 縄文時代、旧石器時代の遺物	184
(1) 縄文時代	184
(2) 旧石器時代	185
第4節 遺構一覧表	187
第5節 自然科学分析	210
(1) 西根2遺跡出土木製品の樹種同定	210
(2) 西根2遺跡から出土した大型植物遺体	216
(3) 木製品付着物および縄の材質分析	219
(4) 西根2遺跡出土漆器の分析・保存処理	223
第6節 まとめ	225
第4章 小野寺城跡	229
第1節 遺跡の概要	229
第2節 調査の経緯	230
第3節 発見された遺構と遺物	235

挿図目次

第 1 図	北関東自動車道（足利・岩舟間）関連の 道跡（1/100,000）	2	第 51 図	11 区調査区分割道構図①	94
第 2 図	西根 2 道跡位置図（1/5,000）	6	第 52 図	11 区調査区分割道構図②	95
第 3 図	西根 2 道跡調査区図（1/4,000）	7	第 53 図	10 区調査区分割道構図	97
第 4 図	西根 2 道跡道構配置図（1/400）	9-10	第 54 図	12 区調査区分割道構図①	98
第 5 図	西根 2 道跡グリッド図（1/800）	11	第 55 図	12 区調査区分割道構図②	99
第 6 図	道跡位置図・地形図（1/1,250,000）	12	第 56 図	13 区調査区分割道構図①	102
第 7 図	周辺地形図（1/400,000）	13	第 57 図	13 区調査区分割道構図②	103
第 8 図	周辺の道跡分布図（1/50,000）	17～18	第 58 図	14 区調査区分割道構図	104
第 9 図	SI-01 道構図、出土道物図	27	第 59 図	15 区調査区分割道構図	105
第 10 図	SI-02 道構図	28	第 60 図	16 区調査区分割道構図①	108
第 11 図	SI-02 カマド道構図	29	第 61 図	16 区調査区分割道構図②	109
第 12 図	SI-02 出土道物図	30	第 62 図	17 区調査区分割道構図①	112
第 13 図	SI-03 道構図、出土道物図	31	第 63 図	17 区調査区分割道構図②	113
第 14 図	SI-04 道構図、出土道物図	32	第 64 図	18 区調査区分割道構図	115
第 15 図	SI-05 道構図	33	第 65 図	20 区調査区分割道構図	116
第 16 図	SI-05 出土道物図	34	第 66 図	21 区調査区分割道構図	118
第 17 図	SI-06 道構図	35	第 67 図	22 区調査区分割道構図	120
第 18 図	SI-06 出土道物図	36	第 68 図	24 区調査区分割道構図①	122
第 19 図	SI-07 道構図	36	第 69 図	24 区調査区分割道構図②	123
第 20 図	SE-44・68・500 道構図	37	第 70 図	25 区調査区分割道構図①	124
第 21 図	SD-26 出土道物図①	38	第 71 図	25 区調査区分割道構図②	125
第 22 図	SD-26 出土道物図②・SD-20 出土道物図	39	第 72 図	23 区調査区分割道構図	129
第 23 図	SE-44 出土道物図	40	第 73 図	26 区調査区分割道構図①	130
第 24 図	SE-68 出土道物図	41	第 74 図	26 区調査区分割道構図②	131
第 25 図	SE-500 出土道物図	42	第 75 図	19 区調査区分割道構図	133
第 26 図	道構出土の道物図（古墳～古代）	43	第 76 図	27 区調査区分割道構図①	134
第 27 図	道構外出土道物図（古墳～古代）	44	第 77 図	27 区調査区分割道構図②	135
第 28 図	道構外出土瓦図①	45	第 78 図	28 区調査区分割道構図①	138
第 29 図	道構外出土瓦図②	46	第 79 図	28 区調査区分割道構図②	139
第 30 図	SB-13 道構図	70	第 80 図	28 区調査区分割道構図③	140
第 31 図	SB-10・21・22・29 道構図	71	第 81 図	29 区調査区分割道構図①	144
第 32 図	SB-23・120・126 道構図	72	第 82 図	29 区調査区分割道構図②	145
第 33 図	SB-201・202・203 道構図	73	第 83 図	29 区調査区分割道構図③	146
第 34 図	SE-31・32・36 道構図	74	第 84 図	33 区調査区分割道構図	149
第 35 図	SE-34・50・52・53 道構図	75	第 85 図	30 区調査区分割道構図①	150
第 36 図	SE-100・113・122 道構図	76	第 86 図	30 区調査区分割道構図②	151
第 37 図	SE-330・335・431 道構図	77	第 87 図	31 区調査区分割道構図①	152
第 38 図	SE-543・600・771 道構図	78	第 88 図	31 区調査区分割道構図②	153
第 39 図	SE-651・652・671 道構図	79	第 89 図	32 区調査区分割道構図①	154
第 40 図	1 区調査区分割道構図	80	第 90 図	32 区調査区分割道構図②	155
第 41 図	4 区調査区分割道構図	81	第 91 図	SE・SD（中～近世）出土道物図①	157
第 42 図	2 区調査区分割道構図①	82	第 92 図	SE・SD（中～近世）出土道物図②	158
第 43 図	2 区調査区分割道構図②	83	第 93 図	SE・SD（中～近世）出土道物図③	159
第 44 図	3 区調査区分割道構図	84	第 94 図	道構出土道物図（中～近世）①	162
第 45 図	6 区調査区分割道構図	86	第 95 図	道構出土道物図（中～近世）②	163
第 46 図	7 区調査区分割道構図①	88	第 96 図	道構外出土道物図（中～近世）	165
第 47 図	7 区調査区分割道構図②	89	第 97 図	出土石製品図（古墳～中近世）①	167
第 48 図	8 区調査区分割道構図	90	第 98 図	出土石製品図（古墳～中近世）②	168
第 49 図	5 区調査区分割道構図	92	第 99 図	出土石製品図（古墳～中近世）③	169
第 50 図	9 区調査区分割道構図	93	第 100 図	出土石製品図（古墳～中近世）④	170
			第 101 図	出土石製品図（古墳～中近世）⑤	171

第102図 出土石製品、鉄製品、銅銭図 (古墳～中近世)	173	第109図 出土木柱図 (古墳～中近世) ②	182
第103図 出土木製品図 (中～近世) ①	174	第110図 縄文時代出土遺物図	184
第104図 出土木製品図 (中～近世) ②	175	第111図 旧石器時代遺構図	185
第105図 出土木製品図 (中～近世) ③	176	第112図 旧石器時代出土石器図	186
第106図 出土木製品図 (中～近世) ④	177	第113図 時代別遺構配置図① (1/800)	226
第107図 出土木製品図 (中～近世) ⑤	178	第114図 時代別遺構配置図② (1/800)	227
第108図 出土木柱図 (古墳～中近世) ①	181	第115図 小野寺城跡遺構図	231 ~ 232
		第116図 小野寺城跡旧地籍図 (約 1/3,000)	234

表目次

第1表 北関東自動車道(足利～岩舟間)埋蔵 文化財発掘調査箇所一覧	3	第13表 SE-500 出土遺物観察表	52
第2表 西根2遺跡・小野寺城跡周辺の遺跡一覧表	16	第14表 遺構出土遺物(古墳～古代)観察表	53
第3表 SI-01 出土遺物観察表	47	第15表 遺構外出土遺物(古墳～古代)観察表	53 ~ 54
第4表 SI-02 出土遺物観察表	47	第16表 遺構外出土瓦観察表	54
第5表 SI-03 出土遺物観察表	47	第17表 中近世 SE・SD 出土遺物観察表	160 ~ 161
第6表 SI-04 出土遺物観察表	48	第18表 遺構出土遺物(中～近世)観察表	164
第7表 SI-05 出土遺物観察表	48	第19表 遺構外出土遺物(中～近世)観察表	166
第8表 SI-06 出土遺物観察表	49	第20表 出土石製品(古墳～中近世)観察表	172
第9表 SD-20 出土遺物観察表	49	第21表 出土石製品、鉄製品、銅銭観察表	173
第10表 SD-26 出土遺物観察表	49 ~ 50	第22表 出土木製品(中～近世)観察表	179 ~ 180
第11表 SE-44 出土遺物観察表	51	第23表 出土木柱(古墳～中近世)観察表	183
第12表 SE-68 出土遺物観察表	51 ~ 52	第24表 遺構一覧表	187 ~ 209

写真図版目次

巻頭図版

巻頭図版一

西根2遺跡遠景(東から)

西根2遺跡調査区(南から)

巻頭図版二

西根2遺跡調査区(東から)

小野寺城跡遠景(南から)

図版

図版一 西根2遺跡 遺構

西根2遺跡遠景(東上空から)

西根2遺跡遠景(東半部、南上空から)

図版二 西根2遺跡 遺構

西根2遺跡遠景(西半部、西上空から)

西根2遺跡遠景(西半部、東上空から)

図版三 西根2遺跡 遺構

SI-01 完掘(東から)

SI-01 セクション(南西から)

SI-02 完掘(南から)

SI-02 セクション、遺物出土状態(南東から)

SI-02 カマド完掘(南から)

SI-02 カマド完掘(南東から)

SI-02 柱穴 P3 木柱出土状態(南から)

SI-02 床下調査状況(南東から)

図版四 西根2遺跡 遺構

SI-03 完掘(南東から)

SI-03 セクション(南東から)

SI-03 炭化物出土状態(南東から)

SI-03 床下調査状況(南東から)

SI-04 完掘(南から)

SI-04 セクション(南東から)

SI-04 カマド完掘(南から)

SI-04 貯蔵穴完掘(南から)

図版五 西根2遺跡 遺構

SI-05 完掘(南から)

SI-05 セクション(南から)

SI-05 遺物出土状態(南から)

SI-05 カマド完掘(南から)

SI-05 カマドセクション(南から)

SI-05 カマド遺物出土状態(南から)

SI-05 柱穴 P1 セクション(南から)

SI-05 柱穴 P3 木柱出土状態(南から)

図版六 西根2遺跡 遺構

SI-06 完掘(南から)

SI-06 完掘(南から)

SI-06 遺物出土状態(南から)

SI-06 セクション(東から)

SI-06 遺物出土状態(南東から)

SI-06 カマド完掘(南から)

SI-06 床下調査状況(南から)

SI-06 床下調査状況(東から)

図版七 西根2遺跡 遺構
 SI-07 完掘 (南から)
 SI-07 カマド完掘 (南から)
 SI-07 床下完掘 (南から)
 SI-07 床下調査状況 (南東から)
 SD-08 遺物出土状態 (東から)
 SD-08 セクション (東から)
 SD-09 遺物出土状態 (東から)
 SD-08・09 全景 (東から)
 図版八 西根2遺跡 遺構
 SB-10 完掘 (南から)
 SB-10 完掘 (南から)
 SD-11・12 完掘 (西から)
 SX-15 完掘 (南から)
 SD-20 全景 (西から)
 SD-20 全景 (北西から)
 SD-20 遺物出土状態 (南から)
 SD-26 遺物出土状態 (西から)
 図版九 西根2遺跡 遺構
 SE-32 完掘 (南から)
 SE-36 完掘 (南から)
 SE-36 セクション (南から)
 SE-37 完掘 (南から)
 SX-41 完掘 (南から)
 SX-42 完掘 (南から)
 SK-43 完掘 (南から)
 SK-43 セクション (南から)
 図版一〇 西根2遺跡 遺構
 SE-44 完掘 (南から)
 SE-44 セクション (南から)
 SK-48 完掘 (東から)
 SE-50 完掘 (南から)
 SE-50 セクション (南から)
 SE-52 完掘 (南から)
 SE-52 底面遺物出土状態 (南から)
 SE-52 セクション (南から)
 図版一一 西根2遺跡 遺構
 SE-100 完掘 (南から)
 SE-100 セクション (南から)
 SE-100 底面遺物出土状態 (南から)
 SE-100 底面遺物出土状態 (南から)
 SE-122 完掘 (南から)
 SE-122 セクション (南から)
 SE-122 断面 (南から)
 SE-122 調査状況 (南から)
 図版一二 西根2遺跡 遺構
 SK-123 完掘 (南から)
 SK-123 セクション (南から)
 SK-123 調査状況 (南から)
 SK-123 断面 (南から)
 SE-330 完掘 (南から)
 SE-330 セクション (南から)

SE-330 遺物出土状態 (東から)
 SE-330 断面 (南から)
 図版一三 西根2遺跡 遺構
 SE-335 完掘 (南から)
 SE-335 セクション (南から)
 SE-335 遺物出土状態 (東から)
 SK-390 完掘 (南から)
 SK-390 セクション (南から)
 SX-432 完掘 (南から)
 SX-432 遺物出土状態 (東から)
 SX-432 遺物出土状態 (南から)
 図版一四 西根2遺跡 遺構
 SE-431 完掘 (南から)
 SE-431 セクション (南西から)
 SE-431 断面 (南から)
 SE-431 遺物出土状態 (南から)
 SE-431 遺物出土状態 (南から)
 SE-431 遺物出土状態 (南から)
 SE-431 遺物 (縄) 出土状態 (南から)
 作業風景 (東から)
 図版一五 西根2遺跡 遺構
 SX-433 完掘 (南から)
 SX-433 セクション (東から)
 SE-500 完掘 (南から)
 SE-500 遺物出土状態 (南から)
 SE-500 遺物出土状態 (西から)
 SE-500 遺物出土状態 (南から)
 SK-704 完掘 (南から)
 SK-704 セクション (南から)
 図版一六 西根2遺跡 遺構
 SE-651・652 完掘 (南から)
 SE-651 セクション (南から)
 SE-651 遺物出土状態 (南から)
 SE-652 セクション (南から)
 SE-652 遺物出土状態 (南から)
 SE-771 遺物出土状態 (南から)
 SE-771 断面 (南から)
 作業風景 (南から)
 図版一七 西根2遺跡 遺構
 SX-800 完掘 (南から)
 SX-800 完掘 (西から)
 S-75 遺物出土状態 (南から)
 S-189 柱根出土状態 (南から)
 S-279 セクション (南から)
 S-279 遺物出土状態 (南から)
 S-279 断面遺物出土状態 (南から)
 S-279 断面 (南から)
 図版一八 西根2遺跡 遺構
 S-280 遺物出土状態 (南から)
 S-280 断面遺物出土状態 (南から)
 S-280 断面 (南から)
 S-281 遺物出土状態 (南から)

S-281 断面遺物出土状態 (南から)
 S-281 断面 (南から)
 S-785 断面遺物出土状態 (南から)
 S-984・985 断面遺物出土状態 (南から)
 図版一九 西根2遺跡 遺構
 グリッド H8 旧石器調査状況 (南東から)
 S-1075 旧石器出土状態 (南から)
 SD-08・09・12 全景 (東から)
 SD-08・09・12・14 全景 (西から)
 SD-20 全景 (東から)
 SD-24・25・27 全景 (北から)
 SD-26 全景 (東から)
 作業風景 (西から)
 図版二〇 西根2遺跡 遺構
 調査区東半部完掘状況 (東から)
 調査区東半部完掘状況 (北から)
 調査区東半部完掘状況 (南東から)
 調査区東半部完掘状況 (北西から)
 調査区東半部完掘状況 (南西から)
 調査区西半部完掘状況 (南東から)
 調査区西半部完掘状況 (北東から)
 作業風景 (東から)
 図版二一 小野寺城跡 遺構
 小野寺城跡遠景 (南上空から)
 小野寺城跡遠景 (西上空から)
 図版二二 小野寺城跡 遺構
 調査区東部、調査前風景 (南から)
 調査区西部、調査前風景 (南から)
 調査区西部、調査前風景 (北から)
 調査区西部、調査前風景 (南から)
 調査区西部、調査前風景 (南から)
 調査区西部、調査前風景 (西から)
 調査区西部近辺風景 (南から)
 調査区東部近辺風景 (西から)
 図版二三 小野寺城跡 遺構
 調査区東部トレンチ掘削状況 (南から)
 調査区東部トレンチ掘削状況 (南から)
 調査区東部トレンチ掘削状況 (北から)
 調査区西部、遺構調査状況 (南から)
 調査区西部、遺構完掘 (南東から)

調査区西部、遺構完掘 (南東から)
 調査区西部、遺構完掘 (南から)
 調査区西部、遺構完掘 (北から)
 図版二四 西根2遺跡 遺物
 SI-01・02・03・04・05
 図版二五 西根2遺跡 遺物
 SI-03・06
 SD-26・27
 SE-32・44・68・500・652
 S-785・910
 SX-432
 SK-112
 遺構外 (古代) (中近世)
 図版二六 西根2遺跡 遺物
 石製品
 SI-02
 S-59
 SD-25・27・1210
 SE-651
 遺構外、不明
 図版二七 西根2遺跡 遺物
 旧石器時代出土石器
 縄文時代出土土器
 縄文時代出土石器
 出土陶器
 石製品 (紡錘車、砥石、石硯、礬石状石製品)
 鉄製品 (釘)
 銅銭
 図版二八 西根2遺跡 遺物
 漆器
 木製品
 図版二九 西根2遺跡 遺物
 木製品
 縄
 SX-432 出土薬
 図版三〇 西根2遺跡 遺物
 木柱
 図版三一 西根2遺跡 遺物
 木柱

第1章 調査の経緯

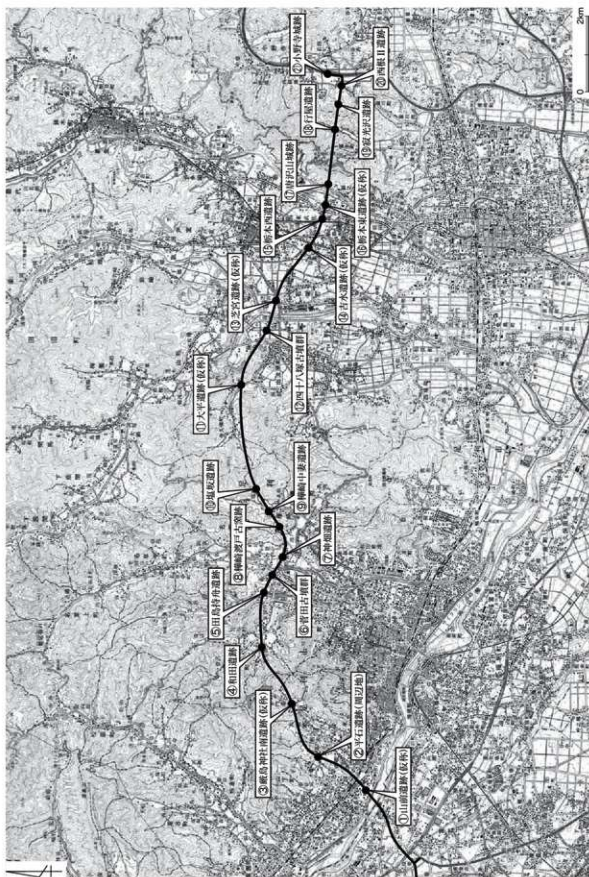
第1節 調査に至る経緯

北関東自動車道(路線名「北関東自動車道高崎水戸線」)は、群馬県高崎市から茨城県ひたちなか市に至る延長約150kmの国土開発幹線自動車道である。群馬、栃木、茨城3県の主要都市並びに国際港常陸那珂港を結ぶとともに、上信越道や中部横断自動車道と一体となり、東京から100～150km圏を環状に結ぶ「関東環状道路」を形成する高速道路である。関東地方における高速道路網の強化により各主要都市の交流の促進や地域の総合的発展の基盤施設としての役割が期待されている。栃木県内は足利市、佐野市、岩舟町、栃木市、都賀町、壬生町、下野市、宇都宮市、上三川町、真岡市、二宮町の6市5町、約58kmを通過する。このうち、東北自動車道(栃木都賀J.C.T)から新4号国道(宇都宮上三川I.C)までの約19kmは優先着工区間とされ、平成12年7月27日に開通している。東北自動車道重複区間及び優先着工区間の両側に位置する上三川～二宮間、足利～岩舟間においては平成3年2月8日都市計画決定、平成3年12月3日基本計画決定、平成8年12月27日整備計画決定をへて、群馬県境～足利は平成9年12月25日、真岡～茨城県境は平成10年4月8日にそれぞれ施行命令が出されている。

日本道路公団東京建設局(当時、以下公団)長は施行命令を受け、平成9年7月1日、栃木県土木部高速道路対策室(当時、以下高対室)を経由し県教育長あて路線内の埋蔵文化財について照会した。そこで栃木県教育委員会事務局文化課(以下県文化課、平成11年度より県文化財課)は、平成9年7月8日から18日にかけて所在調査を実施した。この調査により周知の埋蔵文化財包蔵地を中心に上三川～二宮間で14箇所、岩舟～足利間で18箇所の調査必要箇所が確認された。結果は平成10年3月18日付で公団長あて回答され、あわせて県高対室長あて報告された。

これら調査必要箇所の取扱いについて、県文化課、公団、県高対室による協議の結果、工事の影響を免れない範囲について記録保存のための発掘調査を実施することとなった。そのため平成10年1月15日、公団局長、県教育長及び発掘主体者の(財)とちぎ生涯学習文化財団(以下財団)理事長により「北関東自動車道(足利～岩舟、上三川～二宮)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する協定書」(以下協定書)が締結された。この協定書において、上記の箇所について現地発掘調査機関は平成18年3月まで、整理作業・報告書作成期間は平成19年3月まで、費用概算は2,167,967,000円とされた。平成年度は上三川～二宮の柳林遺跡、西物井遺跡、峰高前遺跡について調査を着手することとなり、協定書に基づき公団局長及び財団理事間で「埋蔵文化財発掘調査業務委託契約書」が締結され、北関東自動車道上三川～二宮間及び足利～岩舟間の発掘調査が開始された。

その後、財団は文化財課の指導にもとづき発掘調査業務を実施してきたところ、工事予定の変更や新たな埋蔵文化財包蔵地の確認等により協定書中全体実施計画書等の見直しが必要となった。そのため、平成18年3月29日付、東日本高速道路株式会社(平成17年10月1日、日本道路公団の民営化に伴い設立：以下東日本高速(株))関東支社宇都宮工事事務所長、県教育長及び財団理事長により「北関東自動車道(足利～岩舟、上三川～二宮)建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査の実施に関する変更協定書(第1回変更)」が締結された。この協定においては新たに4箇所を加えた36箇所(壬生P.A新規建設に伴う都賀～上三川間の谷向遺跡を含む)について、現地発掘調査は平成23年3月まで、また整理作業、報告書作成は平成24年3月までの期間、費用概算は3,302,692,000円と変更された。



第1図 北関東自動車道(足利～岩舟間) 関連の道跡 (1/100,000)

第1表 北関東自動車道(足利～岩舟間)埋蔵文化財発掘調査箇所一覧

No.	遺跡名	所在地	当初調査 対象面積 (㎡)	調査区分	調査面積 (㎡)	遺跡の概要
1	山前遺跡(仮称)	足利市鹿島町	4,300	試掘	480	平成14年度試掘調査。遺構・遺物なし。
2	平石遺跡(周辺地)	足利市山下町	11,700	試掘	365	平成17年度試掘調査。平石遺跡周辺地。遺構・遺物なし。
3	眠島神社南遺跡(仮称)	足利市大岩町	19,845	試掘	910	平成17年度試掘調査。遺構・遺物なし。
4	和田遺跡	足利市月谷町	29,320	確認 発掘	840 28,000	平成16年度確認調査。 平成16～18年度本調査。古墳～平安時代の竪穴住居跡100軒、掘立柱建物跡6棟、溝跡14条、土坑714基。
5	田島持舟遺跡	足利市田島町	15,800	試掘・確認 発掘	1,396 18,800	平成16年度試掘・確認調査。 平成16～18年度本調査。弥生時代の住居跡3軒、古墳時代の住居跡43軒、古代の住居跡17軒、円墳1基ほか。
6	菅田古墳群	足利市菅田町	12,000	発掘	11,300	平成17～18年度本調査。古墳時代の円墳9基、前方後円墳1基、箱式石棺2基、土坑墓1基。
7	神畑遺跡	足利市菅田町	8,030	試掘 確認 発掘	90 1,037 8,030	平成17年度遺跡踏査地試掘調査。 平成15年度確認調査。 平成15～16年度本調査。縄文時代後・晩期の住居跡2軒、土坑2基、古墳・平安時代の溝跡2条ほか。
8	神崎渡戸古宮跡	足利市神崎町	2,900	試掘・確認 発掘	160 2,900	平成17年度試掘・確認調査。旧「渡戸遺跡」。 平成18年度本調査。古墳時代の須恵器窯跡灰原。
9	神崎中妻遺跡	足利市神崎町	7,000	試掘 発掘	310 7,000	平成17年度試掘調査。旧「中妻遺跡」(仮称)。 平成18年度本調査。中世の竪穴状遺構1基、土坑6基。
10	塩坂遺跡	足利市神崎町	7,350	確認	170	平成17年度確認調査。遺構・遺物なし。
11	大平遺跡(仮称)	佐野市寺久保町	7,400	試掘 確認	125 4,320	平成19年度試掘調査。遺構・遺物なし。 平成17年度確認調査。
12	四十八塚古墳群	佐野市出流原町	30,560	発掘	20,200	平成17～19年度本調査。古墳時代後期の円墳15基、中世土坑群、溝跡。
13	芝宮遺跡(仮称)	佐野市戸奈良町	8,200	試掘	634	平成15年度試掘調査。遺構・遺物なし。
14	吉水遺跡(仮称)	佐野市吉水町	5,500	試掘 試掘	500 821	平成14年度試掘調査。遺構なし。 平成15年度試掘調査。
15	栃本西遺跡	佐野市吉水町	12,400	発掘	9,325	平成17年度本調査。 平安時代住居跡3軒・溝1条・土坑5基。
16	栃本東遺跡(仮称)	佐野市栃本町	10,600	試掘	970	平成17年度試掘調査。栃本西遺跡の隣地。 遺構なし。
17	唐沢山城跡	佐野市栃本町	9,000	発掘	5,800	平成18年度本調査。城に付随する中世の堅堀。
18	行屋遺跡	佐野市富士町	2,100	確認 試掘	260 1,000	平成17年度確認調査。遺構・遺物なし。 平成15～16年度試掘調査。
19	寂光記遺跡	下都賀郡岩舟町小野寺	12,415	発掘 確認	12,415 186	平成16～17年度本調査。奈良～平安時代の須恵器窯跡3基。窯跡に付随する溝跡。 平成16年度確認調査。
20	西根2遺跡(20年度報告)	下都賀郡岩舟町小野寺	4,620	発掘	4,620	平成17年度本調査。古墳～平安時代の竪穴住居跡7軒、古代～中世の溝跡16条、井戸跡23基ほか。
21	小野寺城跡(20年度報告)	下都賀郡岩舟町小野寺	4,500	確認・発掘	793	平成15年度確認調査時遺構精査。中世の堀1条。

なお、平成19年3月には、上三川～二宮間における14箇所の現地発掘調査が総て終了した。また、平成20年3月までに足利～岩舟間及び都賀～上三川間における22箇所の現地発掘調査も終了した。整理報告書作成作業においては、総ての遺跡について平成23年度までに報告書を刊行する予定である。

西根2遺跡は、下都賀郡岩舟町小野寺字西根・花見堂に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地(県道跡番号5229)である。平成16年度に確認調査、平成17年度に本調査を実施した。報告書作成は、平成20年度に実施した。

小野寺城跡は、下都賀郡岩舟町小野寺字堀之内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地(県道跡番号5378)である。現地発掘調査については、平成15年度に確認調査を行い、併せて発見された遺構の調査も実施した。

調査組織

平成15年度

埋蔵文化財センター所長	藤原 洋	
管理部長	中田 清	
管理部管理担当 主任	板井 恭子	
主幹兼調査部長兼大規模調査班班長	橋本 澄朗	
北関東道路調査担当総括	藤田 典夫	
主査 芹澤 清八	主査 賀川 倫夫	主査 塚本 師也
主査 森口 尚志	主査 鈴木 泰浩	主査 西田 知生
主任 池田 敏宏	主任 田代 己佳	主任 亀田 幸久
主任 横田 桂	技師 合田恵美子	主事 吉村 英子
嘱託調査員	平山 紋子 (4/1～8/31)	
調査補助員	玉橋さやか 鈴木 芳英 平山 紋子 (9/1～3/31)	

平成20年度

埋蔵文化財センター所長	会沢 登	
管理普及部長	安西 和雄	
管理部管理担当 主査	板井 恭子	
調査部長	川原 由典	
北関東道路調査担当副主幹	藤田 典夫	
主査 仲山 英樹	主査 藤原 浩恵	主査 田代 己佳
主査 池田 敏宏	主査 吉田 哲	

平成16年度

埋蔵文化財センター所長	藤原 洋	
管理部長	大田原 博	
管理部管理担当 主任	板井 恭子	
主幹兼調査部長兼大規模調査班班長	橋本 澄朗	
北関東道路調査担当係長	藤田 典夫	
主査 芹澤 清八	主査 塚本 師也	主査 西田 知生
主査 中村 享史	主任 池田 敏宏	主任 田代 己佳
主任 横田 桂	主任 吉田 哲	技師 合田恵美子
調査補助員	玉橋さやか 平山 紋子 鈴木 芳英	

平成17年度

埋蔵文化財センター所長	藤原 洋	
管理部長	大田原 博	
管理部管理担当 主任	板井 恭子	
主幹兼調査部長	橋本 澄朗	
大規模調査班班長兼北関東道路調査担当リーダー	川原 由典	
主査 芹澤 清八	主査 椎名 聡	主査 仲山 英樹
主査 西田 知生	主査 中村 享史	主査 藤原 浩恵
主査 田代 己佳	主任 池田 敏宏	主任 江原 英
主任 横田 桂	主任 吉田 哲	主任 宮田 宣浩
主任 合田恵美子		
嘱託調査員	玉橋さやか 鈴木 芳英	
調査補助員	平山 紋子 村田 沙織	

第2節 調査の経過

(1) 調査の方法

【西根2遺跡】

平成16年度の発掘調査方法

当該年度は確認調査を行った。本遺跡は周知の遺跡であるが路線内における遺跡範囲を確定し、遺構分布状況を把握するために行った。地形や遺物分布の状況に合わせて、2m幅のトレンチを設定して調査を行った。路線内における当初の調査対象面積は第1表に示したように4,620㎡で、このうち合計186㎡をトレンチ調査した。その結果、路線内における遺跡の推定範囲は妥当なものであり、範囲内には遺構が広く分布することが判明した。また、遺構の種類は竪穴住居跡や溝跡が主で、古墳時代から中世に至るまでの遺物が出土した。以上の確認調査結果から、当初の調査対象範囲4,620㎡全てを本調査することになった。

平成17年度の発掘調査方法

当該年度は本調査を実施した。調査対象範囲は複雑な形をしているので、東から「A区」、「B区」、「C区」の3つに区分して、その順に調査を進めた。あくまでも作業上の便宜的な区分であるが、A区とB区東半分は微高地の先端に相当し、竪穴住居跡をはじめ遺構が集中する部分である。B区西半分からC区にかけては微高地の南斜面で、中世の井戸跡が多い。

調査区のグリッドは世界測地系第IX系方眼のX=38,770、Y=-18,860の交点を起点とし、世界測地系第IX系座標値に基づき10×10m方眼で、一律に設定を行った。各グリッドは第5図に示したように、X軸を数字で表記し東から若い番号を、Y軸をアルファベットで表記し南からA、B、Cの順に附した。

表土除去は重機掘削によりA区から開始した。掘削する深さは、平成16年度のトレンチ調査の結果から、平均して表土下0.5m前後とし、トレンチ底面よりやや上方で止めることとした。

表土除去終了後、人力により遺構確認作業を実施した。その結果は下記の通りである。

A区 竪穴住居跡7軒、掘立柱建物跡1棟と溝跡および井戸跡、多数のビット群を確認した。また深掘りA地点では基本層序V層（砂礫層）下に砂層を確認した。深掘りB地点では基本層序V層（砂礫層）上層の基本層序IV層（砂層）とは異なる自然堆積層（礫（川原石）、粘質土を少量含むきめ細かい層）が落ち込む状態を確認した。

B区 溝跡および井戸跡、多数のビット群を確認した。深掘りC・D・E地点において近現代の攪乱層（コンクリート片・瓦礫片を混入）を確認した。

C区 井戸跡2基が発見された。調査区西端では、微高地が西側低地に落ち込む状態を確認した。

遺構番号は、1番から遺構番号を付し、種別（SA・SD・SE・SK等）-番号の書式で表現した。なお調査の結果、遺構と判別できなかったものについては、番号を欠番とした。

出土遺物は、遺構・グリッド内一括取り上げを基本とした。ただし、遺存状態が比較的良好なものや遺構の時期比定が可能と思われる遺物は、遺構単位で遺物番号を発番し、出土位置・高さを記録・図化した。

土層断面図、遺物出土状況図ならびに遺構完掘平面図はS=1/20にて現場作図をおこない（遺物出土状況図のうち一部はS=1/10で作図した）、これを整理作業時、編集した。

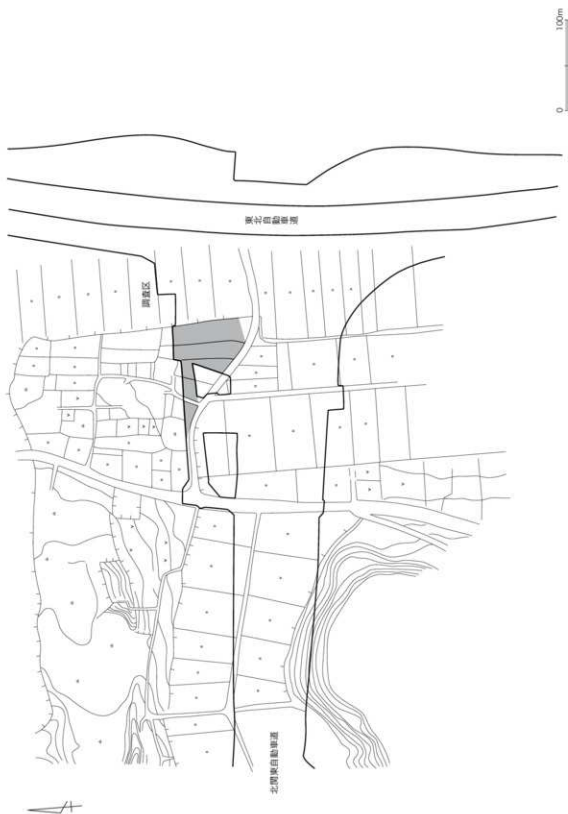
【小野寺城跡】

平成15年度の発掘調査方法

当該年度は確認調査を行った。本遺跡は周知の遺跡であるが路線内における遺跡範囲を確定し、遺構分布状況を把握するために行った。地形や遺物分布の状況に合わせて、2m幅のトレンチを設定して調査を行った。



第2図 西根2遺跡位置図 (1/5,000)



第3図 西根2連跡調査区図 (1/4,000)

路線における当初の調査対象面積は第1表に示したように4,500㎡で、このうち合計793㎡をトレンチ調査した。トレンチは東北自動車道の東西両側に設けたものの、ほとんどの箇所で遺構・遺物が認められなかった。唯一、東北道西側北の調査箇所において溝跡が確認されたため、調査範囲が極めて狭小でもあったことから同遺構の記録を作成し、調査終了とした。

(2) 調査の経過

【西根2遺跡】

確認調査

2004年7月5日～8月6日

発掘調査

2005年6月中～下旬	発掘調査準備。ユニット・ハウス設置。発掘調査機材・用具搬入。
6月22日(水)～7月1日(金)	重機による表土除去。
7月4日(月)	遺構調査開始。
7月5日(火)	グリッド杭設置。
7月11日(月)	遺構調査開始。
9月11日(日)	発掘調査現地説明会
9月21日(水)	航空写真撮影(第1回)
10月4日(火)～10月14日(金)	北側調査区表土除去
10月19日(水)	北側調査区遺構調査開始
11月8日(火)～11月16日(水)	C区表土除去
11月14日(月)	B区と並行してC区遺構調査開始
12月20日(火)	航空写真撮影(第2回)
12月27日(火)	調査事務所撤収
3月8日(木)	SE断ち割り調査終了後、Rグリッドライン(X=46,200)以南の調査
3月15日(木)	セスナ機による航空写真撮影(第2回目)。
3月23日(金)～3月26日(月)	出土遺物及び発掘調査機材・用具搬出。ユニット・ハウス撤収。

整理作業

2008年4月	調査記録(図面・写真等)の整理。遺物水洗い・注記。遺物接合
5月～10月	遺物実測図・拓本作成作業。遺物観察表作成。
11月～12月	トレース作業。図版作成作業。原稿執筆。
2009年1月	報告書編集作業。
2月～3月	報告書印刷・製本。

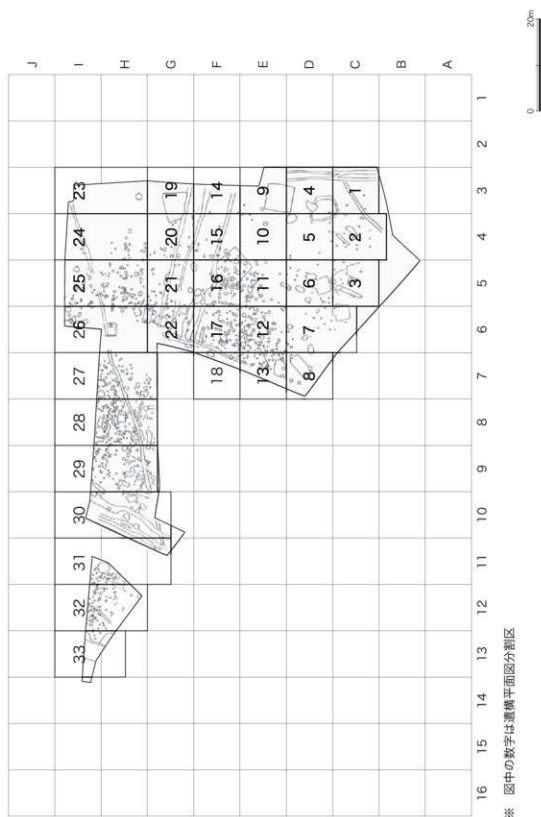
【小野寺城跡】

確認調査

2003年12月1日～2004年1月8日

整理作業

2008年4月	調査記録(図面・写真等)の整理。
5月～12月	トレース作業。図版作成作業。原稿執筆。
2009年1月	報告書編集作業。
2月～3月	報告書印刷・製本。



第5図 西根2遺跡グリッド図 (1/800)

※ 図中の数字は遺構平面図分割区

第2章 遺跡の立地と環境

第1節 地理的環境

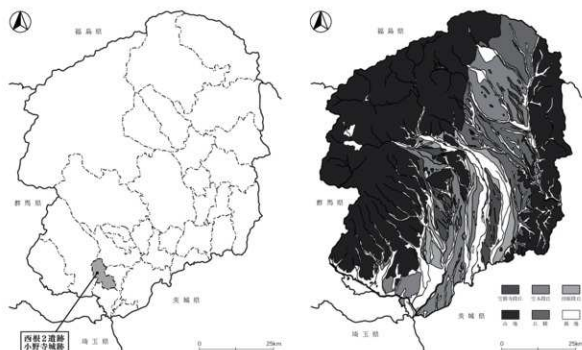
西根2遺跡・小野寺城跡は、ともに栃木県下都賀郡岩舟町小野寺に所在する。

岩舟町は栃木県南部に位置し、東は下都賀郡大平町、西は佐野市、南は下都賀郡藤岡町、北は栃木市と接している。地形的に見ると、岩舟町は関東平野の北縁部に位置する。町の北部は、足尾山地の南麓に相当し、標高200～300m代の山地・丘陵地帯である。足尾山地は、主に日光以南に広がる標高1,300～1,100m程度の山々の総称で、その主山稜の分水嶺が栃木県と群馬県の県境となっている。足尾山地を水源とする中小の河川は概ね南東方向あるいは南に向かって流れ、本流である渡良瀬川に合流してゆく。

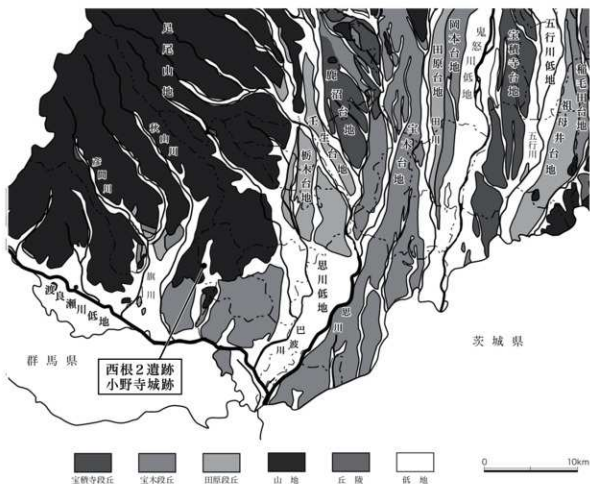
町の南部は標高20～30m代の洪積台地や沖積地が広がり、関東平野となる。その中を南流する中小の河川は、これらの洪積台地を間折し、微高地と浅い谷が入り組んだ起伏に富む地形を生み出している。

また、市街地の北には岩舟山（標高172.7m）が存在する。これは足尾山地の南端に相当し、山腹の大部分が切り立った凝灰岩の路頭になっている。頂上と山麓との比高差は百数十mあり、平野部に屹立する魁偉な姿は「岩舟」の名の由来となっている。さらに、町の南西部でも、足尾山地の最南端が関東平野に突出し、分離丘陵である三義山（標高229m）となっている。その尾根は岩舟町と佐野市の境界である。また、三義山西麓の低地は現在一面の水田になっているが、第二次大戦前までは南北約3km、東西約500mの広大な湿地帯で、「越名沼」と呼ばれていた。戦後の干拓事業の本格化によって、現状の耕地となった。

西根2遺跡と小野寺城跡は岩舟町の北西部に位置する。この一帯は、山地の端部が複数の小河川によって浸食され、支谷が発達している。その河川の一つである三杉川は、上流域に南北約3km、東西約800mにわたる比較的高い谷を形成しているが、南側で谷幅が狭くなるため、盆地の様相を呈している。両遺跡はこの盆地底部に存在する。西根2遺跡は盆地中央のやや西寄りに存在し、三杉川流域の微高地上に立地する。遺



第6図 遺跡位置図・地形図 (1/1,250,000)



第7図 周辺地形図 (1/400,000)

跡の標高は34 mである。小野寺城跡は西根2遺跡の北東約1 kmに位置する。東側は南流する三杉川に接し、南は旧河道と思われる湿地に臨んでおり、三杉川西岸の低地に張り出した微高地の先端に立地している。城跡の標高は36 mである。

第2節 歴史的環境

旧石器時代

西根2遺跡・小野寺城跡では、西根2遺跡において旧跡時代の石器剥片集中地点が発見された。この周辺では現在のところ該期の遺跡はあまり確認されていない。しかし、岩舟町の赤塚遺跡(1)で暗色帯から発見されたナイフ形石器や、同町赤羽遺跡(2)出土の削片系細石刃核などは、栃木県における後期旧石器時代の様相を考える上で、好資料となっている。

一方、佐野市の上林遺跡(3)では、第Ⅰ文化層(上層)と第Ⅱ文化層(下層)に分けられる2枚の石器群が確認された。第Ⅱ文化層石器群は暗色帯下で発見され、国内でも有数の規模の環状ブロックを形成しており、ナイフ形石器・台形燧石器、局部磨製石斧などを含む3,000点以上の石器が出土した。第Ⅰ文化層は浅間・板鼻褐色軽石群(As-BP)と板鼻黄色軽石(As-YP)間に位置し、男女倉型尖頭器や彫刻刀形石器を中心とした石器群が確認された。同市のエグロ遺跡(4)でも、上林遺跡第Ⅰ文化層に相当する男女倉型尖頭

器に伴う剥片石器群が発見され、縦長剥片を主体とする削器も伴出している。さらに、上林遺跡の周辺では、佐野市の**伊勢山遺跡（5）・ゴロノミヤ遺跡（6）・下林遺跡（7）・四ツ道北遺跡（8）**などが旧石器時代の遺跡と考えられる。これらの遺跡は、発掘調査はされていないが、表土や路頭において石器が採取されている。伊勢山遺跡出土のナイフ形石器は上林遺跡のものと同じく後期旧石器時代初頭の遺物と考えられる。

ところで、近年、発掘資料である黒曜石についての産地同定分析や特定石材の入手経路の予察が盛んに行われ、本県でも高原山産黒曜石や、武子川および姿川産ガラス質黒色安山岩の移動が交易の事例として着目されている。また、もう一つ広域に用いられる石材として足尾山系に包蔵される層状チャートも指摘されている。栃木市の**向山遺跡（9）**は発掘調査の結果、チャートの原産地遺跡であることが明らかになり、採掘年代が暗色帯以下の時期にまで下がる事が立証された。現在、向山遺跡産石材の移動が議論されており、上記の佐野市**上林遺跡（3）**、県南東部では小山市の**塚崎遺跡**、野木町の**野木川遺跡**などに供給された可能性が指摘されている。

縄文時代

西根2遺跡・小野寺城跡では、遺構は発見されなかったが、西根2遺跡において縄文時代中期の土器破片が少量出土している。調査区外に遺構が存在することも考えられる。

当遺跡周辺の縄文時代前期の遺跡である藤岡町の**藤岡貝塚・篠山貝塚**は、ともに古東京湾最奥部の貝塚としても著名で、関山式および黒浜式期に位置づけられる。また、三義山西麓の旧越名沼を取り巻くように、佐野市の**上林遺跡（3）・下林遺跡（7）・エグロ遺跡（4）・松山遺跡（10）・黒袴台遺跡（11）**などの遺跡が立地する。各遺跡で黒浜式期の住居跡が発見され、総計で70軒以上にのぼる。

縄文時代中期以降になると確認されている遺跡数は減少する。岩舟町では、現時点では縄文時代中期の遺跡は確認されていない。しかし、佐野市の**馬門南遺跡（12）**では中期中葉の中峠式から後期初頭の堀之内式にかけての土器が多量に出土し、後世の遺構で破壊されているものの、集落が存在した可能性が大きい。この遺跡の加曽利E1式以降の文様構成には南関東との共通点が見られる。佐野市北部の**北の内遺跡（13）**では中期中葉の住居跡が確認された。また、旧越名沼の支沼に面する台地上に位置する藤岡町の**後藤遺跡（14）**は、当地域における縄文時代後期から晩期の拠点的な集落遺跡として有名である。豊富な土製品が発見されており、耳飾り・土偶等の出土は特に多い。

古墳時代

西根2遺跡・小野寺城跡では、西根2遺跡において古墳時代後期の集落の一部が発見された。

本遺跡が所在する栃木県南西部は、古墳時代の毛野の地域のほぼ中央に位置する。この地域では、前期に大型前方後方墳が割拠するが、古墳時代中期には群馬県太田市に東国最大の前方後円墳**天神山古墳（全長210m）**が出現し、それまでの首長墓は衰退する。これは、群馬県東部から栃木県南東部にかけての地域が毛野の政治的な中心地になったためと考えられている。しかし後期になると、主要な首長墓が東西に分かれて分布するようになり、古代上毛野国、下毛野の原形ができあがったと考えられる。

【前期】

西根2遺跡・小野寺城跡周辺では、現在のところ古墳時代前期の遺跡は確認されていないが、南側の平野部分には、前期の遺跡が多数存在する。その分布や内容を検討すると、群馬県東部から栃木県南西部にかけての一带は、渡良瀬川やその支流の潤す一つのまとまりを持った地域であったと考えられる。

まず前期の主要な古墳を見ると、藤岡町の**山王寺大樹塚古墳(15)**が挙げられる。渡良瀬川支流の巴波川右岸の沖積低地に立地する墳丘長96mの大型前方後方墳で、粘土槨から四神鏡、玉類、銅鐙、直刀、剣、鉄製工具などが出土し、4世紀後半の築造と考えられている。周囲には**大樹塚北古墳・大樹塚北東古墳・寺浦古墳**の3基の古墳が存在し、古墳群となっている。

佐野市では、三義山西部の台地上にある**松山遺跡(10)**で松山古墳が発見されている。墳丘はほとんど削平されていたが、調査により、墳丘長44mの前方後方墳で長方形の周溝を持つことが明らかになった。周溝からは底部穿孔有段口縁壺が、墳丘から転落した状態で多数出土した。それらの特徴から4世紀前半頃の築造と考えられる。周囲には方墳27基が密集して古墳群を形成している。松山遺跡の南西に位置する佐野市**馬門南遺跡(12)**では、全長52mの前方後円墳、**馬門愛宕塚古墳**が発見された。さらに、渡良瀬川を挟んで南側の群馬県板倉町には**西岡赤城塚古墳(16)**が存在する。前期の円墳もしくは前方後円墳と思われ、三角縁仏獣鏡が出土している。これら前期の3古墳は各地区の有力首長墓と考えられるが、北端に位置する松山古墳と南端の西岡赤城塚古墳との距離が3.5kmであり、三者が比較的近い距離に位置すると指摘されている。また、佐野市の**御屋敷遺跡(21)**では前方後方形の周溝を巡らす墳墓が確認された。

集落遺跡では、岩舟町の**赤羽遺跡(2)**、藤岡町赤麻の**熊野遺跡(22)**では、山王寺大樹塚古墳と同じ頃の集落跡が発見されている。その他、前期の集落跡は、大平町の**伯仲遺跡(19)**、佐野市**馬門南遺跡(12)**・**御屋敷遺跡(21)**・佐野工業団地内遺跡(20)・堀米遺跡(21)・エグロ遺跡(4)では前期の竪穴住居跡40軒近くが確認されている。

【中期】

中期になると、栃木県では前方後方墳は築かれなくなり、それらに後続するような有力首長墓は円墳化するが、あるいは系譜を辿ることが困難になると考えられる。また、前期の後半に一部の有力首長墓が前方後円墳化した渡良瀬川流域でも、多くが円墳化することが指摘されている。この現象は、当時、畿内において強大化したヤマト政権が東国にも政治的影響力を強め、東国首長の造墓にまで規制が働いたためと理解されている。先述の**藤岡町山王寺大樹塚古墳(15)**、佐野市**松山古墳(10)**・**馬門愛宕塚古墳(12)**なども、後続墳と考えられるような規模・内容を有する古墳が周囲に見いだせなくなる。

代わって、それまで前期古墳の分布が顕著でなかった地域に中期古墳が出現する。佐野市**八幡山古墳(22)**は前期古墳が分布する平野部から北に離れた台地の先端部分に立地する。直径約40mの円墳で竪穴式石室から三角板瓦紐式の短甲や衝角付冑が出土した。

この時期の主な集落跡は、佐野市では**上敷遺跡(23)**・**人丸神社裏遺跡(24)**・**若宮遺跡(25)**・**黒袴台遺跡(11)** 岩舟町では**赤羽遺跡(2)**などが挙げられる。

【後期】

当遺跡が存在する岩舟町北部では、現時点で古墳時代の遺跡は確認されていないが、南部には**甲塚古墳(26)**や**小野黒根古墳群(27)**が存在する。**小野黒根4号墳**では、本県でも古い時期の横穴式石室が発掘調査された。また、東に隣接する大平町にも古墳が多数存在するが、石室が開口していたり、調査等で内容・時期等が判明しているものでは、**七廻り古墳群(28)**、**中山古墳(29)**、**白岩7号墳(30)**、**マガキ1号墳(31)**、**茶臼山1号墳(32)**、**友田茶臼山古墳(33)**などが挙げられる。七廻り古墳群は、舟形木棺をはじめ有機質遺物の保存状態の良好なことで著名な**七廻り鏡塚古墳**を主墳とする。中山古墳は6世紀前葉の築造と考えられ、栃木県内でも最古級の横穴式石室を有する。また、それらに後続すると考えられるのが白岩7号墳、マガキ1号墳、茶臼山1号墳、友田茶臼山古墳などで、いずれもチャートの削石を多用する横穴式石室が存在する。県内の後期古墳を検討する上でも看過できない地域といえよう。

第2表 西根2遺跡・小野寺城跡周辺の遺跡一覧表

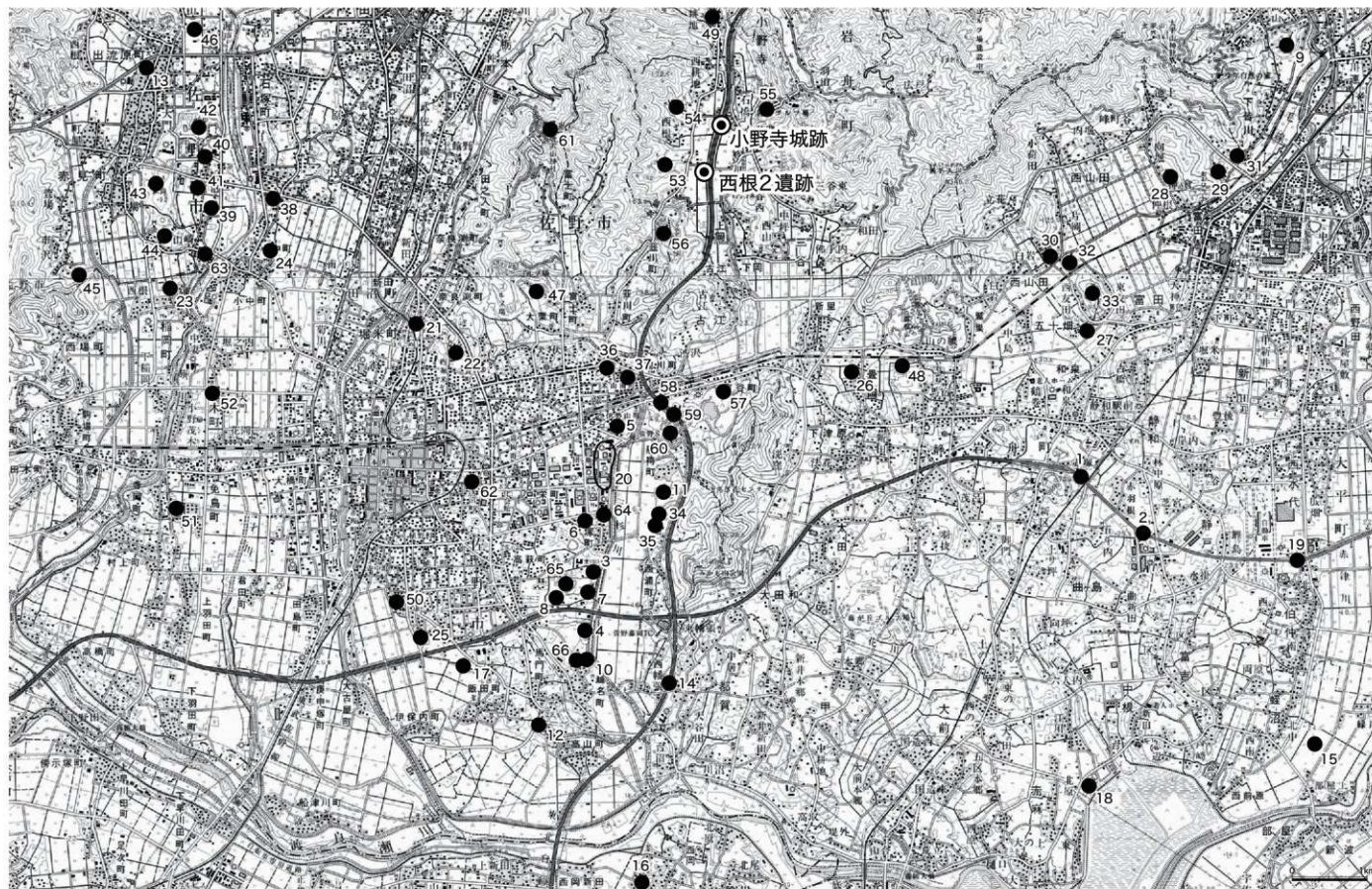
No	遺跡名	所在地
○	西根2遺跡	岩倉町
○	小野寺城跡	岩倉町
1	赤塚遺跡	岩倉町
2	赤沼遺跡	岩倉町
3	上林遺跡	佐野市
4	エダノ遺跡	佐野市
5	伊勢山遺跡	佐野市
6	ゴロノミヤ遺跡	佐野市
7	下林遺跡	佐野市
8	西ヶ道北遺跡	佐野市
9	内山遺跡	栃木市
10	松山遺跡	佐野市
11	原崎台遺跡	佐野市
12	堀門南遺跡	佐野市
13	北の内遺跡	佐野市
14	後藤遺跡	藤岡町
15	山王寺大塚塚	藤岡町
16	西根本城跡古墳	群馬県板倉町
17	御所家遺跡	佐野市
18	鹿野遺跡	藤岡町
19	石神遺跡	大平町
20	佐野1里団地内遺跡	佐野市
21	堀本遺跡	佐野市
22	八幡山古墳	佐野市
23	上東遺跡	佐野市
24	人丸神社裏遺跡	佐野市
25	若宮遺跡	佐野市
26	甲原古墳	岩倉町
27	小野集居古墳群	岩倉町
28	七廻り古墳群	大平町
29	中山古墳	大平町
30	白岩7号墳	大平町
31	マカキ1号墳	大平町
32	茶臼山1号墳	大平町

No	遺跡名	所在地
33	友田茶臼山古墳	大平町
34	ヘビ塚遺跡	佐野市
35	ムジナ塚遺跡	佐野市
36	米山古墳	佐野市
37	米山東古墳	佐野市
38	トコナ山古墳	佐野市
39	西岡古墳群	佐野市
40	湯田古墳群	佐野市
41	十二天塚古墳	佐野市
42	中山古墳群	佐野市
43	東山古墳群	佐野市
44	愛宕山古墳群	佐野市
45	市ノ沢古墳群	佐野市
46	四十八塚古墳群	佐野市
47	堀沢グランド堀跡古墳群	佐野市
48	曾田遺跡	岩倉町
49	大志寺遺跡	岩倉町
50	赤城神社遺跡	佐野市
51	大日堂後寺跡	佐野市
52	館之前遺跡	佐野市
53	飯久沢遺跡	岩倉町
54	大芝原空跡群	岩倉町
55	石橋十二所空跡群	岩倉町
56	兼川三通空跡群	岩倉町
57	町谷空跡群	佐野市
58	鶴舞瓦空跡	佐野市
59	北山・八幡空跡群	佐野市
60	東山空跡群	佐野市
61	唐沢山城跡	佐野市
62	阿曾沼城跡	佐野市
63	小塚山遺跡	佐野市
64	北の内遺跡	佐野市
65	小林遺跡	佐野市
66	飯久沢遺跡	佐野市

主要参考文献

- 青木健二 1981 「堀田3号墳」佐野市教育委員会
青木健二 1990 「堀田3号墳」佐野市教育委員会
青村光夫 1986 「企画展示図録 よみがえる古墳」佐野市郷土博物館
青村光夫 1996 「企画展示図録 佐野の歴史」佐野市郷土博物館
池田一雄 1977 「上東遺跡」栃木県教育委員会
石田正巳 1989 「小野山遺跡」佐野市教育委員会
出羽博雄 2003 「ムジナ塚遺跡」佐野市教育委員会
出羽博雄 2004 「上林遺跡」佐野市教育委員会
岩上照朗他 1979 「北の内遺跡」栃木県教育委員会
岩瀬一夫 1981 「赤沼遺跡」栃木県教育委員会
上野雅一 1981 「堀山古墳群調査報告書」栃木県教育委員会
大川清他 1972 「東北縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告」栃木県教育委員会
大川清 1976 「下野の古代産業遺跡」栃木県教育委員会
大川清他 1976 「栃木県岩倉町後藤遺跡発掘調査報告書」栃木県教育委員会
大橋泰典他 1986 「星の宮神社古墳・米山古墳」栃木県教育委員会
大和久保平 1974 「七廻り古墳群」大平町教育委員会
岡本幸・堀田光 1982 「栃木県御所家遺跡の調査」『考古学』第4巻東京考古学会
上野川勝 1992 「安佐地方における石炭層使用穴式石室の検討」『考古学』11
川原由典他 1979 「北の内遺跡」栃木県教育委員会
藤原久他 2001 「ヘビ塚遺跡」栃木県教育委員会・(財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
藤原久他 2001 「堀田台遺跡」栃木県教育委員会・(財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
藤原久他 1976 「堀田台遺跡発掘調査報告書」佐野市教育委員会
芹澤清八・仲山英樹他 2001 「エダノ遺跡」栃木県教育委員会・(財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
竹澤謙 1972 「後藤遺跡」『東北自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書』栃木県教育委員会

- 田代隆他 1984 「赤沼遺跡」栃木県教育委員会
堀田四郎他 1970 「佐野市上里住宅団地内遺跡発掘調査報告書」栃木県教育委員会
手塚達彦 1997 「御所神社遺跡」栃木県教育委員会・(財)栃木県文化財調査事業団埋蔵文化財センター
戸田正勝 1991 「向山遺跡をめぐる2,3の問題」『埋蔵文化財センター年報』第17号
佐野市史 1975 「佐野市史資料編1」佐野市
栃木県古墳地調査会 2005 「中山古墳調査報告2」『栃木県考古学会誌』26
栃木県古墳地調査会 2006 「大平町茶臼山1号墳調査報告」『栃木県考古学会誌』27
栃木県古墳地調査会 2008 「白岩7号墳調査報告」『栃木県考古学会誌』29
中村孝史他 2007 「四十八塚古墳群」『埋蔵文化財センター年報』第17号 (財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
中村孝史他 2006 「飯久沢遺跡」『埋蔵文化財センター年報』第16号 (財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
中嶋雄他 1997 「飯久沢遺跡」栃木県教育委員会・(財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
山田英樹 1995 「堀田南遺跡」栃木県教育委員会・(財)栃木県文化財調査事業団埋蔵文化財センター
栃木県古墳地調査会 2001 「松山遺跡」栃木県教育委員会・(財)とちぎ生誕学習文化財館埋蔵文化財センター
堀田孝行 1983 「石神遺跡」栃木県教育委員会・(財)栃木県文化財調査事業団埋蔵文化財センター
堀田孝行 1985 「佐野市八幡山古墳調査報告」『古代』第16号 早稲田大学考古学会
前澤清政 1977 「山王寺大塚塚」藤岡町教育委員会
茂木克美 1992 「堀門南遺跡・堀門愛宕塚古墳」佐野市教育委員会
茂木克美 1992 「若宮遺跡」佐野市教育委員会
久島俊雄他 1988 「内原遺跡・湯田遺跡・十二天塚遺跡」佐野市教育委員会
山田英樹 2002 「ゴロノミヤ遺跡」佐野市教育委員会



第8図 周辺の遺跡分布図 (1/50,000)

一方、三疊山の西麓では旧越名沼に臨む台地上に、佐野市**黒袴台遺跡** (11) が存在し、古墳時代後期の円墳 30 基以上から成る古墳群が調査されている。その南方の、佐野市**ヘビ塚遺跡** (34)・**ムジナ塚遺跡** (35) でも後期古墳が発掘調査された。旧越名沼の北方では佐野市の**米山古墳** (36) の存在が目立つ。独立丘陵頂部に築かれた直径 40 m の円墳で、大型の円筒埴輪・蓋形埴輪が出土した。埴輪の特徴からは 6 世紀代の築造と考えられる。**米山東古墳** (37) は一辺 33 m の方墳とされ、石室から鉄地金銅張金具などが出土した。

佐野市街地北西部の丘陵地帯周辺は、市内でも後期古墳が集中する地域で、当地で産出する石灰岩を用いた横穴式石室が特徴的である。直径約 34 m の円墳である**トコチ山古墳** (38) は、石室の保存状態が良好で馬具や多量の鉄器を出土した。渡良瀬川支流の旗川を挟んで西側に存在する**五箇古墳群** (39) は現存約 10 基が確認できる古墳群で、円墳の 1 号墳が発掘調査され、埴輪や横穴式石室から馬具が出土した。2 号墳は帆立貝形、3 号墳は前方後円墳とされる。**蓮沼古墳群** (40) は円墳 15 基が確認でき、南端にある**十二天塚古墳** (41) は横穴式石室の開口する直径約 45 m の大型円墳で、この地域最大の後期古墳として注目される。蓮沼 3 号墳は発掘調査され、埴輪・須臾器等が出土した。西側の東山・中山丘陵上には、北端に円墳 12 基が確認できる**中山古墳群** (42)、中程に円墳 18 基から成る**東山古墳群** (43)、南端には前方後円墳 1 基を含む**愛宕山古墳群** (44) が存在する。この丘陵西側山麓には、市ノ沢古墳群 (45) があり円墳 13 基が密集し横穴式石室が開口している。また、中山古墳群北方の**四十八塚古墳群** (46) は北関東自動車道建設に伴い発掘調査が行われた。削平を受けた円墳 15 基が確認され、石灰岩を使用した横穴式石室が調査された。

その他古墳関連の遺跡としては、唐沢山南麓に位置する**唐沢ゴルフ場埴輪窯跡群** (47) が挙げられ埴輪を焼成した窯跡 12 基が確認された。

古墳時代後期の集落遺跡としては、大平町の**伯仲遺跡** (19)、佐野市の**黒袴台遺跡** (11)・**馬門南遺跡** (12)・**佐野工業団地内遺跡** (20)・**堀米遺跡** (21)・**上敷遺跡** (23)・**人丸神社裏遺跡** (24)・**若宮遺跡** (25) などが挙げられる。黒袴台遺跡には後期の集落跡も存在し、竪穴住居跡がおおよそ 60 軒発見されている。本遺跡は後期古墳群でもあり、集落と墓域が隣接していると考えられる。馬門南遺跡でも 6 世紀後半を中心とした時期の竪穴住居跡が 60 軒以上調査された。また、佐野工業団地内遺跡は、旧越名沼西岸台地上の複数の遺跡の総称とも言えるもので、広範囲にわたって遺構が分布し、古墳時代から平安時代にかけて連続と集落が営まれていたことが判明している。

奈良・平安時代

律令制下の下野国には、那須群・塩谷郡・芳賀郡・河内郡、都賀郡、寒川郡、安蘇郡、足利郡、梁田郡の 9 群が存在し、岩舟町は都賀郡に位置する。さらに『倭名類聚抄』によれば、都賀郡には布多、高家、山後、山人、田後、生馬、秀文、小山、三嶋、驛家の 11 の郷名が見られる。このうち三嶋郷と驛家郷は岩舟町西部に比定されている。特に三嶋郷の「三嶋」は、三嶋の誤記とする説もあり、同郷は現在の三疊山東方の地域と考えられている。西根 2 遺跡の存在する「小野寺」一帯は三嶋郷に含まれる。岩舟町**曇岡遺跡** (48) では古代の瓦が多量に出土しており、三嶋駅家跡あるいは安蘇郡衙跡とする説もある。西根遺跡の北約 2 km には、岩舟町**大慈寺跡** (49) がある。現在も寺院は存在するが、隣接する延喜式内社の村檜神社境内から古代の瓦が出土している。その他、佐野市の**赤城神社遺跡** (50) や**大日堂廃寺跡** (51) でも古代の瓦が出土した。

西根遺跡周辺の大規模な集落遺跡としては**佐野工業団地内遺跡** (20)、**黒袴台遺跡** (11)、**馬門南遺跡** (12) などが挙げられる。また、佐野市街地西方の**館之前遺跡** (52) も 60 軒近い竪穴住居跡が発見され、大規模な集落遺跡である。この付近に安蘇郡衙を比定する見解もある。

西根2遺跡の周辺には7世紀末から9世紀にかけての産業遺跡が存在する。まず、三義山山麓に多数分布する窯業遺跡が挙げられる。西根2遺跡の西方500mの谷には**寂光沢遺跡(53)**が存在する。これは平成16年に発掘調査された北関東自動車道関連遺跡で、8世紀後葉から9世紀後半までの須恵器窯跡3基が発見された。本遺跡は未報告であるが、西根2遺跡の同時代の集落跡との関係が注目される。また、西根2遺跡の北側に岩舟町**大芝原窯跡群(54)**、三杉川を隔てた盆地東側の丘陵には岩舟町**石橋十二所窯跡群(55)**などが存在する。西根2遺跡の南方約1.2kmには岩舟町**並川三通窯跡群(56)**、さらに南方3km、三義山の北麓周辺には、佐野市の**町谷窯跡群(57)**・**鶴舞窯跡(58)**・**北山・八幡窯跡群(59)**・**東山窯跡群(60)**などが確認されており、**三義山山麓古墳窯跡群**と総称される。発掘調査の結果、北山・八幡窯跡群は、7世紀末から8世紀初頭にかけて須恵器生産を始めており、当古窯跡群の中でも古く位置づけられることが判明した。その後、並川三通窯跡群、石橋十二所窯跡群、大芝原窯跡群の順に9世紀後半頃まで須恵器生産が行われ、その製品は県内各地の遺跡で出土している。一方、8世紀になると東山窯跡群、鶴舞窯跡、町谷窯跡群では瓦の生産が始まり、下野国分寺・下野国府などに瓦を供給していたことが明らかになっている。

しかし、これらの窯跡に付属する、工房・作業場・工人集落および製品・原材料の搬出入に関連諸施設の遺構は、これまでに確認されていない。西根2遺跡できわめて限られた範囲とはいえ、同時期の集落の一部が調査されたことは、当地における古代窯業の生産体制を検討する上で、貴重な発見といえる。

中世

古代末、下野国南部はともに藤原秀郷の子孫とされる小山氏、足利氏の二大勢力が拮抗していた。しかし12世紀末、源平の争乱によって、源氏側の小山氏は幕府の有力御家人となり、平家側の足利氏惣領家は滅亡して「源姓」足利氏に取って代わられた。ただし「藤姓」足利氏末流の佐野氏などは小山氏に荷担し、同じく「藤姓」とされる小野寺氏は最終的には源氏側につき、鎌倉御家人としてそれぞれの本拠地を安堵させている。

小野寺城は1156年(保元元年)小野寺義寛の築城とされ、子の通綱が承久の乱(1221)で討死し、廃城となったと伝えられるが、小野寺氏は鎌倉に在住し、その後も小野寺荘を領有し続けた。

栃木県南西部の中世初期の城館跡をみると、佐野氏の本拠地とされる佐野市の**唐沢山城跡(61)**、佐野氏一族の阿曾沼沢居館跡とされる佐野市の**阿曾沼城跡(62)**などが挙げられる。足利氏館跡は源姓足利氏二代の足利義兼が12世紀末に築いたとされ、現在は内郭と考えられる部分が鍬阿寺境内となっている。ほぼ210m四方の敷地を土塁と堀が囲繞し、居館の形跡をよくとどめている。佐野氏の唐沢山城跡は小野寺城跡の西方約2.3kmの唐沢山山頂付近に立地する。藤原秀郷築城と伝わるが創始の確実な年代は不明である。平安末期に藤姓足利氏が再興し、基拠はここを居城として佐野氏を称したとされるが、これも伝承の域を出ない。現在見られる石垣などの遺構は天正年間以降の大改修後のものと考えられる。1602年に徳川幕府によって廃城となった。また、阿曾沼城跡は堀・土塁を巡らす単郭式の平面で、居館跡であることを示している。

その他の中世遺跡としては、岩舟町**赤羽遺跡(2)**で墓地遺構が発見された。佐野市の**小峯山遺跡(63)**でも14世紀中頃～15世紀中頃の墓地遺構が確認された。佐野市の**北の山遺跡(64)**では地下式墳が発見され、五輪などが出土している。**馬門南遺跡(12)**では馬門愛宕塚古墳の墳丘上で塚が確認され、13世紀後半～15世紀後半にかけての板碑が出土した。佐野市の**中林遺跡(65)**、**エグロ遺跡(4)**、**萱久根遺跡(66)**、**黒袴台遺跡(11)**などでも大規模な墓地遺構が発見されている。

第3章 西根2遺跡

第1節 古墳時代から古代の遺構と遺物

本遺跡で調査した遺構のうち、中近世以前の遺構は竪穴住居跡7軒（SI-1～7）、溝跡1条（SD-20・26 同一の溝跡）、井戸跡3基（SE-44・68・500）土坑1基（SK-112）である。

竪穴住居跡は調査区の東側に集中している。古墳時代後期はSI-2～4の3軒、奈良・平安時代はSI-1・5～7の4軒で、SI-7の時期は推定である。SI-4はSI-5に破壊される。また、各竪穴住居跡は溝跡、小穴等に切られている。古墳時代SI-2～4は遺構の主軸方向はそれぞれ異なっている。奈良・平安時代ではSI-1の方向が異なる他は、SI-5～7が同一方向でありほぼ同一時期の遺構と考えられる。出土している土器からもSI-1は9世紀前半、他は9世紀後半であり異なっている。

溝跡（SD-20・26）は調査区北側を北東から南西に延びている。調査区中央の一部が未調査で東がSD-20、西がSD-26となっており、同一の溝跡である。攪乱により中近世の遺物も出土しているものの、古代の土器がやや多量に出土している。

井戸跡はSE-500において多量の土器が出土している。土坑はほとんどが中近世のもので、遺物の出土から古代の土坑とした遺構は1基のみであり他は明確ではない。なお、不明遺構としたSX-15は細い溝が円形に廻る遺構である。重複関係等から古代以前の遺構としたがあまり明確ではない。小穴は一部を除き、中～近世のものである。

出土した土器からみると、SI-1以外は、SI-5～7がほぼ近い時期の遺構と考えられる。本遺跡では古代において数軒の竪穴住居跡、井戸跡、溝跡からなる小規模な集落跡が確認されたことになる。唐沢山を挟む本遺跡西方に位置する栃木西遺跡においても、10世紀前半の竪穴住居跡3軒、溝跡1条等からなる小規模な集落跡が北関東関連調査で確認されている。本遺跡と同様の小規模集落跡と考えられる。

出土遺物としては古墳時代遺構から土師器環、甕、鉢、須恵器フラスコ瓶等が出土している。

奈良・平安時代遺構からは須恵器環、土師器環、土師器甕、須恵器甕、土製紡錘車、瓦片、礫石状石製品等が出土している。また、中世遺構内に混入していた遺物として灰釉陶器片が少量出土している。その他、遺構外から瓦片が出土している。平瓦、丸瓦、軒平瓦があり、軒平瓦では瓦当面に飛雲文が認められる。古代瓦は本遺跡西方の寂光沢窯跡等、近辺所在の窯跡から本遺跡にもたらされたものであろう。遺構内出土の須恵器環も焼き歪みのものが少なくない。また、掲載していないものの窯跡の焼台として利用された須恵器甕片等もある。これらの瓦や須恵器片等は窯跡から拾われ再利用されていたものと推測される。なお、石製品、木製品等は第4章の該当する部分に記載した。

(1) 竪穴住居跡

SI-01（第9図、写真図版三）

位置 E4・E5・F4・F5 グリッド

重複関係 SD-12及び小穴に切られる。

規模・平面形 南北6.6m、東西5.8mの長方形。北東隅は消失

主軸方向 N-44°-W

覆土 20～30cm程度残存している。3層程度でローム粒子・ロームブロックを含む暗褐色土を基調とする。

壁 やや斜めに立ち上がる。

床面 全体に貼床（4層、3層も貼床に近い）で、厚さは3～5cm程度である。ロームブロックを多量に含む。

しまりは強い。平坦ではなく凹凸あり

掘方 一部がビット状に窪む他は、ほぼ均一に床面より下に掘り込まれており、凹凸がある。

柱穴 後世のビットが多数掘り込まれているため明確ではないものの、SI-01に伴う柱穴は確認されていない。

貯蔵穴 柱穴と同様、確認されていない。

火処 北壁中央にカマド。焼土が残っているのみで粘土は残存していない。焼土の量はあまり多くなく、残存状態は不良である。

遺物 覆土から少量の土器片が出土している。また、後世の掘り込みによる中近世以降の遺物が混入している。竪穴住居跡に伴う土器片は11点を図示した。1～3の須恵器環の残存状態が良好である。

備考 9世紀前半と推定される。

SI-02 (第10～12図、写真図版三)

位置 D3・E3 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北5.8m、東西5.7mの方形

主軸方向 N-5°-E

覆土 25～45cm程度残存している。4層程度でローム粒子・ロームブロックを含む暗褐色土を基調とする。

壁 やや斜めに立ち上がる。

床面 全体に貼床(1～2層)で、厚さは5～20cm程度である。ロームブロックを多量に含む。しまりは強い。平坦。

掘方 一部がビット状に窪む他は、ほぼ均一に床面より下に掘り込まれており、凹凸がある。中央よりも壁際に近い部分がやや深く、貼床が厚くなる。

柱穴 4本の主柱穴が確認されている。北西以外の3本の柱穴では柱痕跡が認められ、南西の柱穴からは柱根(第108図1・図版三〇)が出土している。柱根は上部が腐食により欠損している。東壁南のビットは後世の掘り込みである。

貯蔵穴 北東に不整形円形の掘り込みがある。覆土は4層で住居跡覆土と同一である。

火処 北壁中央にカマド。袖部は粘土に土師器甕を倒立させて構築材としている。また、天井部の粘土も焼成部に落下して残存している。粘土は黄褐色で、しまりが強い。右袖部横から構築材甕の破片が出土している。焼土の量も多く、よく焼けている。焼土はカマド前面床面から多量に出土している。

遺物 土師器環・甕が出土している。10・11の甕がカマド袖部構築材で残存状態が良好である。他の土器は床面ないし覆土から出土しており、カマド近辺からの出土が多い。南西柱穴から柱が出土している。

備考 6世紀後半と推定される。なお、SI-02覆土から中世以降の土師質土器や内耳土器片、石臼、五輪塔がまをもって出土している。覆土内に中世以降の掘り込みが存在し、調査時に確認できなかったものと推定される。

SI-03 (第13図、写真図版四)

位置 E6・E7 グリッド

重複関係 SD-11及び小穴に切られる。

規模・平面形 東西6.9m、南北不明。調査区外に伸びる。

主軸方向 N-35°-W

覆土 ほとんど残存していない。一部残っている覆土はローム粒子・焼土・炭化物を含む暗褐色土層である。

壁 ほとんど残存していない。

床面 全体に貼床（2層）で、厚さは10 cm程度である。ロームブロックを多量に含む。しまりは強い。平坦。

掘方 一部がビット状に窪む他は、ほぼ均一に床面より下に掘り込まれており、凹凸がある。北側は中央より5 cm程度低く掘られている。

柱穴 後世のビットが多数掘り込まれているため明確ではない。竪穴住居跡に伴う柱穴を推定して図示した。主柱穴はS-219・238とS-426と推定される。S-426は土層が不明で、S-219・238は柱痕跡が認められる。

貯蔵穴 北東に方形の掘り込みがある。掘り込みは浅く、土層は不明である。

火処 不明。おそらく北壁中央にカマドがあるものと推定される。

遺物 少量の土器片が床面ないし覆土から出土しており、3の鉢が比較的良好に残存している。また、柱材の炭化物が並んで出土している。

備考 6世紀後半と推定される。

SI-04（第14図、写真図版四）

位置 C5 グリッド

重複関係 SI-05・06、SE-122等に切られる。

規模・平面形 東西南北とも不明。斜面部に位置するため、西・南壁は確認できない。その他、重複と攪乱が著しく規模は明確にできない。カマドを境として北壁は東西でずれが生じている。

主軸方向 N—20°—W

覆土 覆土は10 cm程度の厚さしか残存していない。やや少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む暗褐色土層である。

壁 北・西壁は10 cm程度残存するものの、途中で消失し、規模は不明。南・西壁はまったく確認できない。

床面 残存している部分では貼床で、厚さは5 cm程度である。ロームブロックを多量に含む。しまりは強い。残存している範囲では概ね平坦である。

掘方 はほぼ均一に床面より下に掘り込まれており、凹凸がある。

柱穴 後世の土坑やビットが掘り込まれているため明確ではない。竪穴住居跡に伴う柱穴として推定されるのはS-411と南のS-124があげられる。S-124は土層が不明で、S-411も柱痕跡は認められない。

貯蔵穴 北東に長方形の掘り込みがある。深さは20 cmほどで土層は不明である。

火処 北壁中央にカマドがある。残存状態は著しく不良で、粘土はまったく残っていない。焼土は多量に残存しており、比較的良く焼けている。煙道の壁外への張り出しは短く、燃焼部の掘り込みもほとんど無い。

遺物 やや多量の土器片が貯蔵穴西の北壁際から出土しているものの、SI-05・06のものと推定される古代以降の土器片が混入している。古墳時代後期の土器で図示できるのは須恵器フラスコ瓶と土師器甕の口縁部片である。

備考 6世紀後半と推定される。竪穴住居跡としては明確でない。

SI-05（第15・16図、写真図版五）

位置 C5 グリッド

重複関係 SI-04を破壊しSK-123に切られる。

規模・平面形 東西南北とも不明。斜面部に位置することにくわえ、開田による破壊と重複により規模は明確にできない。

主軸方向 N—16°—W

覆土 15 cm程度残存している。2層で多量の白色粘土を含む。特に中央部の覆土に厚さ3～10 cm程度で白色粘土が堆積している。

壁 やや斜めに立ち上がる。南・西壁はまったく無く北・東壁も途中で消失する。

床面 全体に貼床（3層）で、厚さは15cm程度である。ロームブロックを多量に含む。しまりは強い。概ね平坦であるものの、凹凸がある。

掘方 ほぼ均一に床面より下に掘り込まれており、凹凸がある。

柱穴 SI-05に伴う柱穴は確認されていない。S-124はSI-04に伴う可能性がある。

貯蔵穴 柱穴と同様、確認されていない。

火処 北壁中央にカマド。袖部は粘土により構築されており、天井部の粘土も焼成部に落下して残存している。左袖部は粘土が床面に流出している。粘土は灰褐色で、しまりが強い。焼土の量も多く、よく焼けている。カマドの覆土上層からやや多量の土器片が出土している。両袖部の間隔が広く焼成部が大きい。火床は平坦で、火床面下の掘り込みは深く掘られている。

遺物 床面から覆土下層にかけて多量の土器が出土している。竪穴住居跡に伴う土器片は26点を図示した。特にカマド右脇、北東のコーナー部床面に40点ほどの土器片が集中していた。カマド覆土からも土器片が出土しており、1の須恵器環は残存状態が良好である。正位の状態で出土しておりカマド祭祀の可能性もあるものの、断定できない。

備考 9世紀後半と推定される。

SI-06（第17・18図、写真図版六）

位置 D5 グリッド

重複関係 主な遺構との重複はなく、小穴に切られる程度である。

規模・平面形 東西3.2m、南北3.2mの正方形。

主軸方向 N—20°—W

覆土 10cm程度残存している。4層でローム粒子を含む暗褐色土を基調とする。

壁 やや斜めに立ち上がる。カマドを除く壁には幅30cm、深さ5cm程の周溝が掘られている。

床面 全体に貼床（5層）で、厚さは10cm程度である。ロームブロックを多量に含む。しまりは強い。概ね平坦である。

掘方 ビット状の窪みが5基ある他は、ほぼ均一に床面より下に掘り込まれており凹凸がある。

柱穴 SI-06に伴う柱穴は確認されていない。南壁中央に周溝を掘り込むようにビットがある。深さは15cm程で土層は不明である。SI-06に伴う可能性がある。

貯蔵穴 柱穴と同様、確認されていない。

火処 北壁中央にカマド。袖部は黄褐色粘土により構築されており、天井部の粘土も焼成部に落下して残存している。袖部は住居跡内への突出は少なく、やや小さい。焼土の量は多く、よく焼けている。煙道部の立ち上がりに段差がある。火床は平坦で、火床面下の掘り込みは深く掘られている。

遺物 床面から覆土下層にかけて土器が出土している。竪穴住居跡に伴う土器片は10点を図示した。カマド前面から北東コーナーにかけての床面から覆土下層にかけて残存状態が良好な土器が出土している。

備考 9世紀後半と推定される。

SI-07（第19図、写真図版七）

位置 C6 グリッド

重複関係 主な遺構との重複はなく、S-124など小穴に切られる程度である。

規模・平面形 南北3.5m、東西3.1mの長方形。北西コーナー部は掘乱を受け、やや変形している。

主軸方向 N—12°—W

覆土 10 cm程度残存している。単層で焼土・炭化物を多く含む暗褐色土層

壁 10 cm程度残存しており、やや斜めに立ち上がる。

床面 全体に貼床（2～5層）で、厚さは15 cm程度である。ロームブロックを多量に含む。しまりは強い。概ね平坦である。中央から東側にかけて焼土ブロックが堆積している。

掘方 ビット状の窪みと中央に細長い不整形の窪みがある。その他はほぼ均一に床面より下に掘り込まれており凹凸がある。

柱穴 SI-07に伴う柱穴は確認されていない。

貯蔵穴 柱穴と同様、確認されていない。

火処 北壁中央にカマド。袖部は黄褐色粘土により構築されており、天井部の粘土も焼成部に落下して残存していて粘土が多量に残存している。焼土の量は多く、よく焼けている。煙道部の立ち上がりは急である。火床は平坦で、火床面下の掘り込みは深く掘られている。

遺物 床面から覆土下層にかけて土器片が出土しているものの、小片のみであり量も少ない。

備考 9世紀代の竪穴住居跡と推定される。

(2) 溝跡

SD-20 (26) (第21・22・76等図、写真図版八・一九)

位置 I4・G11 グリッド等

重複関係 SX-800、SD-24・25・27、小穴に切られる。

規模・平面形 東西約80mを確認。幅は約60 cm。深さ50 cm。一部調査不可能な箇所があり、SD-20・26は同一遺構である。直線的に調査区北側を横断している。

主軸方向 N-76°-E

覆土 5層で焼土・炭化物を多く含む暗褐色土層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差はない。幅も概ね一定である。

遺物 SD-20と26を区分して示しているが同一遺構出土である。覆土からやや多量の須恵器片、土師器片や紡錘車、蔴石製品（第102図2）等の遺物が出土している。なお、石臼が出土しており、攪乱による混入と判断される。

備考 9世紀後半以降と推定される。古代の溝跡はこの一条のみである。

(3) 井戸跡

SE-44 (第20・23図、写真図版一〇)

位置 H7 グリッド

重複関係 不整の小穴を切る。

規模・平面形 東西1.6m、南北1.6mの不整円形。深さ1.4m。

覆土 上層5層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層

壁、底面 壁はほぼ筒状を呈する。底面はほぼ平坦で粘土層まで掘り込まれている。

遺物 覆土上層より多量の土器が出土している。須恵器片・土師器片等25点を図示した。

備考 多量の土器が出土したことから、9世紀後半の遺構とした。

SE-68 (第20・24図)

位置 F5 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西1.8m、南北1.3mの不整楕円形。深さ不明。

覆土 上層4層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。中層は崩落しており、しまり弱

壁・底面 壁は土坑状に掘り込まれその下は筒状を呈する。

遺物 覆土下層から須恵器環、土師器環、瓦片、土製紡錘車等がややまとまって出土している。13点を図示した。

備考 遺物の出土から9世紀後半の遺構とした。

SE-500 (第20・25図、写真図版一五)

位置 G4 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西0.8m、南北0.7mの円形。深さ1m。

覆土 5層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁は中位に緩い段をもち底面は概ね平坦で壁から緩やかに移行する。

遺物 覆土中層から須恵器環、土師器環がまとまって出土しており、底面からも出土している。25点を図示した。

備考 遺物の出土から10世紀前半の遺構とした。

(4) 不明遺構

SX-15 (第26・41図、写真図版八)

位置 C2・D2 グリッド等

重複関係 SX-423 (倒木痕) を切り、SB-13 柱穴に切られる。

規模・平面形 南北6m、東西5.2mの不整楕円形。溝幅は0.6m程度である。幅の狭い溝が不整形形状に巡る。北東の隅は別の溝状掘り込みに切られる。

主軸方向 N—15°—W

覆土 20cm程度残存している。単層

壁 やや斜めに立ち上がる。

底面 溝底は概ね平坦で高低差は無い。

遺物 覆土から土師器環の底部片が出土している。

備考 遺物の出土及び重複関係から古代の遺構と推定した。

(5) 土坑

SK-112 (第26・54図)

位置 E6 グリッド

重複関係 SI-03 を切る。

規模・平面形 南北1.2m、東西1m。深さ80cm。上面はやや不整の円形である。

主軸方向 N—5°—E

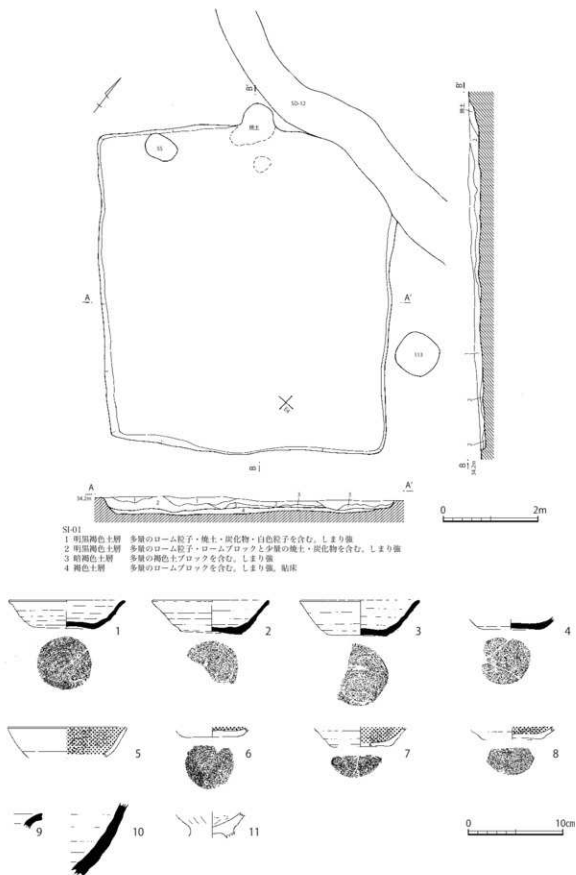
覆土 5層

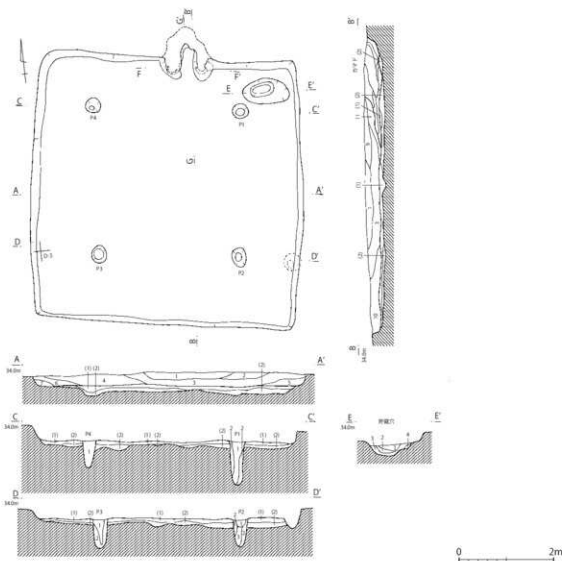
壁 斜めに立ち上がり中位に段をもつ。

底面 ほゞ平坦。

遺物 覆土下層から土師器甕、瓦片が出土している。

備考 出土遺物から、古代の土坑とした。





SI-02

- 1 黒褐色土層 微量のローム粒子・赤色粒子・白色粒子を含む。しまり弱
- 2 黒褐色土層 微量のローム粒子・赤色粒子・白色粒子を含む。しまりやや弱
- 3 黒褐色土層 少量のローム粒子・赤色粒子・白色粒子を含む。しまりやや弱
- 4 黒褐色土層 多量のローム粒子・赤色粒子・白色粒子を含む。しまりやや強
- 5 黒褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまりやや強
- 6 黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 7 黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 8 黒褐色土層 多量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- 9 黒褐色土層 多量の白色粒子と少量の焼土を含む。しまりやや強
- 10 黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 11 黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強。カマドから掘出した粘土。

竈床

- (1) 黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- (2) 黒褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや強

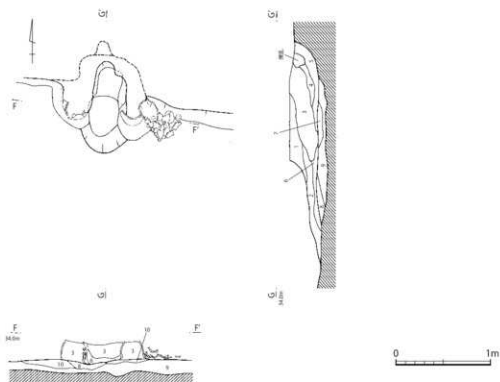
柱穴

- 1 黒褐色土層 多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しまりやや弱
- 2 黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや強
- 3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや弱

貯蔵穴

- 1 黒褐色土層 多量の焼土・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 黒褐色土層 多量の焼土・炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 黒褐色土層 多量の焼土・炭化物・ロームブロックを含む。しまり強
- 4 黒褐色土層 少量の焼土を含む。しまり強

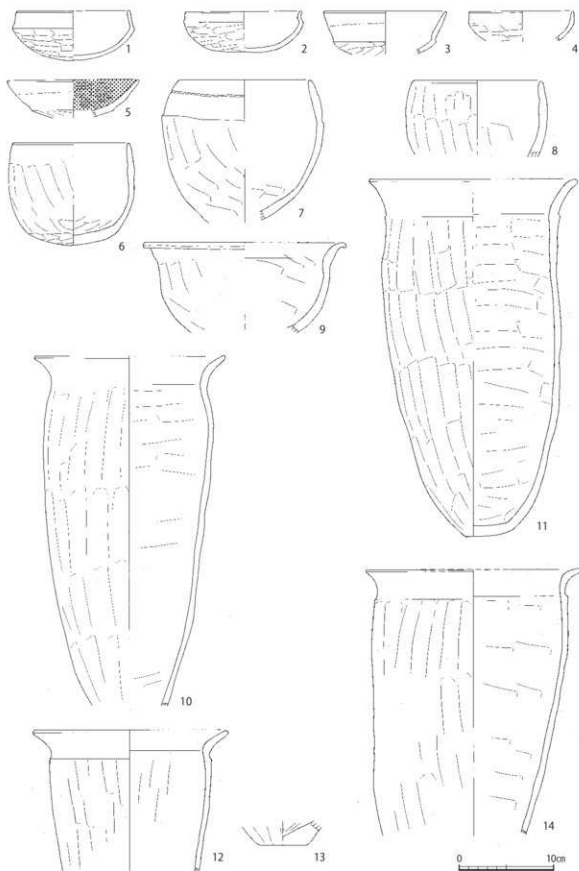
第10図 SI-02 遺構図



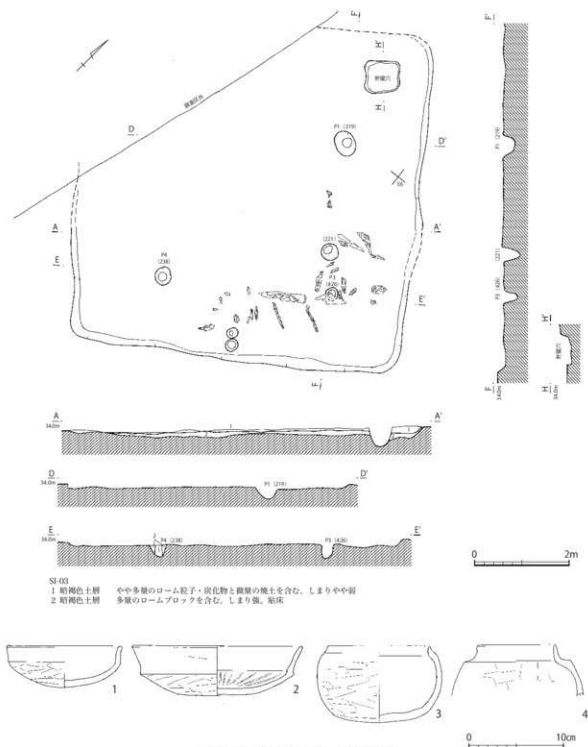
カマド

- | | |
|----------|----------------------------------|
| 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・焼土・炭化物・粘土粒子を含む。しまり強 |
| 2 褐色土層 | 多量のローム粒子・焼土・炭化物・粘土粒子を含む。しまり強 |
| 3 明褐色土層 | 黄褐色粘土を主体とし多量の焼土・炭化物を含む。しまり強 |
| 4 明黄褐色土層 | 多量の暗褐色土ブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強 |
| 5 暗褐色土層 | 多量の焼土・炭化物・粘土ブロックを含む。しまり強 |
| 6 褐色土層 | 多量の粘土粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強 |
| 7 明褐色土層 | 多量の焼土・炭化物・ロームブロックを含む。しまり強 |
| 8 暗褐色土層 | 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強 |
| 9 明褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しまり強 |
| 10 褐色土層 | 多量のロームブロック・粘土ブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強 |

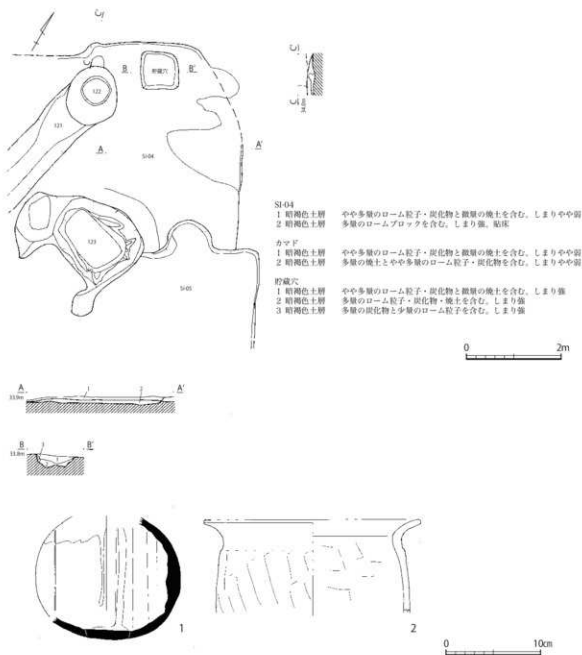
第11図 SI-02 カマド遺構図



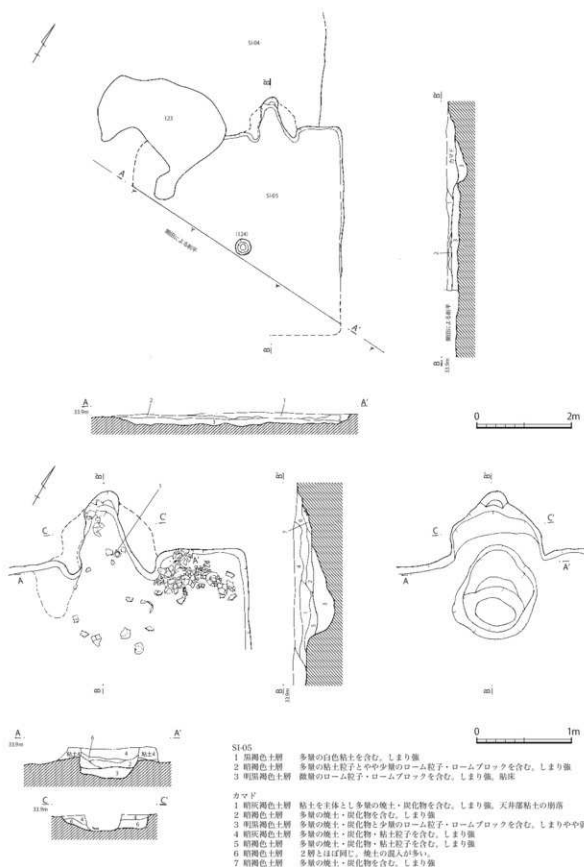
第12図 SI-02 出土遺物図



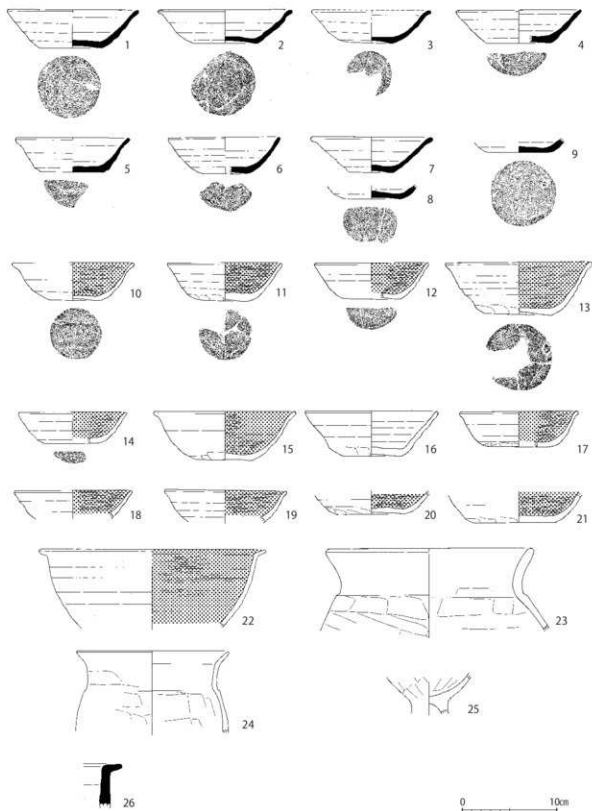
第13図 SI-03 遺構図、出土遺物図



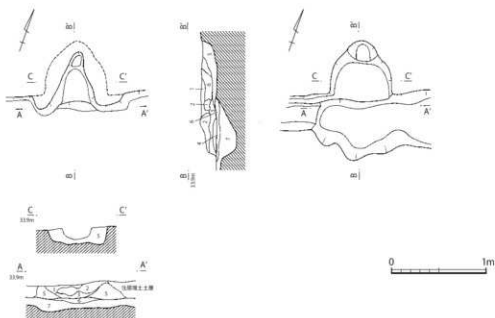
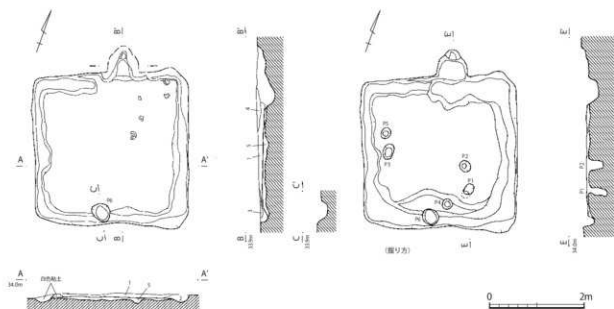
第14図 SI-04 遺構図、出土遺物図



第15図 SI-05 遺構図



第16図 SI-05 出土遺物図



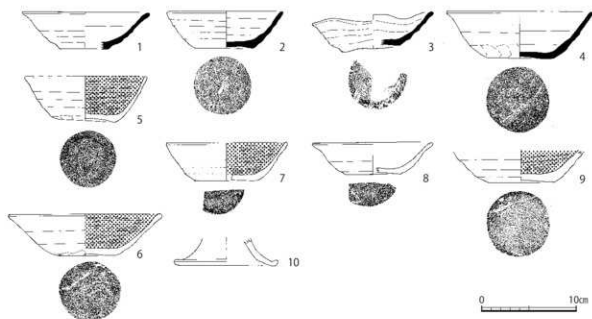
SI-06

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・白色粘土と少量のロームブロック。微量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- 2 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しまり強
- 4 褐色土層 多量の粘土ブロックを含む。しまり強
- 5 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の焼土を含む。しまり強。胎床

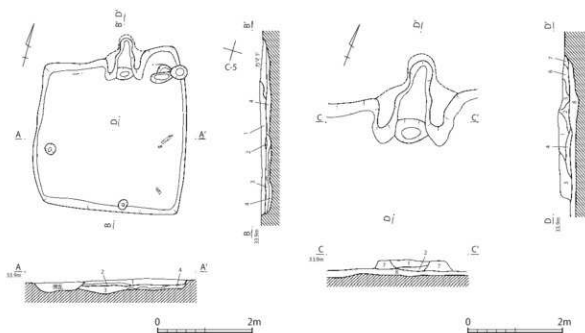
カマド

- 1 暗褐色土層 多量の粘土粒子と少量の焼土を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 黄褐色粘土を主体とし多量の焼土を含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物・ローム粒子を含む。しまり強
- 4 黄褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
- 5 褐色土層 多量の焼土・炭化物・粘土ブロックを含む。しまり強
- 6 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強。6層上面が火床面
- 7 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の焼土を含む。しまり強。胎床

第17図 SI-06 遺構図



第18図 SI-06 出土遺物図



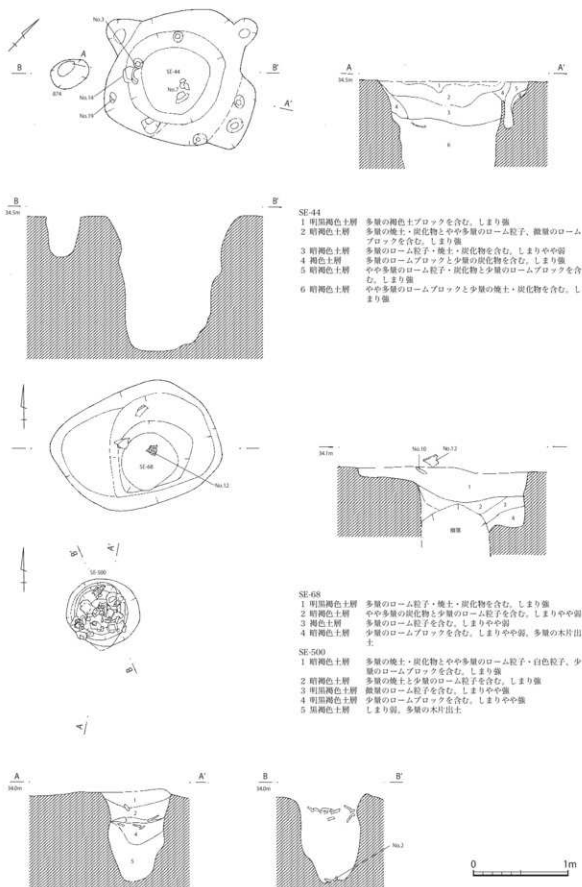
SI-07

- 1 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物・粘土粒子を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量の焼土を含む。しりやや強。以下、船床
3 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
4 褐色土層 多量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しり強

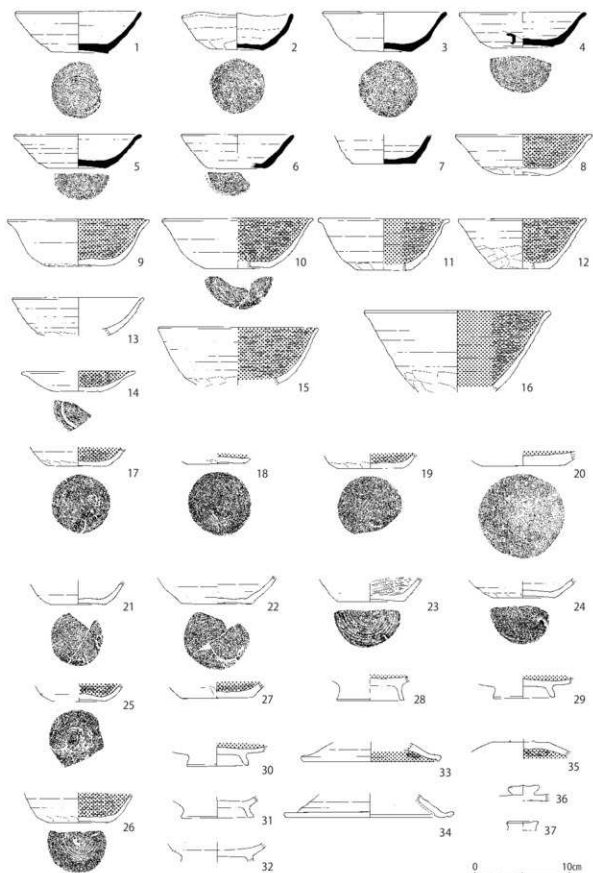
カマド

- 1 黄褐色土層 黄褐色粘土ブロック。しり強
2 灰褐色土層 多量の焼土・炭化物と少量のロームブロックを含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロック・粘土粒子と少量の焼土を含む。しり強
4 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と少量の焼土を含む。しりやや強
5 明褐色土層 多量の焼土・炭化物・粘土ブロックを含む。しり強
6 褐色土層 多量の焼土・粘土ブロックと少量の炭化物を含む。しり強
7 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物・粘土ブロックを含む。しり強
8 褐色土層 多量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しり強

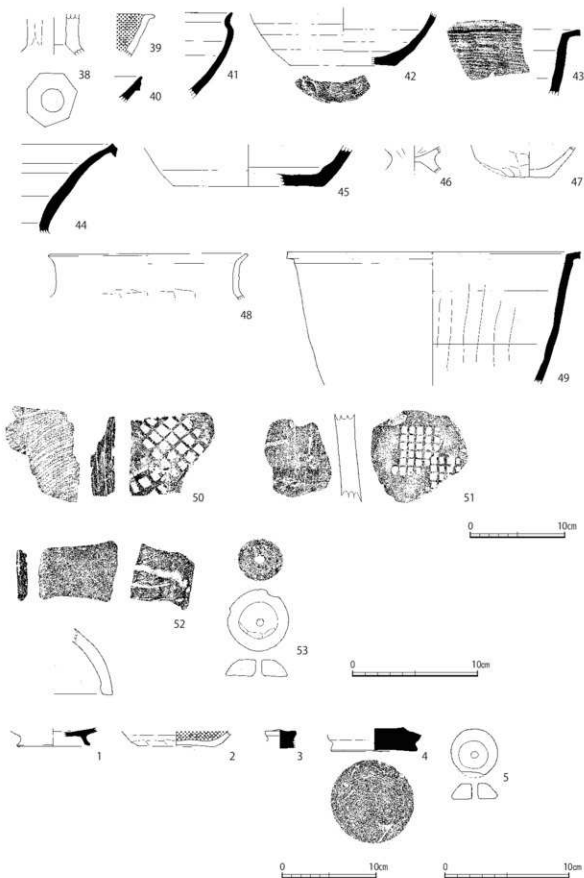
第19図 SI-07 遺構図



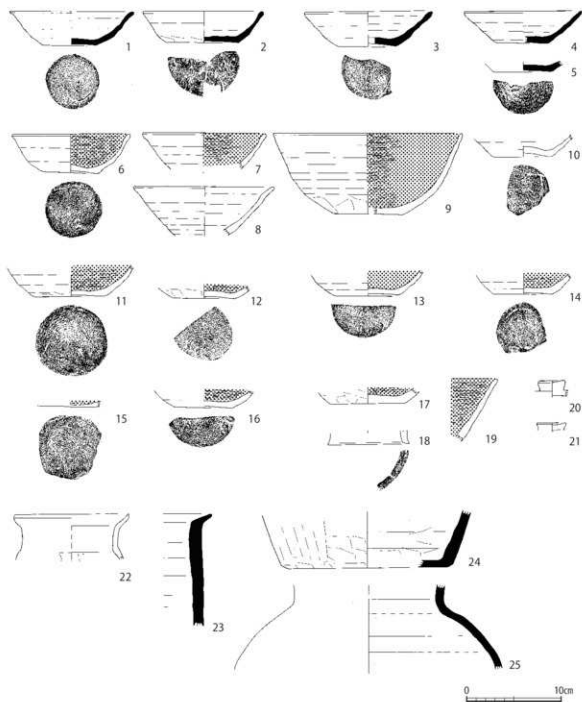
第20図 SE-44・68・500 遺構図



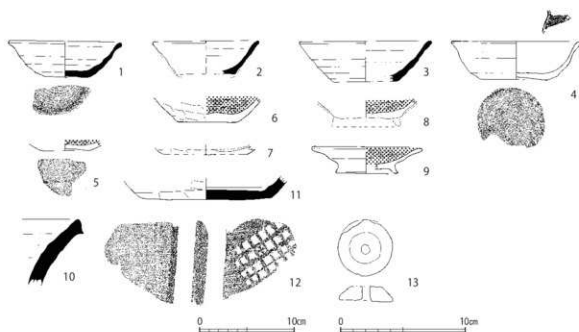
第21図 SD-26 出土遺物図①



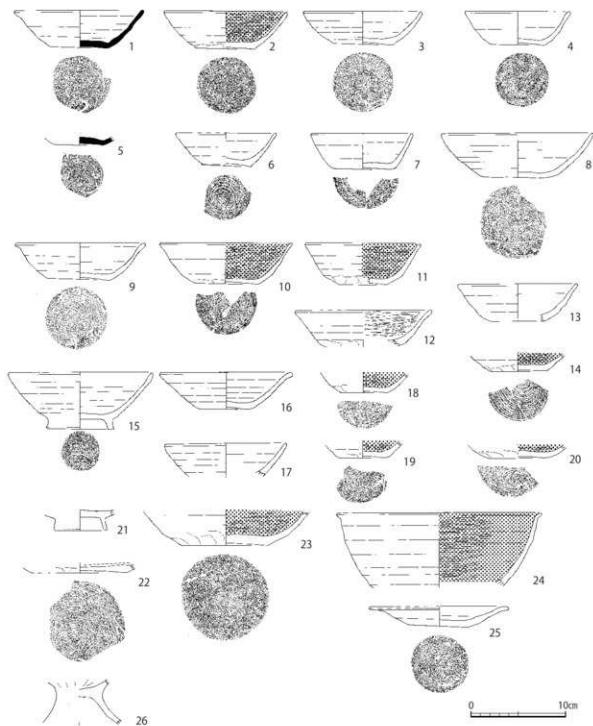
第22図 SD-26出土遺物②・SD-20出土遺物図



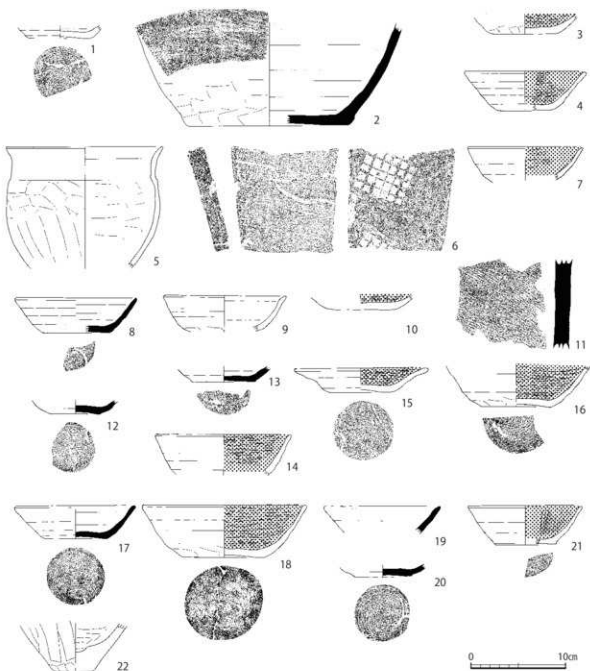
第23図 SE-44出土遺物図



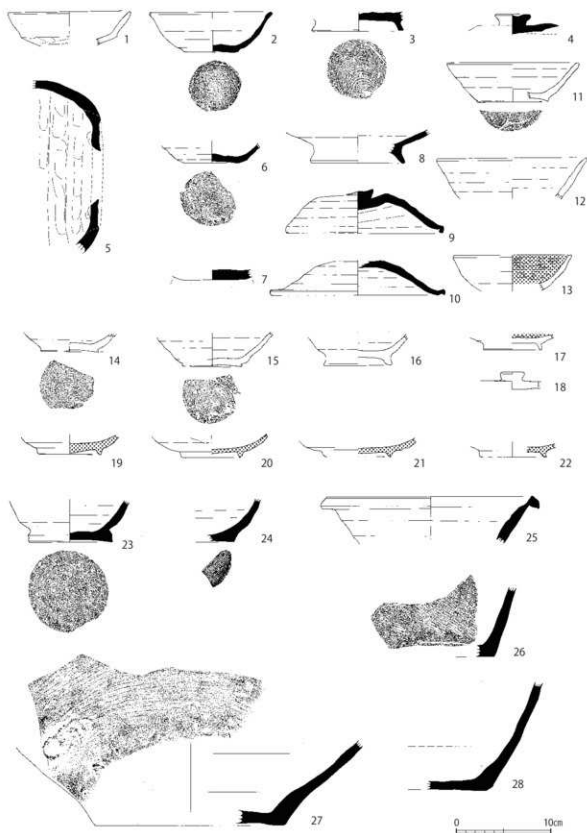
第24図 SE-68出土遺物図



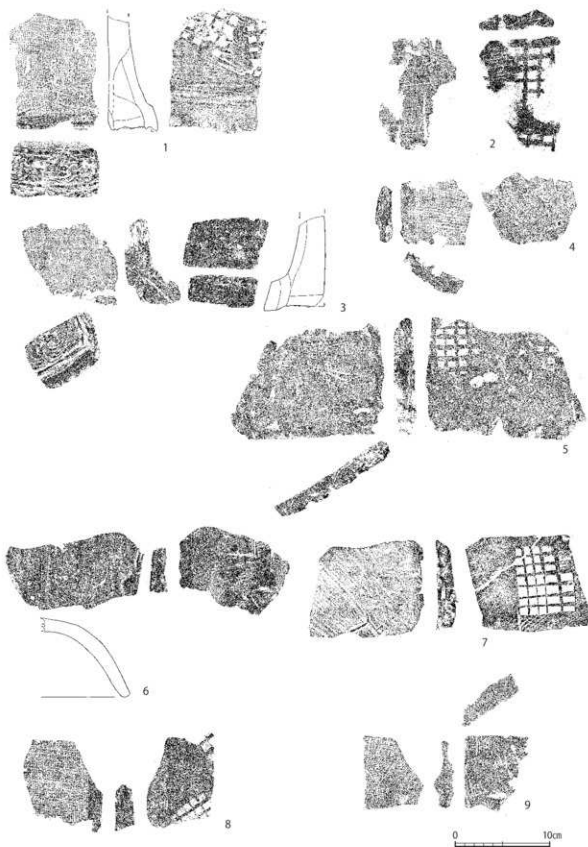
第 25 図 SE-500 出土遺物図



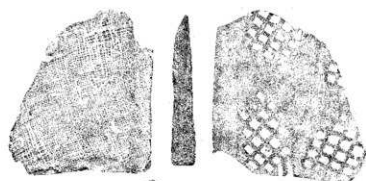
第 26 図 遺構出土の遺物図（古墳～古代）



第 27 図 遺構外出土遺物図（古墳～古代）



第28図 遺構外出土瓦図①



10



11



12



13

第29図 遺構外出土瓦図②



第3表 SI-01 出土遺物観察表

番号	種別	器種	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (測定)	底径 (測定)	高さ (測定)	外面	内面						
1	須恵器	杯	12.1	6.0	3.0	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/1	覆土	80%	やや歪みあり
2	須恵器	杯	(12.0)	6.3	3.4	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY7/1	覆土	60%	
3	須恵器	杯	12.8	6.4	3.6	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10Y6/1	覆土	70%	やや歪みあり
4	須恵器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗放、やや多 量の砂粒を含む	不良	5YR7/8	覆土	40%	
5	土師器	杯	(12.6)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ、ミガ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	40%	
6	土師器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ、ミガ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR6/6	覆土	30%	
7	土師器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ、ミガ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR7/3	覆土	40%	
8	土師器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ、ミガ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	40%	
9	須恵器	碗	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/2	覆土	小片	
10	須恵器	碗	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y8/1	覆土	割断片	
11	土師器	台付 甕	-	-	-	割部ケズリ、脚部 コナデ	割部ヘナデ、脚 部コナデ	粗放、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	10%	

第4表 SI-02 出土遺物観察表

番号	種別	器種	計測値 (cm)		形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考	
			口徑 (推定)	高径 (推定)	外面	内面							
1	土師器	杯	(12.0)	-	5.2	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	2.5YR6/8	カマド内	50%	外面やや摩滅
2	土師器	杯	12.2	-	4.2	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	7.5Y6/2	覆土	80%	外面摩滅
3	土師器	杯	(13.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	カマド内	30%	口縁部外面に接合痕、 歪みあり
4	土師器	杯	(11.2)	-	-	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y4/1	覆土	30%	外面摩滅
5	土師器	杯	(14.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ後ミガキ、 黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	30%	口縁部外面に接合痕
6	土師器	鉢	(12.2)	-	10.8	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	ヨコナデ、下平は ヘナデ	やや粗放、やや多 量の砂粒を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	50%	外面摩滅
7	土師器	鉢	14.0	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	ヨコナデ、下平は ヘナデ	粗放、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	覆土	80%	器形に歪み、外面摩滅、 割部剥落
8	土師器	鉢	13.6	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	やや粗放、やや多 量の砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	30%	外面保存良好、外面摩滅
9	土師器	鉢	(21.4)	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	カマド右袖近 辺	30%	歪みあり、外面摩滅
10	土師器	甕	20.0	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	緻密、多量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/8	カマド左袖	70%	器形に歪み、全面摩滅
11	土師器	甕	(22.0)	5.0	37.8	口縁部ヨコナデ、 割部から底部ケズ リ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	緻密、多量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/8	カマド右袖	70%	器形に歪み
12	土師器	甕	(20.6)	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	やや粗放、多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	覆土	20%	全面摩滅
13	土師器	甕	-	5.0	-	ケズリ	ヘナデ	緻密、多量の砂粒 を含む	良好	10YR4/1	覆土	20%	
14	土師器	甕	22.6	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	やや粗放、多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	覆土	70%	器形に歪み、全面摩滅

第5表 SI-03 出土遺物観察表

番号	種別	部類	計測値 (cm)		形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考	
			口径 (標準)	底径 (標準)	外面	内面							
1	土師器	杯	12.2	-	4.4	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y5/6	覆土	40%	外面や中摩滅
2	土師器	杯	(18.0)	-	5.3	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 体部ヨコナデ後ミ ガキ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y6/1	覆土	50%	
3	土師器	鉢	(10.8)	-	8.1	口縁部ヨコナデ、 体部ケズリ	ヨコナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	80%	外面摩滅
4	土師器	鉢	(8.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 割部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 割部ヘナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR5/6	覆土	20%	

第6表 SI-04 出土土物観察表

番号	種別	面積 (㎡)	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (測定)	底径 (測定)	高さ (測定)	外面	内面						
1	須恵器	フラスコ 瓶	-	-	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5Y4/2	カマド	40%	内外面に自然釉、底面 内面の接合部深みに釉 が溜まる
2	土師器	甕	(23.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	粗粒、やや多量の 砂粒を含む	良好	10YR7/4	胎床下	30%	全面摩滅

第7表 SI-05 出土土物観察表

番号	種別	面積 (㎡)	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (測定)	底径 (測定)	高さ (測定)	外面	内面						
1	須恵器	杯	14.0	6.6	4.0	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	5YR7/8	カマド内	90%	
2	須恵器	杯	14.2	7.0	3.5	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	北東コーナ- 床面	90%	
3	須恵器	杯	(12.6)	5.0	3.5	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	やや 不良	7.5YR8/2	甕土	50%	
4	須恵器	杯	(13.2)	(6.9)	3.5	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/4	北東コーナ- 床面	40%	
5	須恵器	杯	(12.0)	(6.6)	3.6	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y7/1	甕土	30%	
6	須恵器	杯	(12.0)	(4.9)	3.6	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y7/1	北東コーナ- 床面	40%	
7	須恵器	杯	(13.0)	(4.9)	3.7	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	7.5Y7/2	甕土	30%	
8	須恵器	杯	-	6.0	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/1	カマド甕土	30%	
9	須恵器	杯	-	7.0	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5G5/1	カマド甕土	40%	
10	土師器	杯	(13.0)	6.2	4.0	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ、 黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	北東コーナ- 床面	50%	
11	土師器	杯	12.2	5.6	4.0	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/8	甕土	60%	
12	土師器	杯	(12.0)	(6.0)	3.8	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	北東コーナ- 床面	40%	
13	土師器	碗	15.6	7.2	5.5	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	やや 不良	5YR7/8	北東コーナ- 床面	60%	SI-06 の破片と整合
14	土師器	杯	(11.6)	(6.0)	3.3	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y7/2	北東コーナ- 床面	30%	
15	土師器	碗	(15.0)	(6.2)	5.0	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	北東コーナ- 床面	40%	
16	土師器	杯	(14.0)	(6.2)	4.7	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	口縁部ヨコナデ	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/8	カマド甕土	40%	外面摩滅
17	土師器	杯	12.6	(7.0)	3.7	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	北東コーナ- 床面	50%	
18	土師器	杯	12.6	-	-	口縁部ヨコナデ	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	やや 不良	10YR7/3	甕土	30%	
19	土師器	杯	(13.0)	-	-	口縁部ヨコナデ	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/6	甕土	30%	
20	土師器	碗	-	7.2	-	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	10YR8/3	北東コーナ- 床面	30%	
21	土師器	碗	-	(5.0)	-	体部ヨコナデ後 下端から底面端部 ケズリ	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/8	カマド甕土	30%	
22	土師器	鉢	(24.0)	-	-	口縁部ヨコナデ	口縁部ヨコナデ後ミ ギ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/8	北東コーナ- 床面	30%	
23	土師器	甕	(21.6)	-	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/4	北東コーナ- 床面	20%	SI-04 土師の混入?
24	土師器	甕	(16.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/8	北東コーナ- 床面	30%	口縁部外面に接合部、 外面摩滅、白付塗?
25	土師器	台付 甕	-	-	-	胴部ヘナナデ、 脚部ヨコナデ	胴部ヘナナデ、 脚部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/8	北東コーナ- 床面	10%	
26	須恵器	鉢	-	-	-	口縁部ヨコナデ	口縁部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y6/1	甕土	小片	

第8表 SI-06 出土土遺物観察表

番号	種別	器種	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (標準)	口径 (測定)	器高 (標準)	外面	内面						
1	須恵器	杯	(13.4)	(5.4)	3.9	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	やや不良	7.5YR/2	覆土	30%	
2	須恵器	杯	12.2	6.2	4.0	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	不良	5YR7/8	覆土	80%	
3	須恵器	杯	12.8	6.2	3.8	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5GY4/1	覆土	70%	焼き込みが著しい。SI-05 破片と接合
4	須恵器	碗	15.6	7.0	5.0	体部ロクロナデ後下端から底部端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10Y6/1	覆土	80%	SI-05 破片と接合
5	土師器	杯	13.2	6.2	4.7	体部ロクロナデ後下端から底部端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR7/6	覆土	70%	SI-05 破片と接合
6	土師器	杯	(16.2)	6.2	4.5	体部ロクロナデ後下端から底部端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	粗放、少量の砂粒を含む	やや不良	7.5YR7/8	覆土	70%	SI-05 破片と接合
7	土師器	杯	(12.8)	(6.8)	4.0	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	40%	SI-05 破片と接合
8	土師器	杯	(12.8)	(6.0)	3.3	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	40%	
9	土師器	碗	-	7.2	-	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	5YR7/8	覆土	40%	
10	土師器	台付甕	-	(11.0)	-	ロコゴデ	ロコゴデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR7/6	覆土	10%	

第9表 SD-20 出土土遺物観察表

番号	種別	器種	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (寸定)	口径 (寸定)	器高 (寸定)	外面	内面						
1	須恵器	杯	-	(7.6)	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り、高白 貼付付け	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y6/1	覆土	10%	
2	土師器	碗	-	(8.0)	-	ロクロナデ、体部 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/6	覆土	10%	
3	須恵器	蓋	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	不良	7.5YR7/8	覆土	5%	焼成は酸化燐
4	須恵器	鉢	-	9.0	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	やや粗放、やや多 量の砂粒を含む	やや 不良	10YR8/2	覆土	10%	内面が黒色化。喉口に 使用か?
5	土師器	鉢縁	長5.0	幅5.0	厚1.6			緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y2/1	覆土	ほぼ完 形	

第10表 SD-26 出土土遺物観察表

番号	種別	器種	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (標準)	底径 (標準)	器高 (標準)	外面	内面						
1	須恵器	杯	(13.4)	6.0	4.3	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	やや不良	5Y7/1	覆土下層	50%	
2	須恵器	杯	11.8	6.0	3.9	ロクロナデ、体部回転糸切り、底面回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	5B6/1	覆土	完形	焼き込みあり。口縁部内外面がざらつていて未使用
3	須恵器	杯	(13.2)	6.0	4.2	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	粗放、やや多量の砂粒を含む	やや不良	2.5YR/2	覆土下層	50%	胎土に小孔
4	須恵器	杯	(13.4)	6.6	3.7	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR/1	覆土	40%	体部外面に黒書口
5	須恵器	杯	(13.4)	(6.0)	3.6	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、やや多量の砂粒を含む	良好	2.5GY4/1	覆土下層	40%	
6	須恵器	杯	(12.0)	(6.0)	3.5	ロクロナデ、底面回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	不良	5YR7/8	覆土	30%	
7	須恵器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、底面回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR/1	覆土	30%	
8	土師器	杯	(14.6)	(5.6)	4.3	体部ロクロナデ後下端から底面全周ケズリ	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	粗放、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	50%	全面摩滅
9	土師器	碗	(15.0)	7.0	4.9	体部ロクロナデ後下端から底面端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	粗放、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	60%	全面摩滅
10	土師器	碗	(16.0)	7.0	5.2	体部ロクロナデ後底面端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	40%	
11	土師器	杯	(14.0)	(6.0)	5.5	体部ロクロナデ後下端から底面端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	粗放、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	30%	全面摩滅
12	土師器	杯	(13.6)	(5.8)	5.2	体部ロクロナデ後下端から底面端部ケズリ、底面回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	40%	全面摩滅
13	土師器	杯	(14.0)	-	-	体部ロクロナデ後下端ケズリ	ロクロナデ	粗放、やや多量の砂粒を含む	やや不良	7.5YR8/6	覆土	30%	飲み込みあり、全面摩滅、内面形状不明
14	土師器	皿	(12.0)	(5.0)	2.1	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	30%	
15	土師器	碗	(17.0)	-	-	体部ロクロナデ後下端ケズリ	ロクロナデ後ミガキ、黒色処理	やや粗放、やや多量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	30%	

16	土師器	埴	(20.0)	-	-	体底ロクロナデ後下 端ケズリ	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y7/3	覆土	10%	
17	土師器	坏	-	6.0	-	体底ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	粗粒、やや多量の 砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	覆土下層	30%	全面摩滅
18	土師器	坏	-	6.2	-	体底ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	30%	外周がわずかに、門 板として再利用
19	土師器	坏	-	7.0	-	体底ロクロナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	5YR7/6	覆土下層	30%	
20	土師器	埴	-	9.0	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	5YR7/6	覆土下層	30%	
21	土師器	坏	-	5.8	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	覆土	30%	
22	土師器	埴	-	6.2	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	覆土	40%	
23	土師器	坏	-	7.0	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミカ キ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR7/4	覆土	30%	
24	土師器	坏	-	6.4	-	体底ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	30%	
25	土師器	坏	-	(6.0)	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/3	覆土	30%	
26	土師器	坏	-	6.2	-	体底ロクロナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/3	覆土	30%	
27	土師器	埴	-	7.6	-	体底ロクロナデ後 下端から底面全面 ケズリ	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	30%	
28	土師器	坏	-	7.0	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り後ナデ、 高台貼り付け	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	やや粗粒、少量の 砂粒と葉片を含む	良好	5YR7/6	覆土	30%	
29	土師器	皿	-	(6.6)	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り後ナデ、 高台貼り付け	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	30%	
30	土師器	坏	-	7.4	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り後ナデ、 高台貼り付け	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	30%	
31	土師器	坏	-	7.4	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り後ナデ、 高台貼り付け	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	10YR8/3	覆土	30%	内面煤付着
32	土師器	坏	-	-	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り後ナデ、 高台貼り付け		緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/6	覆土	30%	内面面磨落
33	土師器	蓋	(14.6)	-	-	ロクロナデ、式井 部回転糸切り後ナデ	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 と葉片を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	10%	内面面磨落
34	土師器	蓋	(18.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/6	覆土	10%	内面面磨落
35	土師器	蓋	-	-	-	ロクロナデ、式井 部回転糸切り後ナデ	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 と葉片を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	20%	
36	土師器	蓋	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10R6/8	覆土	5%	
37	土師器	蓋	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR4/2	覆土	5%	
38	土師器	高坪	-	-	-	ケズリ、ヨコナデ	ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10R6/8	覆土	5%	面取りは7面
39	土師器	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 と葉片を含む	良好	5YR7/6	覆土	小片	
40	土師器	壺	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y3/1	覆土	小片	
41	土師器	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/1	覆土	小片	
42	土師器	鉢	-	(11.2)	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10Y7/1	覆土	10%	
43	土師器	鉢	-	-	-	叩き	ロクロナデ、ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/1	覆土下層	小片	
44	土師器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y4/1	覆土	小片	
45	土師器	甕	-	(16.0)	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/1	覆土	10%	
46	土師器	台付 甕	-	-	-	胴部ケズリ、脚部 ヨコナデ	胴部ヘナナデ、脚 部ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR5/3	覆土	小片	
47	土師器	杯?	-	4.6	-	ケズリ	ヨコナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土下層	30%	外面面磨落
48	土師器	甕	(21.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 胴部ケズリ	口縁部ヨコナデ、 胴部ヘナナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	10%	
49	土師器	甕	(31.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ、ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5B7/1	覆土下層	30%	外面に自然釉
50	瓦	平瓦	-	-	-	布目肌	叩き肌	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/2	覆土		古代
51	瓦	平瓦	-	-	-	布目肌	叩き肌	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	10Y8/1	覆土		古代
52	瓦	丸瓦	-	-	-	ナデ、ケズリ	布目肌	粗粒、少量の砂粒 を含む	不良	10YR8/3	覆土		古代
53	土師器	鉢	長6.6 幅6.6 厚1.6	-	-	回転糸切り、底面 外周ケズリ	ロクロナデ後ミカ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	覆土		断面はロクロナデ、杯 の断面ではなく、ロク ロの上製内柱を利用 して砂層として作ら れたもの。

第11表 SE-44 出土遺物観察表

番号	種別	面積 (口径) (推定)	計測値 (cm)	底径 (推定)	器高 (推定)	形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
						外面	内面						
1	須恵器	杯	13.2	5.7	3.7	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	不良	10YR8/6	北瀬土上層	ほぼ定 形	
2	須恵器	杯	(12.6)	7.6	3.3	体底ロクロナデ後 下端ヘナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	やや粗放、やや多 量の砂粒を含む	良好	2.5GY/1	覆土	40%	
3	須恵器	杯	(13.6)	(6.0)	3.8	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	不良	7.5YR8/6	西瀬土上層	40%	
4	須恵器	杯	(12.6)	(5.4)	3.4	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5B5/1	覆土	40%	
5	須恵器	杯	-	6.2	-	回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY7/1	覆土	20%	
6	土師器	杯	12.6	6.2	4.1	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	70%	
7	土師器	杯	(13.6)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR3/1	中央瀬土上層	10%	
8	土師器	碗	(15.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	20%	
9	土師器	碗	(20.0)	(7.0)	8.5	体底ロクロナデ後 下端から底面全面 ヘナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	20%	
10	土師器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	30%	
11	土師器	碗	-	7.6	-	体底ロクロナデ後 下端から底面全面 ヘナデ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	覆土	50%	
12	土師器	杯	-	6.4	-	体底ロクロナデ後 下端ヘナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	20%	
13	土師器	杯	-	6.7	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ、黒色 処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR3/1	覆土	10%	
14	土師器	杯	-	6.4	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	西瀬土上層	30%	
15	土師器	杯	-	-	-	回転糸切り後外周 ヘナデ	ロクロナデ	粗放、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	20%	内面表面剥落
16	土師器	杯	-	(6.0)	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	20%	
17	土師器	杯	-	(8.0)	-	体底ロクロナデ後 下端から底面全面 ヘナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	覆土	20%	
18	土師器	杯	-	(8.6)	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	5%	
19	土師器	碗	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	西瀬土上層	小片	
20	土師器	蓋	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	中央瀬土上層	小片	
21	土師器	蓋	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/8	覆土	小片	
22	土師器	甕	(12.0)	-	-	口縁部コフナデ、 胴部ヘナデ	口縁部コフナデ、 胴部ヘナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	5YR7/6	覆土	10%	
23	須恵器	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/1	覆土	10%	
24	須恵器	鉢	-	(16.6)	-	ヘナデ	ロクロナデ、ヘナ デ	やや粗放、やや多 量の砂粒を含む	良好	10Y7/1	覆土	10%	
25	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5PB7/1	覆土	30%	

第12表 SE-68 出土遺物観察表

番号	種別	面積 (口径) (推定)	計測値 (cm)	底径 (推定)	器高 (推定)	形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
						外面	内面						
1	須恵器	杯	(12.0)	(4.6)	3.8	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	2.5GY6/1	覆土上層	40%	
2	須恵器	杯	(11.2)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗放、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR/2	覆土上層	30%	内外面の表面剥落
3	須恵器	杯	(14.0)	(7.0)	4.3	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	5Y7/2	覆土上層	10%	
4	土師器	杯	13.7	7.0	4.0	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	粗放、少量の砂粒 を含む	やや 不良	2.5YR/2	覆土上層	90%	底面内面にも回転糸 切り痕があり粘土が 被せられている。門 柱糸切り技法か、内 外面側付着
5	土師器	杯	-	(5.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	覆土上層	20%	
6	土師器	杯	-	6.4	-	体底ロクロナデ後 下端から底面全面 ヘナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	覆土上層	30%	内面表面剥落
7	土師器	碗	-	(8.0)	-	体底ロクロナデ後 下端から底面全面 ヘナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土上層	20%	内面表面剥落

8	土師器	坪	-	-	-	ロクロナデ、回転 糸切り後ナデ、高 台貼り付け	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土上層	20%	外面面満落
9	土師器	皿	(11.6)	(6.4)	2.8	ロクロナデ、回転 糸切り後ナデ、高 台貼り付け	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR5/6	覆土上層	20%	
10	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR/1	中央覆土上層	小片	
11	須恵器	甕	-	(14.0)	-	ケズリ	ナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5Y5/1	覆土上層	5%	
12	瓦	平瓦	-	-	-	布目	叩き、襷縁部ケズ リ、ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y6/1	覆土上層		
13	土師器	紡錘 車	長6.0	幅5.9	厚1.5	ケズリ、回転糸切 り	ケズリ、ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	覆土上層	ほぼ完 形	ロクロ上の土製円柱を 利用して製作

第13表 SE-500 出土遺物観察表

番号	種類	面積	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (測定)	底径 (測定)	高径 (測定)	外面	内面						
1	須恵器	坪	(13.8)	6.4	3.9	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒と塵を含む	不良	7.5Y8/1	覆土	50%	やや歪みあり、焼成は 大半が順化偏ざみ
2	土師器	坪	(14.0)	6.2	4.0	体部ロクロナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR5/6	底面	60%	
3	土師器	坪	(12.5)	6.5	3.4	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒と塵、黄片 を含む	良好	5YR7/8	底面	50%	やや歪みあり
4	土師器	坪	(11.2)	5.7	3.6	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	底面	60%	
5	須恵器	坪	-	(5.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	不良	5YR5/2	底面	20%	
6	土師器	坪	(10.6)	5.1	3.4	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	底面	50%	
7	土師器	坪	(10.8)	6.6	3.8	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/6	覆土	40%	
8	土師器	碗	(16.6)	8.0	4.7	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	底面	50%	
9	土師器	坪	13.9	6.7	3.9	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	底面	完形	焼き歪み、口縁部内面 に僅かに残存
10	土師器	坪	(14.0)	6.6	4.2	体部ロクロナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR6/4	底面	60%	
11	土師器	坪	(12.4)	(5.4)	4.3	体部ロクロナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	粗放、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	底面	40%	
12	土師器	坪	(14.6)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミガ キ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	10YR8/4	底面	30%	
13	土師器	坪	(12.8)	(5.6)	3.9	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y7/2	底面	30%	
14	土師器	坪	-	6.4	-	体部ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	10YR5/2	底面	30%	
15	土師器	坪	15.2	7.1	6.0	回転糸切り後ナデ、 高台貼り付け	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10R6/8	底面	90%	
16	土師器	坪	(14.0)	(5.4)	3.9	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	2.5YR8/6	覆土	40%	
17	土師器	坪	13.0	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	40%	
18	土師器	坪	-	(5.0)	-	体部ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	粗放、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/8	覆土	20%	
19	土師器	坪	-	(5.0)	-	体部ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR6/6	底面	30%	
20	土師器	碗	-	(6.0)	-	体部ロクロナデ後 下端ケズリ、底面 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	粗放、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	20%	
21	土師器	坪	-	5.6	-	底面回転糸切り後 高台貼り付け	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/4	底面	30%	
22	土師器	碗	-	(10.0)	-	回転糸切り、体部 下端ケズリ	ロクロナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	10YR8/4	底面	30%	内面面満落
23	土師器	碗	-	9.4	-	体部ロクロナデ後 下端から底面端部 ケズリ、底面回転 糸切り	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	底面	30%	
24	土師器	碗	(21.6)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミガ キ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR7/3	底面	20%	
25	土師器	皿	14.8	6.3	2.0	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	覆土	ほぼ完 形	
26	土師器	台付 甕	-	-	-	胴部ケズリ、脚部 ヨコナデ	胴部ヘラナデ、脚 部ヨコナデ	やや粗放、少量の 砂粒を含む	良好	5YR6/6	覆土	10%	

第14表 遺構出土遺物（古墳～古代）観察表

番号	種類	器種	計測値 (cm)		形状	断面		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			口径 (推定)	高さ (推定)		外面	内面						
1	土師器	坪	-	6.2	-	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5YR7/8	SX-15 覆土	30%	
2	須恵器	甕	-	(17.0)	-	布目	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10Y6/1	SE-31 覆土	20%	
3	土師器	坪	-	(7.0)	-	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	S-62 覆土	20%	
4	土師器	坪	(13.0)	(6.0)	4.1	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	S-95 覆土	40%	
5	土師器	甕	16.6	-	-	口縁部ヨコナデ、 側面ヘナナ	口縁部ヨコナデ、 側面ヘナナ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	5YR6/6	SK-112 西 平 覆土小割	60%	外面埋付着
6	瓦	平瓦	-	-	-	布目	布目	緻密、少量の砂粒 と塵を含む	良好	10Y6/1	SK-112 西 平 覆土小割		古代
7	土師器	坪	(12.2)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/6	SK-121 覆土	20%	
8	須恵器	坪	(13.0)	(7.0)	3.6	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y7/1	S-489 覆土	30%	
9	土師器	坪	(13.0)	-	-	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	S-489 覆土	20%	
10	土師器	埴	-	7.0	-	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	S-489 覆土	30%	
11	須恵器	甕	-	-	-	布目	ナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10Y7/1	S-540 覆土	小片	内面当具類は無文。外 面に白黒無
12	須恵器	坪	-	5.4	-	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5G6/1	S-701 覆土	20%	
13	須恵器	坪	-	(6.6)	-	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY7/1	SK-704 覆土	20%	
14	土師器	坪	(14.4)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10K5/8	遺構外(S-779 覆土)	10%	
15	土師器	皿	14.0	6.8	2.5	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	遺構外(S-779 覆土)	70%	
16	土師器	埴	-	(7.4)	-	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR7/8	S-784 覆土	40%	
17	須恵器	坪	12.9	6.5	3.5	ロクロナデ、底部 回転糸切り	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	7.5Y7/1	S-785 覆土	完形	焼き足、内外面に埋 付着
18	土師器	埴	(17.4)	8.7	5.5	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5YR8/8	S-785 覆土	60%	
19	須恵器	坪	(12.2)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	不良	5YR7/8	遺 構 外 (S-1095 覆土)	20%	
20	須恵器	坪	-	6.2	-	回転糸切り	ロクロナデ	粗粒、多量の砂粒 を含む	不良	2.5GY7/1	遺 構 外 (S-1095 覆土)	30%	
21	土師器	坪	(12.2)	(6.4)	4.1	体部ロクロナデ、 底部回転糸切り	ロクロナデ後ミガ ナ、黒色処理	粗粒、多量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/6	遺 構 外 (S-1095 覆土)	20%	
22	土師器	甕	-	4.1	-	ナデ	ヘナナ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	SK-300 覆土 中央	10%	

第15表 遺構外出土遺物（古墳～古代）観察表

番号	種類	面積 (口径) (単位)	直径 (単位)	高さ (単位)	形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考	
					外面	内面							
1	土師器	坪	(13.0)	-	-	口縁部ヨコナデ、 体部から底部までヨコナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	不明	30%	
2	須恵器	坪	(12.8)	5.7	4.3	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	やや粗粒、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y7/1	SI-04 確認	50%	SI-05 ないし 06 のものか？
3	須恵器	坪	-	9.6	-	回転糸切り、ナデ後高台貼り付け	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y7/1	SE-122 覆土	30%	
4	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	不良	2.5YR7/8	G10 近辺	20%	内面表面脱落
5	須恵器	甕	-	-	-	ロクロナデ、回転糸切り	ナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y8/1	SD-26 覆土	20%	作りは粗粒。内面は酸化腐。断面セピア色。平安時代遺跡出土の古墳時代須恵器
6	須恵器	坪	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、やや多量の砂粒を含む	良好	7.5Y7/1	G10 近辺	40%	
7	須恵器	坪	-	6.4	-	ロクロナデ、底部回転糸切り後外周回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5YR8/1	SD-25 覆土	20%	
8	須恵器	皿	-	(10.0)	-	ロクロナデ、高台貼り付け	ロクロナデ	やや粗粒、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y8/2	IS	20%	
9	須恵器	甕	16.6	-	4.4	ロクロナデ、大井部回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y6/1	G10 近辺	70%	焼き足、未使用ないし使用頻度が低い
10	須恵器	甕	(18.4)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	不良	2.5YR7/8	G10 近辺	40%	
11	土師器	坪	(14.0)	(7.0)	4.2	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10K6/8	G10 近辺	30%	
12	土師器	埴	(16.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	SK-43 覆土	30%	

13	土師器	坏	(12.6)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ後ミナ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	SK-43 覆土	30%	
14	土師器	坏	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10R6/8	G10 近辺	30%	
15	土師器	坏	-	6.2	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10R6/8	G10 近辺	50%	
16	土師器	坏	-	7.2	-	ロクロナデ、回転 糸切り後ナデ、両 面貼り付け	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	I5	40%	
17	土師器	坏	-	(6.0)	-	ロクロナデ、回転 糸切り後ナデ、両 面貼り付け	ロクロナデ後ミナ キ、黒色地埋	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	不明	30%	
18	土師器	蓋	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗粒、やや多 量の砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	I5	20%	
19	灰釉陶器	瓶	-	6.6	-	回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/1	SD-08 覆土	30%	内面全面施釉、直線、 外面は部分的に釉が付 着、内面に重ね焼き痕
20	灰釉陶器	皿	-	6.3	-	ロクロナデ、底面 回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	5YR/2	SD-09 覆土	30%	体部内外面濃掛けによ り施釉、底面は施釉し 、底面内面に重ねの痕跡、 古代の灰釉
21	灰釉陶器	皿	-	(7.0)	-	ロクロナデ、底面 回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	5YR/2	SD-13 覆土	30%	体部内外面施釉、底面 は施釉し、古代の灰釉
22	灰釉陶器	皿	-	(7.0)	-	ロクロナデ、底面 ナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/2	SD-13 覆土	5%	体部内外面施釉、底面 は施釉し、古代の灰釉
23	須恵器	壺	-	8.8	-	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5B4/1	SD-25 覆土	20%	
24	須恵器	鉢	-	-	-	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	5Y7/1	G10 近辺	10%	
25	須恵器	壺	(23.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5G7/1	SD-24 覆土	10%	
26	須恵器	甕	-	-	-	叩き	ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5G6/1	SD-25 覆土	小片	内面に自然釉
27	須恵器	甕	-	(20.0)	-	側面叩き、底面ナ デ	ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5G6/1	G10 近辺	10%	焼き歪み、内外面に自 然釉、釉着物あり
28	須恵器	甕	-	-	-	側面ロクロナデ、 底面ナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y7/1	調査区南側包 含部、表土下	20%	外面に自然釉、焼き歪 みあり

第16表 遺構外出土瓦観察表

番号	種類	形状	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状況	残存率 (%)	備考
			口径 (推定)	底径 (推定)	高さ (推定)	外面	内面						
1	瓦	軒平 瓦	-	-	-	布目	叩き、ナデ。側縁 部ケズリ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY7/1	G10 近辺		瓦当目は最重文、傷、 剥離あり。表面面と側 面に縦付筋、並列文と して利用か中世以降の 再利用か。
2	瓦	平瓦	-	-	-	布目痕	叩き痕	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY5/1	SD-25 覆土		古代
3	瓦	軒平 瓦	-	-	-	布目痕	ケズリ、側縁部ケ ズリ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5G5/1	SD-25 覆土	10%	瓦当面に横溝文、古代
4	瓦	平瓦	-	-	-	布目痕	ナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10R4/4	SD-28 覆土		古代
5	瓦	平瓦	-	-	-	布目痕	叩き、側縁部ケズ リ、ナデ	粗粒、やや多量の 砂粒を含む	不良	5YR7/6	S-113 覆土		古代
6	瓦	丸瓦	-	-	-	ケズリ、ナデ	布目、側縁部ケズ リ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10Y7/1	D7 表土下		表裏面と断面に縦付筋、 並列文として利用か中 世以降の再利用か。
7	瓦	平瓦	-	-	-	布目	叩き、側縁部ケズ リ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/1	G10 近辺		古代
8	瓦	平瓦	-	-	-	布目痕	叩き痕	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY7/1	SD-25 覆土		古代
9	瓦	平瓦	-	-	-	布目	叩き、側縁部ケズ リ、ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/2	遺構外 (SE-401 覆土)		古代
10	瓦	平瓦	-	-	-	布目	叩き、側縁部ケズ リ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y7/1	G10 近辺		古代
11	瓦	平瓦	-	-	-	布目	叩き、側縁部ケズ リ、ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5GY5/1	S-254 覆土		古代
12	瓦	平瓦	-	-	-	布目	叩き、側縁部ケズ リ	緻密、少量の砂粒 を含む	不良	7.5YR8/4	G10 近辺		古代
13	瓦	丸瓦	-	-	-	ナデ、ケズリ	布目、側縁部ケズ リ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5Y6/1	SE-652 覆土		布目は横溝文？表面に へうきき、断面も含む 全面に縦付筋、古代の 瓦が中世以降に再利用 されたものか？

第2節 中～近世の遺構と遺物

本遺跡で調査した遺構のうち、中近世ないしそれ以降とした遺構は掘立柱建物跡 11 棟、溝跡 14 条、井戸跡 18 基、不明遺構 10 基、土坑 24 基、その他小穴 979 基である。

掘立柱建物跡 (SB-10・13・21・22・23・29・120・126・201・202・203) はほぼ調査区中央に集中しており、小穴が群在している箇所から確認された。掘立柱建物跡は南北ないし東西に走る溝跡の箇所には小穴を含め存在しておらず、溝跡と時期的に近接するものと推定される。また、古代の竪穴住居跡や溝跡とは建物方向にまったく関連性が無く、小穴からの中近世遺物の出土からも掘立柱建物跡は総て中世遺構と判断される。

掘立柱建物跡の建物方向は南北棟がやや東寄り、東西棟は大きく西寄りとなり、関連性がある。方向からみると SB-10・29・203 に関連性があり、他の 8 棟と異なる。SB-10 は SB-23 と重複しており、方向の差は時期の違いと考えられる。SB-10・29 は南北棟で隣り合っており並ぶ。8 棟のうち、SB-120・126 と 201・202 はそれぞれ位置が重複しており同時期に存在できないことから、やはり時期の違いが考えられる。

大半が 3×2 間で、7 棟が東西棟である。柱穴の配列はやや不規則のものが多く、柱間も一定のものは少ない。中央の柱間が広くくもの逆に狭まるものがある。柱穴からは柱根や根石として使用された石臼片等が出土するものがあり、柱痕跡が確認されたものも少なくない。建物方向と重複からまとめると、(1) SB-10・29・203、(2) SB-21・22・126・202、(3) SB-13・23・120・201 となり、(3) は総て東西棟となる。

溝跡は既述のように掘立柱建物跡と関連性が窺える。溝跡の位置する箇所には小穴は少なく、逆に井戸跡が比較的多く位置している。溝跡は東西方向の SD-8・9・12 と南北方向の SD-24・25・27 がそれぞれ平行している。掘立柱建物跡が 3 時期を想定され、平行する 3 条の溝跡も時期的な変遷があるものと推定される。

井戸跡 (SE-31・32・34・36・50・52・53・100・113・122・330・335・431・543・600・651・652・671・771) はやはり既述のように溝跡の近辺に位置する傾向にある。井戸枠等は確認されておらず、素掘りの井戸跡である。比較的多くの出土遺物がある。

不明遺構 (SX-41・42・49・331・338・423・432・433・800・1025) は倒木痕と判断される SX-423・1025 を除くと実質 8 基である。うち、不整の掘り込みである SX-41・331・338 と時期的にかなり新しいと推定される SX-800 を除くと、中世遺構として 4 基が想定される。そのうち、SX-42・49・433 はいわゆる方形竪穴遺構と推定されるものである。そのうち SX-42 は掘立柱建物跡と重複し、SX-49 と 433 は位置的に近接し 433 は溝跡に切られていることから、時期的な変遷が想定される。掘立柱建物跡が 3 時期ということから、方形竪穴 3 基も各時期に 1 基が伴ったものと推定される。また、SX-432 は不整の掘り込みで多量の遺物が出土しており、土器片や木製品等が投棄された状況である。この遺構は SD-9・12 等、溝跡の確認された箇所には位置している。

土坑 (SK-30・37・38・39・40・43・46・47・48・101・111・121・123・243・244・373・390・403・420・421・530・550・562・572・704・1009・1011・1201) は小穴とした遺構と区別がつかないものもあり、24 基を土坑とした。ここでは主要な土坑について記載し、その他については遺構一覧表記載による。土坑のうち長方形土坑は少なく、覆土が埋め戻された墓坑的な遺構は少ない。長方形土坑は SK-38・39・40・46・47・562・1011 等調査区西半に多く、掘立柱建物跡や小穴の多数存在している箇所とは位置が異なる。

小穴は遺構一覧表のとおりである。掘立柱建物跡の柱穴としたものも含まれる。

なお、主要遺構以外の遺構図は調査区を分割した区画ごとに示した (グリッド図参照)。

(1) 掘立柱建物跡

SB-10 (第31図、写真図版八)

位置 E5・F5グリッド

重複関係 SI-01より新しい。SB-23と位置的に重なる。

規模・平面形 南北6m、東西3.8mの長方形。桁行3間・梁間2間の南北棟

主軸方向 N-8°-E

柱穴 S-60・63・64・69・70・73・78・79・134・135・244・245・246・247・249・298・299・302・378

備考 SB-10とした柱穴は不整の掘り込みを含む。柱間は北側1間が狭い。明確な柱痕跡が認められる柱穴は無い。

SB-13 (第30図)

位置 C3・C4グリッド

重複関係 SX-15より新しい。

規模・平面形 東西8m、南北5.6mの長方形。桁行3間・梁間2間の東西棟

主軸方向 N-82°-W

柱穴 S-264・265・271・272・273・274・275・276・279・280・281・283・284

備考 柱間は東西両側1の間が狭く中央が広い。S-264からは木片、S-279・280・281(279・281を図示)からは木柱片が出土しており、S-271・275では柱痕跡が認められる。周囲の小穴も関連するものと推定される。

SB-21 (第31図)

位置 E6グリッド

重複関係 SI-03より新しい。

規模・平面形 南北6m、東西3.8mの長方形。桁行3間・梁間2間の南北棟

主軸方向 N-20°-E

柱穴 S-110・157・176・177・178・213・343・347・355・356・357・358・366

備考 柱間は南北両側1の間が狭く中央が広い。S-110からは木片、S-355から木柱が出土しており、S-176・347・357・358・366では柱痕跡が認められる。また、S-356にも柱痕跡が認められ、総柱の建物跡の可能性はある。

SB-22 (第31図)

位置 F6グリッド

重複関係 SK-243と位置的に重なる。

規模・平面形 南北4.8m、東西3.3mの長方形。桁行3間・梁間2間の南北棟

主軸方向 N-16°-E

柱穴 S-82・84・85・367・369・371・372・375・376・377・395・445

備考 柱間は中央がやや狭い。S-376がやや外れるものの、総柱の建物跡と推定される。S-85・375・395では柱痕跡が認められる。

SB-23 (第32図)

位置 F5・F6グリッド等

重複関係 SB-10と位置的に重なる。

規模・平面形 東西8.4m、南北4.8mの長方形。桁行4間・梁間2間の東西棟

主軸方向 N—80°—W

柱穴 S-55・59・60・64・69・70・79・89・90・94・134・135・244・245・246・247・249・259・378

備考 柱間は全体がやや狭い。柱穴は形状が不規則で配置もやや乱れる。S-59・64・89・90・94では柱痕跡が認められ、S-59では底面から石臼片が出土している。石臼は根石のように用いられた可能性もある。

SB-29 (第31図)

位置 E5・F5 グリッド

重複関係 SI-01 より新しい。

規模・平面形 南北6.4m、東西3.8mの長方形。桁行3間・梁間2間の南北棟

主軸方向 N—6°—E

柱穴 S-155・156・290・294・306・307・308・310・311・316・323・324・325・488・493・494・491

備考 柱間は中央が狭く、南北両側が広い。不規則な配置であるものの、総柱の建物跡と推定される。S-155・156・310・311・323では柱痕跡が認められる。

SB-120 (第32図)

位置 H5・H6 グリッド

重複関係 SB-126 と位置的にやや重なる。

規模・平面形 東西6.4m、南北3.8mの長方形。桁行3間・梁間2間の東西棟

主軸方向 N—80°—W

柱穴 S-644・661・667・676・680・688・693・701・705・706・707・708・709・775

備考 柱間は東西両側がやや狭い。S-680・693・705・706では柱痕跡が認められる。東側梁間柱列の中央は発見されていない。

SB-126 (第32図)

位置 H4・H5 グリッド

重複関係 SB-120 と位置的にやや重なる。

規模・平面形 東西6.8m、南北3.8mの長方形。桁行3間・梁間1間の東西棟

主軸方向 N—85°—W

柱穴 S-611・612・613・633・636・637・650・653・690

備考 柱間は中央がやや狭い。S-637・650・690では柱痕跡が認められる。梁間柱列の中央は発見されていない。

SB-201 (第33図)

位置 H8 グリッド

重複関係 SB-202 と位置的にやや重なる。

規模・平面形 東西5.4m、南北3.2mの長方形。桁行3間（推定）・梁間2間の東西棟

主軸方向 N—77°—W

柱穴 SX-42・SK-47・S-829・859・861・878・883・895・1026

備考 重複が著しくあまり明確ではないものの、一部の柱穴から推定した。S-859では柱痕跡が認められる。東側梁間柱列の中央は発見されておらず、北側柱列は柱間が不揃いで形状も一定でない。

SB-202 (第33図)

位置 H8 グリッド

重複関係 SB-201 と位置的にやや重なる。

規模・平面形 東西 6m、南北 3.6m の長方形。桁行 3 間・梁間 2 間の東西棟

主軸方向 N—74°—W

柱穴 SX-41・42・S-877・889・893・1035・1071・1080・1099

備考 重複が著しくあまり明確ではないものの、柱穴配置から推定した。土層が不明のものが多く、柱痕跡については不明である。東側梁間柱列の中央は SD-26 覆土中に位置したため発見されなかったものと推定される。柱穴の形状や配置は比較的整っている。

SB-203 (第 33 図)

位置 G7・H8 グリッド等

重複関係 S-1047 等より新しい

規模・平面形 東西 8m、南北不明の長方形（推定）。桁行 4 間・梁間 2 間（推定）の東西棟（推定）

主軸方向 N—92°—W

柱穴 S-890・1036・1045・1047・1050・1055

備考 重複が著しく調査区外に伸びていることから、明確ではない。土層も不明のものが多く、柱痕跡については不明である。4 間×2 間程度の東西棟と推定した。

(2) 井戸跡

SE-31 (第 34 図)

位置 H9 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北 1.1m、東西 1.1m のやや不整の円形。深さは不明。

覆土 5 層を確認。焼土・炭化物を多く含む暗褐色土層

壁・底面 上方は斜めに立ち上がる。中位からは筒状。底面は未調査のため不明。

遺物 覆土中位より須恵器甕底部片と木片が出土している。

備考 遺構については古代に限定できないため、中近世以降とした。

SE-32 (第 34 図、写真図版 9)

位置 H10 グリッド

重複関係 SD-28 を切る。

規模・平面形 東西 1.7m、南北 1.2m の不整円形。深さは不明。

覆土 4 層を確認。焼土・炭化物を多く含む暗褐色土層

壁・底面 上方は斜めに立ち上がる。中位からは斜めに落ち込む。底面は未調査のため不明。

遺物 覆土中位より土師質土器皿がまとまって出土しており、9 点を図示した。その他常滑甕口縁部片、内耳土器片が覆土中位より出土した。土器群は一括して投棄されたものと推定される。

備考 中世遺構とした。

SE-34 (第 35 図)

位置 H9 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西 0.7m、南北 0.7m の円形。深さ 0.9m。

覆土 4 層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層

壁、底面 壁はほぼ筒状を呈する。底面は概ね平坦で北側がやや高い。

遺物 図示できる遺物は無く、少量の土器片が出土した。

備考 中近世以降とした。

SE-36 (第34図、写真図版九)

位置 H10 グリッド

重複関係 不整の掘り込みを切る。

規模・平面形 東西0.8m、南北0.8mの不整円形。深さ1.6m。

覆土 2層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層

壁、底面 壁はほぼ筒状を呈する。底面は中央が凹み、断面形は丸みを帯びる。

遺物 覆土より土師質土器皿1点が出土した。

備考 中近世以降とした。

SE-50 (第35図、写真図版一〇)

位置 F5 グリッド

重複関係 SD-12 を切る。

規模・平面形 東西1m、南北1mの不整円形。深さ不明。

覆土 4層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層

壁、底面 壁はほぼ筒状を呈する。中位では北壁の奥に挟れる部分がある。底面は不明

遺物 覆土より陶器(瀬戸)片や石硯が出土している。

備考 遺物の出土から中近世以降とした。

SE-52 (第35図、写真図版一〇)

位置 G5 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西1.1m、南北0.9mの不整円形。深さ1m。

覆土 4層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層

壁、底面 壁はほぼ筒状を呈する。底面は中央が凹み、断面形は丸みを帯びる。

遺物 覆土中層から底面にかけて礫、曲物底板、内耳土器片等が出土した。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-53 (第35図)

位置 G5 グリッド

重複関係 SK-539 に切られる。

規模・平面形 南北1.5m、東西1.4mの不整円形。深さ1.1m。

覆土 上層6層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。中層は崩落しており、しまり弱

壁、底面 壁は土坑状に掘り込まれその下は筒状を呈する。底面は北壁部が奥に挟れる。

遺物 覆土から内耳土器片が出土した。

備考 遺物の出土から中近世以降とした。

SE-100 (第36図、写真図版一一)

位置 F4 グリッド

重複関係 SD-12 を切る。

規模・平面形 南北0.7m、東西0.7mの円形。深さ不明。

覆土 上層4層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁は筒状を呈する。底面は不明。

遺物 覆土中層から木製品が出土している。

備考 重複から中近世以降とした。

SE-113 (第36図)

位置 F4 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西1m、南北0.7mの楕円形。深さ2.4m。

覆土 不明。

壁・底面 壁はやや斜めに下降し中位が張り出す。底面は平坦。

遺物 覆土から内耳土器片、覆土下層から礫が出土している。

備考 遺物の出土から中近世以降とした。

SE-122 (第36図、写真図版一)

位置 C5 グリッド

重複関係 SK-121 を切る。

規模・平面形 南北1.3m、東西1.1mの不整円形。深さ2m。

覆土 上層4層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁は斜めに下降しその下は筒状を呈する。底面は東壁部が奥に挟れる。

遺物 覆土から内耳土器が出土した。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-330 (第37図、写真図版一二)

位置 D7 グリッド

重複関係 SX-331 を切る。

規模・平面形 南北1m、東西1mの不整円形。深さ1.3m。

覆土 上層3層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁は斜めに下降する。底面は東壁部がやや下がる。

遺物 覆土下層から曲物底板など木製品2点、内耳土器片が出土した。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-335 (第37図、写真図版一三)

位置 D6 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北1.2m、東西1mの不整円形。深さ1m。

覆土 3層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁は斜めに下降する。底面は壁部がやや下がる。

遺物 覆土中層から土師質土器埴輪片や礫が出土した。

備考 遺物の出土から中近世以降とした。

SE-431 (第37図、写真図版一四)

位置 F7 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西 1.5m、南北 1.1m の楕円形。深さ不明。

覆土 上層 3 層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁はやや斜めに下降する。

遺物 覆土下層から土師質土器皿、内耳土器片、漆器、木製品、縄が出土している。特に木製品は木片を含め多量に出土している。また、薬束状の植物遺体が出土しており、特に編み込まれたものではない。薬が縄で束ねられていたことも考えられる。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-543 (第 38 図)

位置 H11・H11 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北 2.4m、東西 2.2m の不整形円形。深さ不明。

覆土 上層 13 層を確認。焼土・炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁はやや斜めに下降し中位から筒状。中位に壁が挟まれる部分があり特に西壁が大きく挟まれる。

遺物 覆土から陶器片、砥石等が出土しているものの、遺物は少ない。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-600 (第 38 図)

位置 H12 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西 0.9m、調査区端に位置するため南北不明。深さ不明。

覆土 上層 3 層を確認。暗褐色土層。

壁・底面 壁は筒状に下降する。

遺物 無い

備考 中近世以降と推定した。

SE-651 (第 39 図、写真図版一六)

位置 H5 グリッド

重複関係 無い。SE-652 と近接し位置的に SB-126 と重なる。

規模・平面形 東西 0.9m、南北 0.7m の楕円形。深さ 0.9m。

覆土 上層 3 層を確認。暗褐色土層。

壁・底面 壁は筒状に下降する。底面は平坦で北側がやや高くなる。

遺物 覆土下層から内耳土器片、板碑、木製品が出土した。また、同じく多量の礫が出土した。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-652 (第 39 図、写真図版一六)

位置 H5 グリッド

重複関係 無い。SE-651 と近接し位置的に SB-126 と重なる。

規模・平面形 東西 0.9m、南北 0.8m の楕円形。深さ 0.9m。

覆土 上層 4 層を確認。暗褐色土層。

壁・底面 壁は筒状に下降する。底面は平坦で北側がやや低くなる。

遺物 覆土下層から土師質土器皿、古代瓦片等や木片が出土した。

備考 遺物の出土から中世遺構とした。

SE-671 (第39図)

位置 H2 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北1.4m、東西1.2mの楕円形。深さ2.2m。

覆土 上層1層を確認。炭化物を含む暗褐色土層。

壁・底面 壁はやや斜めに下降する。中位に壁が挟まれる部分があるものの僅かである。

遺物 覆土から木片が少量出土したものの、土器等の遺物は出土していない。

備考 中近世以降と推定した。

SE-771 (第38図、写真図版16)

位置 I6 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 東西1.3m、南北1.1mの不整形円形。深さ2.4m。

覆土 不明。

壁・底面 壁はやや斜めに下降し中位に挟まれる部分がある。

遺物 覆土下層から多量の礫が出土したものの、土器等の遺物は出土していない。

備考 中近世以降と推定した。

(3) 不明遺構

SX-41 (第78図、写真図版九)

位置 H8 グリッド

重複関係 SB-202 柱穴等小穴に切られる。

規模・平面形 南北2.4m、東西2mの不整形円形。

主軸方向 N-5°-E

覆土 20cm程度残存している。単層

壁 やや斜めに立ち上がる。北側は緩やかに浅くなる。

底面 概ね平坦で高低差は無い。北東隅の小穴はSX-41に伴うビット。

遺物 無い。

備考 重複関係から中世遺構と推定される。

SX-42 (第78図、写真図版九)

位置 H8 グリッド

重複関係 SB-201・202 柱穴等小穴に切られる。

規模・平面形 東西2.2m、南北1.6mの長方形。

主軸方向 N-5°-E

覆土 20cm程度残存している。単層

壁 直立している。

底面 概ね平坦で高低差は無い。壁際的小穴はSX-42に伴う可能性があるビット。

遺物 無い。

備考 重複関係から中世遺構と推定される。いわゆる方形竪穴遺構の可能性はある。

SX-49 (第 67 図)

位置 G6 グリッド

重複関係 S-744 等小穴に切られる。

規模・平面形 東西 3m、南北 1.8m の長方形。南壁の一部が攪乱を受ける。

主軸方向 N-11°-E

覆土 20 cm 程度残存している。単層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で高低差は無い。S-744 南のビットや S-750、北壁際のビットは SX-49 に伴う可能性がある。

遺物 土器等の遺物は無い。礫が覆土から出土している。

備考 重複関係から中世遺構と推定される。いわゆる方形竪穴遺構の可能性はある。

SX-331 (第 48 図)

位置 D7 グリッド

重複関係 SE-330・S-173 に切られる。

規模・平面形 南北 5.6m、東西 2.8m のやや不整の長方形。北壁中央が突出する。東西壁も中ほどに段差がある。

主軸方向 N-47°-E

覆土 10 cm 程度残存している。

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で緩やかな凹凸がある。

遺物 土器等の遺物は無い。

備考 重複関係から中世遺構と推定される。

SX-338 (第 56 図)

位置 E7 グリッド

重複関係 SE-334 を切る。S-396、番号の無い小穴との新旧は不明。

規模・平面形 東西 3.6m、南北 2.4m のやや不整の長方形。南壁は大きく歪む。

主軸方向 N-80°-W

覆土 20 cm 程度残存している。

壁 斜めに立ち上がる。

底面 凹凸が激しく、全体的にも南に大きく落ち込む。

遺物 無い。

備考 中近世以降と推定される。

SX-423 (第 41 図)

位置 D2 グリッド

重複関係 SX-15 に切られる。

規模・平面形 南北 2.6m、東西 1.8m の不整楕円形。

主軸方向 N-40°-E

覆土 60 cm 程度残存している。

壁 斜めに立ち上がる。

底面 凹凸が激しく、平坦面は無い。

遺物 無い。

備考 土層から倒木痕と判断される。

SX-432 (第67図、写真図版一三)

位置 G6 グリッド

重複関係 SD-09 を切る。南では浅い掘り込みがSD-14に連続する。

規模・平面形 南北1.8m、東西0.6mの不整楕円形。

主軸方向 N-16°-E

覆土 70cm程度残存している。

壁 斜めに立ち上がる。

底面 底面の平坦面は狭く南北に細長い。

遺物 覆土中へ上層から多量の木製品、木片、石製品が出土している。木製品では漆器蓋・椀、曲物底板、不明製品、石製品では石臼や磨石がある。その他陶器片が出土している。

備考 遺物の出土状況から投棄されたものと推定される。

SX-433 (第67図、写真図版一五)

位置 G6 グリッド

重複関係 SD-08 に切られる。

規模・平面形 南北2.4m、東西2mの長方形。

主軸方向 N-12°-E

覆土 20cm程度残存している。単層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で高低差は無い。SX-433に伴うピットは無い。

遺物 土器等の遺物は無い。礫が覆土から出土している。

備考 重複関係から中世遺構と推定される。いわゆる方形竪穴遺構の可能性はある。

SX-800 (第73図、写真図版一七)

位置 H6 グリッド

重複関係 SD-20 を切る。

規模・平面形 東西2.8m、南北2.4mの長方形。

主軸方向 N-87°-W

覆土 90cm程度残存している。8層

壁 斜めに立ち上がる。外壁外側に遺構に伴う小穴があり木杭が残存し一部には木枠が残る。

底面 平坦で高低差は無い。木枠で四角く囲まれた範囲内に直径60cmの円形ピットが掘り込まれている。

遺物 覆土から陶器片が出土している。

備考 重複関係から中近世以降と推定される。時期的には極めて新しい遺構と推定される。

SX-1025 (第85図)

位置 H10 グリッド

重複関係 S-990 に切られる。

規模・平面形 南北2.4m、東西1.2mの不整楕円形。

主軸方向 N-16°-W

覆土 40cm程度残存している。5層

壁 南壁は斜めに立ち上がる。北壁は緩やかに立ち上がる。

底面 平坦な面はなく凹凸が多い。

遺物 無い。

備考 土層から倒木痕と判断される。

(4) 溝跡

SD-08 (第66図等、写真図版七・一九)

位置 G3・G6 グリッド等

重複関係 SX-433を切り、小穴に切られる。

規模・平面形 東西約33mを確認。幅は約70cm。深さ30cm。SD-9・12と平行する。直線的に調査区中央を横断している。

主軸方向 N-75°-W

覆土 3層で焼土・炭化物を多く含む暗褐色土層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差はない。幅も概ね一定である。

遺物 底面～覆土から土師質土器皿、陶器片、内耳土器片が出土している。

備考 出土遺物から中近世以降と推定される。

SD-09 (第59図等、写真図版七・一九)

位置 F3・G6 グリッド等

重複関係 SX-432、小穴に切られる。

規模・平面形 東西約34mを確認。幅は約70cm。深さ30cm。SD-8・12と平行する。やや蛇行しながら調査区中央を横断している。

主軸方向 N-75°-W

覆土 単層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差はない。幅も概ね一定である。

遺物 底面～覆土からやや多量の陶器片、内耳土器片、石臼が出土している。

備考 出土遺物から中世遺構と推定される。

SD-12 (11) (第60図等、写真図版八・一九)

位置 F3・E7 グリッド等

重複関係 SE-50・100、小穴に切られる。

規模・平面形 東西約34m、南北13mを確認。幅は約70cm。深さ20cm。SD-8・9と平行する。中央で大きく蛇行し調査区中央を横断する。F6グリッドで直角に南下しSD-11に連続する。南側は浅くなって消滅する。

主軸方向 N-75°-W

覆土 3層、コーナー部では他遺構を掘り込むため6層となる。

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差はない。幅も概ね一定である。

遺物 底面～覆土から陶器片が出土しているものの図示できるものはない。

備考 出土遺物から中世遺構と推定される。

SD-14 (第67図、写真図版一九)

位置 G6 グリッド等

重複関係 小穴に切られる。

規模・平面形 東西約10m、南北4mを確認。幅は約140cm。深さ30cm。SD-8・9と平行する。直角に南下し南側は浅くなって消滅する。東端も同様に消滅する。平面形は大きく崩れている。一部の浅い掘り込みはSX-432に連続している。

主軸方向 N-75°-W

覆土 3層、コーナー部では他遺構を掘り込むため6層となる。

壁 斜めに立ち上がる。

底面 南側から北側に向かって大きく傾斜している。幅は概ね一定である。

遺物 覆土から土師質土器皿が出土している。

備考 出土遺物から中世遺構と推定される。

SD-16 (第41図等)

位置 C3・D3 グリッド

重複関係 SD-17と重複する。新旧は不明で同時期の可能性もある。

規模・平面形 南北13mを確認。幅は約80cm。深さ12cm。SD-18と平行する。直線的に南下しSD-17と重複する。北側は未調査のため不明。

主軸方向 N-0°-

覆土 単層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。

遺物 無い。

備考 中近世以降と推定される。

SD-17 (第41図等)

位置 C3・D3 グリッド

重複関係 SD-16・18と重複する。SD-16とは新旧不明で同時期の可能性もある。SD-18を切る。

規模・平面形 南北21mを確認。幅は約80cm。深さ20cm。SD-18と平行する。直線的に南下し途中蛇行してSD-16と重複する。北側は未調査のため不明。

主軸方向 N-0°-

覆土 単層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。

遺物 無い。

備考 中近世以降と推定される。

SD-18 (第40図)**位置** C3・D3 グリッド**重複関係** SD-17 に切られる。**規模・平面形** 南北8mを確認。幅は約80cm。深さ20cm。SD-17と平行する。直線的に南下する。北側はSD-17との重複のため不明。**主軸方向** N-0°-**覆土** 単層**壁** 斜めに立ち上がる。**底面** 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。**遺物** 無い。**備考** 中近世以降と推定される。**SD-19 (第40図等)****位置** C3・D3 グリッド等**重複関係** 無い。**規模・平面形** 東西14mを確認。幅は約50cm。深さ20cm。直線的に斜めに南下する。東西両端は浅くなり消滅する。**主軸方向** N-55°-E**覆土** 単層**壁** 斜めに立ち上がる。**底面** 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。**遺物** 無い。**備考** 中近世以降と推定される。**SD-24 (28) (第85図等、写真図版一九)****位置** H10 グリッド**重複関係** SD-28と重複するものの新旧は不明。同一遺構の可能性あり。SE-32に切られる。**規模・平面形** 南北約10mを確認。幅は約40cm。深さ40cm。途中で蛇行して枝分かれする。南はSD-28と重複する。南側は浅くなって消滅する。北側は未調査のため不明。**主軸方向** N-24°-E**覆土** 3層**壁** 斜めに立ち上がる。**底面** 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。**遺物** 覆土から内耳土器片が出土している。**備考** 中近世以降と推定される。**SD-25 (第85図等、写真図版一九)****位置** H10 グリッド等**重複関係** SD-26を切る。**規模・平面形** 南北約13mを確認。幅は約90cm。深さ20cm。SD-24・27等と平行する。南北両端は調査区外のため不明。

主軸方向 N-24°-E

覆土 単層、少量のローム粒子・ロームブロックを含む暗褐色土層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。

遺物 覆土から多量の遺物が出土している。土師質土器皿、内耳土器が大半で陶器片も少量出土している。その他、五輪塔が出土している。

備考 出土遺物から中世遺構と推定される。

SD-27 (第85図、写真図版一九)

位置 H10 グリッド等

重複関係 SD-26、S-1010 を切る。

規模・平面形 南北約20mを確認。幅は約1.4m。深さ50cm。SD-24・27等と平行する。南北両端は調査区外のため不明。蛇行する部分がある。

主軸方向 N-24°-E

覆土 4層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 概ね平坦で特に高低差は無い。幅は概ね一定である。

遺物 覆土から多量の遺物が出土している。土師質土器皿、内耳土器が大半で陶器片も少量出土している。その他、板碑片が出土している。

備考 出土遺物から中世遺構と推定される。

SD-1210 (第84図)

位置 I13 グリッド等

重複関係 無い。

規模・平面形 南北約5mを確認。幅は平均的な部分で約80cm。深さ100cm。SD-24・25・27等と平行する。南北両端は調査区外のため不明。北側は土坑状に大きく広がり、そこから幅が狭まる。

主軸方向 N-24°-E

覆土 4層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 傾斜がついており西側に向かって緩やかに下がる。

遺物 覆土からやや多量の遺物が出土している。内耳土器片、陶器片がやや多い。その他、石臼、杭状の木製品、漆器片が出土している。

備考 出土遺物から中世遺構と推定される。

(5) 土坑

SK-43 (第70図、写真図版九)

位置 I5 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北1.2m、東西1m。深さ80cm。上面は丸みを帯びる方形で、底面は円形である。

主軸方向 N-0°-

覆土 4層

壁 直線的に立ち上がる。

底面 ほぼ平坦で、小さな凹凸がある。

遺物 無い。

備考 中近世以降と推定される。

SK-123 (第44図、写真図版一二)

位置 C5 グリッド

重複関係 SI-05 を切る。

規模・平面形 東西2.4m、南北1.6m。深さ140cm。上面は不整楕円形で大きく広がり、そこから幅が狭まる。

底面はやや不整の長方形である。

主軸方向 N-66°-W

覆土 12層

壁 斜めに立ち上がる。

底面 ほぼ平坦で、小さな凹凸がある。粘土層を掘り込む。

遺物 土器等の遺物は無い。底面の粘土層に貼り付く形で葉が出土している。

備考 重複関係から中近世以降と推定される。

SK-390 (第49図、写真図版一三)

位置 D4 グリッド

重複関係 無い。

規模・平面形 南北2.2m、東西1.8m。深さ60cm。上面はやや不整の楕円形で、底面はやや不整の長方形である。

主軸方向 N-27°-W

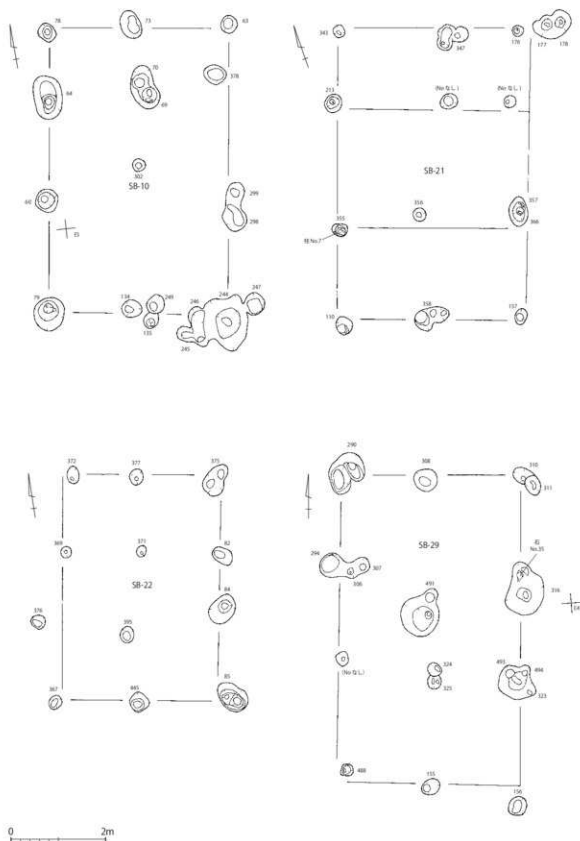
覆土 6層

壁 斜めに立ち上がる。

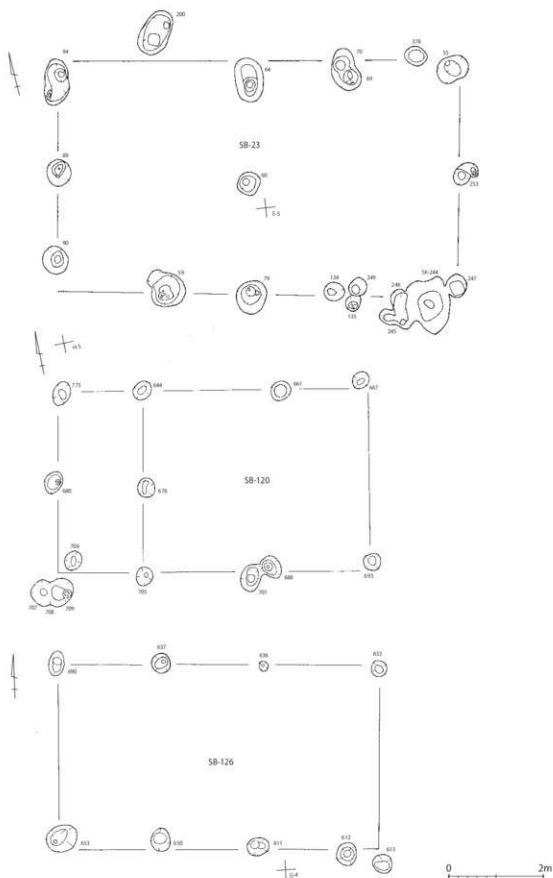
底面 ほぼ平坦で、小さな凹凸がある。

遺物 覆土下層から土師器甕の底部片が出土している。その他、覆土から葉が出土している。

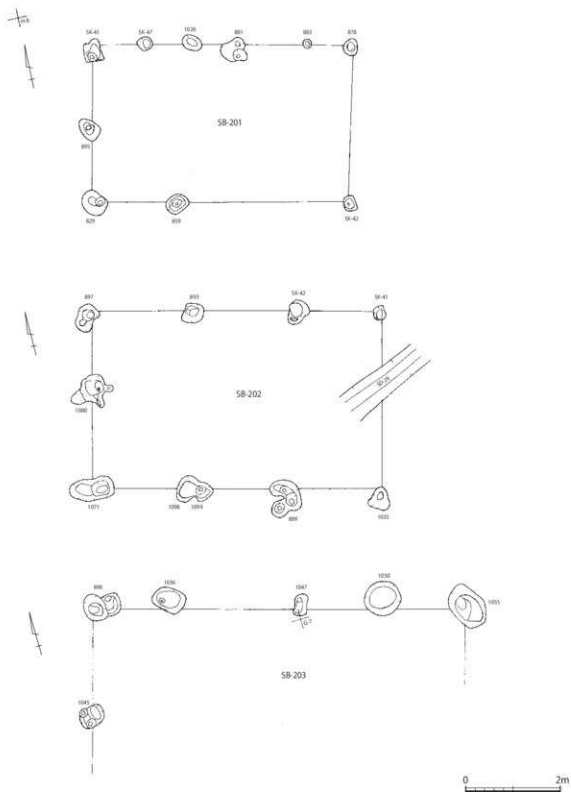
備考 中近世以降と推定される。



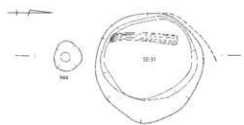
第31図 SB-10・21・22・29遺構図



第32図 SB-23・120・126遺構図



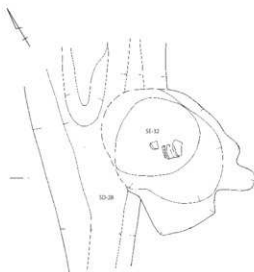
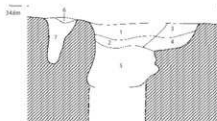
第33図 SB-201・202・203遺構図



SE-31・S-944

- 1 暗褐色土層
- 2 暗褐色土層
- 3 明褐色土層
- 4 暗褐色土層
- 5 暗褐色土層
- 6 灰土層
- 7 暗褐色土層

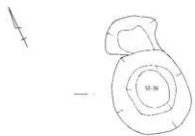
少量のローム粒子・白色粒子・炭化物を含む。しまりやや弱
 多量の焼土・炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しまり強
 多量のロームブロックを含む。しまり強
 多量のロームブロック・褐色土ブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
 多量のロームブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
 多量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強



SE-32・SD-28

- 1 暗褐色土層
- 2 暗褐色土層
- 3 暗褐色土層
- 4 暗褐色土層
- 5 炭褐色土層

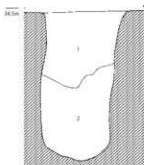
少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
 多量のローム粒子とやや多量の焼土・白色粒子を含む。しまり強
 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
 多量のロームブロックを含む。しまり強
 多量の粘土ブロックを含む。しまり弱



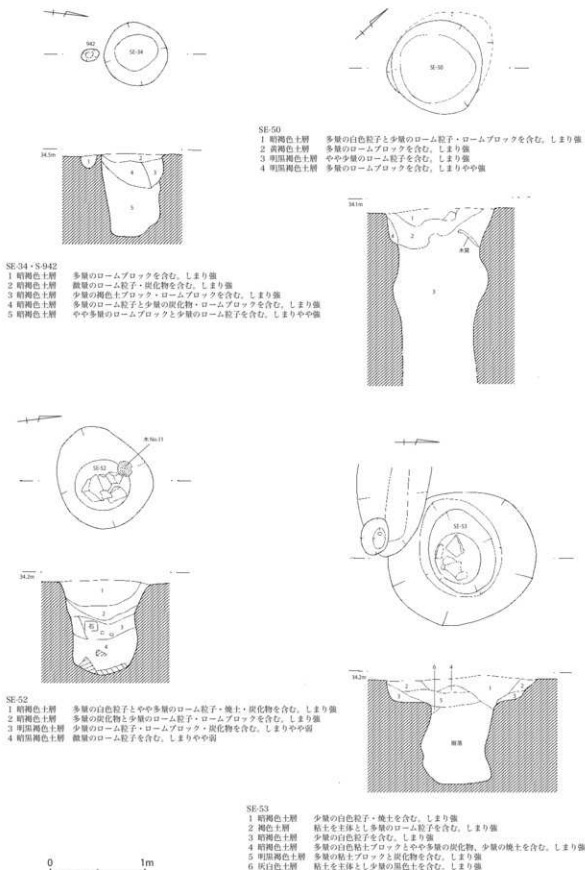
SE-36

- 1 暗褐色土層
- 2 暗褐色土層

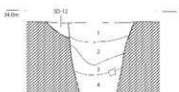
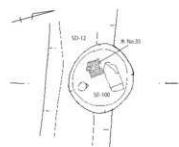
多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しまり強
 微量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強



第34図 SE-31・32・36 遺構図

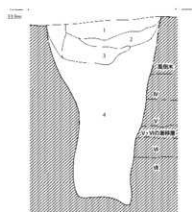
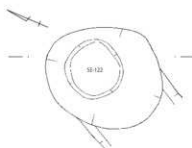
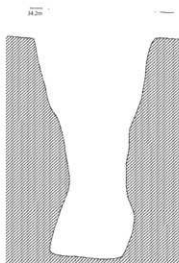
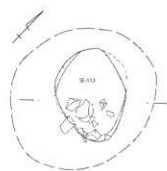


第35図 SE-34・50・52・53遺構図



SE-100

- 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の白色粒子・粘土ブロックを含む。しまり強
- 2 灰褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 4 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強。多量の木片出土

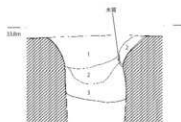
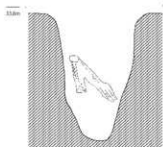
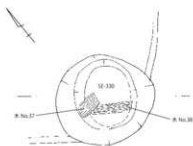


SE-122

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物を含む。しまりやや弱
- 3 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり弱
- 4 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり弱

0 1m

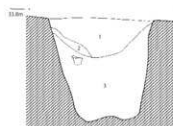
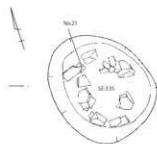
第36図 SE-100・113・122遺構図



SE-330

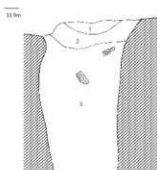
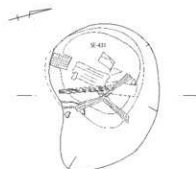
- 1 暗褐色土層
2 褐色土層
3 暗褐色土層

多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまりやや強
少量のローム粒子を含む。しまりやや弱
多量のロームブロックを含む。しまりやや弱



SE-335

- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
2 明暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり弱
3 明暗褐色土層 少量の焼土を含む。しまり弱



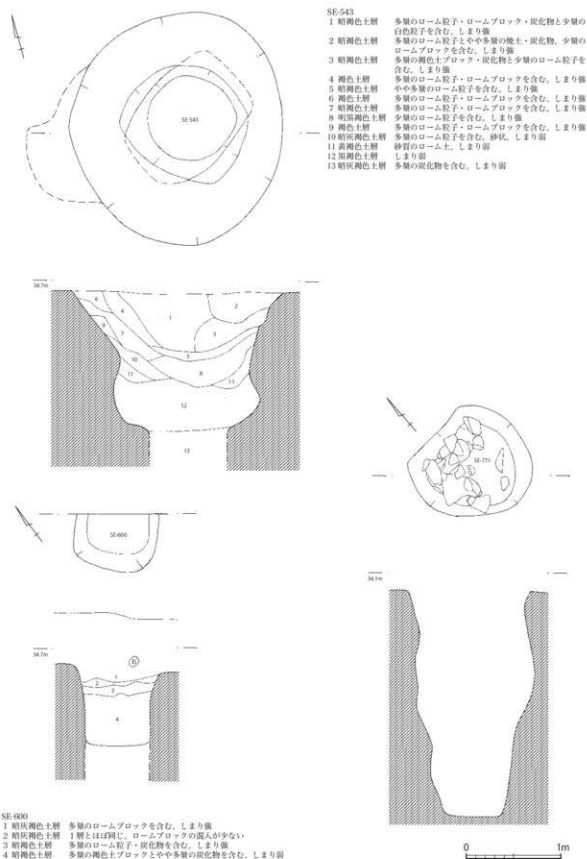
SE-431

- 1 暗褐色土層
2 暗褐色土層
3 明暗褐色土層

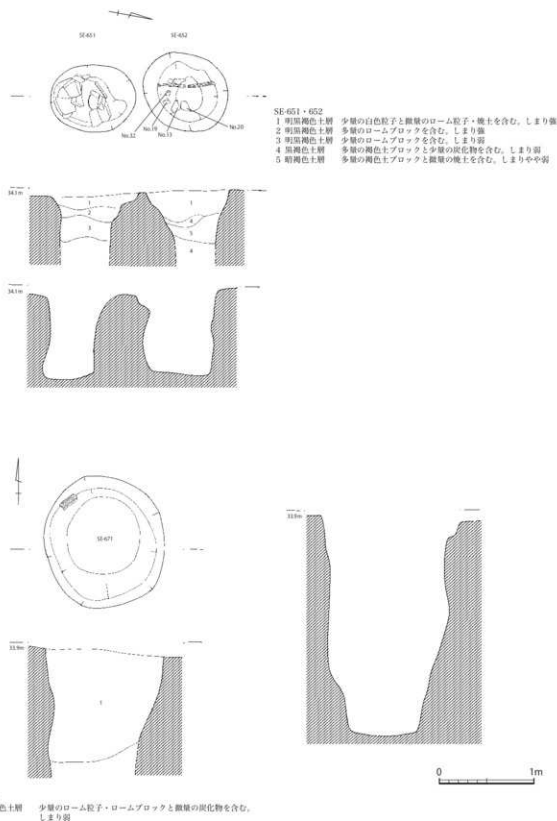
やや多量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強
多量の炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しまり強
少量のローム粒子を含む。しまり弱。木片が多量出土

0 2m

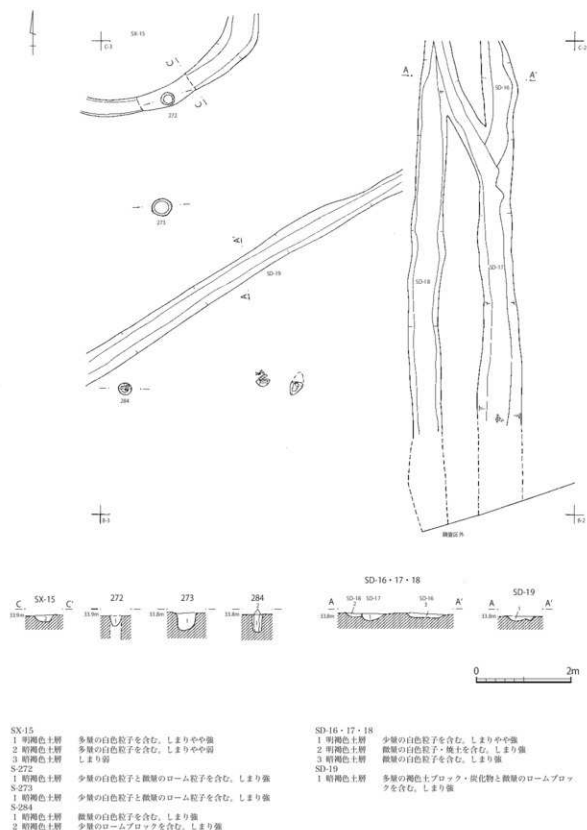
第37図 SE-330・335・431 遺構図



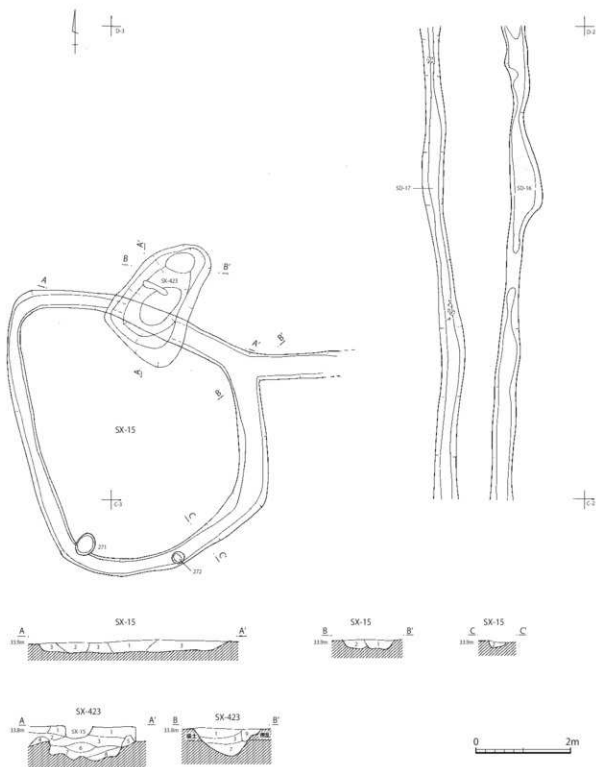
第38図 SE-543・600・771 遺構図



第39図 SE-651・652・671 遺構図



第40図 1区調査区分割遺構図



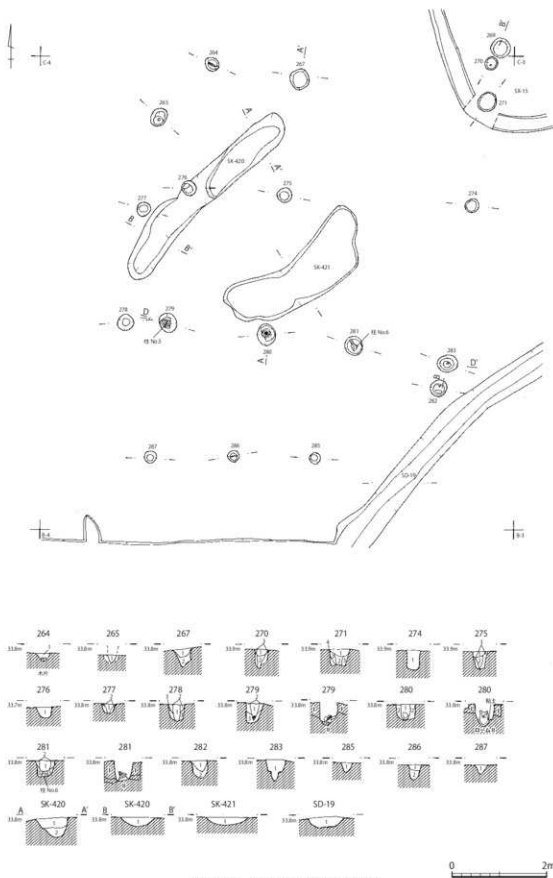
第41図 4区調査区分割遺構図

SX-15

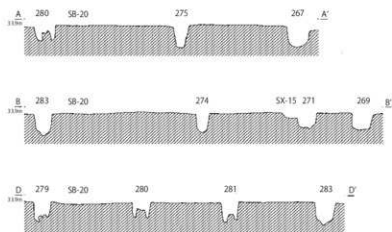
- 1 明褐色土層 多量の白色粒子を含む。しまりやや強
- 2 暗褐色土層 多量の白色粒子を含む。しまりやや弱
- 3 暗褐色土層 しまり弱

SX-423

- 1 灰褐色土層 多量の白色粒子を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しまりやや強
- 4 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 5 黒色土層 しまり弱
- 6 黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり弱
- 7 黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや強
- 8 黒色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 9 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強



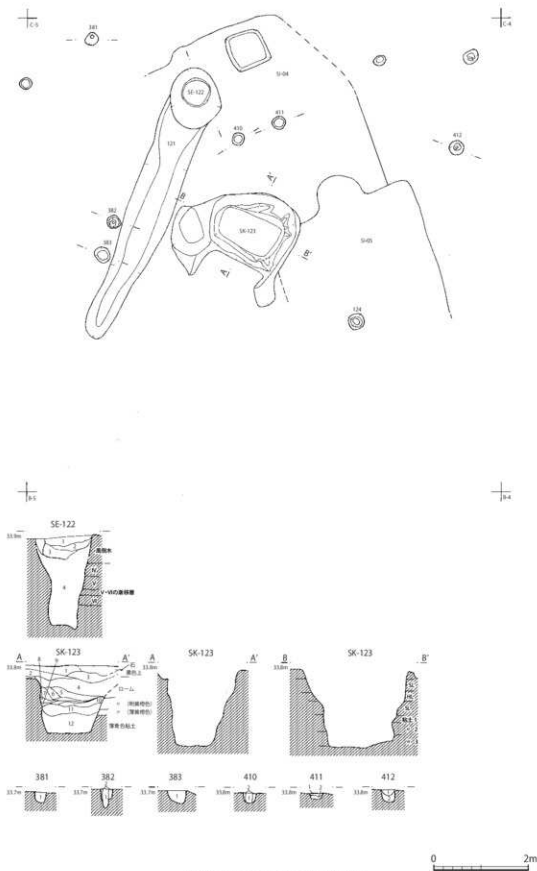
第42図 2区調査区分割遺構図①



- S-264
1 黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
S-265
1 黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
S-267
1 灰褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しまりやや強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
S-270
1 灰褐色土層 少量の白色粒子を含む。しまりやや強
2 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
S-271
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
2 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり弱
3 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや強
4 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
S-274
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
S-275
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
2 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや弱
3 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや強
S-276
1 黒褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり弱
S-277
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
2 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや強
S-278
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量の黒色土・炭化物を含む。しまり強
3 黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
S-279
1 明褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
2 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
3 黄褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや強
S-280
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや強
S-281
1 暗褐色土層 多量の黒色土・炭化物を含む。しまり強
2 黒色土層 多量の赤色粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまりやや強
S-282
1 暗褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまり強
2 黒褐色土層 しまり強
S-283
1 明褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しまりやや強
S-285
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり弱
S-286
1 灰褐色土層 少量の白色粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
S-287
1 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや弱

- SK-420
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物と微量のロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子・炭化物、微量のロームブロックを含む。しまり強
SK-421
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物と微量のロームブロックを含む。しまり強
SD-19
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物と微量のロームブロックを含む。しまり強

第43図 2区調査区分割遺構図②



第44図 3区調査区分割遺構図

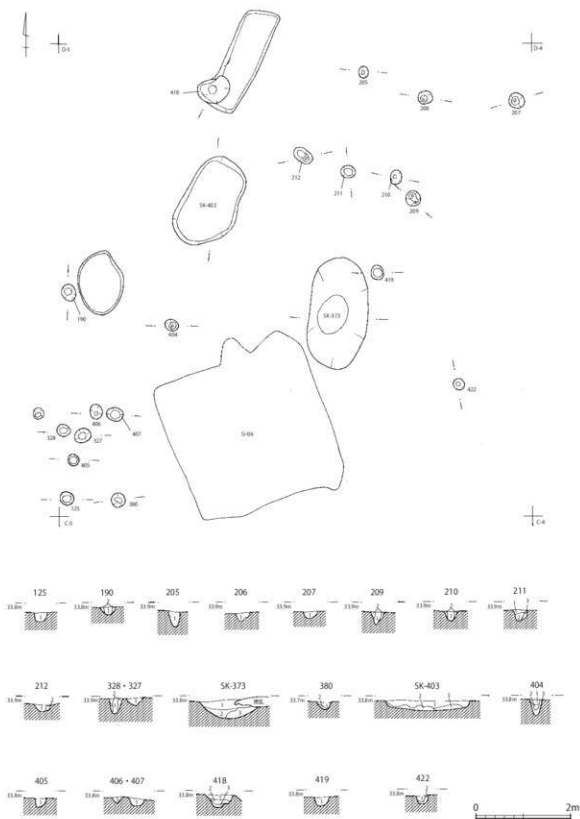
SE-122

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物を含む。しまりやや強
 3 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり弱
 4 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり弱
 SK-123
 1 暗褐色土層 多量の白色粒子・砂粒・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 1層とはほぼ同じ。白色粒子の混入が少ない。
 3 暗褐色土層 多量の白色粒子・砂粒・炭化物・褐色土ブロックを含む。しまり強
 4 暗褐色土層 やや多量の砂粒・炭化物と微量の白色粒子を含む。しまりやや強
 5 暗褐色土層 多量の砂粒を含む。しまりやや強。木片多量出土
 6 暗褐色土層 多量の砂粒と褐色土ブロックを含む。しまりやや強
 7 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや強
 8 明黒褐色土層 多量の砂粒を含む。しまりやや強
 9 暗褐色土層 土層の底辺が酸化している層。しまり強
 10 黄褐色土層 多量のローム粒子と暗褐色土を含む。しまりやや強
 11 明褐色土層 多量のロームブロック・粘土ブロックを含む。しまり強。木片多量出土
 12 暗褐色土層 多量のロームブロック・黒色土ブロックを含む。しまり強。木片多量出土

S-381

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
 S-382 微量のローム粒子・焼土を含む。しまり強
 1 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
 S-383
 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強
 S-410
 1 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
 2 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
 S-411
 1 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
 2 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
 S-412
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の焼土を含む。しまり強
 2 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや強

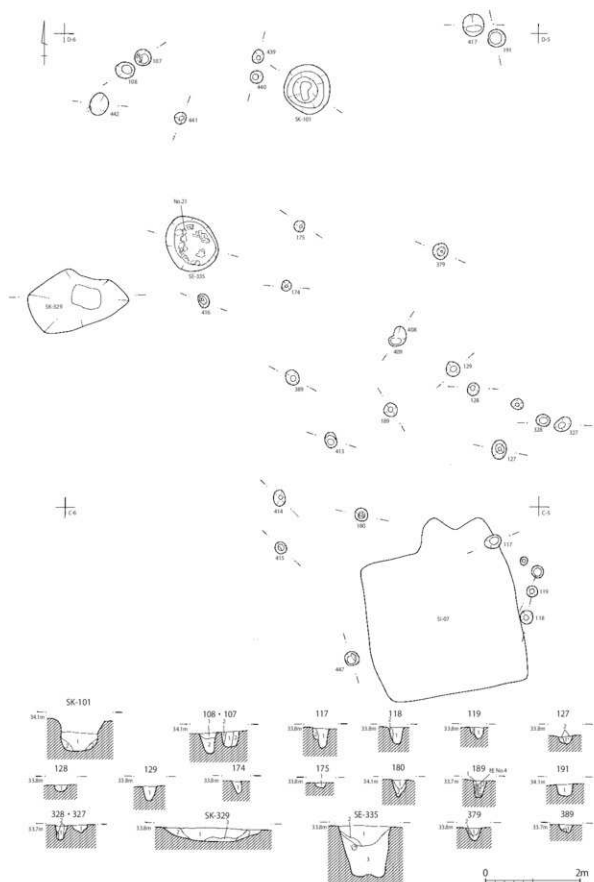


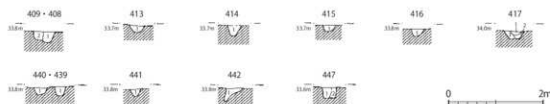


第45図 6区調査区分割遺構図

S-125	
1 暗褐色土層	微量のローム粒子を含む。しまり強
S-190	
1 暗褐色土層	微量の白色粒子・ローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
S-205	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
S-206	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-207	
1 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-209	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子と微量の炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-210	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子と微量の炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-211	
1 暗褐色土層	微量の白色粒子を含む。しまり強
2 明暗褐色土層	微量の焼土を含む。しまり強
3 暗褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
S-212	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
2 褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
S-327	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
S-328	
1 暗褐色土層	しまり弱
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
SK-373	
1 暗褐色土層	多量の褐色土ブロックとやや少量のローム粒子を含む。しまりやや弱
2 明暗褐色土層	微量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層	多量の褐色土ブロックを含む。しまり強

S-380	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 明暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
SK-403	
1 暗褐色土層	少量のローム粒子・白色粒子と微量のロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
3 褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
S-404	
1 暗褐色土層	少量のローム粒子と微量の白色粒子・焼土を含む。しまり強
2 明暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり弱
3 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
S-405	
1 明暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の白色粒子を含む。しまり強
S-406	
1 褐色土層	多量のロームブロック・黒色土ブロックを含む。しまり強
S-407	
1 褐色土層	多量のロームブロック・黒色土ブロックを含む。しまり強
S-418	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子とやや多量の炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
S-419	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
S-422	
1 暗褐色土層	少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強





第47図 7区調査区分割遺構図②

SK-101

1 明褐色土層 少量の焼土・炭化物と微量のロームブロックを含む。しまり強

2 暗褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しまりやや強

S-107

1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強

2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-108

1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強

2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-117

1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強

2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-118

1 暗褐色土層 やや少量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強

2 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強

S-119

1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

2 褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-127

1 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強

2 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-128

1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-129

1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-174

1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-175

1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-180

1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強

2 暗褐色土層 やや強

多量のロームブロックを含む。しまりやや強

S-189

1 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強

2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-191

1 暗褐色土層 微量の白色粒子・焼土を含む。しまり強

S-327

1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-328

1 暗褐色土層 しまり弱

2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

SK-329

1 明褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや弱

2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱

3 黄褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

SE-335

1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強

2 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり弱

3 明褐色土層 少量の焼土を含む。しまり弱

S-379

1 暗褐色土層 微量のローム粒子・焼土を含む。しまり強

2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-389

1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の白色粒子を含む。しまり強

S-408・409

1 明褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の白色粒子を含む。しまり強

2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-413

1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱

S-414

1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-415

1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-416

1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや弱

S-417

1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量の白色粒子・炭化物を含む。しまり強

2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強

3 褐色土層 多量の褐色ブロックを含む。しまり強

S-439

1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-440

1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-441

1 暗褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強

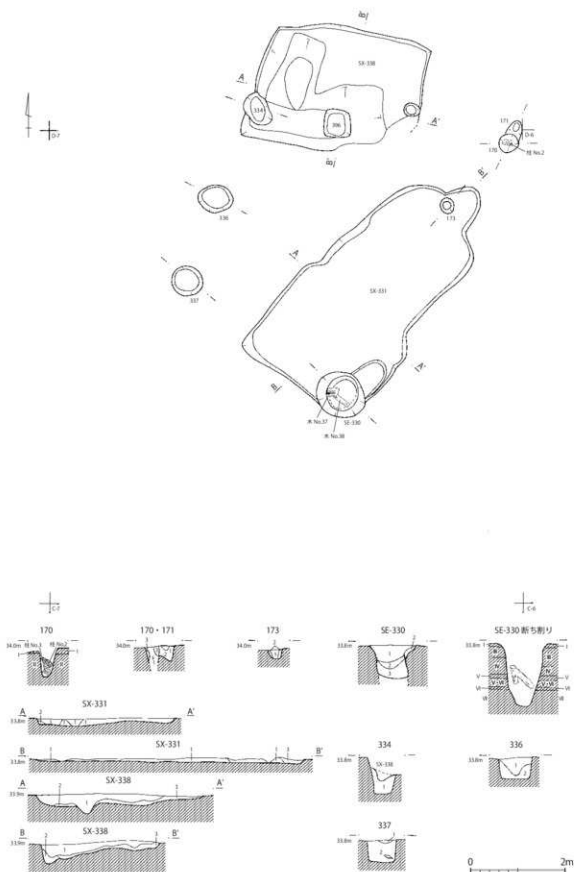
S-442

1 明褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまりやや弱

S-447

1 褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強

2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強



第48図 8区調査区分割遺構図

S-170・171

- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
 3 暗褐色土層 2層とはほぼ同じ。ロームブロックの風化が少ない

S-172

- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 2層とはほぼ同じ。ロームブロックの風化が少ない

SE-330

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまりやや強
 2 褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや弱
 3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや弱

SX-331

- 1 黒色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり弱
 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや強
 3 黒色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや強

S-334

- 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり弱。木片出土

S-336

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しまり強

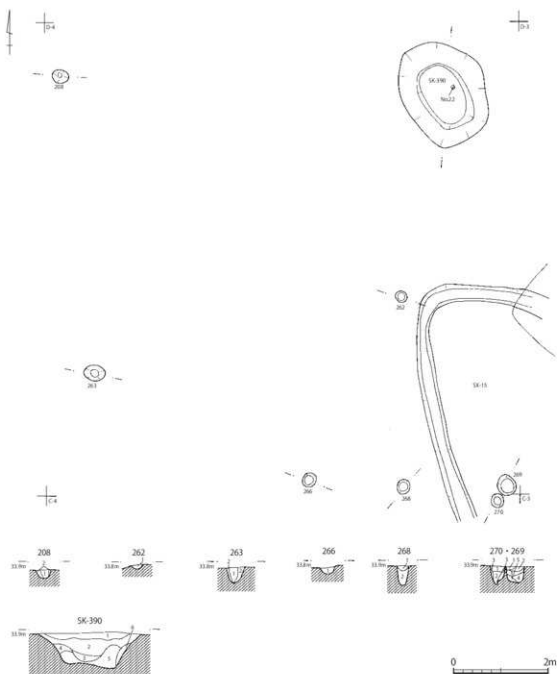
S-337

- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のロームブロックを含む。しまりやや強
 2 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・ロームブロックを含む。しまりやや強

SX-338

- 1 明黒褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
 3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

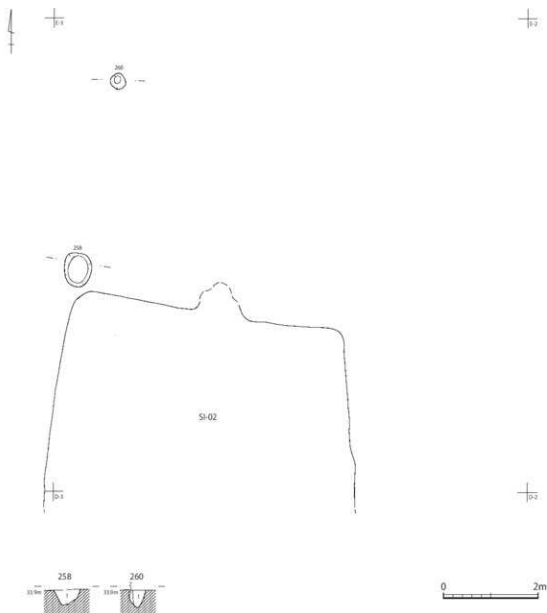




第49図 5区調査区分割遺構図

- S-208
1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
S-262
1 灰褐色土層 少量の白色粒子を含む。しまり強
S-263
1 加褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり弱
2 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや強
S-266
1 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまりやや弱
S-268
1 灰褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しまりやや強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
S-270
1 灰褐色土層 少量の白色粒子を含む。しまりやや弱
2 加褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

- S-269
1 灰褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり弱
2 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや弱
3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや強
4 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
5 黒色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
SK-390
1 明褐色土層 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しまりやや強
2 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しまりやや弱
3 黒色土層 微量のローム粒子を含む。しまりやや弱
4 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや強
5 暗褐色土層 多量のローム粒子・黒色土を含む。しまり強
6 黒色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強



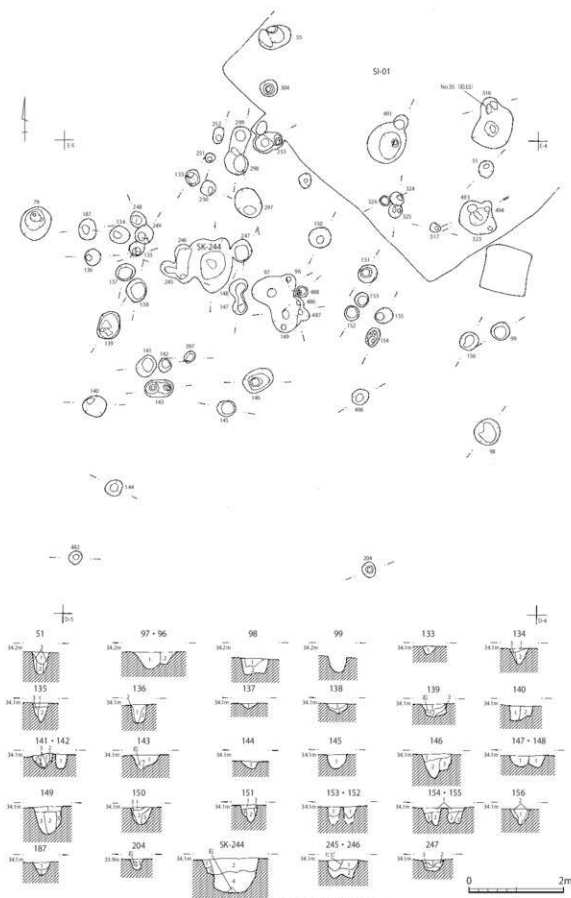
第50図 9区調査区分割遺構図

S-258

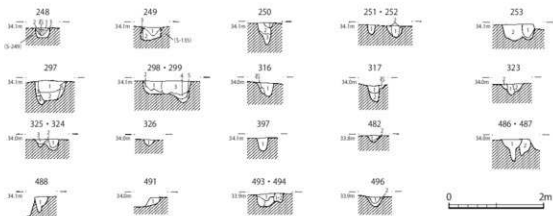
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・白色粒子を含む。しまり強

S-260

1 暗褐色土層 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強



第51図 11区調査区分割遺構図①



第52図 11区調査区分割別遺構図②

- S-51
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりり強
2 暗褐色土層 やや少量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土を含む。しりり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりりやや弱
- S-96・97
1 暗褐色土層 多量の白色粒子と少量のロームブロックを含む。しりり強。S-97遺土
2 暗褐色土層 多量の白色粒子と少量のローム粒子を含む。しりり強
- S-98
1 暗褐色土層 多量の白色粒子と少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりり強
- S-133
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
- S-134
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりり弱
3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりり強
- S-135
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりり強
3 暗褐色土層 2層とはほぼ同じ。ローム粒子の混入が多い
- S-136
1 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりり弱
2 黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりり強
- S-137
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
- S-138
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりり弱
- S-139
1 黒褐色土層 微量のロームブロックを含む。しりり強
2 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しりりやや強
3 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量のロームブロックを含む。しりり強
- S-140
1 明褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しりりやや強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりり弱
- S-141
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子、微量の炭化物を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりり強
3 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりりやや強
- S-142
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
- S-143
1 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりりやや弱
- S-144
1 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりりやや強
- S-145
1 黒褐色土層 少量の白色粒子と微量のローム粒子を含む。しりりやや強
- S-146
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しりり弱
- S-147
3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりり強
- S-148
1 黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりり強
- S-149
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しりり弱
3 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりり強
- S-150
1 明褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しりり弱
3 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりり強
- S-151
1 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しりりやや弱
3 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しりり強
- S-152
1 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しりりやや強
- S-153
1 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しりりやや強
- S-154
1 暗褐色土層 少量の白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりりやや弱
3 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりりやや強
- S-155
1 明褐色土層 微量の白色粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりりやや弱
3 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しりりやや強
- S-156
1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量のロームブロックを含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりり弱
- S-187
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しりり強
2 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりり強
- S-204
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土を含む。しりり強
- SK-244
1 暗褐色土層 やや多量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しりり強
2 暗褐色土層 やや少量のローム粒子と少量の白色粒子、微量の焼土・炭化物を含む。しりり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりり強
4 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物・褐色土ブロックを含む。しりりやや弱
- S-245・246
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物と少量のローム粒子・焼土を含む。しりり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物とやや多量の褐色土ブロック、少量の焼土を含む。しりり強
- S-247
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のロームブロック、微量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりりやや強

S-248

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

S-249

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 1層とはほぼ同じ。ローム粒子の混入が多い
3 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり強

S-250

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 1層とはほぼ同じ。ローム粒子の混入が多い
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-251

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック・焼土を含む。しまり強

S-252

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック・焼土を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-253

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-297

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強

S-298・299

- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
3 明原褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
4 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
5 明原褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-298・299

- 1 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 明原褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量の白色粒子とやや多量のローム粒子、少量のロームブロックを含む。しまり強

4 褐色土層

- 多量のロームブロックを含む。しまり強
5 明原褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-316

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

S-317

- 1 褐色土層 多量の粘土ブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

2 暗褐色土層

- 多量のロームブロックを含む。しまりやや弱

S-323

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

2 暗褐色土層

- 多量のロームブロックと微量の炭化物を含む。しまり強

S-324・325

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

2 褐色土層

- 多量のロームブロックを含む。しまり強

3 暗褐色土層

- 1層とはほぼ同じ。ローム粒子の混入が少ない

S-326

- 1 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-337

- 1 灰褐色土層 少量の白色粒子を含む。しまり強

S-482

- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強

2 暗褐色土層

- 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-483・487

- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・白色粒子と少量のローム粒子を含む。しまり強

2 暗褐色土層

- 多量の褐色土ブロック・白色粒子と少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-488

- 1 明原褐色土層 多量の褐色土ブロックと微量のローム粒子・焼土を含む。しまり強

S-491

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・褐色土ブロックを含む。しまり強

S-493・494

- 1 明原褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しまり強

2 明原褐色土層

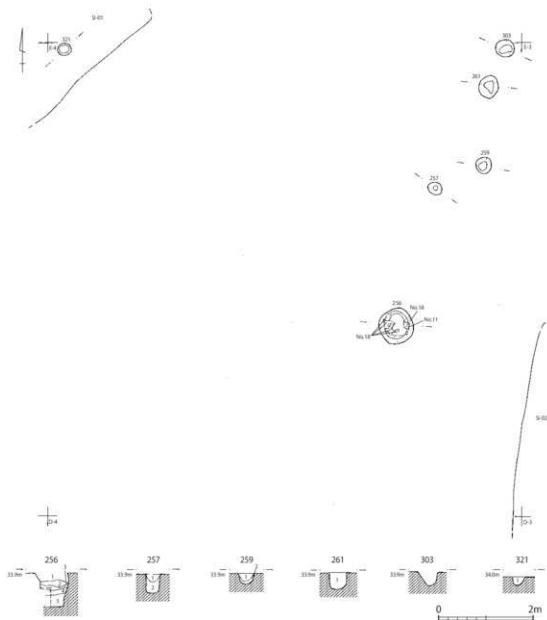
- 多量のロームブロックと少量の焼土を含む。しまり強

S-495

- 1 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強

2 暗褐色土層

- 多量のロームブロックを含む。しまり強



第53図 10区調査区分割遺構図

S-256

- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・白色粒子和少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや強
- 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
- 4 褐色土層 多量のロームブロック・白色粒子和少量のローム粒子を含む。しまり強
- 5 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強

S-257

- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量の白色粒子和少量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 地山

S-259

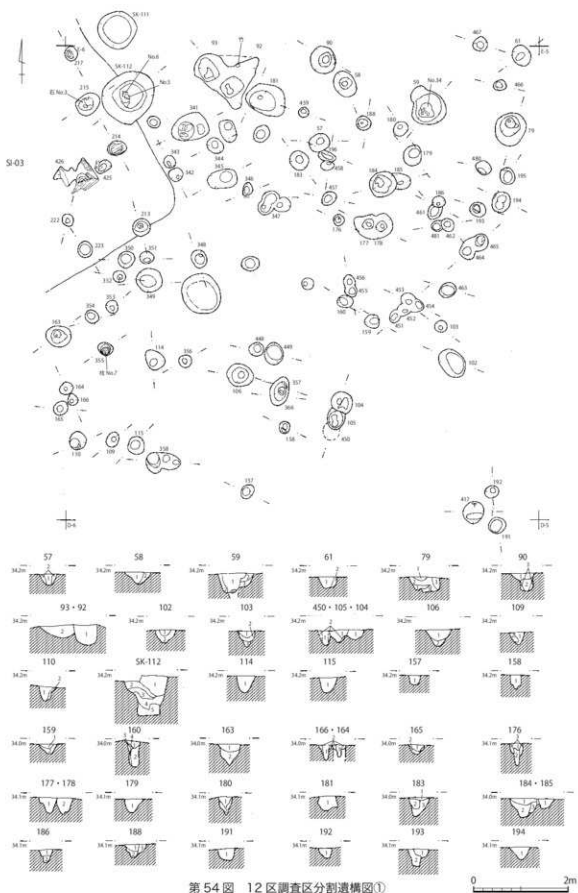
- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子和少量の炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや強

S-261

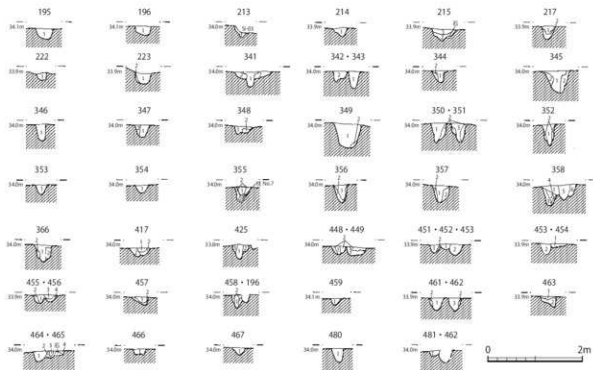
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・白色粒子和少量のローム粒子を含む。しまり強

S-321

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の地土・炭化物を含む。しまり強



第54図 12区調査区分割遺構図①



第 55 図 12 区調査区分割遺構図②

- | | | | | | |
|---------|----------|---------------------------------|--------|---------|--|
| S-67 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子を含む。しりやや強 | S-100 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-68 | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 | S-100 | 2 暗褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 |
| S-69 | 1 暗褐色土層 | 少量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しりや強 | S-100 | 1 暗褐色土層 | 多量のロームブロックとやや多量のローム粒子を含む。しりや強 |
| S-70 | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 | S-101 | 2 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しりや強 |
| S-71 | 1 暗褐色土層 | 多量のロームブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。しりや強 | S-110 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しりや強 |
| S-72 | 2 暗褐色土層 | 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しりや強 | S-110 | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 |
| S-73 | 3 黄褐色土層 | ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しりや強 | NK-112 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子・ロームブロック・白色粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-61 | 1 暗褐色土層 | 少量のロームブロックと少量の機土を含む。しりや強 | S-102 | 2 暗褐色土層 | 多量の白色粒子とやや多量のローム粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-74 | 2 黄褐色土層 | ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しりや強 | S-103 | 3 暗褐色土層 | やや多量の炭化物と少量のローム粒子・機土を含む。しりや強 |
| S-75 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子を含む。しりや強 | S-104 | 1 暗褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 |
| S-76 | 2 暗褐色土層 | 少量のロームブロックと炭化物を含む。しりや強 | S-105 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-77 | 3 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 | S-106 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子・白色粒子を含む。しりや強 |
| S-78 | 1 暗褐色土層 | 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しりや強 | S-107 | 2 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しりや強 |
| S-79 | 2 暗褐色土層 | やや多量の炭化物と少量のロームブロックを含む。しりや強 | S-108 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子を含む。しりや強 |
| S-80 | 3 暗褐色土層 | 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。しりや強 | S-109 | 1 暗褐色土層 | 少量のロームブロック・白色粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-92・93 | 1 暗褐色土層 | 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。しりや強 | S-110 | 2 暗褐色土層 | 多量のローム粒子を含む。しりや強 |
| S-94 | 2 明黒褐色土層 | 少量のローム粒子・炭化物と微量の白色粒子を含む。しりや強 | S-160 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-102 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子とやや多量の機土を含む。しりや強 | S-101 | 2 暗褐色土層 | 多量のローム粒子を含む。しりや強 |
| S-103 | 2 暗褐色土層 | やや多量のローム粒子を含む。しりや強 | S-160 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子・機土・炭化物を含む。しりや強 |
| S-104 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しりや強 | S-102 | 2 暗褐色土層 | 多量のローム粒子を含む。しりや強 |
| S-105 | 2 暗褐色土層 | 少量のロームブロックを含む。しりや強 | S-103 | 3 黄褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 |
| S-106 | 3 暗褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 | S-104 | 4 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 |
| S-107 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しりや強 | S-105 | 1 暗褐色土層 | 多量のローム粒子とやや多量の褐色土ブロック・少量のロームブロック・炭化物を含む。しりや強 |
| S-108 | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 | S-164 | 1 暗褐色土層 | やや多量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しりや強 |
| S-430 | 1 明黒褐色土層 | 少量のローム粒子を含む。しりやや強 | S-106 | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 |
| S-431 | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しりや強 | | | |

[illegible]

S-455・456

- 1 明褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
 3 明褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや強
 4 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-457

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまりやや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-458

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまりやや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-459

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまりやや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-461・462

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまりやや強

2 褐色土層

- 多量のロームブロックを含む。しまり強

3 明褐色土層

- 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-463

- 1 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-464・465

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土と少量のロームブロックを含む。しまりやや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
 3 明褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
 4 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強

S-466

- 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強

S-467

- 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強

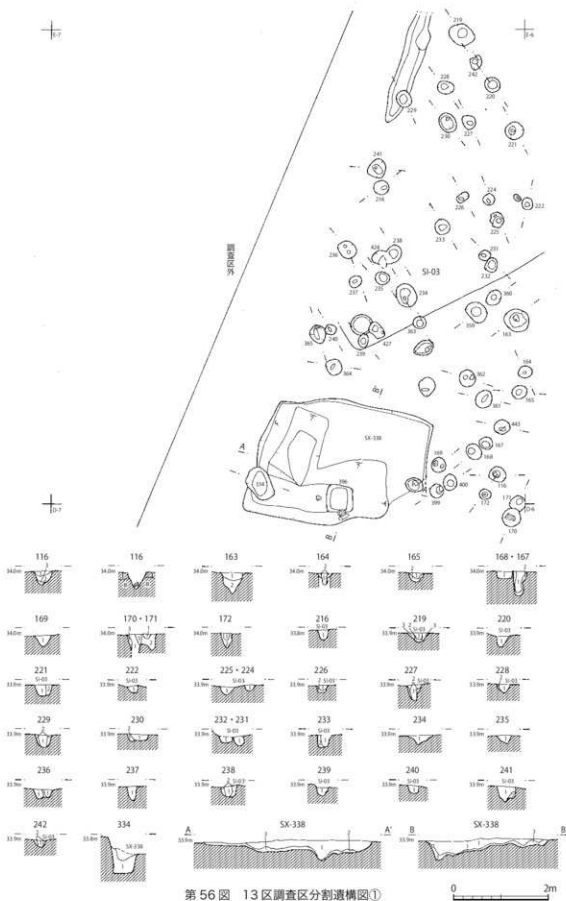
S-480

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強

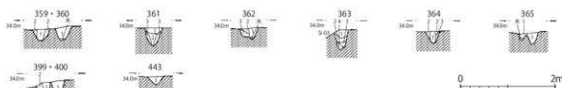
S-481

- 1 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強



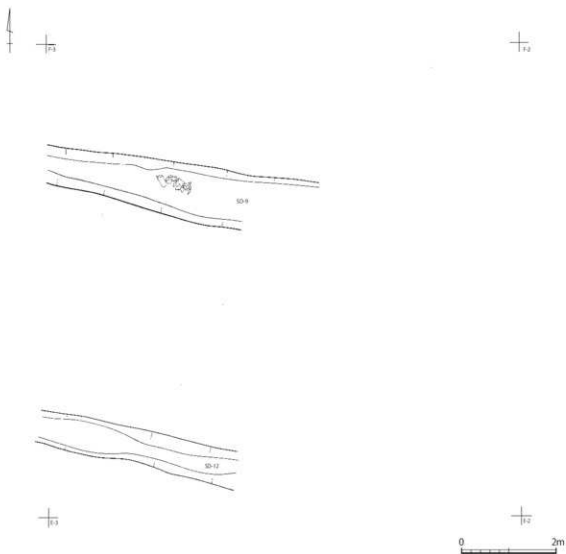


第56図 13区調査区分割遺構図①

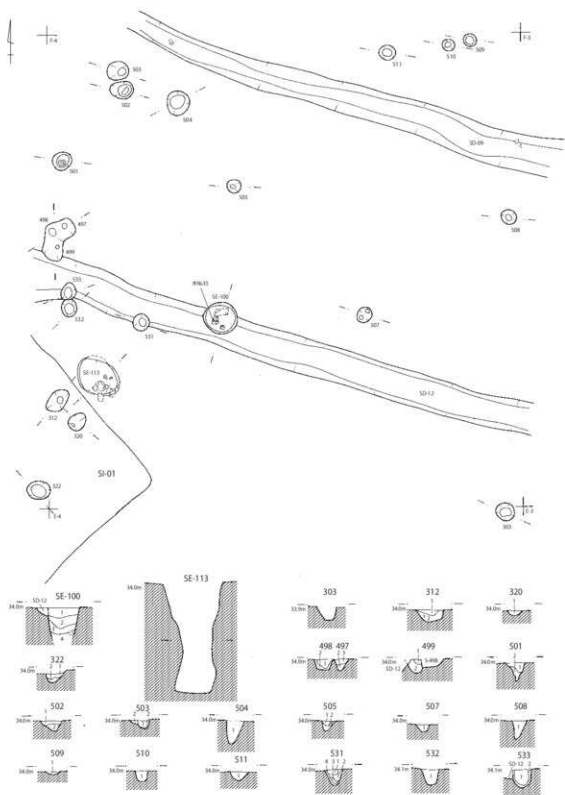


第57図 13区調査区分割遺構図②

- S-116
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の焼土を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりょう強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりょうや弱
- S-163
1 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量の褐色土ブロック、少量のロームブロック・炭化物を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-164
1 暗褐色土層 やや多量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-165
1 暗褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子・焼土を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックと少量の焼土を含む。しりょう強
- S-167
1 暗褐色土層 やや少量のローム粒子と少量の白色粒子・焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の白色粒子を含む。しりょう強
- S-168
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の白色粒子を含む。しりょう強
- S-169
1 暗褐色土層 少量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-170-171
1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
3 暗褐色土層 2層とは異なり、ロームブロックの混入が少ない
- S-172
1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 2層とは異なり、ロームブロックの混入が少ない
- S-216
1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の炭化物を含む。しりょうや弱
- S-219 (SI-03柱穴)
1 明褐色土層 多量のローム粒子・炭化物と少量の焼土を含む。しりょう強
2 明褐色土層 1層とは異なり、赤色粒子を含む。しりょう強
3 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しりょう強
- S-220
1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-221 (SI-03柱穴)
1 暗褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-222
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-224
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-225
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-226
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-227
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-228
1 暗褐色土層 多量の炭化物・焼土・ローム粒子を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-229
1 暗褐色土層 多量の炭化物・焼土・ローム粒子を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-230
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-231
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物・焼土を含む。しりょう強
- S-232
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物・焼土を含む。しりょう強
- S-233
1 暗褐色土層 多量の炭化物・焼土・ローム粒子を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-234
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-235
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-236
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-237
1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しりょう強
- S-238
1 暗褐色土層 やや多量の炭化物と少量のロームブロックを含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-239
1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しりょう強
- S-240
1 明褐色土層 多量の炭化物を含む。しりょう強
- S-241
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-242
1 暗褐色土層 多量の炭化物・焼土・ローム粒子を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-334
1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しりょう強。木片出土
- SK-338
1 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりょう強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-359
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のローム粒子、少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりょう強
- S-360
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のローム粒子、少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-361
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子・炭化物を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量の褐色土ブロックを含む。しりょう強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-362
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のローム粒子、少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりょう強
3 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりょう強
- S-363
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のローム粒子、少量の焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
3 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しりょう強
4 黄褐色土層 粘土層
- S-364
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・焼土・炭化物を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
3 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-365
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・焼土・炭化物を含む。しりょう強
- S-399
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の白色粒子を含む。しりょう強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりょう強
- S-400
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の白色粒子を含む。しりょう強
- S-443
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりょうや弱



第58図 14区調査区分割遺構図



第59図 15区調査区分割遺構図

SE-100

- 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の白色粒子・粘土ブロックを含む。しまり強
- 2 灰褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 4 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強。多量の木片出土

SD-12覆土

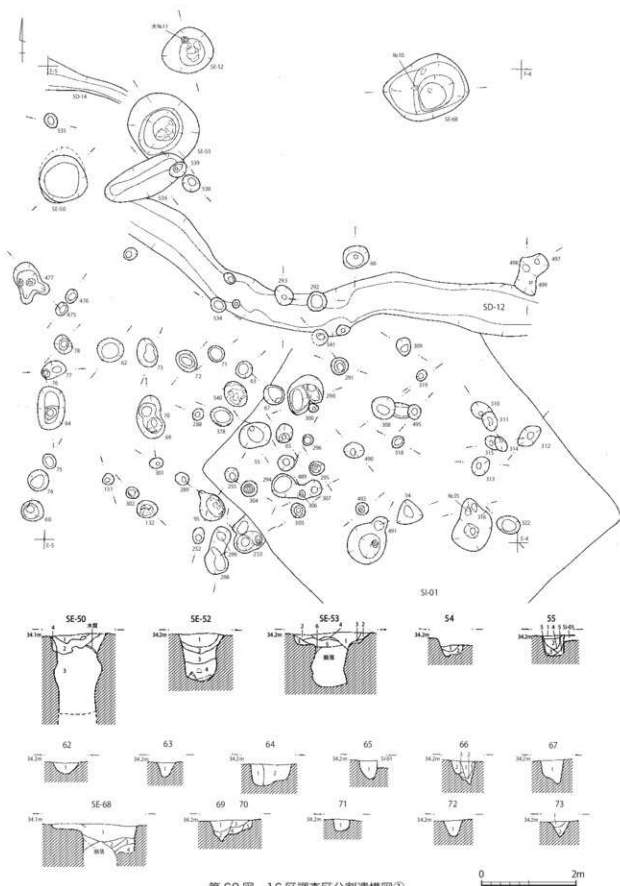
S-312

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・灰化物を含む。しまり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

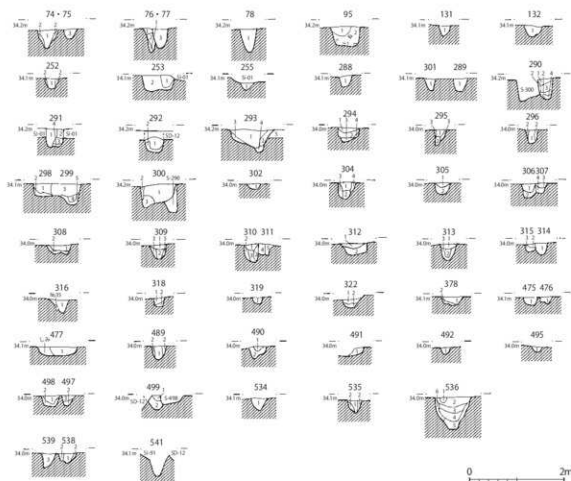
S-320	
1 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-322	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-497・498	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
S-499	
1 褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-501	
1 明黒褐色土層	多量のローム粒子とやや多量の炭化物を含む。しまり強
2 明黒褐色土層	やや多量のロームブロックを含む。しまり強
S-502	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-503	
1 明黒褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-504	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-505	
1 明黒褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックと微量の炭化物を含む。しまり強

S-507	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-508	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
S-509	
1 暗褐色土層	少量の炭化物と微量のローム粒子を含む。しまり強
S-510	
1 暗褐色土層	少量の炭化物と微量のローム粒子を含む。しまり強
S-511	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-531	
1 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロック、微量の炭化物を含む。しまり強
2 明黒褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
4 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-532	
1 暗褐色土層	少量のローム粒子・ロームブロック、微量の焼土・炭化物を含む。しまり強
S-533	
1 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロック、微量の炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強





第60図 16区調査区分割遺構図①



SE-50
1 暗褐色土層 多量の白色粒子和少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
3 明黒褐色土層 やや少量のローム粒子を含む。しまり強
4 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや強

SE-52
1 暗褐色土層 多量の白色粒子和やや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量の炭化物と少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
3 明黒褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しまりやや弱
4 暗黒褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまりやや弱

SE-53
1 暗褐色土層 少量の白色粒子・焼土を含む。しまり強
2 褐色土層 粘土を主体とし多量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量の白色粒子を含む。しまり強
4 暗褐色土層 多量の白色粘土ブロックとやや多量の炭化物、少量の焼土を含む。しまり強
5 明黒褐色土層 多量の粘土ブロックと炭化物を含む。しまり強
6 灰白色土層 粘土を主体とし少量の黒色土を含む。しまり強

S-54
1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-55
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
4 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
5 黄褐色土層 ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しまり強

S-62
1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強

S-63
1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと微量の白色粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強

S-64
1 褐色土層 多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-65
1 暗褐色土層 少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

S-66
1 暗褐色土層 多量のローム粒子和やや多量の炭化物、少量のロームブロックを含む。しまりやや弱
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや弱
3 褐色土層 ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しまりやや弱

S-67
1 暗褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の焼土、微量の白色粒子を含む。しまり強

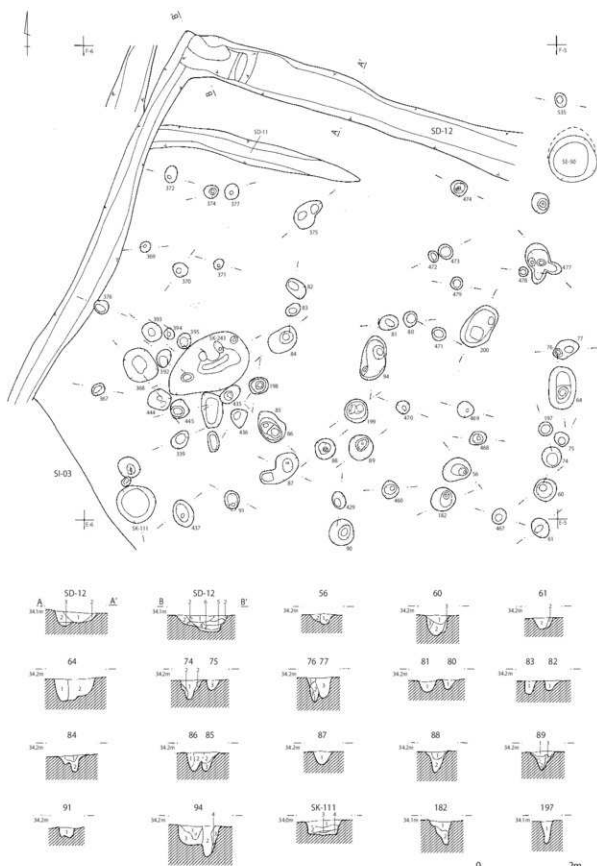
SE-68
1 明黒褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 やや多量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しまりやや弱
3 褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
4 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまりやや弱。多量の木片出土

S-69・70
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物と微量の白色粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物・白色粒子を含む。しまり強
4 明黒褐色土層 多量のローム粒子和少量の炭化物を含む。しまり強
5 褐色土層 ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しまり強

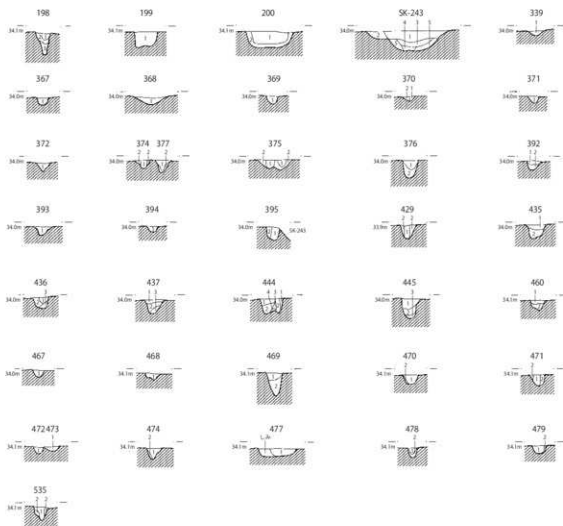
S-71
1 暗褐色土層 少量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強

第 61 図 16区調査区分割遺構図②

S-378				S-499	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強			1 褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
2 明褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-475・476				S-534	
1 暗褐色土層	少量のロームブロックを含む。しまり強			1 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロック、微量の炭化物を含む。しまり強
S-477				S-535	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子とやや多量のロームブロック、少量の炭化物を含む。しまり強			1 暗褐色土層	多量のロームブロックと少量のローム粒子、微量の焼土・炭化物を含む。しまり強
S-489				2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
1 暗褐色土層	やや多量の焼土・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強			S-536	
S-490				1 暗褐色土層	多量の褐色土ブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			2 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量の白色粒子、微量の焼土を含む。しまり強
1 明暗褐色土層	多量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強			3 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量の焼土を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			4 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の焼土を含む。しまり強
S-491				5 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・褐色土ブロックを含む。しまり強			6 黄褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-492				S-538・539	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しまり強			1 明褐色土層	やや少量のローム粒子・ロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
S-493				2 明暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しまり強			3 暗褐色土層	多量のローム粒子・褐色土ブロックと少量のロームブロック、微量の白色粒子を含む。しまり強
S-497・498					
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強				
2 褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強				
3 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強				



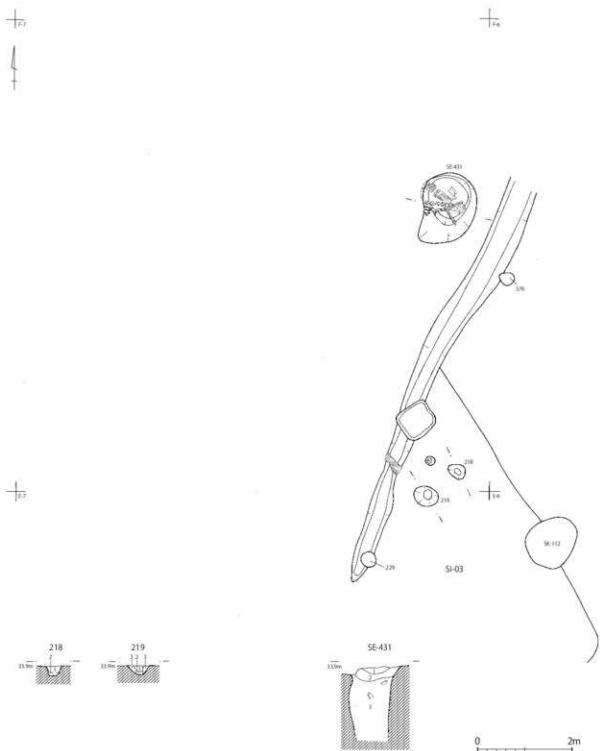
第62図 17区調査区分割遺構図①



第 63 図 17 区調査区分割遺構図②

- SD-12
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のロームブロックを含む。
しまり強
2 明褐色土層 多量のローム粒子・炭化物と少量のロームブロックを含む。
しまり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
4 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・白色粒子を含む。しまり強
5 褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のロームブロックを含む。
しまり強
6 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-56
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-60
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。
しまり強
2 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
3 黄褐色土層 ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しまり強
- S-61
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の焼土を含む。しまり強
2 黄褐色土層 ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しまり強
- S-64
1 褐色土層 多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。
しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-74・75
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-76・77
1 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックとやや少量の炭化物を含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-80
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
- S-81
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
- S-82
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
- S-83
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。
しまり強
- S-84
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。
しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
- S-85・86
1 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。
しまり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
- S-87
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。
しまり強

- S-88 1 暗褐色土層 やや少量の炭化物と少量のローム粒子・白色粒子を含む。しり強
- S-89 2 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しり強
- S-90 1 暗褐色土層 やや少量の炭化物と少量のローム粒子・白色粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しり強
- 3 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と微量の白色粒子を含む。しり強
- S-91 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しり強
- S-94 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の白色粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しり強
- 3 暗褐色土層 2層とはほぼ同じ。色調が明るい
- 4 明褐色土層 ローム土を主体とし少量の黒色土を含む。しり強
- SK-111 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・白色粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土を含む。しり強
- 3 明褐色土層 多量の炭化物を含む。しり強
- 4 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しり強
- S-182 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-197 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- S-198 1 暗褐色土層 少量のロームブロックと微量の白色粒子・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- 3 暗褐色土層 2層とはほぼ同じ。ロームブロックの層人が少ない
- S-199 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと微量の焼土・炭化物を含む。しり強
- S-200 1 暗褐色土層 やや少量のローム粒子・焼土を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- SK-243 1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の白色粒子を含む。しり強
- 3 明褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- 4 明褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しり強
- 5 黄褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- S-339 1 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量の褐色土ブロックを含む。しり強
- S-367 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-368 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-369 1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-370 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-371 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-372 1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-374 1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-377 1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-375 1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-376 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しり強
- 2 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-382 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物・焼土を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-383 1 明褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しり強
- S-384 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・白色粒子とやや多量の炭化物を含む。しり強
- S-395 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 明褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しり強
- S-429 1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-435 1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の白色粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-436 1 暗褐色土層 多量の白色粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- 3 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-437 1 暗褐色土層 多量の白色粒子と少量のローム粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 微量のローム粒子・白色粒子を含む。しり強
- 3 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-444 1 暗褐色土層 少量の白色粒子・ローム粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しり強
- 3 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しり強
- 4 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-445 1 暗褐色土層 多量の白色粒子と少量のローム粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しり強
- 3 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-460 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-467 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- S-468 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- S-469 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- 2 暗褐色土層 少量の炭化物と微量のローム粒子を含む。しり強
- S-470 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-471 1 明褐色土層 微量のローム粒子を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-472~473 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- S-474 1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-477 1 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量のロームブロック。少量の炭化物を含む。しり強
- S-478 1 暗褐色土層 少量の褐色土ブロックを含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-479 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-515 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子・微量の焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強



第64図 18区調査区分割遺構図

S-218

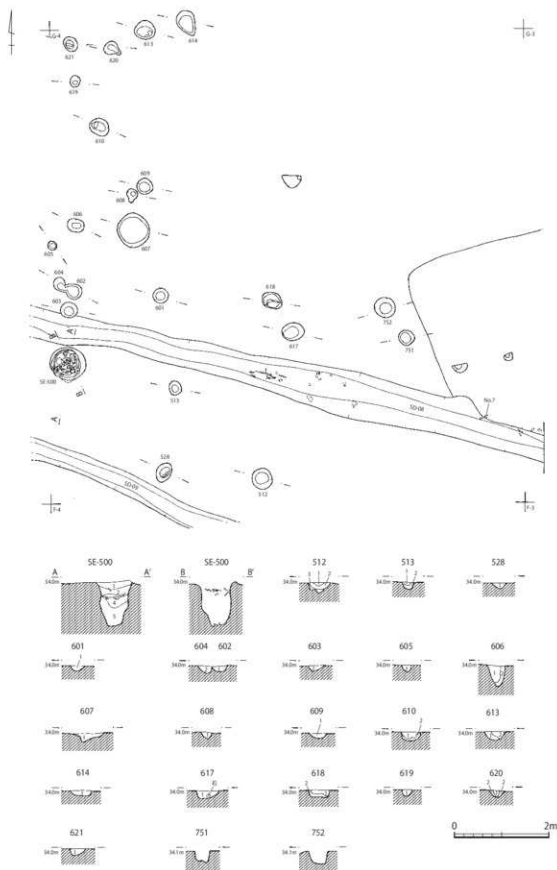
- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-219 (SI-03柱穴)

- 1 明黒褐色土層 多量のローム粒子・炭化物と少量の焼土を含む。しまり強
2 明黒褐色土層 1層とはほぼ同じ。赤色粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強

SE-431

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量の炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しまり強
3 明黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり弱。木片が少量出土



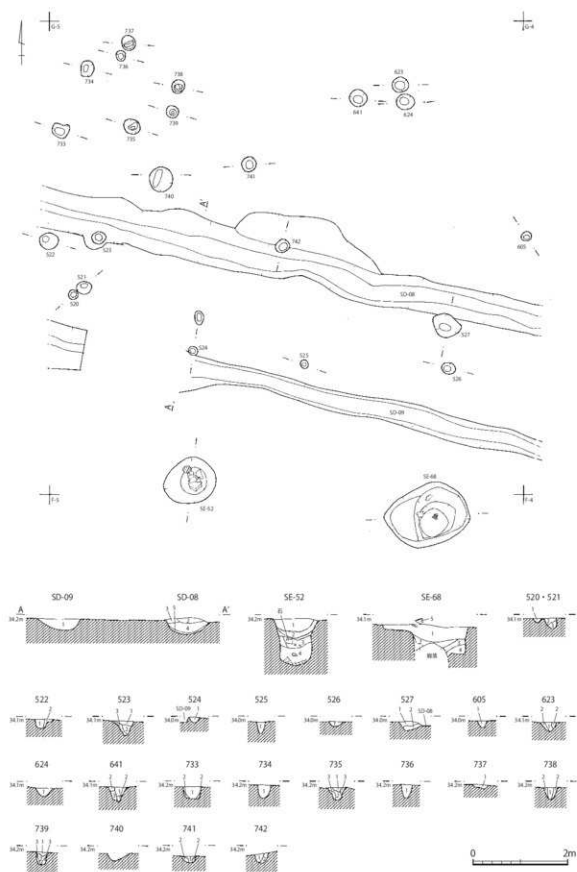
第 65 図 20 区調査区分割遺構図

SE-500

- 1 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物とやや多量のローム粒子・白色粒子、少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量の焼土と少量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 明灰褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまりやや強
- 4 明灰褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまりやや強
- 5 灰褐色土層 しまり強。多量の木片出土
- S-512
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・褐色土ブロックと微量の焼土を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 少量の炭化物と微量のローム粒子を含む。しまり強
- S-513
- 1 暗褐色土層 多量の炭化物と微量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-528
- 1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-601
- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-602・604
- 1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 明暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-603
- 1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-605
- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-606
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量のロームブロック、少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- 2 明灰褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
- S-607
- 1 褐色土層 多量の褐色土ブロック・白色粒子と少量の炭化物を含む。しまり強

S-608

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しまり強
- S-609
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-610
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物と少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しまり強
- S-613
- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-614
- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子とやや多量のローム粒子・焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強
- S-617
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強
- S-618
- 1 褐色土層 多量のローム粒子・白色粒子を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-619
- 1 明灰褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-620
- 1 明灰褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-621
- 1 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強



第66図 21区調査区分割遺構図

SD-08・09				S-605	
1 暗褐色土層	多量の褐色土ブロック・粘土ブロック・ローム粒子・焼土・炭化物と少量の白色粒子を含む。しまり強			1 暗褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強			S-623	
3 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロック、微量の焼土・炭化物を含む。しまり強			1 明黒褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
4 暗褐色土層	多量の褐色土ブロックとやや多量のローム粒子・白色粒子、少量の焼土・炭化物を含む。しまり強			2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
5 明黒褐色土層	少量の焼土・炭化物を含む。しまり強			S-624	
SE-52				1 明黒褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
1 暗褐色土層	多量の白色粒子とやや多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強			S-641	
2 暗褐色土層	多量の炭化物と少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強			1 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強
3 明黒褐色土層	少量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しまりや弱			2 暗褐色土層	多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強
4 暗黒褐色土層	微量のローム粒子を含む。しまりや弱			3 褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
SE-68				S-733	
1 明黒褐色土層	多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強			1 明黒褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層	やや多量の炭化物と少量のローム粒子を含む。しまりや弱			2 明黒褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり弱
3 褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまりや弱			S-734	
4 暗褐色土層	少量のロームブロックを含む。しまりや弱、多量の木片出土			1 明黒褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の白色粒子を含む。しまり強
S-520・521				S-735	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			1 暗褐色土層	やや多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層	やや多量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強			2 明黒褐色土層	少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量のロームブロック、微量の焼土・炭化物を含む。しまり強			3 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-522				S-736	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・焼土・炭化物とやや多量のロームブロックを含む。しまりや弱			1 暗褐色土層	少量のローム粒子と微量の焼土を含む。しまり強
2 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			S-737	
S-523				1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりや弱
1 暗褐色土層	少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強			S-738	
2 明黒褐色土層	やや多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強			1 暗褐色土層	多量のロームブロック・炭化物と微量の焼土を含む。しまり強
3 明褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-524				S-739	
1 明褐色土層	多量のロームブロックと微量の焼土・炭化物を含む。しまり強			1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
S-525				2 暗褐色土層	やや多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり強
1 明黒褐色土層	しまり弱			3 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまりや弱
S-526				S-741	
1 明黒褐色土層	少量のロームブロックを含む。しまり強			1 暗褐色土層	やや多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
S-527				2 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
1 明黒褐色土層	少量のロームブロックと微量のローム粒子を含む。しまり強			S-742	
2 明黒褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強			1 明黒褐色土層	多量のローム粒子と微量の焼土・炭化物を含む。しまり強
				2 明黒褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

SD-14

- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のロームブロックを含む。しり強
2 明黒褐色土層 多量のローム粒子・炭化物と少量のロームブロックを含む。しり強

SX-40

- 3 明黒褐色土層 微量のローム粒子を含む。しり強
1 褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量のローム粒子、少量の白色粒子を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
4 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しり強
5 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強

6 明黒褐色土層

S-430

- 1 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しり強
4 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しり弱

SX-432

- 1 暗褐色土層 微量のローム粒子・炭化物を含む。しり強
2 暗褐色土層 微量のローム粒子を含む。しり強
3 明黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり弱、多量の木屑出土
4 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・粘土ブロックを含む。しりやや強
5 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しりやや弱
6 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量のロームブロックを含む。しりやや弱

SX-433

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・白色粒子・炭化物と少量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
4 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しり強
S-434
1 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しり強
4 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しり弱

S-514・515

- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量の焼土・炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
4 暗褐色土層 3層とはほぼ同じ。ロームブロックの混入が少ない
S-516
1 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
2 褐色土層 1層とはほぼ同じ。ロームブロックの混入が少ない
S-517
1 褐色土層 やや多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しり強

S-518

- 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土を含む。しり強
2 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
S-519
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土を含む。しり強
3 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強

S-522

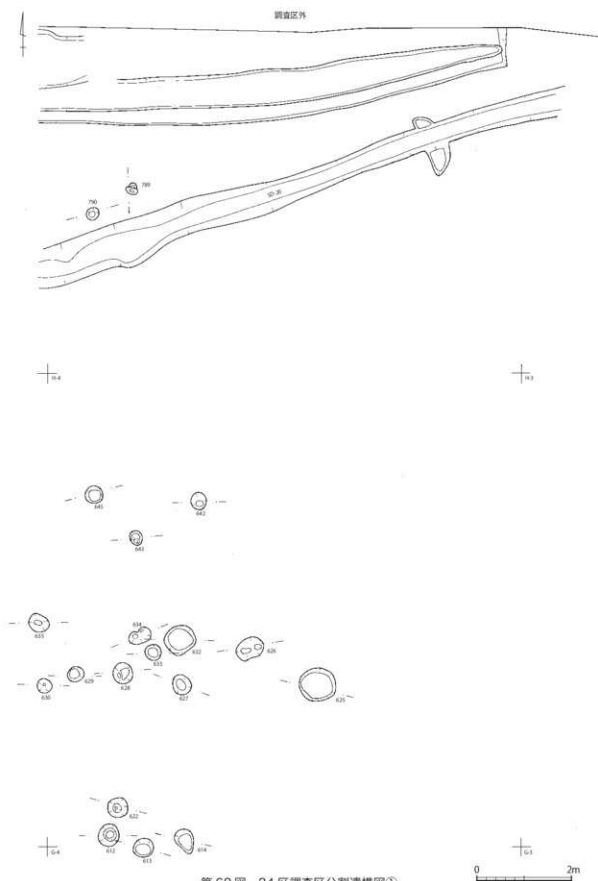
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物とやや多量のロームブロックを含む。しりやや強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-529
1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と微量の焼土・炭化物を含む。しり強
2 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
SK-530
1 暗褐色土層 多量の炭化物とやや多量のローム粒子・焼土、少量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物と微量の焼土・白色粒子を含む。しり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
4 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物と少量の焼土を含む。しり強
5 明黒褐色土層 やや多量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強

S-537

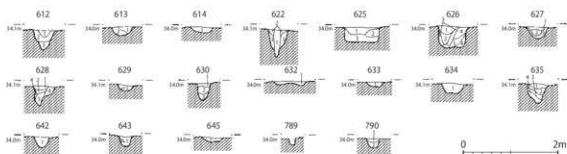
- 1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量のロームブロックを含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-728
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と微量の焼土を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと微量の焼土・炭化物を含む。しり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-729・730
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック・白色粒子を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
4 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しり強
S-731
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと微量のローム粒子を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強

S-732

- 1 明黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
2 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり弱
S-744
1 褐色土層 多量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しり強
S-745
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しり強
2 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-746
1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の焼土を含む。しり強
S-750
1 明黒褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック、微量の焼土・炭化物を含む。しり強



第68図 24区調査区分割遺構図①



第 69 図 24 区調査区分割遺構図②

S-612

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子和やや多量のローム粒子・焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 明黒褐色土層 多量

S-613

- 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-614

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子和やや多量のローム粒子・焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強

S-622

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の白色粒子・炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- 3 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-625

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の白色粒子を含む。しまり強

S-626

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 2 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 3 明褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-627

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子和やや多量のローム粒子・焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 4 明黒褐色土層 3層とはほぼ同じ。色調が暗い
- 5 黄褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-628

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子和やや多量のローム粒子・焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- 3 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-628

- 1 暗褐色土層 多量の白色粒子和やや多量のローム粒子・焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 明黒褐色土層 多量の焼土と少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- 4 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-629

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-630

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量の焼土と少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- 3 明黒褐色土層 多量

S-632

- 1 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-633

- 1 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまりやや弱

S-634

- 1 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

S-635

- 1 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 3 明黒褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しまり強
- 4 明黒褐色土層 多量

S-642

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまり強

S-643

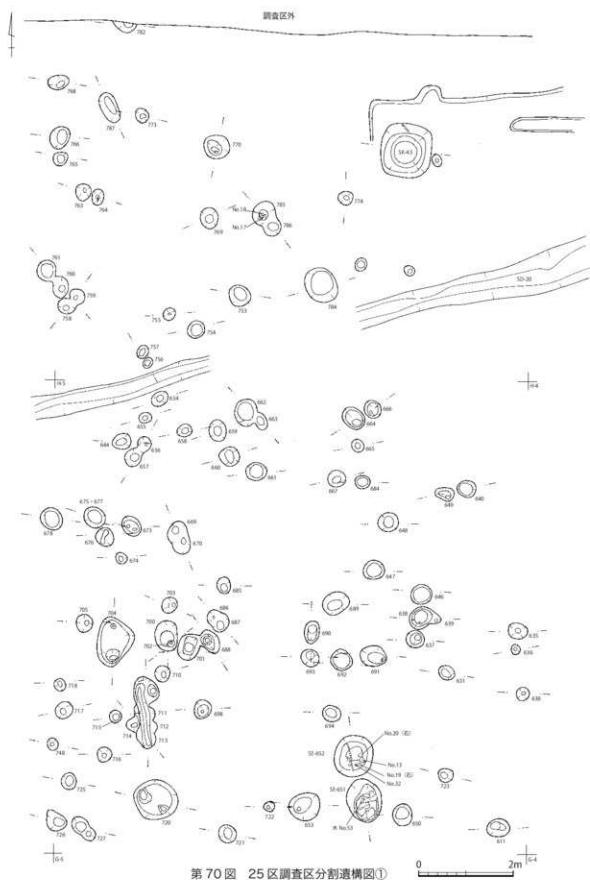
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

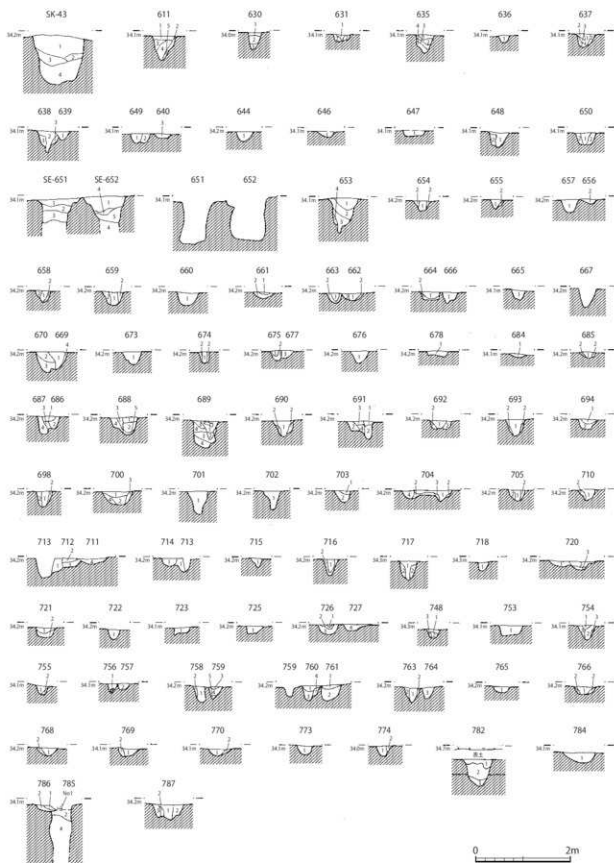
S-645

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまり強

S-790

- 1 暗褐色土層 多量の炭化物を含む。しまり強
- 2 褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強

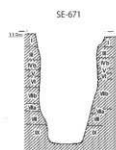
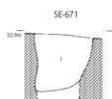
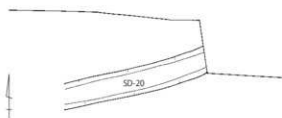




第71図 25区調査区分割遺構図②

- S-763・764
1 褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 3 明黒褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物を含む。しまり弱
- S-765
1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-766
1 褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-768
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-769
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
- S-770
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
- S-773
1 明黒褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物を含む。しまり弱

- S-774
1 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまりやや弱
- S-782
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・白色粒子と少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまりやや弱
- 3 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまりやや弱
- S-784
1 暗褐色土層 微量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-785・786
1 明黒褐色土層 多量の粘土ブロックを含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- 3 暗黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- 4 暗黒褐色土層 微量のローム粒子を含む。しまり強
- S-787
1 明黒褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや弱
- 3 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまりやや弱



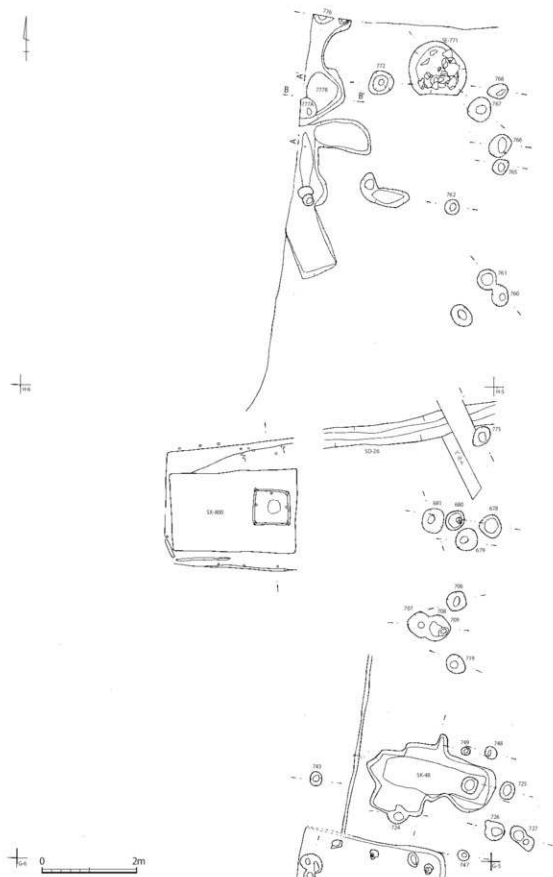
SE-671

1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭灰物を含む。しまり弱

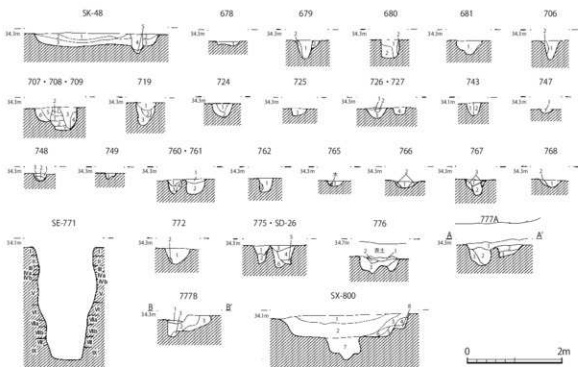


0 2m

第72図 23区調査区分割遺構図



第73図 26区調査区分割遺構図①



第74図 26区調査区分割遺構図②

- SK-48
1 明黒褐色土層 多量のローム粒子和少量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子和やや多量のロームブロックを含む。しり強
3 明黒褐色土層 多量のロームブロックとやや多量のローム粒子和。しり強
4 暗褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
5 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-678
1 明黒褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
S-679
1 暗褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-680
1 暗褐色土層 多量のローム粒子和やや多量の焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロック・黒褐色土ブロックを含む。しり強
S-681
1 暗褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
S-706
1 暗褐色土層 多量の炭化物とやや多量のローム粒子和、少量の焼土を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
S-707・708
1 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子和微量の焼土・炭化物を含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックと少量の焼土を含む。しり強
4 明黒褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しり強
5 暗褐色土層 少量のローム粒子和焼土と少量のロームブロック、微量の白色粒子和。しり強
6 灰褐色土層 微量のロームブロックを含む。しり強
7 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-719
1 暗褐色土層 やや多量のロームブロック・褐色土ブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
2 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
3 褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
S-724
1 暗褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロックと微量の白色粒子和。しり強
2 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強

- S-725
1 暗褐色土層 少量のローム粒子和微量の焼土を含む。しり強
S-726・727
1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子和焼土を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
3 暗褐色土層 多量のローム粒子和。しり強
4 褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックと少量の焼土を含む。しり強
S-743
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子和焼土を含む。しり強
2 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-747
1 暗褐色土層 少量のローム粒子和微量の焼土を含む。しり強
S-748
1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子和褐色土ブロックを含む。しり強
2 明黒褐色土層 微量のローム粒子和。しり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
S-749
1 暗褐色土層 少量のロームブロック・焼土を含む。しり強
S-760・761
1 暗褐色土層 多量のローム粒子和。しり強
2 明黒褐色土層 少量のロームブロックと微量のローム粒子和を含む。しり強
3 明黒褐色土層 多量のローム粒子和を含む。しり強
4 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
S-762
1 褐色土層 多量のローム粒子和少量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
S-765
1 暗褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
S-766
1 褐色土層 多量のローム粒子和少量のロームブロックを含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックと微量の炭化物を含む。しり強
S-767
1 明黒褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロックと微量の炭化物を含む。しり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子和ロームブロックを含む。しり強
3 明黒褐色土層 少量のローム粒子和ロームブロックと微量の炭化物を含む。しり強
S-768
1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量の炭化物を含む。しり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強

S-772

1 褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強

2 黄褐色土層 ロームブロック

S-775・SD-26

1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物と微量の白色粒子を含む。しまり強

2 明灰褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

3 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと微量のローム粒子・焼土を含む。しまり強

4 暗黒褐色土層 やや多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強

5 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

6 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強

S-776

1 暗褐色土層 少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強

2 暗褐色土層 少量のローム粒子・褐色土ブロックを含む。しまり強

3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-777A・B

1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子・炭化物を含む。しまりやや弱

2 暗黒褐色土層 少量のローム粒子・褐色土ブロックを含む。しまり強

3 褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強

SX-800

1 暗褐色土層 しまり強

2 暗灰褐色土層 しまり強

3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

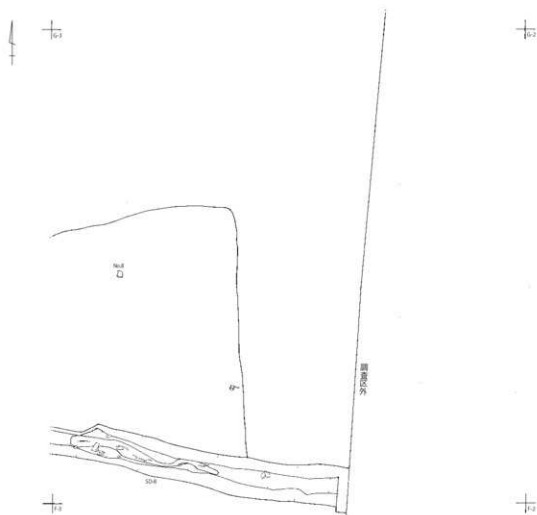
4 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックを含む。しまり強

5 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強

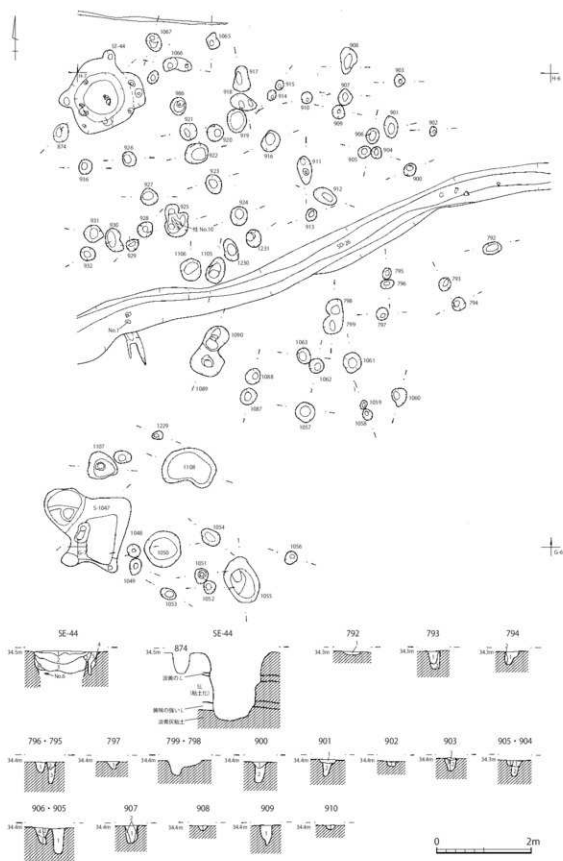
6 暗褐色土層 少量の焼土・炭化物を含む。しまり強

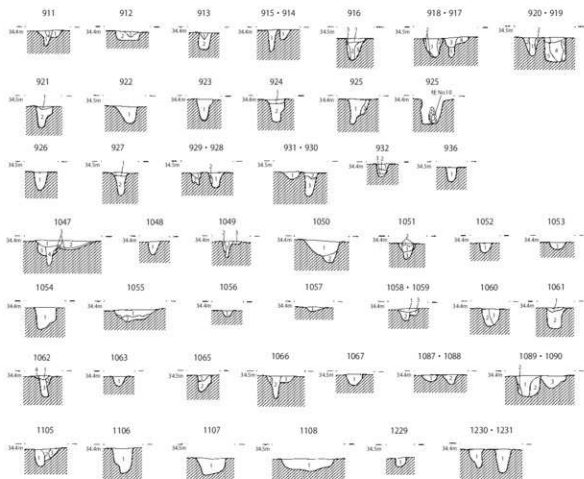
7 暗灰褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強

8 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強



第75図 19区調査区分割遺構図

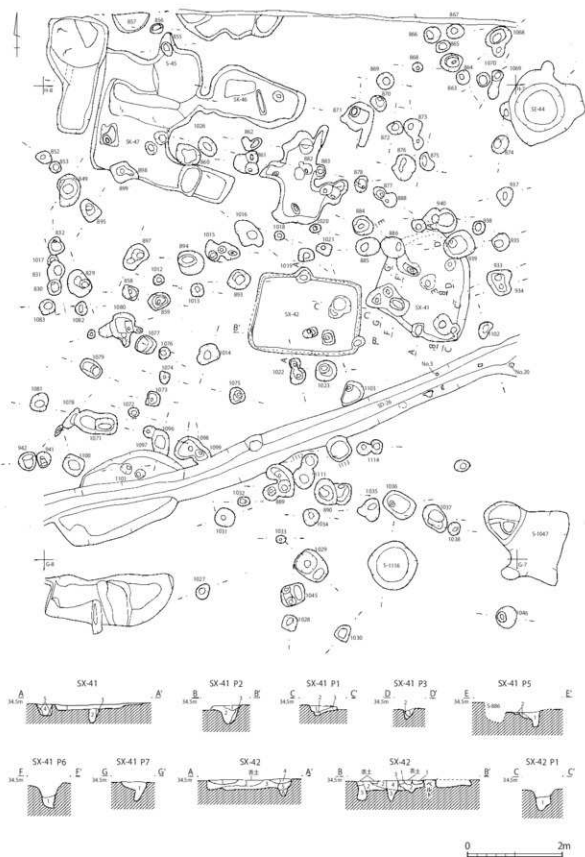




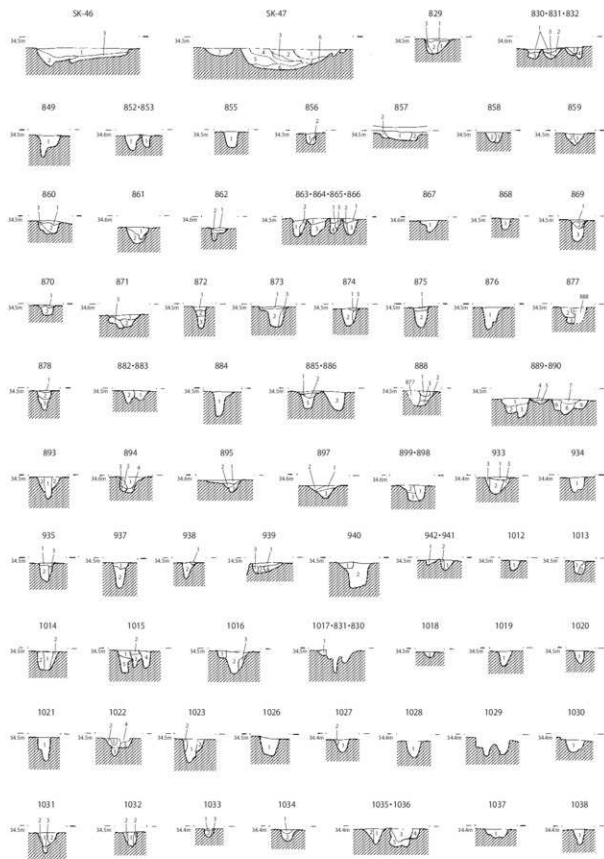
第77図 27区調査区分割遺構図②

- SF-44
 1 暗黒褐色土層 多量の褐色土ブロックを含む。しまり強
 2 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物とやや多量のローム粒子・微量のロームブロックを含む。しまり強
 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまりやや弱
 4 褐色土層 多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
 5 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・炭化物と少量のロームブロックを含む。しまり強
 6 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-792
 1 褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-793
 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む
- S-794
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
 2 褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
 3 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む
- S-795・796
 1 褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
 2 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む
- S-797
 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
- S-900
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

- S-901
 1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 やや多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
- S-902
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
- S-903
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
 3 暗褐色土層 やや多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
- S-904
 1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
 3 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック・微量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-905・906
 1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロック・微量の焼土・炭化物を含む。しまり強
 2 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
 3 暗褐色土層 多量の炭化物・焼土・ロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
 4 暗褐色土層 少量の炭化物・焼土・ローム粒子を含む。しまり強

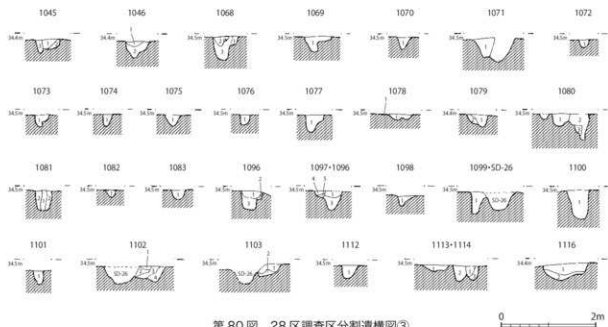


第78図 28区調査区分割遺構図①



第79図 28区調査区分割遺構図②

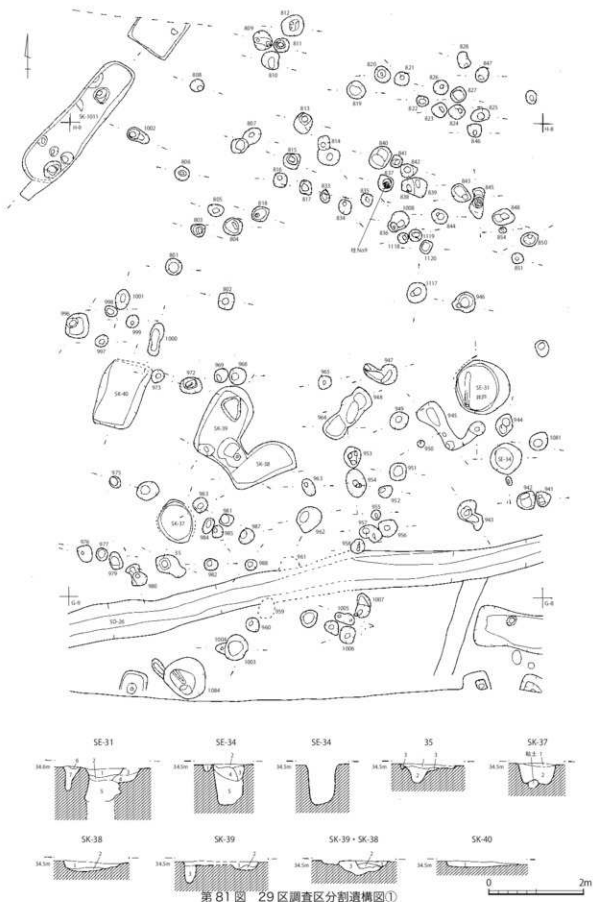
0 2m

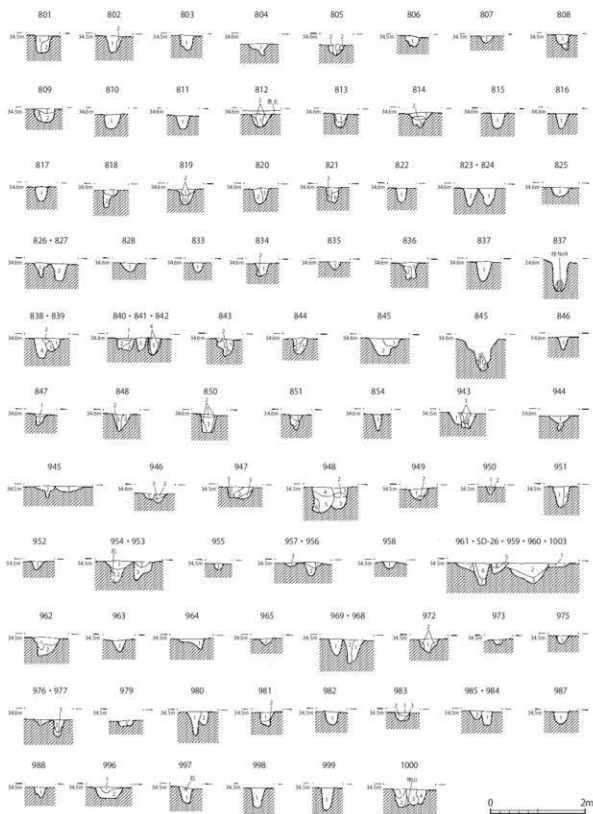


第80図 28区調査区分割図③

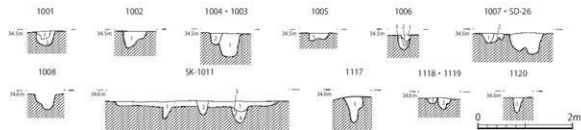
- SX-41**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりや中
 2 暗褐色土層 多量の炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しりやや弱
 3 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
 4 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しりや強
 5 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しりや強
- SX-41 P1**
 1 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物・焼土を含む。しりや強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりや強
 3 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりや強
- SX-41 P2**
 1 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物・焼土を含む。しりや強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりや強
 3 褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりや強
- SX-41 P3**
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しりやや弱
- SX-41 P5**
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しりやや弱
- SX-41 P6**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しりや強
- SX-41 P7**
 1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しりや強
- SX-42**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロックとやや多量のローム粒子、少量の焼土・炭化物を含む。しりや強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・焼土・炭化物を含む。しりや強
 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
 4 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しりや強
 5 暗褐色土層 多量の炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しりやや弱
 6 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しりやや弱
- SX-42 P1**
 1 明褐色土層 多量の炭化物とやや多量のロームブロック、少量の焼土を含む。しりやや弱
- SK-46**
 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物とやや多量のローム粒子・ロームブロック、少量の白色粒子を含む。しりや強
 2 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しりや強
 3 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
- SK-47**
 1 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物とやや多量のローム粒子・ロームブロック、少量の白色粒子を含む。しりや強
 2 明褐色土層 やや多量のローム粒子・褐色土ブロックを含む。しりや強
 3 暗褐色土層 少量の焼土・炭化物を含む。しりや強
 4 暗褐色土層 少量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しりや強
 5 暗褐色土層 少量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しりや強
 6 暗褐色土層 ローム土を主体とし少量の褐色土を含む。しりや強
 7 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。少量の炭化物を含む。しりや強
- S-829**
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックと微量の焼土を含む。しりや強
 2 明褐色土層 多量のローム粒子とやや少量の炭化物、少量のロームブロックを含む。しりや強
 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
- S-830・831・832**
 1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと微量の焼土を含む。しりや強
 2 暗褐色土層 やや多量のローム粒子・焼土を含む。しりやや弱
 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
 4 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりや強
- S-849**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しりや強
- S-852**
 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりや強
- S-853**
 1 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりや強
- S-855**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・褐色土ブロック・炭化物を含む。しりや強
- S-856**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・褐色土ブロック・炭化物を含む。しりや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりや強
- S-857**
 1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・褐色土ブロックを含む。しりや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりや強
- S-858**
 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しりやや弱
 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりやや弱
- S-859**
 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しりやや弱
 2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりやや弱
- S-860**
 1 暗褐色土層 少量のローム粒子と微量の焼土を含む。しりや強
 2 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子・褐色土ブロックを含む。しりや強
 3 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりや強
- S-861**
 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しりや強
 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりや強
- S-862**
 1 明褐色土層 多量のローム粒子を含む。しりやや強
 2 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しりや強
 3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しりや強







第82図 29区調査区分割遺構図②

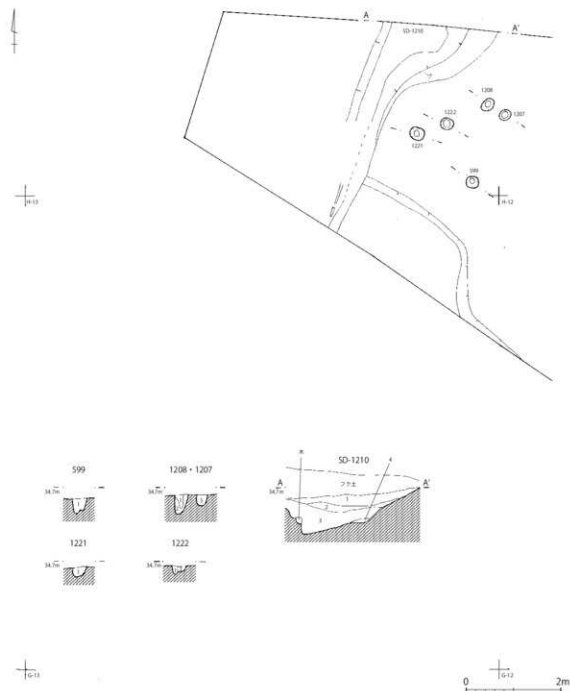


第83図 29区調査区分割遺構図③

- SE-31
1 暗褐色土層 少量のローム粒子・白色粒子・炭化物を含む。しまりやや弱
2 暗褐色土層 多量の焼土・炭化物とやや多量のローム粒子を含む。しまり強
3 明褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
4 暗褐色土層 多量のロームブロック・褐色土ブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
5 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
6 表土層
7 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- SE-34
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量の褐色土ブロック・ロームブロックを含む。しまり強
4 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物・ロームブロックを含む。しまり強
5 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまりやや強
- S-35
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の焼土・炭化物を含む。しまり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- SK-37
1 明褐色土層 少量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
2 明褐色土層 少量のローム粒子・粘土ブロックと微量の炭化物を含む。しまり強
- SK-38
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと炭化物を含む。しまりやや強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- SK-39
1 暗褐色土層 多量のロームブロックと炭化物を含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
- SK-40
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-801
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-802
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-803
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- S-804
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- S-805
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-806
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- S-807
1 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- S-808
1 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-809
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
3 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-810
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- S-811
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- S-812
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-813
1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しまりやや弱
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまりやや強
- S-814
1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
3 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-815
1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-816
1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-817
1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-818
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-819
1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまりやや弱
2 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強
- S-820
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや弱
2 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-821
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや弱
2 黄褐色土層 多量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまりやや弱
- S-822
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-823・824
1 暗褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
- S-825
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-826・827
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまりやや弱
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

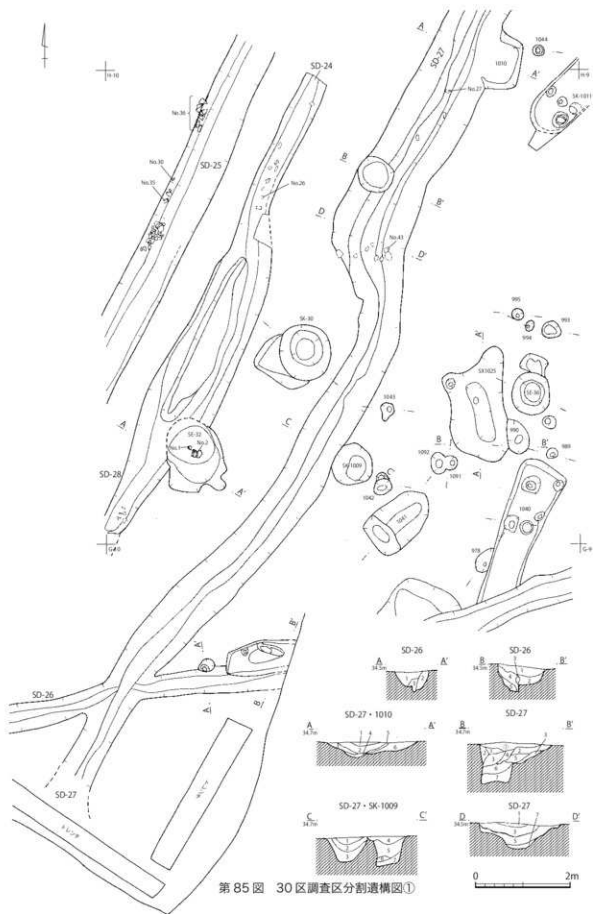
S-979	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-980	多量のロームブロック・ローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	少量のローム粒子を含む。しまり強
S-981	多量のローム粒子と微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
S-982	少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-983	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
3 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
S-984・985	多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり強
S-987	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
S-988	少量のローム粒子・焼土・炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-996	多量のロームブロック・ローム粒子と少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
S-997	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-998	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-999	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
1 暗褐色土層	

S-1000	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
4 褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物・焼土を含む。しまり強
S-1001	多量のローム粒子を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
S-1002	多量のロームブロック・ローム粒子・炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-1003・1004	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土を含む。しまり強
S-1005	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-1006	多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	微量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
3 褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しまり強
S-1007	多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
SK-26 焼土	
SK-1011	多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
3 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しまり強
4 明国褐色土層	多量のローム粒子と少量のロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
S-1117	多量のロームブロックを含む。しまり強
1 暗褐色土層	
S-1118・1119	少量のロームブロックを含む。しまり強
1 暗褐色土層	
2 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しまり強
S-1120	多量のローム粒子を含む。しまり強
1 暗褐色土層	

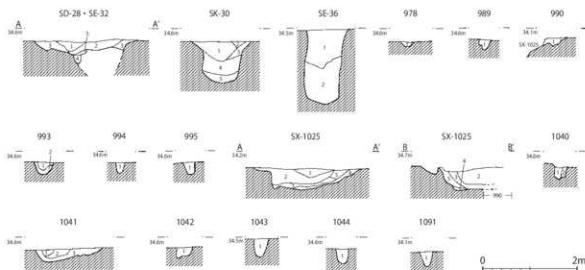


第84図 33区調査区分割遺構図

- | | | | | | |
|-------------|---------|-----------------------------------|--------|---------|--------------------------|
| S-599 | 1 暗褐色土層 | 少量のロームブロックを含む。しまり強 | S-1221 | 1 暗褐色土層 | 少量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強 |
| S-1207・1208 | 1 暗褐色土層 | やや多量のローム粒子と少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強 | S-1222 | 1 暗褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しまり強 |
| | 2 暗褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しまり強 | | 2 褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しまり強 |
| | 3 暗褐色土層 | 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強 | | | |
| SD-1210 | 1 暗褐色土層 | 微量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強。 | | | |
| | | 木屑出土 | | | |
| | 2 茶褐色土層 | 微量のローム粒子を含む。しまり強 | | | |
| | 3 黒褐色土層 | 微量のローム粒子を含む。しまり弱 | | | |
| | 4 黄褐色土層 | 多量のロームブロックを含む。しまり強 | | | |

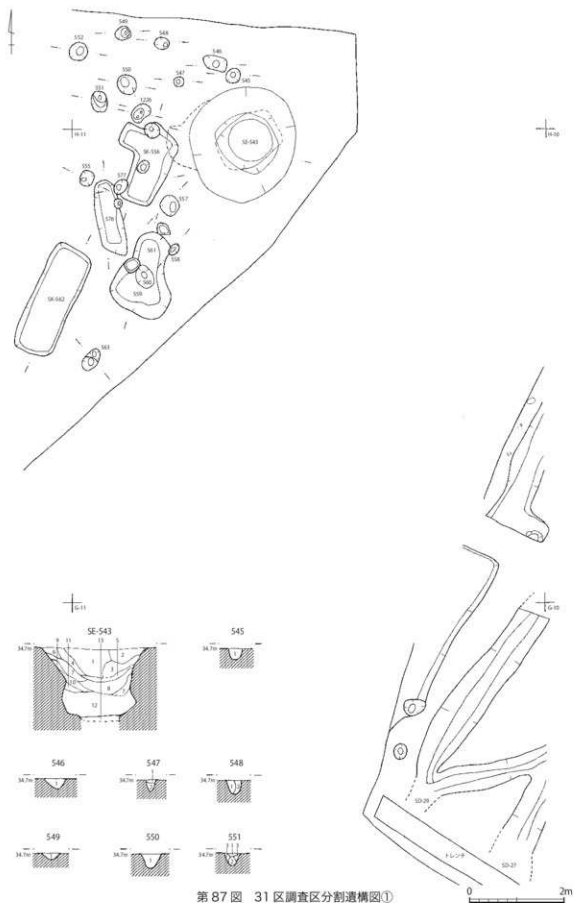


第 85 図 30 区調査区分割遺構図①

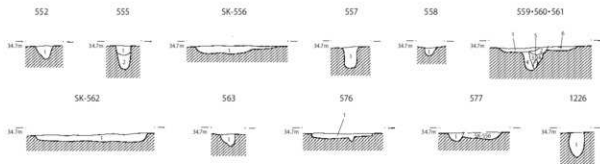


第86図 30区調査区分割遺構図②

S-205		S-903	
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロック・褐色土ブロック・機土・炭化物を含む。しりより強	1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の機土・炭化物を含む。しりより強
2 褐色土層	多量のローム粒子を含む。しりより強	2 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子と少量の機土・炭化物を含む。しりより強
3 明褐色土層	多量のロームブロックを含む。しりより強	S-904	
4 暗褐色土層	多量の褐色土ブロックと少量のローム粒子を含む。しりより強	1 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しりより強
5 暗褐色土層	少量のロームブロックを含む。しりより強	S-905	
SD-27・1010		1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の機土・炭化物を含む。しりより強
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・白色粒子と微量の機土・炭化物を含む。しりより強	SK-1009	
①暗褐色土層	1層と同じ。礫を含む。	1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しりより強
2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりより強	2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックと少量の炭化物を含む。しりより強
3 暗褐色土層	多量のローム粒子・炭化物・少量のロームブロックを含む。しりより強	5 暗褐色土層	多量のローム粒子を含む。しりより強
4 暗褐色土層	多量のローム粒子・炭化物・ロームブロックを含む。しりより強	6 明褐色土層	多量のローム粒子を含む。しりより強
5 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しりより強	7 明褐色土層	多量のローム粒子・炭化物を含む。しりより強
6 暗褐色土層	しりより弱	SK-1025	
7 明褐色土層	多量のロームブロックを含む。しりより弱	1 暗褐色土層	少量のローム粒子・機土を含む。しりよりやや強
SD-28・SE-32		2 暗褐色土層	少量のローム粒子を含む。しりより強
1 暗褐色土層	少量のローム粒子・炭化物を含む。しりより強	3 褐色土層	多量の褐色土ブロックを含む。しりよりやや強
2 暗褐色土層	少量のローム粒子とやや多量の機土・白色粒子を含む。しりより強	4 明褐色土層	ロームブロックを主体とし少量の褐色土を含む。しりより強
3 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりより強	5 暗褐色土層	やや多量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しりよりやや強
4 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しりより強	S-1040	
5 暗褐色土層	多量の粘土ブロックを含む。しりより強	1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりより強
SK-30		2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しりより強
1 暗褐色土層	少量のローム粒子・ロームブロックと微量の炭化物を含む。しりより強	S-1041	
2 暗褐色土層	やや多量のロームブロックと少量の炭化物を含む。しりより強	1 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しりより強
3 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物を含む。しりより強	2 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しりより強
4 暗褐色土層	やや多量のロームブロックと少量のローム粒子・機土・炭化物を含む。しりより強	S-1042	
5 褐色土層	多量のロームブロックを含む。しりより強	1 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しりより強
SE-36		SK-1043	
1 暗褐色土層	多量のロームブロックを含む。しりより強	1 褐色土層	多量のローム粒子を含む。しりより強
2 暗褐色土層	多量のローム粒子・ロームブロックとやや多量の機土・炭化物を含む。しりより強	S-1044	
3 暗褐色土層	微量のローム粒子・炭化物を含む。しりより強	1 褐色土層	多量のローム粒子を含む。しりより強
S-978		S-1051	
1 暗褐色土層	多量のロームブロック・ローム粒子を含む。しりより強	1 暗褐色土層	少量のローム粒子を含む。しりより強
S-980			
1 暗褐色土層	多量のローム粒子・炭化物と少量のロームブロックを含む。しりよりやや弱		
S-990			
1 暗褐色土層	多量の炭化物・機土・白色粒子・ロームブロックを含む。しりより強		



第 87 図 31 区調査区分割遺構図①

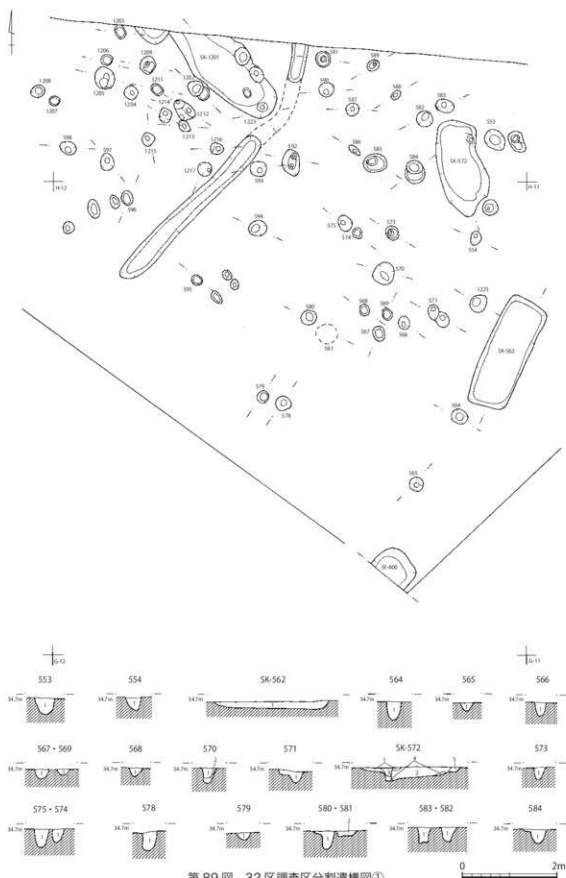


第88図 31区調査区分割遺構図②

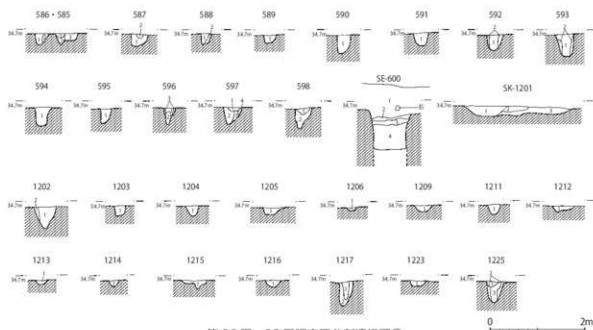
0 2m

- S-543
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・炭化物と少量の白色粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子とやや多量の焼土・炭化物、少量のロームブロックを含む。しまり強
3 暗褐色土層 多量の褐色土ブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強
4 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
5 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまり強
6 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
7 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
8 中層褐色土層 少量のローム粒子を含む。しまり強
9 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
10 暗褐色土層 多量のローム粒子を含む。砂状。しまり弱
11 黄褐色土層 砂質のローム土。しまり弱
12 黒褐色土層 砂質のローム土。しまり弱
13 暗褐色土層 多量の炭化物を含む。しまり弱
- S-545
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-546
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-547
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-548
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- S-549
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-550
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-551
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
3 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまり強
- S-552
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

- S-555
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- SK-S56
1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
- S-557
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-558
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-559・560・561
1 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
4 褐色土層 多量のロームブロック・褐色土ブロックを含む。しまり強
5 暗褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しまり弱
6 暗褐色土層 やや多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
- SK-S62
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-563
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-576
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-577
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しまり強
- S-1226
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックと少量の焼土を含む。しまり強



第 89 図 32 区調査区分割遺構図①



第90図 32区調査区分割遺構図②

- S-553
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-554
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しり強
- SK-562
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-564
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-565
1 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- S-566
1 明黒褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しり強
- S-567
1 明黒褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しり強
- S-568
1 明黒褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しり強
- S-569
1 明黒褐色土層 やや多量のローム粒子を含む。しり強
- S-570
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-571
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- SK-572
1 暗褐色土層 多量の褐色土層と少量のロームブロックを含む。しり強
- 2 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- 3 暗褐色土層 多量の褐色土層を含む。しり強
- 4 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-573
1 暗褐色土層 やや少量のロームブロックを含む。しり強
- S-574・575
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-578
1 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- S-579
1 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-580・581
1 明黒褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しり強
- 2 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-582・583
1 明黒褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しり強

- S-584
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-585
1 黄褐色土層 ロームブロック
2 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- 3 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- S-586
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-587
1 明黒褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-588
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-589
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-590
1 明黒褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しり強
- S-591
1 明黒褐色土層 やや多量のロームブロックを含む。しり強
- S-592
1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- 2 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しり強
- S-594
1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- S-595
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-596
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-597
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-598
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-599
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- S-600
1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロック・焼土・炭化物を含む。しり強
- 2 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しり強
- 3 土層

S-597

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量の炭化物を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 2層とはほぼ同じ、色調が明るい
- 4 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-598

- 1 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

SE-600

- 1 暗灰褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗灰褐色土層 1層とはほぼ同じ。ロームブロックの混入が少ない
- 3 暗褐色土層 多量のローム粒子・炭化物を含む。しまり強
- 4 暗褐色土層 多量の褐色土ブロックとやや多量の炭化物を含む。しまり強

SK-1201

- 1 明黒褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強
- 2 明黒褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強
- 3 暗褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強

S-1202

- 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のローム粒子と少量のロームブロックを含む。しまり強

S-1203

- 1 暗褐色土層 多量のロームブロックと少量のローム粒子を含む。しまり強

S-1204

- 1 暗褐色土層 少量のロームブロックを含む。しまり強

S-1205

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-1206 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1209

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- S-1211 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1212

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1213

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1214

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1215

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1216

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

S-1217

- 1 暗褐色土層 やや多量のローム粒子と少量のロームブロック・炭化物を含む。しまり強

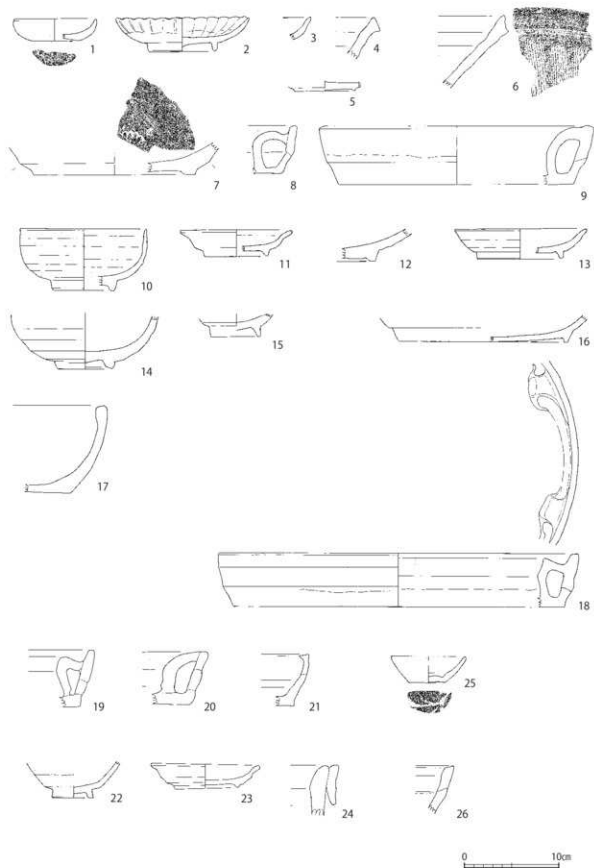
S-1223

- 1 暗褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強

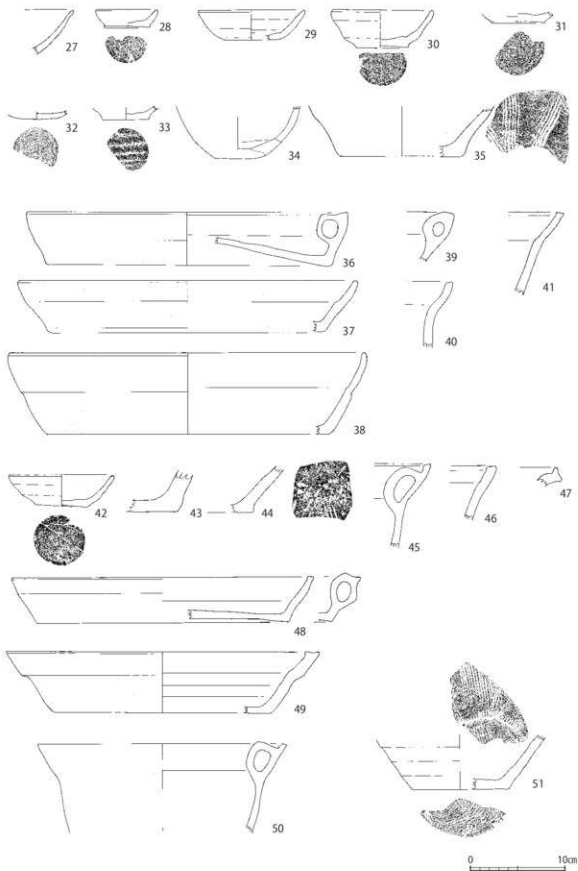
S-1225

- 1 褐色土層 多量のローム粒子・ロームブロックを含む。しまり強
- 2 暗褐色土層 多量のロームブロック・炭化物と少量のローム粒子を含む。しまり強

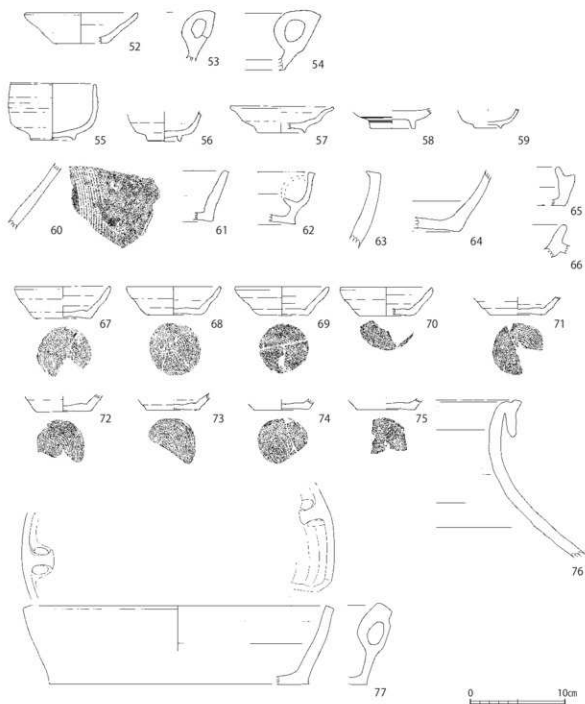
3 褐色土層 多量のロームブロックを含む。しまり強



第91図 SE・SD (中～近世) 出土遺物図①



第92図 SE・SD (中～近世) 出土遺物図②

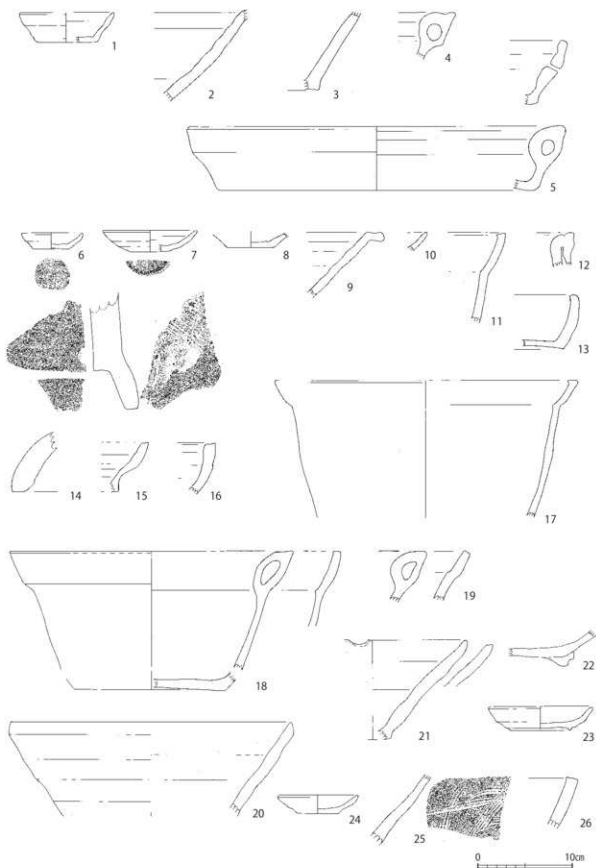


第93図 SE・SD (中～近世) 出土遺物図③

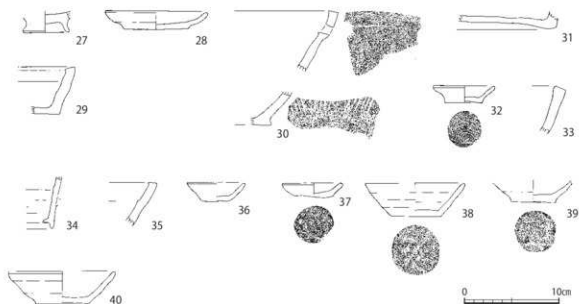
第17表 中近世 SE・SD 出土遺物観察表

番号	種別	器種	計測値 (cm)			形状	胎土	焼成	色調	出土状況	残存率 (%)	備考	
			口径 (測定)	底径 (測定)	高さ (測定)								
1	土師質土器	皿	(8.8)	(4.8)	3.3	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	やや粗粒、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y4/2	SD-08 覆土	40%	口縁外面にタール状物質付着。内外面に多量の腐食。行頭目。
2	瀬戸	菊皿	(14.0)	7.0	3.6	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5Y8/1	SD-08 覆土	40%	体部内外面に土に施した、濃緑、輪は濃緑色。底面内外面に多量の腐食が付き。
3	志野	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5Y8/3	SD-08 覆土	小片	内外面施釉
4	陶器	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、少量の砂粒を含む	やや不良	5R4/1	SD-08 覆土	小片	内外面施釉
5	志野	皿	-	(6.4)	-	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	2.5Y8/3	SD-08 覆土	30%	内外面施釉
6	須恵質陶器	楕鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、やや多量の砂粒を含む	不良	7.5YR8/8	SD-08 覆土	小片	内面に割目
7	瀬戸	皿	-	(17.0)	-	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5Y8/2	SD-08 覆土上層	10%	内面にスタンプによる菊文。内外面に濃緑色の釉
8	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	10YR6/2	SD-08 覆土	小片	外面に煤付着
9	内耳土器	-	(29.0)	(25.0)	6.1	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10YR7/2	SD-08 覆土	20%	外面に煤付着
10	瀬戸	碗	(13.4)	(6.4)	6.5	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10YR7/2	SD-09 底面	40%	内外面に濃茶緑色の釉
11	瀬戸	皿	11.8	6.7	1.8	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5Y6/1	SD-09 底面	40%	内面全面から体部外面に薄黄緑色の釉。体部外面には部分的に多量の腐食が付き。内面にも少量の煤付着
12	瀬戸?	鉢	-	-	-	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y7/2	SD-09 覆土	小片	同部内外面に透明の釉。内面に鉄粒による粉付け
13	志野	皿	(14.0)	(9.2)	3.2	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	5Y8/2	SD-09 覆土	40%	内外面施釉
14	陶器	碗	-	(6.0)	-	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/4	SD-09 覆土	40%	体部内外面に灰白色の釉
15	瀬戸	碗	-	(6.4)	-	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10YR7/2	SD-09 覆土	30%	内面に濃茶緑色の釉
16	志野	大皿	-	(18.0)	-	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒と鉄を含む	良好	2.5Y8/2	SD-09 覆土	30%	内外面全面に薄黄緑色の釉。内面に鉄粒で文様が描かれる
17	土師質土器	鉢	-	-	-	側面ナデ、ケズリ。底面ケズリ	ナデ	やや粗粒。やや多量の砂粒を含む	良好	10YR7/4	SD-09 覆土	小片	
18	内耳土器	-	(38.0)	(35.0)	5.6	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5Y7/1	SD-09 底面	30%	耳部は片側2ヶ所。外面に煤付着
19	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	5Y7/2	SD-09 覆土	小片	外面に煤付着
20	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5Y7/3	SD-09 覆土	小片	外面に煤付着
21	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	5YR7/6	SD-09 覆土	小片	外面に煤付着
22	瀬戸	碗	-	4.4	-	ロクロナデ、高台は回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	2.5Y8/2	遺構外 (SD-13) 覆土	40%	輪は鉄輪。天口焼
23	志野	皿	11.6	6.6	2.5	ロクロナデ、底面回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	5Y7/2	遺構外 (SD-13) 覆土	70%	内外面施釉。底面内面に重施の痕跡
24	常滑	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒を含む	良好	10Y5/1	遺構外 (SD-13) 覆土	小片	
25	土師質土器	皿	(8.0)	(4.0)	2.8	ロクロナデ、底面回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	SD-14 覆土	40%	
26	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗粒。少量の砂粒を含む	良好	10YR7/3	SD-24 覆土	小片	外面に煤付着
27	青磁	碗	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒無し	良好	N8/	SD-25 覆土	小片	龍泉窯か
28	土師質土器	皿	(6.6)	4.9	1.9	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	SD-25 覆土	50%	
29	土師質土器	皿	(11.4)	(5.8)	3.2	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	SD-25 覆土	40%	
30	土師質土器	皿	(11.2)	(5.4)	3.9	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	SD-25 覆土上層	40%	
31	土師質土器	鉢	-	5.6	-	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/8	SD-25 確認面	40%	
32	瀬戸	皿	-	4.8	-	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5Y8/2	SD-25 覆土	30%	釉無し
33	土師質土器	鉢	-	4.8	-	ロクロナデ、回転糸切り	ロクロナデ	やや粗粒。微量の砂粒を含む	良好	7.5YR7/8	SD-25 覆土	20%	
34	土師質土器	鉢	-	5.0	-	ナデ	ナデ	粗粒、少量の砂粒を含む	不良	7.5YR8/6	SD-25 覆土	30%	
35	土師質土器	楕鉢	(13.0)	-	-	ナデ	ナデ	やや粗粒。少量の砂粒を含む	良好	10YR6/4	SD-25 覆土	10%	内面に割目
36	内耳土器	-	(34.0)	(30.0)	5.6	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR8/6	SD-25 覆土上層	60%	外面に煤付着。磨蝕あり
37	内耳土器	-	(36.0)	(29.0)	5.5	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒を含む	良好	7.5YR6/4	SD-25 覆土上層	30%	外面に煤付着

38	内耳土層		(38.0)	(30.0)	8.6	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10YR7/2	SD-25 覆土	20%	
39	内耳土層					ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5Y5/2	SD-25 覆土	小片	外面に煤付着
40	内耳土層					ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10Y5/1	SD-25 覆土	小片	
41	内耳土層					ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	2.5YR5/6	SD-25 覆土	小片	
42	土師質土層	皿	(11.2)	5.4	3.3	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	やや粗放、微量の砂粒を含む	良好	5YR8/6	SD-27 覆土	50%	
43	土師質土層	鉢	-	-	-	ナデ	ナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	10YR8/4	SD-27 覆土下層	小片	
44	土師質土層	圓鉢	-	-	-	ナデ	ナデ	粗放、少量の砂粒を含む	良好	5Y4/2	SD-27 覆土	小片	内面に割目
45	瓦質土層	内耳土層	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、やや多量の砂粒を含む	良好	2.5GY3/1	SD-27 覆土	小片	
46	内耳土層	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、やや多量の砂粒を含む	良好	7.5YR4/2	SD-27 覆土	小片	
47	常滑	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5R4/6	SD-27 覆土	小片	
48	内耳土層		(32.0)	(27.0)	4.8	ロクロナデ、底縁 無調整	ロクロナデ	緻密、やや多量の砂粒を含む	良好	10Y6/1	SD-27 覆土	30%	
49	内耳土層		(33.2)	(23.0)	6.4	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10Y7/1	SD-27 覆土	20%	
50	内耳土層		(16.4)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	10YR6/2	SD-27 覆土	20%	外面煤付着
51	瀬戸?	圓鉢	-	(10.2)	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	5Y8/2	SD-28 覆土	10%	内面に割目
52	土師質土層	皿	(12.0)	(3.8)	3.3	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	10YR8/4	遺構外 (SD-29) 覆土	40%	
53	内耳土層	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR4/1	遺構外 (SD-29) 覆土	小片	外面煤付着
54	内耳土層	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	7.5YR4/1	遺構外 (SD-29) 覆土	小片	外面煤付着
55	瀬戸	碗	(9.0)	4.8	5.9	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	NS/	SD-1210 覆土	50%	内面から口縁部外面は透明の釉、外面は鉄釉
56	瀬戸	碗	-	(5.6)	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	7.5YR/2	SD-1210 覆土	30%	体部内外面施釉
57	瀬戸	皿	(11.0)	(5.0)	2.8	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒を含む	良好	NS/	SD-1210 覆土	30%	内外面施釉
58	白磁	碗	-	(4.8)	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	NS/	SD-1210 覆土	30%	外面に染め付け
59	白磁	碗	-	(3.0)	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	NS/	SD-1210 覆土	20%	外面は緑色
60	陶器	圓鉢	-	-	-	ロクロナデ、回転 ヘラズリ	ロクロナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	10YR8/2	SD-1210 覆土	小片	内面に割目、内外面施釉
61	内耳土層	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒を含む	良好	5YR7/6	SD-1210 覆土	小片	
62	瓦質土層	内耳土層	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	7.5Y7/2	SD-1210 覆土	小片	耳部断面が摩耗しており、耳部がたれた状態で使用されていたものか、外面煤付着
63	瓦質土層	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗放、やや多量の砂粒を含む	良好	10Y4/1	SD-1210 覆土	小片	
64	瓦質土層	鉢	-	-	-	ロクロナデ、底縁 無調整	ロクロナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	10Y4/1	SD-1210 覆土	小片	
65	瓦質土層	浅鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	5Y7/1	SD-1210 覆土	小片	
66	瓦質土層	浅鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗放、少量の砂粒を含む	良好	5Y7/1	SD-1210 覆土	小片	
67	土師質土層	皿	(10.2)	6.1	3.3	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 中央部土中層	60%	
68	土師質土層	皿	(10.0)	5.8	3.0	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 中央部土中層	60%	
69	土師質土層	皿	(10.0)	5.8	3.0	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	60%	
70	土師質土層	皿	(10.0)	(5.8)	3.0	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	40%	
71	土師質土層	皿	-	5.8	-	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	40%	
72	土師質土層	皿	-	5.8	-	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	40%	
73	土師質土層	皿	-	(5.6)	-	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	30%	
74	土師質土層	皿	-	5.6	-	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	30%	
75	土師質土層	皿	-	(6.2)	-	ロクロナデ、底縁 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-32 覆土	20%	
76	常滑	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒と塵を含む	良好	5B6/1	SE-32 覆土	5%	外面施釉
77	内耳土層		(33.0)	(27.4)	8.3	ロクロナデ、底縁 無調整	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒と金屑片を含む	良好	7.5YR8/6	SE-32 覆土	40%	耳部3ヶ所から外面多量の煤付着



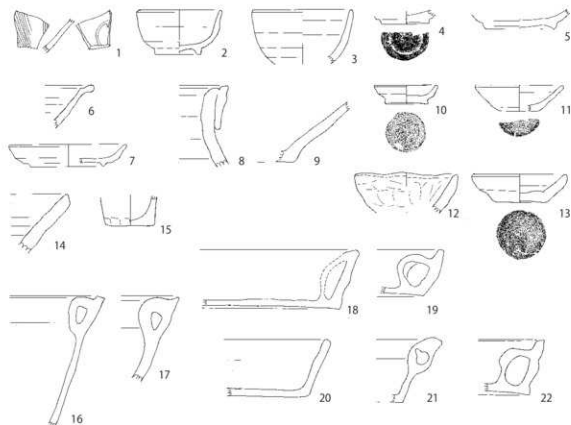
第94図 遺構出土遺物図（中～近世）①



第95図 遺構出土遺物図（中～近世）②

第18表 遺構出土遺物(中～近世) 観察表

番号	種別	部材	計測値 (cm)			形状		胎土	焼成	色調	出土状態	残存率 (%)	備考
			(口径) (推定)	(底径) (推定)	(高さ) (推定)	外面	内面						
1	土師瓦土器	皿	(10.0)	(6.0)	3.2	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒 を含む	不良	7.5YR8/8	SI-02 内	30%	胎土に軟質
2	瓦葺瓦陶器	椀鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、少量の砂粒 を含む	や 不良	7.5Y8/1	SI-02 内	小片	内面に閉目、全面磨光
3	瓦葺瓦土器	椀鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、やや多量の 砂粒を含む	不良	5Y4/1	SI-02 内	小片	内面に閉目、全面磨光
4	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	7.5Y7/3	SI-02 内	小片	外面に多量の煤付着
5	内耳土器	皿	(40.0)	(33.0)	6.8	胴部ロクロナデ、 底面無調整	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR7/4	SI-02 内	20%	外面に多量の煤付着、 胴部中央に溝孔あり、 孔は磨いて径が大き くなる
6	土師瓦土器	皿	6.6	3.8	1.8	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10YR8/3	SE-36 覆土	70%	
7	瀬戸	皿	(10.0)	(4.4)	2.2	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	10YR8/1	SK-43 覆土	30%	口縁端部内外面施釉
8	土師瓦土器	皿	-	(5.0)	-	ロクロナデ、底面 ナデ	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	SK-48 覆土	30%	
9	瀬戸	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒を含ま ず	良好	5Y8/1	SE-50 覆土	小片	
10	土師瓦土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒 を含む	良好	10YR8/4	SE-50 覆土	小片	
11	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR5/2	SE-52 覆土	小片	外面に煤付着
12	常滑	壺	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10R4/3	SE-52 覆土	小片	
13	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y6/2	SE-53 上面土 灰部分	小片	
14	瓦	丸瓦	-	-	-	ナデ	布目、側端部ケズ リ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y7/1	S-56 覆土		中世～
15	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	2.5GY3/1	SE-113 覆土	小片	外面下半部面施釉、外 面煤付着
16	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 と金葉片を含む	良好	5YR6/4	SE-113 覆土	小片	
17	内耳土器	皿	(32.0)	-	-	ロクロナデ、ナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒 を含む	良好	10R4/6	SE-122 覆土	20%	外面に多量の煤付着
18	内耳土器	皿	(30.0)	(16.0)	(14.6)	ロクロナデ、ナデ、 底面無調整	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR6/4	S-256 覆土上 層	50%	耳部は左右1箇所、外 面に多量の煤付着。火 傷により外面は面施 釉、後合し同一朝 体片から断面推定
19	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5Y4/2	SE-330 覆土	小片	外面に多量の煤付着
20	土師瓦土器	椀鉢	(30.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	10YR5/2	遺構外 S-333	30%	外面煤付着、内面面 施釉
21	土師瓦土器	椀鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR7/6	S-335 覆土、 北西	10%	口縁端部に注ぎ口
22	陶器	壺	-	-	-	回転ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	N7/	遺構外 (S-401 覆土)	小片	内面に施釉、在地系 の陶器、胎土は赤系
23	志野	皿	(11.2)	(6.6)	2.5	ロクロナデ、底面 回転ヘラケズリつ ね高台ケズリ出し	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/1	遺構外 (S-428 覆土)	30%	内外面施釉
24	土師瓦土器	皿	(8.6)	(4.4)	2.0	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/8	SE-431 覆土	60%	全面磨光
25	土師瓦土器	椀鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	2.5Y7/1	SE-431 覆土	小片	内面に閉目
26	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒 と金葉片を含む	良好	7.5YR7/4	SE-431 覆土	小片	
27	瀬戸系	壺	-	4.8	-	ロクロナデ、底面 ナデ、高台貼付	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	7.5Y8/1	SX-432 覆土	20%	
28	志野	皿	10.9	6.8	1.9	ロクロナデ、回転 ヘラケズリ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/2	SX-432 覆土 下層	70%	全面施釉。釉は青黒 色、底面外面に少量 の煤付着
29	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	やや粗粒、多量の 砂粒を含む	良好	7.5YR5/4	SX-432 覆土	小片	外面煤付着
30	土師瓦土器	椀鉢	-	-	-	ナデ	ナデ	粗粒、多量の砂粒 と金葉片を含む	良好	7.5YR5/4	SX-432 覆土	30%	内面に閉目
31	内耳土器	皿	-	-	-	底面無調整	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR7/4	SE-651 覆土	小片	
32	土師瓦土器	皿	6.5	4.0	1.8	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	緻密、砂粒を含ま ず	良好	7.5YR8/8	SE-652 覆土 下層	完形	
33	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒 と金葉片を含む	良好	5YR6/8	S-793 覆土	小片	
34	瀬戸	香炉	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10Y8/1	SX-900 覆土	小片	外面施釉、内面自然釉
35	内耳土器	皿	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10YR5/2	SX-900 覆土	小片	外面煤付着
36	土師瓦土器	皿	6.1	2.7	2.0	体部ロクロナデ、 底面ナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	S-910 覆土	完形	口縁部内面にガラス 状物質付着
37	土師瓦土器	皿	6.3	4.0	1.4	体部ロクロナデ、 底面回転糸切り	ロクロナデ	やや粗粒、砂粒含 まず	良好	5YR7/8	S-985 覆土	完形	釜みあり、全面磨光
38	土師瓦土器	皿	(10.6)	5.4	3.5	体部ロクロナデ、 底面回転糸切り後 磨光圧痕	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	S-1036 覆土	50%	
39	土師瓦土器	皿	-	4.8	-	体部ロクロナデ、 底面回転糸切り後 磨光圧痕	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5YR8/6	S-1036 覆土	40%	
40	土師瓦土器	皿	(11.2)	5.8	3.5	体部ロクロナデ、 底面回転糸切り	ロクロナデ	粗粒、やや多量の 砂粒を含む	良好	2.5YR7/8	S-1225 覆土	50%	

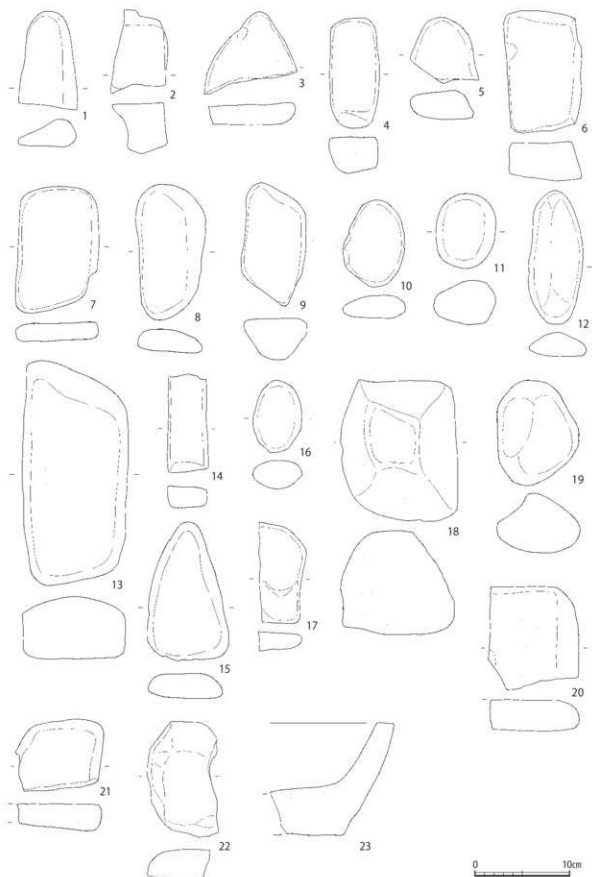


第96図 遺構外出土遺物図（中～近世）

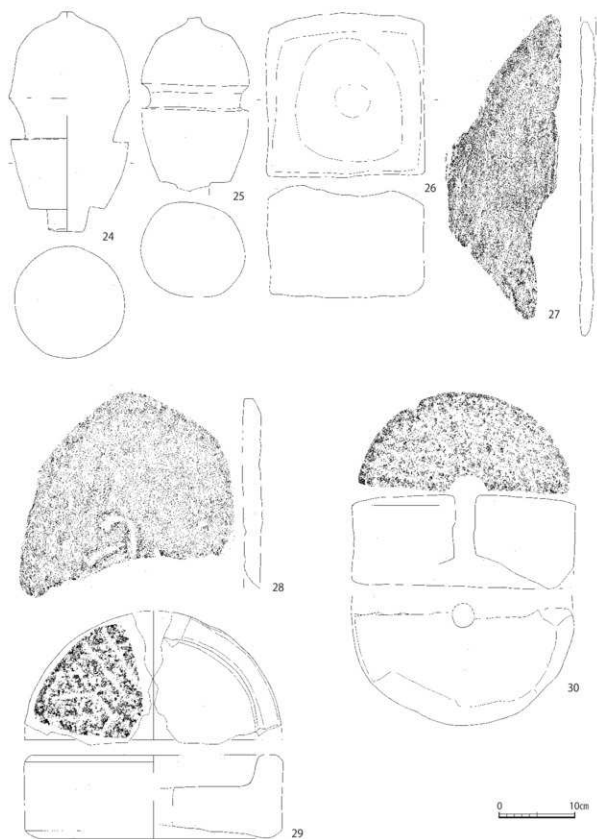
0 10cm

第19表 遺構外出土遺物(中～近世)観察表

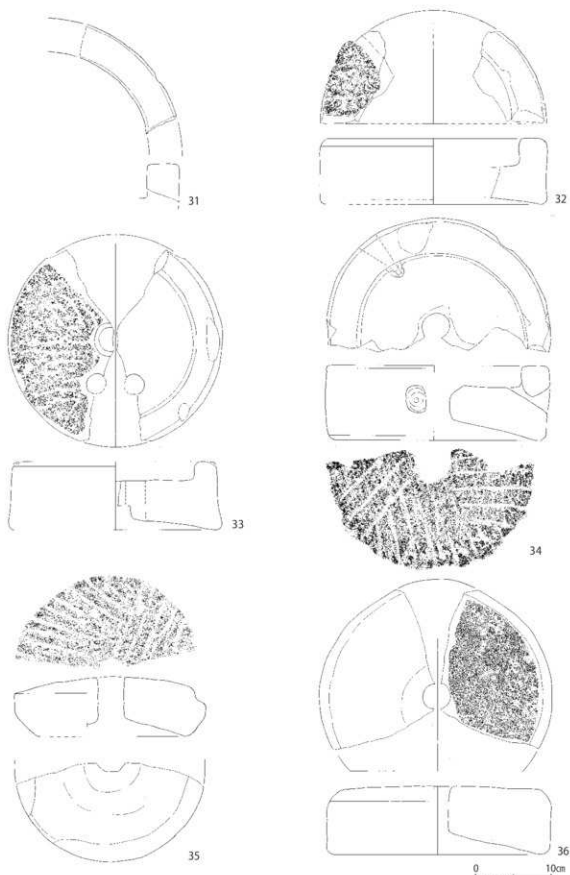
番号	種類	部種	計測値 (cm)			形状		胎土	地蔵	色調	出土状況	残存率 (%)	備考
			口径 (推定)	底径 (推定)	器高 (推定)	外面	内面						
1	青磁	碗	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	7.5Y8/1	G 10 近辺	小片	外面磨損文、内面磨花文。内外面薄緑色。同文型系
2	瀬戸	碗	(9.0)	(4.8)	4.8	ロクロナデ、底面 回転ヘラケズリ、 高台残り出し	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	5Y8/2	調査区南側包 含部、表土下	50%	内面から底部外面に鉄 軸
3	瀬戸	碗	(10.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/2	D 7 表土下	30%	内外面同軸
4	瀬戸	碗	-	(5.0)	-	回転糸切り後回転 ヘラケズリ、高台 残り出し	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	10Y8/1	G 10 近辺	20%	
5	瀬戸	皿	-	7.6	-	ロクロナデ、回転 ヘラケズリ、高台 残り出し	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/2	SI-03 覆土	30%	内面全面から底部外面 に鉄軸
6	瀬戸	鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	7.5Y8/1	調査区南側包 含部、表土下	小片	内外面同軸
7	志野	皿	(12.4)	(7.8)	2.4	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、砂粒含まず	良好	5Y8/1	調査区南側包 含部、表土下	30%	
8	常滑	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/4	G 3	小片	製部外面に磨いた
9	陶器	甕	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/6	SE-643 か	小片	無軸
10	土師質土 器	皿	6.7	4.6	2.0	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	やや粗粒、微量の 砂粒を含む	良好	10Y8/4	G 10 近辺	完形	内外面厚付着、口縁部 外面にタール状物質付 着
11	瀬戸	小皿	(9.6)	(4.0)	2.7	ロクロナデ、底面 回転糸切り	ロクロナデ	緻密、微量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/2	SD-26	40%	口縁部内面に鉄軸
12	土師質土 器	皿	(11.0)	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	5Y3/2	SI-04 覆土	20%	粗面あり。手捏風、 裏入
13	土師質土 器	皿	10.2	5.4	3.0	ロクロナデ、回転 糸切り	ロクロナデ	粗粒、微量の砂粒 を含む	良好	7.5Y8/8	SI-03 覆土	80%	全面厚付
14	土師質土 器	控鉢	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y7/2	D7 表土下	小片	
15	土師質土 器	甕	-	5.1	-	製部ロクロナデ、 下手ケズリ、底面 ナデ	ナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/8	I5	40%	
16	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒 を含む	良好	2.5Y8/6	H12	小片	外面厚付着
17	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	粗粒、少量の砂粒 を含む	良好	5Y8/6	不明	小片	外面厚付着
18	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	2.5Y7/2	D7 表土下	20%	外面厚付着
19	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	緻密、少量の砂粒 を含む	良好	10Y8/3	G 10 近辺	小片	外面厚付着
20	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ	ロクロナデ	緻密、やや多量の 砂粒を含む	良好	10Y8/6	SD-26	小片	外面厚付着、裏入?
21	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	緻密、多量の砂粒 と金葉内片を含む	良好	10Y8/3	I5	30%	外面厚付着
22	内耳土器	-	-	-	-	ロクロナデ、底面 無調整	ロクロナデ	やや粗粒、少量の 砂粒を含む	良好	10Y8/3	D7 表土下	小片	外面厚付着



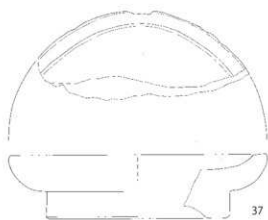
第97図 出土石製品図（古墳～中近世）①



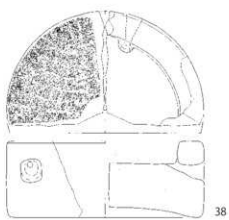
第98図 出土石製品図（古墳～中近世）②



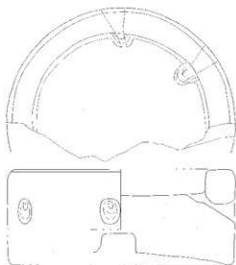
第99図 出土石製品図（古墳～中近世）③



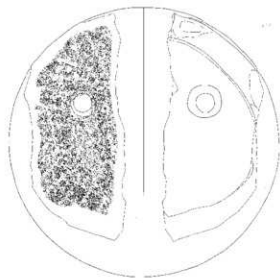
37



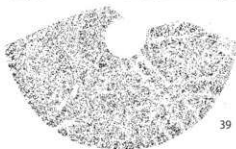
38



39

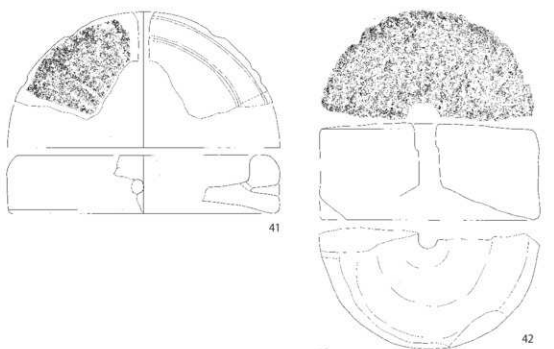


40



0 10cm

第100図 出土石製品図（古墳～中近世）④

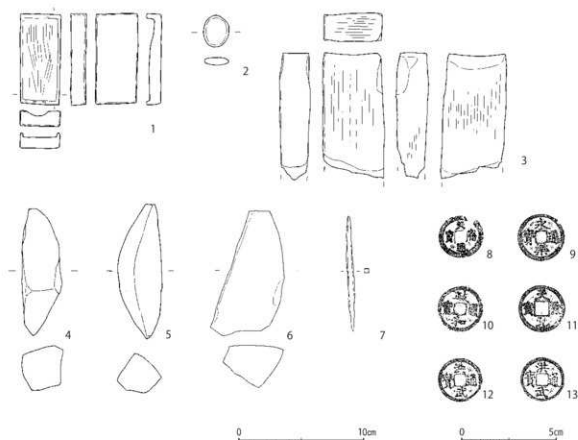


第 101 図 出土石製品図（古墳～中近世）⑤

0 10cm

第20表 出土土製品（古墳～中近世）観察表

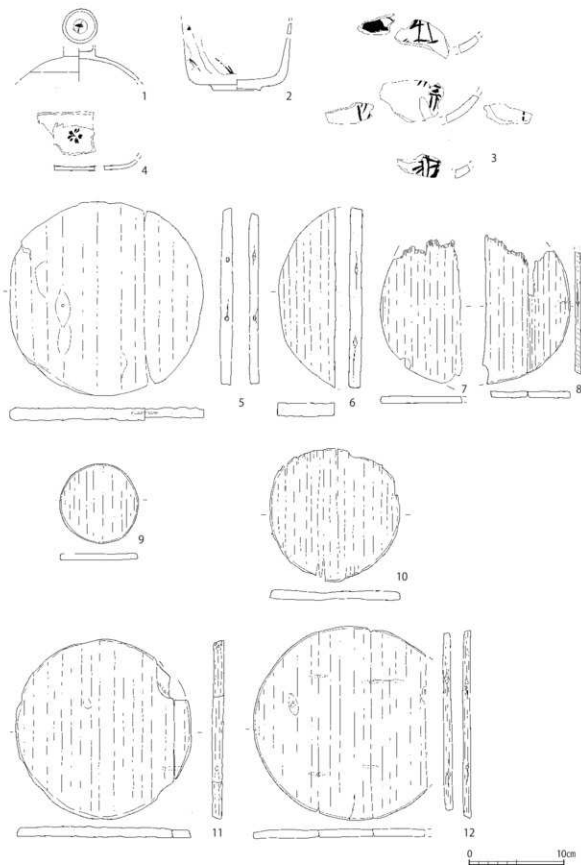
番号	図種	計測値 (cm, g)				備考	石質	出土位置
		長さ	幅	厚さ	重量			
1	砥石?	10.3	6.1	2.8	270	磨れ口以外の各面に使用痕	砂岩	SI-02 貯蔵穴
2	砥石?	8.8	5.5	5.3	397	磨れ口と側面は未使用	砂岩	SI-02 覆土
3	砥石?	8.8	10.0	2.3	212	磨れ口以外の各面に使用痕。全面煤付着。出土位置不詳	砂岩	SI-02 覆土
4	砥石?	11.7	5.3	3.8	504	全面が使用されている	砂岩	SI-03 覆土
5	砥石?	7.0	7.4	3.0	203	磨れ口以外の各面に使用痕	砂岩	SI-04 貯蔵穴
6	砥石?	11.9	8.1	4.1	832	全面が使用されている	砂岩	SI-05 覆土
7	砥石?	13.4	8.7	2.0	340	全面が使用されている	砂岩	SI-05 覆土
8	砥石?	14.3	6.7	2.3	412	全面が使用されている。煤付着	砂岩	SI-05 覆土
9	砥石?	13.0	6.9	5.3	457	全面が使用されている	砂岩	SI-05 覆土
10	砥石?	9.3	6.5	2.4	222	全面が使用されている	砂岩	SD-09 覆土
11	磨石?	7.9	6.3	5.7	441	全面が使用されている。網文か	花崗岩	SD-13 覆土
12	磨石?	14.1	5.7	2.6	246	全面が使用されている	砂岩	SD-24 覆土
13	砥石?	23.8	11.2	6.5	3,166	全面が使用されている	砂岩	SX-15 覆土
14	磨石?	10.3	4.5	2.3	199	磨れ口以外の各面に使用痕	砂岩	SD-25 覆土
15	砥石?	14.6	8.7	2.5	424	全面が使用されている。煤付着	砂岩	SD-27 覆土
16	磨石?	7.6	6.1	3.0	103	全面が使用されている。網文か	安山岩	SX-432 覆土
17	砥石?	10.8	5.0	2.0	202	磨れ口以外の各面に使用痕	砂岩	SX-432 覆土
18	石臼?	14.9	12.4	10.9	3,062	磨れ口以外の各面に使用痕。砥石として使用?	砂岩	SX-432 覆土
19	砥石?	11.0	8.6	6.1	610	全面が使用されている。煤付着	安山岩	SE-652 覆土
20	砥石?	11.0	9.6	3.1	545	磨れ口以外の各面に使用痕。煤付着	砂岩	SE-652 覆土
21	砥石?	7.6	8.3	2.8	360	磨れ口以外の各面に使用痕。煤付着	花崗岩	SE-43 覆土
22	砥石?	12.2	7.4	3.3	412	磨れ口以外の各面に使用痕。使用頻度はやや低い	砂岩	不明
23	石臼?	-	-	-	(868)	1/8 程度残存	安山岩	SD-1210 覆土
24	五輪石	29.1	15.4	15.4	8,250	空輪	花崗岩	SD-25 覆土
25	五輪石	22.9	14.1	12.5	5,300	空輪	花崗岩	遺構外
26	五輪石	21.8	20.8	14.8	12,900	輪軸。上面輪部は自然面を残す	安山岩	SI-02 覆土
27	板石	(41.5)	(14.6)	2.0	(1,455)	下部に近い部分が残存。摩滅が著しく紋文不明	緑泥片岩	SD-27 底面
28	板石	(11.0)	28.0	2.6	(4,350)	上部に近い部分が残存。表面に梵字	緑泥片岩	SI-051 覆土
29	石臼	(17.6)	(17.0)	11.0	(2,300)	上臼。8 分画か。1/4 程度残存	安山岩	SI-02 覆土
30	石臼	(13.9)	29.4	12.3	(7,700)	下臼。芯穴あり。上面の磨目には摩滅しており分画は不明。1/2 程度残存	安山岩	SI-02 覆土
31	石臼	(4.8)	(4.2)	(5.0)	(564)	上臼。輪部のみ残存	安山岩	SD-09 覆土
32	石臼	(12.1)	(8.9)	8.6	(1,081)	上臼。分画不明。1/8 程度残存	安山岩	SD-13 覆土
33	石臼	(25.3)	(13.7)	9.0	(3,215)	上臼。供蝕口。下面に芯穴。8 分画? 1/3 程度残存	安山岩	SD-26 覆土
34	石臼	(17.6)	29.8	9.9	(5,700)	上臼。芯穴あり。側面から内面に穿孔されており挽き手穴か? 76 分画? 内部中央に煤付着。1/2 程度残存	花崗岩	S-59 底面
35	石臼	(13.1)	24.8	6.9	(2,862)	下臼。芯穴あり。ふくみは摩滅が著しい。6 分画? 1/2 程度残存	安山岩	S-316 底面
36	石臼	(21.0)	(14.7)	9.0	(3,502)	下臼。芯穴あり。摩滅が著しく分画不明。1/3 程度残存	花崗岩	SX-432 覆土
37	石臼	(10.8)	(28.4)	(8.5)	(1,909)	下臼。輪部のみ残存	花崗岩	S-943 覆土
38	石臼	(14.1)	(12.9)	10.0	(2,568)	上臼。芯穴あり。側面から内面に穿孔されており挽き手穴か? 摩滅が著しい。6 分画? 1/4 程度残存	安山岩	SD-1210 覆土
39	石臼	(20.2)	31.2	12.6	(7,650)	上臼。供蝕口あり。摩滅が著しい。分画不明。1/3 程度残存	安山岩	SD-1210 覆土
40	石臼	(30.5)	(13.5)	13.3	(5,700)	上臼。供蝕口あり。摩滅が著しい。分画不明。1/5 程度残存	安山岩	D4
41	石臼	(15.3)	(16.3)	7.7	(1,266)	上臼。側面に挽き手穴。摩滅が著しい。分画不明。1/5 程度残存	安山岩	D7
42	石臼	(16.1)	29.0	12.8	(7,000)	下臼。芯穴あり。摩滅が著しく分画不明。1/2 程度残存	安山岩	不明



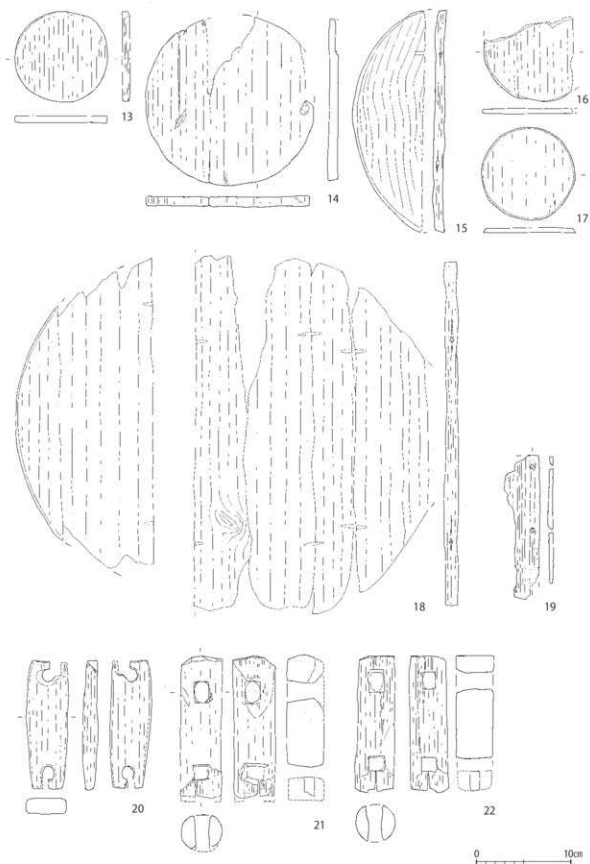
第102図 出土石製品、鉄製品、銅銭図（古代～中近世）

第21表 出土石製品、鉄製品、銅銭観察表

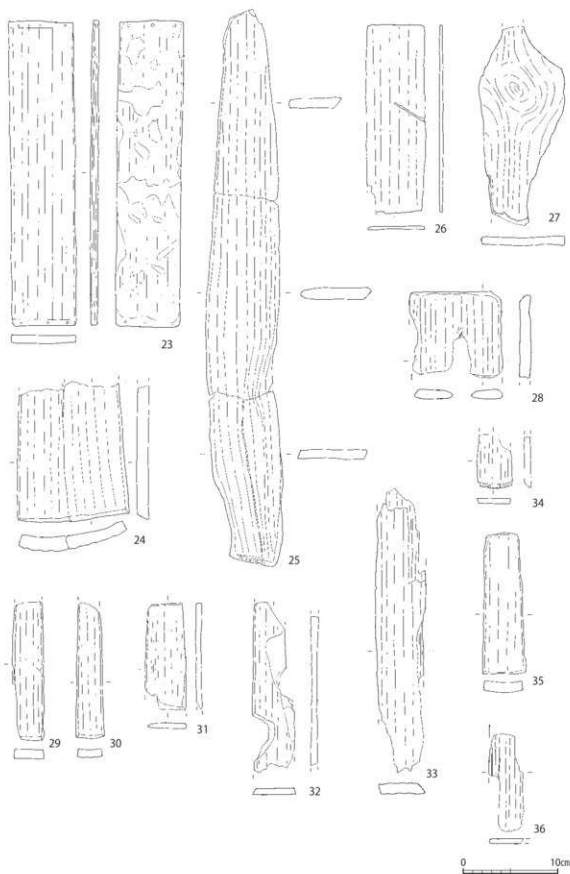
番号	図種	計測値 (cm, g)				備考	出土位置
		長さ	幅	厚さ	重量		
1	石鏡	7.2	3.3	1.3	(51)	縁が1/3程度欠損。全面加工される。使用面は磨面が著しく黒が付着している。粘板岩	SE-50 №1
2	緑石鉄石製品	2.5	2.1	0.6	5	チャート	SD-26 覆土
3	砥石	(10.0)	4.9	2.4	(207)	磨れ口以外の各面に使用痕。凝灰岩	SD-09 覆土
4	砥石	10.2	3.9	3.5	107	磨れ口以外の各面に使用痕。凝灰岩	D7
5	砥石	10.7	3.6	3.1	107	磨れ口以外の各面に使用痕。磨れ口覆付着。凝灰岩	SE-543 覆土
6	砥石	9.9	4.8	3.3	159	磨れ口2面以外の各面に使用痕。凝灰岩	不明
7	鉄釘?	9.2	0.4	0.4			SE-113 覆土
8	銅銭					□口通宝	遺構外 (SI-03)
9	銅銭					水雲通宝、11と重なる。上	S-508 覆土
10	銅銭					政和通宝	S-508 覆土
11	銅銭					天口通宝、9と重なる。下	S-508 覆土
12	銅銭					洪武通宝	S-803 覆土
13	銅銭					洪武通宝	不明



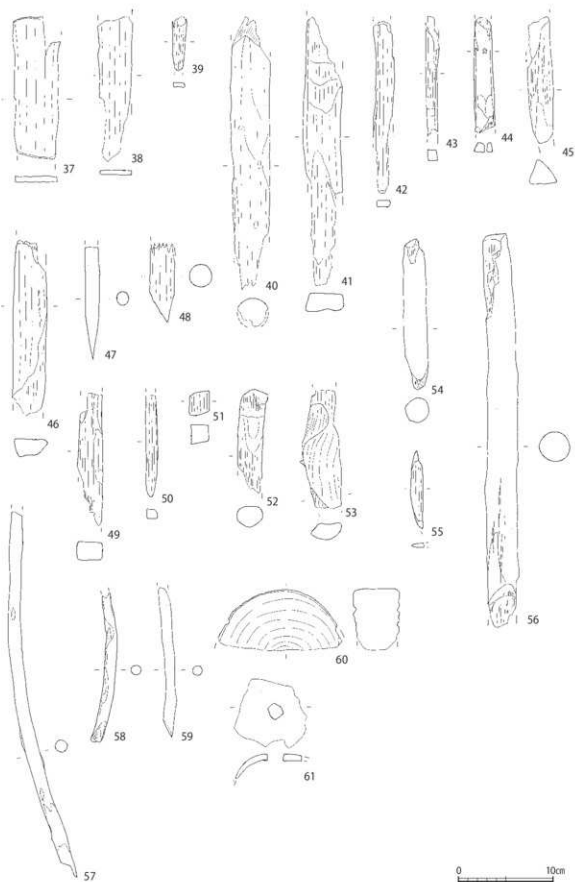
第103図 出土木製品図（中～近世）①



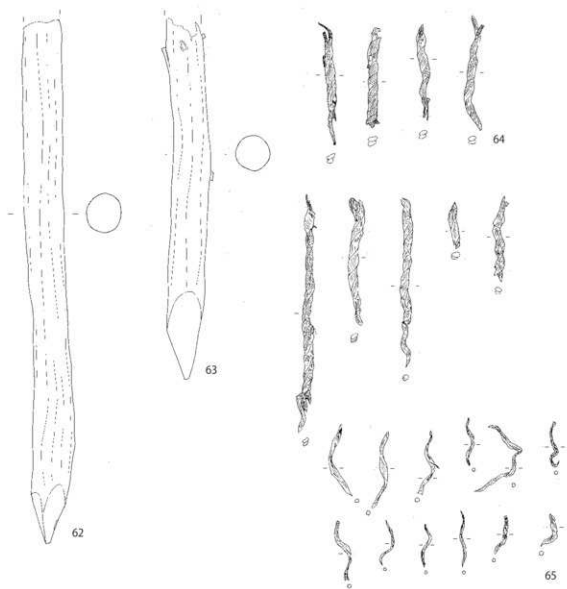
第104図 出土木製品図 (中～近世) ②



第105図 出土木製品図（中～近世）③



第106図 出土木製品図（中～近世）④



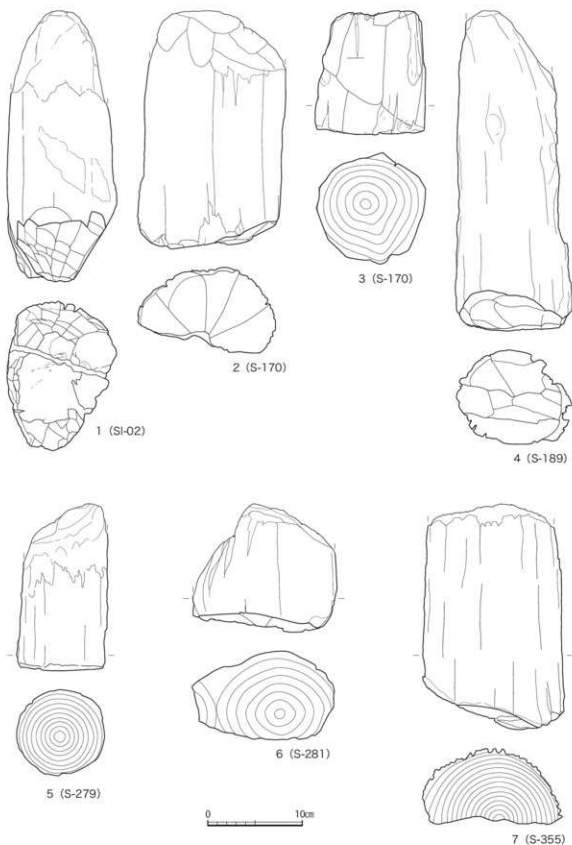
第107図 出土木製品図（中～近世）⑤

0 10cm

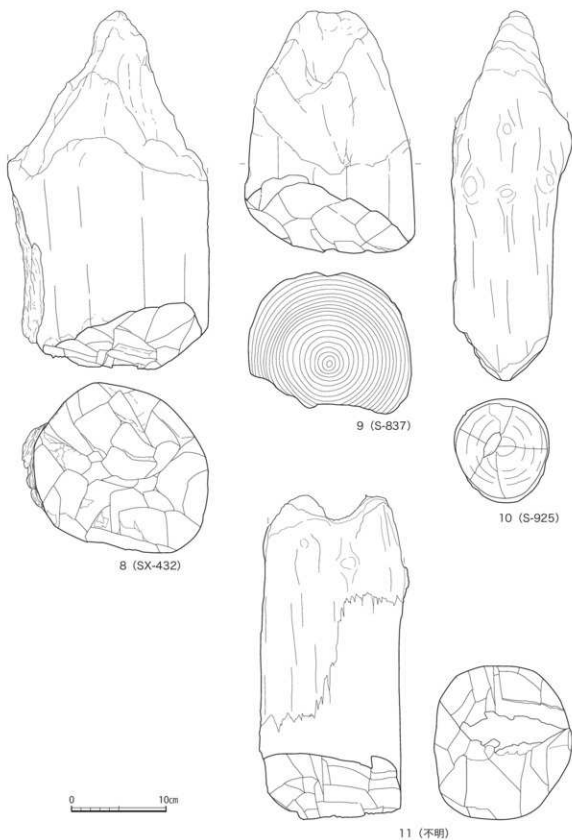
第22表 出土木製品（中～近世）観察表

番号	名称	計測値 (cm)			備考	樹種	木取り	出土位置	試料№
		長さ	幅	厚さ					
1	蓋	-	-	-	漆面、内外面赤漆塗り、黒漆で文様をつまみの中に描く。つまみと漆部先端を欠損。70%程度残存	ブナ属	横木取り	SX-432 覆土	47
2	桶	-	底径5.2	-	漆面、内外面黒漆塗り、赤漆で文様を描く。底部分と漆部片点、接合しない。両端部は漆面なし、50%程度残存	トチノキ	横木取り	SX-432 覆土	46
3	桶	-	-	-	漆面、内外面黒漆塗り、赤漆で文様を描く。漆部片点。接合しない。30%程度残存	クリ	横木取り	SE-431 覆土	42
4	桶	-	(11.0)	-	漆面、内外面赤漆塗り、黒漆で文様を描く。底部分点。接合しない。30%程度残存	ブナ属	板目	SD-1210 覆土	62
5	曲物	20.4	20.6	1.2	円形の底版。2枚の板が竹釘で接合されており厚さが異なる。小さな孔があり、腐食によるものと推定。竹釘が折れ残っている	モミ属	板目	SE-36 覆土	4
6	曲物	19.0	(5.9)	1.4	円形の底版。竹釘が折れ残っている。1/3程度残存	アスナロ	板目	SE-36 覆土	5
7	曲物	(15.1)	(8.5)	0.7	円形の底版。1/2程度残存	アスナロ	板目	SE-36 覆土	6
8	曲物	(15.8)	(8.9)	0.6	円形の底版。漆面に打ち込まれた竹釘が残存。1/2程度残存	アスナロ	板目	SE-36 覆土	7
9	曲物	8.5	8.3	0.6	円形の底版	カラマツ	板目	SE-36 覆土	8
10	曲物	14.1	13.8	0.9	円形の底版。側面は腐あり。やや腐食	アスナロ	板目	SE-100 覆土	27
11	曲物	19.0	18.9	1.0	円形の底版。漆面に竹釘痕あり。竹釘は無し。竹釘が折れ残っている。中央上端の両側に小孔あり。周囲が変色しており、腐食による孔と推定	ヒノキ科	板目	SE-52 前面	24
12	曲物	20.4	(18.1)	0.6	円形の底版。漆面に竹釘痕あり。竹釘は無し。竹釘が折れ残っている。中央上端の両側に小孔あり。周囲が変色しており、腐食による孔と推定	アスナロ	板目	SE-113 覆土	29
13	曲物	9.6	9.8	0.8	円形の底版	アスナロ	板目	SE-122 前面	37
14	曲物	17.8	17.7	1.0	円形の底版。腐食により部分的に欠損。内面及び側面に漆付着	アスナロ	板目	SE-330 覆土	39
15	曲物	23.3	(7.6)	1.1	円形の底版。竹釘が折れ残っている。表面の木質はやや粗い。反りあり。1/3程度残存	スギ	板目	SX-432 覆土	48
16	曲物	(9.0)	(9.5)	0.5	円形の底版。1/5程度残存	アスナロ	板目	SX-432 覆土	49
17	曲物	9.7	10.0	0.5	円形の底版。漆面に竹釘痕あり。竹釘は無し。竹釘が折れ残っている。中央上端の両側に小孔あり。周囲が変色しており、腐食による孔と推定	アスナロ	板目	不明	65
18	桶?	36.2	(43.5)	1.4	円形の底版。漆面に竹釘痕あり。竹釘は無し。竹釘が折れ残っている。中央上端の両側に小孔あり。周囲が変色しており、腐食による孔と推定	-	-	SE-36 覆土	3
19	不明製品	(15.1)	(3.8)	0.5	板状の不明品。2箇所に穿孔。煎煮?	ヒノキ	板目	SE-113 覆土	30
20	不明製品	13.6	4.4	1.6	板状の不明品。やや厚みあり。両端に穿孔があり孔は外側に開く。一部腐食	クリ	板目	SE-122 遺物集	36
21	不明製品	15.0	4.3	4.1	円形の棒状不明品。両端に四内い穿孔がある。一部腐食	マツ属(黒松)	芯持ち丸木	SX-432 覆土	50
22	不明製品	14.5	4.2	4.0	円形の棒状不明品。両端に四内い穿孔がある。一部腐食	マツ属(黒松)	芯持ち丸木	SX-432 覆土	51
23	板状製品	32.3	6.9	0.9	板状の不明製品。両端に竹釘痕があり各3箇所。両端部の色調は茶色。他は総て黒色を呈する。側面は総て丁寧に加工される。裏面は腐が多い。やや腐食気味である。箱状製品の部材?箱状の漆面形状と推定(自然科学分析参照)	アスナロ	追板目	SE-431 覆土	43
24	桶?	(14.7)	(11.3)	1.0	2点の板。断面形状は緩い弧を描いており、木桶の側面。形状と推定。表面の木質は粗い。	アスナロ	板目	SE-36 覆土	9
25	板状製品	(58.8)	(7.7)	1.3	板状の不明製品。両端は潰れ口が不明。3点の破片。中央は上側面が丸く加工。下は両側面に斜めに加工される。表面の木質は粗い。	カラマツ	板目	SE-431 覆土	44
26	板状製品	19.9	6.2	0.3	板状の不明製品。側面は加工されている。	-	-	SX-432 覆土	52
27	板状製品	(24.0)	9.1	0.8	板状の不明製品。表面の木質は粗い。本の跡が見える。腐食が著しい。	-	-	SX-432 覆土	53
28	不明製品	(9.0)	9.7	1.0	板状の不明品。厚みあり。中央は腐食による欠損	-	-	S-75 覆土	26
29	桶?	(14.5)	(3.3)	1.0	板状。形状から木桶の側面と推定。表面の木質は粗い。	アスナロ	追板目	SE-36 覆土	10
30	桶?	(14.3)	(2.5)	1.0	板状。断面形状は緩い弧を描いており、木桶の側面と推定。表面の木質は粗い。	スギ	追板目	SE-36 覆土	11
31	桶?	(11.4)	(4.4)	0.5	板状製品の残欠。	スギ	板目	SE-36 覆土	12
32	板状製品	(18.0)	(4.6)	0.5	板状製品の残欠。腐食が著しい。	-	-	SE-36 覆土	13
33	板状製品	(30.0)	5.3	1.1	板状製品の残欠。やや厚い。腐食が著しい。	-	-	SE-36 覆土	14
34	不明製品	(5.6)	3.9	0.6	板状の不明品。先端が鋭めに削られている。	-	-	SE-50 覆土	23
35	桶?	(14.9)	4.7	1.0	板状。断面形状は緩い弧を描いており、木桶の側面と推定。表面の木質は粗い。	-	-	SE-100 西平覆土上層	28
36	板状製品	(10.3)	(3.5)	0.5	板状の不明品	-	-	SE-113 覆土	31
37	板状製品	(14.9)	4.4	0.7	板状の不明品。一部に反り	-	-	SE-330 覆土中位	40
38	板状製品	(15.2)	3.5	0.5	板状の不明品。一部に反り	-	-	SE-330 覆土中位	41
39	不明製品	(5.5)	1.5	0.5	先端が穿孔される	-	-	SD-9 覆土	1
40	桶?	(23.8)	4.0	3.0	表面は削られている	-	-	SD-27 覆土	2

41	板状製品	(28.4)	4.0	1.9	板状製品の残欠。厚みあり。腐食が著しい。	-	-	SE-36 覆土	15
42	棒状製品	(18.0)	1.5	0.7	棒状製品の残欠。	-	-	SE-36 覆土	16
43	棒状製品	(12.6)	1.1	1.1	棒状製品の残欠。やや腐食。	-	-	SE-36 覆土	17
44	棒状製品	(12.1)	2.0	1.0	棒状製品の残欠。中央に鏝状工具による穿孔。やや腐食。	-	-	SE-36 覆土	18
45	板?	(13.4)	2.7	2.5	表面は削られている。腐食が著しい。	-	-	SE-36 覆土	19
46	板?	(18.5)	3.5	2.0	表面は削られている。腐食が著しい。	-	-	SE-113 覆土	32
47	串?	(11.3)	1.5	1.4	枝の先端を削る程度の加工。	-	-	SE-113 覆土	33
48	板?	(8.4)	2.4	2.3	先端が加工されている。表面は削られている。	-	-	SX-432 覆土	54
49	棒状製品	(14.0)	2.7	2.0	棒状の不透明製品。断面は長方形を呈する。腐食が著しい。	-	-	SX-432 覆土	55
50	棒状製品	(10.8)	1.1	1.0	棒状の不透明製品。断面は正方形を呈する。先端が加工されており串か?	-	-	SX-432 覆土	56
51	棒状製品?	2.6	1.9	2.0	棒状の不透明製品。立方体に近い。	-	-	SX-432 覆土上層	57
52	板?	(11.0)	3.1	2.2	上面が加工されている。表面は削られている。	-	-	SX-432 覆土	58
53	板?	(12.2)	4.3	1.8	下面一部に加工痕。表面は削られている。	-	-	SE-651 覆土	60
54	板状製品	16.0	2.6	2.6	両端が削られ失る。表面は加工なく樹皮が残る。	-	-	SE-36 覆土	20
55	不明製品	(7.2)	(1.2)	0.4	板状の不透明品。端部は丸く加工。曲物底板の残欠?	-	-	S-1105 覆土	61
56	板?	41.5	3.3	3.3	両端は削られる。表面も削られ樹皮なし。	-	-	SE-36 覆土	21
57	板?	(38.5)	1.4	1.4	枝の先端を削る程度の加工。表面は樹皮なし。	-	-	SE-36 覆土	22
58	串?	(15.8)	1.0	1.0	枝の先端を削る程度の加工。樹皮残る。	-	-	SE-113 覆土	35
59	串?	(15.8)	1.0	0.9	枝の先端を削る程度の加工。	-	-	SE-113 覆土	34
60	木材	(6.2)	13.1	4.9	木材を切り出した状態?	-	-	S-279 覆土	38
61	干瓢	(7.1)	(7.7)	0.8	中央に穿孔。製品として利用されたものかは不明。	-	-	SE-68 覆土	25
62	板	(55.0)	3.8	4.0	先端が削られ失る。表面は加工なく樹皮が残る。乾燥しており樹皮同定不可。	-	-	SD-1210 覆土	63
63	板	(38.1)	3.8	3.8	先端が削られ失る。表面は加工なく樹皮が残る。	-	-	SD-1210 覆土	64
64	縄	-	-	-	長 10 ~ 13 cm、幅 1.1 ~ 1.3 cm、厚 0.8 ~ 1.3 cm 程度の縄の残欠。4 本あり同一の物と判断。罫りがほどけかけているものあり (自然科学分析参照)。	甲子遺跡の基	-	SE-431 覆土	45
65	縄	-	-	-	長 5 ~ 18 cm、幅 0.9 cm、厚 0.8 ~ 0.9 cm 程度の縄の残欠。5 本あり同一の物と判断。罫りがほどけかけているものあり。また、罫りのほどけた単位が 6 本あり (自然科学分析参照)。	甲子遺跡の基	-	SE-431 覆土	59
未図化	葉?	-	-	-	葉 1 から葉 2 と共に葉状の植物遺体がまとまって出土。縦方向にまとまっているもの、点交する横方向のものは認められず。縦方向にもまじり込んでいるもの。そのため編み物とは認められず。葉状のものが縄で束ねられていたものと推定される。	-	-	SE-431 覆土	
未図化	種実	-	-	-	モミ核 3 点	モミ	-	SE-50 覆土	
未図化	種実	-	-	-	モミ核 1 点	モミ	-	SE-100 覆土	
未図化	種実	-	-	-	モミ核 11 点。破片 3 点	モミ	-	SX-432 覆土	
未図化	種実	-	-	-	モミ核 1 点	モミ	-	SX-433 覆土	
未図化	葉	-	-	-	モミ葉 2 点。ツラバネガン葉 2 点	モミ、ツラバネガン	-	SK-390 覆土	



第 108 図 出土木柱図（古墳～中近世）①



第109図 出土木柱図（古墳～中近世）②

第23表 出土木柱（古墳～中近世）観察表

番号	遺構番号	計測値 (cm)			備考	樹種	木取り	出土位置
		長さ	幅	厚さ				
1	SI-02	28.6	11.6	15.8	下端はやや杭状に尖り、工具痕は比較的明瞭。上半は腐食により芯のみ残る。全体的に腐食により劣化。古墳時代後期壁穴住居跡柱穴出土	コナラ属アカガシ亜属	芯持ち丸木	柱穴南西
2	S-170	25.2	15.0	8.8	下端は比較的平頭で、工具痕は比較的明瞭。全体的に腐食により劣化。半分のみ残存		芯持ち丸木	木1
3	S-170	13.0	11.5	11.8	下端は平頭で、工具痕は不明瞭。全体的に腐食により劣化		芯持ち丸木	木3
4	S-189	33.9	12.2	10.0	下端は平頭で、工具痕はやや不明瞭。全体的に腐食により劣化		芯持ち丸木	
5	S-279	17.6	9.3	9.0	下端は平頭で、工具痕は不明瞭。全体的に腐食により劣化		芯持ち丸木	木1
6	S-281	13.5	15.0	9.4	下端は平頭で、工具痕は不明瞭。全体的に腐食により劣化		芯持ち丸木	
7	S-355	23.9	14.8	8.0	下端はやや杭状に片側が尖り、工具痕は不明瞭。全体的に腐食により劣化。半分のみ残存		芯持ち丸木	
8	SX-432	37.9	21.0	17.0	下端はやや杭状に尖り、工具痕は比較的明瞭。全体的に腐食により劣化。上半は芯のみ残存		芯持ち丸木	
9	S-837	15.6	17.3	14.3	下端はやや杭状に尖り、工具痕は不明瞭。全体的に腐食により劣化。上半は芯のみ残存		芯持ち丸木	
10	S-925	39.1	12.7	13.2	下端は杭状に尖り、工具痕はやや不明瞭。全体的に腐食により劣化。上半は芯のみ残存		芯持ち丸木	
11	不明	34.3	14.7	16.3	下端は平頭で、工具痕は比較的明瞭。全体的に腐食により劣化し上半は空洞化している		芯持ち丸木	

※ SI-02は古墳時代であるものの、ここに収載した。

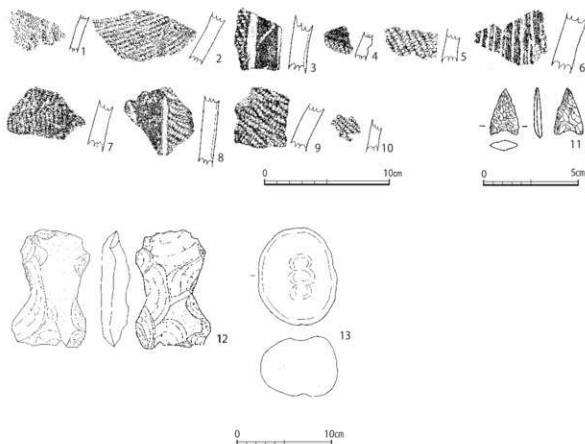
第3節 縄文時代、旧石器時代の遺物

(1) 縄文時代

本遺跡において、縄文時代の遺構は確認されていない。土器片 10 点、石器 3 点が出土している。土器片はいずれも中期後半のもので総て割部片である。1 は SD-19 覆土、2・3 は SI-02 覆土、4 は SD-24 覆土、5 は SD-25 覆土、6 は SI-05 覆土、7 は SE-68 覆土、8～10 は遺構外出土である。

石器 3 点は 11～12 は遺構外出土、13 は S-389 覆土出土である。11 石鏃は長さ 2.5 cm、幅 1.5 cm、厚さ 0.4 cm、重さ 1.3 g、石質はチャートである。12 打製石斧は長さ 12.3 cm、幅 8.3 cm、厚さ 3.1 cm、重さ 313 g、石質は砂岩である。13 凹石は長さ 10.3 cm、幅 8.3 cm、厚さ 7.4 cm、重さ 662 g、石質は安山岩である。

遺構は確認されていないものの、本遺跡の立地する低台地上には縄文時代遺構の存在が予想される。

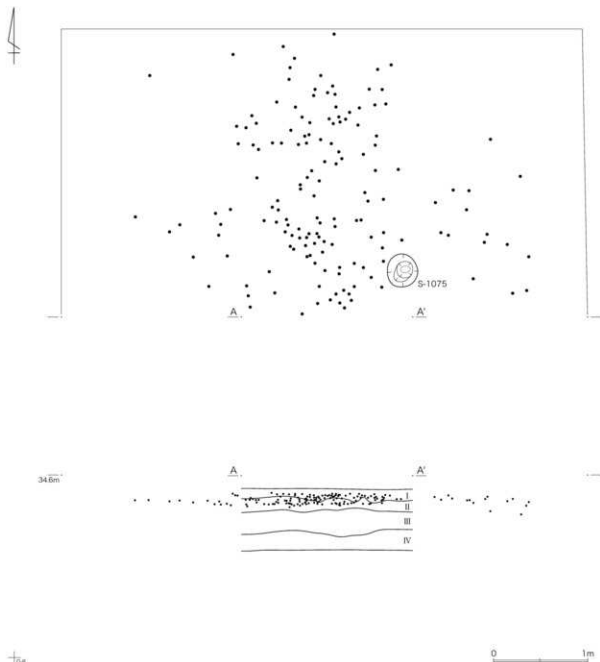


第 110 図 縄文時代出土遺物図

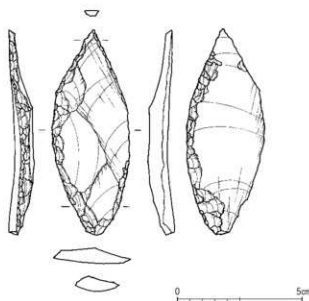
(2) 旧石器時代

旧石器時代の遺物として、尖頭器がS-1075の壁面、ローム層中から出土している。製品はこの1点のみであり、他に製品は認められない。

S-1075近辺のH8グリッドについて、溝跡の擾乱の少ないS-1075の北側のローム層を60cmほど掘り下げた。結果として他に製品は出土せず、チャートの破片が153点出土した。出土図のI層は黄褐色のソフトローム層、以下、II層明黄褐色のハードローム層、III層やや色調の暗い明褐色土のハードローム層、IV層ソフトローム層である。図化した製品も含め総ての破片はI～II層中、I層下部～II層上部から出土している。チャー



第111図 旧石器時代遺構図



第 112 図 旧石器時代出土石器図

トの破片はほとんど接合せず、153 点中接合したものは 1 例 2 点のみで、破片そのものは 1～2 cm 以下の小さなものである。また、近辺の他遺構の底面や壁面からはチャート等破片は出土が確認されておらず、掘り下げ範囲においても中心から離れるにつれ出土数が減っていることから、この破片群の広がりはさほど広いものとは判断される。

出土した尖頭器の石質は珪質凝灰岩である。長 8.4 cm、最大幅 3.2 cm、最大厚 0.9 cm、重量 7.2 g である。

残存状態は良好である。素材は縦長剥片と考えられ、左側面は片側からの剥離、右側面はやや鋭角に両面から剥離している。全体的には柳葉型の平面形を呈する。

第4節 遺構一覧表

第24表 遺構一覧表

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
SI	1					奈良・平安 SI	F5
SI	2					古墳後期 SI、本柱出土。覆土中に中近世掘り込み、五輪塔・石白出土	E3
SI	3					古墳後期 SI	E7
SI	4					古墳後期 SI	C5
SI	5					奈良・平安 SI	C5
SI	6					奈良・平安 SI	D5
SI	7					図化遺物なし、奈良・平安か	C6
SD	8	-	32.5m	100	34	陶器片等出土。中近世 SD、SD-9・12 と平行	G3～6
SD	9	-	31.5m	80	28	陶器片・磁石・石白等出土。中近世 SD	G3～6
SB	10	長方形	608	437	-	S-60・63・64・69・70・73・78・79・134・135・244・245・246・247・249・298・299・302・378	F5
SD	11	-	12.5m	50	13	SD-12 から折れた部分	F6
SD	12	-	34m	100	35	SD-11 と連続。部分的に航行	F3～6
SB	13	長方形	800	560	40	S-264・267・271・272・273・274・275・276・279・280・281・283・284	C4
SD	14	-	10m	130	19	土師瓦土器出土。中近世 SD	G6
SX	15	不整形	600	500	25	階段の掘り溝跡。SX423 より新。掘の溝状の掘り込みで切られる。平安土師瓦片出土	D3
SD	16	-	12m	50	10	SD-16・17・18 は南北で平行。SD-17 との新旧は不明	D3
SD	17	-	20m	60	14	SD-16 から連続。SD-18 を切る	C3・D3
SD	18	-	9m	70	10	SD-17 から連続	C3
SD	19	-	14m	60	12	SD-18 等との新旧は不明。東端は浅くなって消滅	C3～4
SD	20	-	27.8m	50	43	SD-20 と同一 SD。奈良・平安 SD	H5・6、 D3～5
SB	21	長方形	611	403	-	S-110・157・176・177・178・213・343・347・355・356・357・358・366	E6
SB	22	長方形	474	329	-	S-82・84・85・367・369・371・372・375・376・377・395・445	F6
SB	23	長方形	787	490	-	S-55・59・60・64・69・70・79・89・90・94・134・135・244・245・246・247・249・253・378	F6
SD	24	-	8m	60	17	SD-28 と連続	H10
SD	25	-	11m	90	33	土師瓦土器・五輪塔出土。中近世 SD、SD-24・25・27・28 と平行、やや航行	H10
SD	26	-	44m	80	35	SD-20 と同一 SD。奈良・平安 SD、多量の土器等が出土。石白流入	G9・10、 H7～9
SD	27	-	18.5m	100	52	土師瓦土器・板瓦出土。中近世 SD	G10、 H10、H10
SD	28	-	11.8m	100	23	土師瓦土器出土。中近世 SD	H10
SB	29	長方形	655	387	-	S-155・156・290・294・306・307・308・310・311・316・323・324・325・488・493・494・491	F5
SK	30	不整形	145	115	87	底面は円形	H10
SE	31	円形	106	104	-	覆土下層から木片、須恵器片出土	H9
SE	32	不整形	140	120	-	覆土上層から遺物出土。土師瓦土器出土。中近世 SE	H10
	33						
SE	34	円形	63	63	86	やや小型の井戸跡とした	H9
S	35	不整形	68	21	55		H9
SE	36	楕円形	95	75	118	小型の井戸跡。土師瓦土器・食物残渣出土。中近世 SE	H10
SK	37	楕円形	95	75	118	底面から粘土出土	H9
SK	38	不整形	140	40	21	不整の長方形。	H9
SK	39	不整形	162	102	58	不整の長方形。	H9
SK	40	長方形	142	82	12	整った長方形	H9
SX	41	不整形	250	195	42	不整の掘り込み。ビットより新	H8
SX	42	方形	222	100	45	方形型穴状遺構か	H8
SK	43	長方形	117	104	110	覆土より木片出土。土師瓦土器出土	I5
SE	44	不整形	158	133	140	覆土中層から遺物出土。底面は粘土層。奈良・平安 SE	H7
S	45	不整形	200	64	33		H8
SK	46	長方形	196	95	40	不整の長方形。	H8
SK	47	長方形	207	63	47	北半は別の不整の掘り込み	H8
SK	48	不整形	275	100	47	不整の長方形。ビットは別の掘り込み。土師瓦土器出土	H6

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
SX	49	長方形	305	172	13	東西壁際にピットを持つ方形穴状遺構か	G6
SE	50	円形	114	106	-	北奥壁が壊れる。陶器片・石炭・種実出土。中近世 SE	F5
S	51	円形	35	33	47		E5
SE	52	楕円形	110	95	96	覆土中層から底面より木製品、礎出土。土師質土層出土。中近世 SE	F5
SE	53	楕円形	156	137	154	覆土下層は崩落。土師質土層出土。中近世 SE	F5
S	54	楕円形	53	49	27		F5
S	55	楕円形	78	47	53		F5
S	56	楕円形	58	45	53	中近世瓦片出土	F6
S	57	円形	43	35	24		E6
S	58	円形	53	45	23		E6
S	59	不整形	87	74	48	底面から石臼出土	E6
S	60	円形	50	46	42		F6
S	61	円形	45	38	23		E6
S	62	円形	55	52	25	古代土師器片出土	F5
S	63	円形	48	33	28		F5
S	64	楕円形	90	60	60		F5
S	65	楕円形	40	33	48		F5
S	66	楕円形	55	46	52		F5
S	67	楕円形	44	39	51		F5
SE	68	楕円形	180	125	157	覆土下層は崩落。遺物が覆土から出土。奈良・平安 SE	F5
S	69	楕円形	55	45	50		F5
S	70	楕円形	55	45	43		F5
S	71	円形	38	34	26		F5
S	72	円形	52	44	30		F5
S	73	楕円形	61	42	34		F5
S	74	円形	45	40	40		F5
S	75	円形	32	27	20		F5
S	76	楕円形	32	-	51		F5
S	77	楕円形	35	-	40		F5
S	78	楕円形	40	32	56		F5
S	79	円形	70	63	41		E6
S	80	楕円形	43	29	26		F6
S	81	円形	34	30	25		F6
S	82	楕円形	48	32	23		F6
S	83	楕円形	35	25	26		F6
S	84	楕円形	66	49	37		F6
S	85	楕円形	-	45	38		F6
S	86	楕円形	-	50	38		F6
S	87	不整形	90	34	27		F6
S	88	円形	47	44	51		F6
S	89	円形	55	51	35		F6
S	90	円形	58	52	46		E6
S	91	円形	37	35	25		F6
S	92	不整形	100	48	40	S-93 より新しい	E6
S	93	不整形	-	57	28		E6
S	94	楕円形	93	47	56		F6
S	95	不整形	81	52	43	古代土師器片出土	F5
S	96	不整形	-	5	37		E5
S	97	不整形	-	37	31		E5
S	98	円形	56	55	28		E5
S	99	円形	40	39	34		E5

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
SE	100	円形	83	74	-	SD-12より新しい。覆土中層より石、土器片・曲物・雑瓦出土	F4
SK	101	円形	105	96	66	円筒形状	D6
S	102	楕円形	65	48	28		E6
S	103	円形	24	24	39		E6
S	104	楕円形	45	40	28		E6
S	105	楕円形	40	38	32		E6
S	106	楕円形	59	46	38		E6
S	107	円形	40	32	31	木片出土	D6
S	108	円形	40	35	45		D6
S	109	楕円形	30	24	26		E6
S	110	円形	35	35	36	木片出土	E6
SK	111	円形	80	77	33		F6
SK	112	円形	128	98	82	土師器片、瓦片出土	E6
SE	113	円形	95	91	238	底面は挟れる。覆土上層より石、土師質土器片・曲物、鉄釘出土。中近世 SE	F4
S	114	楕円形	45	35	34		E6
S	115	円形	36	35	33		E6
S	116	楕円形	37	29	31		E7
S	117	楕円形	39	32	41		C6
S	118	円形	31	29	38		C6
S	119	円形	23	22	27		C6
SB	120	長方形	655	385	-	S-644・661・667・676・680・688・693・701・705・706・707・708・709・775	H5
SK	121	不整形	488	190		不整の長方形、古代土師器片出土	C5
SE	122	楕円形	128	104	198	土層は上層のみ観察、SK121との範囲不明。内耳土層・曲物出土。中近世 SE	C5
SK	123	長方形	190	140	142	底面形状から SK とする。平面形は不整。底面は長方形の土坑	C5
S	124	円形	37	33	25		C5
S	125	円形	30	28	21		D5
SB	126	長方形	678	388	-	S-611・612・613・633・636・637・650・653・690	H5
S	127	楕円形	42	31	20		D6
S	128	円形	28	25	16		D6
S	129	円形	30	30	23		D6
	130						
S	131	楕円形	25	25	25		F5
S	132	楕円形	42	37	24		F5
S	133	円形	34	29	24		E5
S	134	円形	42	34	37		E5
S	135	円形	34	30	40		E5
S	136	円形	36	35	40		E5
S	137	楕円形	41	35	24		E5
S	138	円形	50	43	23		E5
S	139	楕円形	56	46	27	覆土より石出土	E5
S	140	楕円形	54	45	37		E5
S	141	円形	47	41	28		E5
S	142	円形	33	30	33		E5
S	143	楕円形	60	32	45		E5
S	144	円形	35	32	15		E5
S	145	円形	37	34	30		E5
S	146	楕円形	64	50	32		E5
S	147	楕円形	-	30	22		E5
S	148	楕円形	-	35	32		E5
S	149	不整形	32	-	55	S-97・486・487と重複	E5
S	150	円形	48	45	38		E5

第3章 西根2道路

道標名	道標 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	151	円形	42	39	34		E5
S	152	円形	31	30	33		E5
S	153	円形	29	29	36		E5
S	154	楕円形	40	25	36		E5
S	155	円形	39	32	42		E5
S	156	円形	40	36	42		E5
S	157	円形	31	24	20		E6
S	158	円形	25	21	38		E6
S	159	円形	31	29	20		E6
S	160	楕円形	34	25	50		E6
	161						
	162						
S	163	円形	53	45	41		E7
S	164	円形	30	26	47		E6
S	165	円形	32	26	19		E7
S	166	円形	25	20	31		E6
S	167	楕円形	35	30	46		E7
S	168	円形	30	29	50		E7
S	169	円形	22	22	38		E7
S	170	円形	38	38		北面から本柱出土	D7
S	171	楕円形	-	30	33	S-170 より古い	D7
S	172	楕円形	25	22	32		E7
S	173	円形	30	30	17		D7
S	174	不整形	25	23	11		D6
S	175	楕円形	24	18	27		D6
S	176	円形	23	23	52		E6
S	177	不整形	28	21	33		E6
S	178	不整形	27	20	35		E6
S	179	円形	43	38	31		E6
S	180	円形	30	28	39		C6
S	181	楕円形	85	61	35		E6
S	182	円形	52	48	51		F6
S	183	円形	43	38	39		E6
S	184	円形	58	52	39		E6
S	185	不整形	33	14	22		E6
S	186	円形	26	23	27		E6
S	187	楕円形	45	35	31		E5
S	188	円形	30	28	48		E6
S	189	円形	30	26	39	本柱出土	D6
S	190	円形	44	42	19		D5
S	191	円形	39	36	25		D6
S	192	円形	26	23	20		E6
S	193	円形	33	29	41		E6
S	194	円形	42	38	29		E6
S	195	円形	35	32	23		E6
S	196	楕円形	35	14	17		E6
S	197	円形	33	29	52		F6
S	198	円形	48	35	52		F6
S	199	円形	53	53	46		F6
S	200	楕円形	94	58	39		F6
SB	201	長方形	543	331	-	SK-42・SK-47・S-829・859・861・878・883・885・1026	H8

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
SB	202	長方形	613	375	-	SX-41・42・S-877・889・893・1035・1071・1080・1099	H8
SB	203	長方形	787	-	-	S-890・1036・1045・1047・1050・1055	H8
S	204	楕円形	32	26	19		E5
S	205	円形	22	22	34		D5
S	206	円形	30	28	17		D5
S	207	円形	33	30	23		D5
S	208	楕円形	35	30	18		D4
S	209	円形	34	34	25		D5
S	210	楕円形	30	25	23		D5
S	211	円形	30	29	20		D5
S	212	楕円形	40	25	28		D5
S	213	円形	38	35	24		E6
S	214	楕円形	37	29	18	木片出土	E6
S	215	楕円形	53	42	40	底面より石出土	E6
S	216	円形	32	30	37		E7
S	217	円形	30	27	31		E6
S	218	円形	40	29	23		F7
S	219	楕円形	55	45	23	SK-03の柱式	E7
S	220	円形	32	32	31		E7
S	221	円形	39	37	25		E7
S	222	円形	24	24	17		E6
S	223	円形	34	30	22		E6
S	224	円形	23	23	14		E7
S	225	不整形	33	28	18		E7
S	226	楕円形	26	18	16		E7
S	227	円形	32	26	15		E7
S	228	楕円形	34	26	17		E7
S	229	円形	35	31	29		E7
S	230	楕円形	43	35	19		E7
S	231	円形	21	20	23		E7
S	232	円形	28	24	13		E7
S	233	円形	34	32	27		E7
S	234	楕円形	50	40	23		E7
S	235	円形	30	28	20		E7
S	236	円形	40	34	24		E7
S	237	円形	27	25	29		E7
S	238	楕円形	40	33	20		E7
S	239	円形	28	20	16		E7
S	240	円形	24	24	18		E7
S	241	円形	40	35	40		E7
S	242	不整形	26	25	18		E7
SK	243	不整形	189	120	45	不整で小穴が複数あり	F6
SK	244	不整形	111	-	69	底面より石出土	E5
S	245	不整形	35	31	41		E5
S	246	不整形	82	-	39		E5
S	247	不整形	49	47	26		E5
S	248	円形	38	30	20	覆土より石出土	E5
S	249	円形	40	39	40		E5
S	250	円形	30	30	47		E5
S	251	円形	20	20	25		E5
S	252	楕円形	35	22	29		F6

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	253	楕円形	56	35	52		F5
	254						
S	255	円形	30	26	22		F5
S	256	円形	78	74	64	内耳土器片と古代瓦片出土	E4
S	257	楕円形	33	26	26		E4
S	258	楕円形	70	56	40		E3
S	259	円形	35	34	33		E4
S	260	楕円形	33	30	40		E3
S	261	円形	47	41	33		E4
S	262	円形	26	25	14		D4
S	263	円形	44	34	30		D4
S	264	円形	31	27	10	木片出土, SB-13	C4
S	265	楕円形	39	31	20	柱頭跡か、SB-13 関連か	C4
S	266	円形	31	28	14		D4
S	267	円形	45	38	38	SB-13	C4
S	268	円形	28	26	48		D4
S	269	円形	42	41	34		D4
S	270	円形	29	27	39		D4
S	271	円形	43	36	35	SX-15 より新しい、柱頭跡、SB-13	C4
S	272	円形	25	25	35	SX-15 より新しい、SB-13	C3
S	273	円形	41	38	38	SB-13	C3
S	274	円形	30	28	39	SB-13	C4
S	275	円形	30	30	49	柱頭跡あり、SB-13	C4
S	276	円形	33	30	22	SB-13	C4
S	277	円形	30	27	21	柱頭跡か、SB-13 関連か	C4
S	278	円形	35	34	29	柱頭跡か、SB-13 関連か	C4
S	279	円形	40	40	40	木柱出土、柱頭跡あり、SB-13	C4
S	280	円形	45	42	31	木柱出土、柱頭跡あり、SB-13	C4
S	281	円形	42	39	41	木柱出土、柱頭跡あり、SB-13	C4
S	282	円形	36	36	36	SB-13 関連か	C4
S	283	楕円形	42	37	46	SB-13	C4
S	284	円形	25	25	17	木片出土、柱頭跡あり、SB-13	C3
S	285	円形	22	22	17	SB-13 関連か	C4
S	286	円形	25	23	32	SB-13 関連か	C4
S	287	円形	26	23	25	SB-13 関連か	C4
S	288	円形	30	26	30		F5
S	289	円形	30	26	29		F5
S	290	不整形	80	51	36		F5
S	291	円形	35	35	48		F5
S	292	円形	41	41	35		F5
S	293	円形	42	38	37		F5
S	294	円形	53	48	28		F5
S	295	円形	30	26	37		F5
S	296	円形	21	21	27		F5
S	297	楕円形	65	55	53		E5
S	298	楕円形	55	45	28		F5
S	299	楕円形	48	36	46		F5
S	300	楕円形	75	55	50	S-290 と重複	F5
S	301	楕円形	30	25	24		F5
S	302	円形	29	26	13		F5
S	303	円形	41	36	30		E4

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	備考	グリッド
S	304	円形	38	36	36		F5
S	305	円形	33	31	28		F5
S	306	不整形	35	30	36		F5
S	307	円形	35	30	24		F5
S	308	円形	52	49	25		F5
S	309	円形	38	32	32		F5
S	310	不整形	-	31	29		F5
S	311	楕円形	-	29	19		F5
S	312	楕円形	61	35	27		F4
S	313	円形	46	34	32		F5
S	314	楕円形	-	24	26		F5
S	315	不整形	-	27	18		F5
S	316	不整形	109	75	31	底面より石臼出土	F5
S	317	楕円形	33	29	34	石出土	E5
S	318	円形	30	25	14		F5
S	319	円形	23	20	19		F5
S	320	不整形	42	32	14		F4
S	321	円形	30	26	14		E4
S	322	楕円形	48	37	23		F5
S	323	不整形	38	19	32		E5
S	324	円形	30	26	23		E5
S	325	円形	-	26	12		E5
S	326	円形	12	12	11		E5
S	327	楕円形	38	30	16		D5
S	328	長楕円形	30	24	32		D5
SK	329	不整形	213	112	30	振り込みも不整	D6
SE	330	円形	106	90	120	覆土観察は上層のみ、中位より木製品・木片出土。中近世 SE	D7
SX	331	長方形	556	237	8	不整形、SE-330 等より古い	D7
	332						
	333						
S	334	楕円形	70	45	78		E7
SE	335	楕円形	121	100	10	円筒形状。土器・雑物が中層から出土	D6
S	336	楕円形	72	60	56		D7
S	337	円形	64	61	53		D7
SX	338	長方形	355	265	43	やや不整。ピットは別の振り込みで古い	E7
S	339	楕円形	40	33	12		F6
	340						
S	341	楕円形	75	55	35		E6
S	342	円形	28	27	21		E6
S	343	円形	25	25	35		E6
S	344	円形	35	29	25		E6
S	345	楕円形	63	39	47		E6
S	346	円形	26	19	35		E6
S	347	不整形	60	37	27		E6
S	348	楕円形	49	32	32		E6
S	349	円形	56	51	82		E6
S	350	円形	47	35	35		E6
S	351	円形	31	26	38		E6
S	352	円形	28	25	36		E6
S	353	円形	26	26	24		E6
S	354	円形	30	26	17		E6

第3章 西根2道路

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	355	円形	33	28	20	本柱出土	E6
S	356	円形	25	25	37		E6
S	357	楕円形		37	36		E6
S	358	不整形	75	32	43		E6
S	359	楕円形	48	35	39		E7
S	360	円形	35	27	39		E7
S	361	円形	39	34	39		E7
S	362	円形	35	33	28		E7
S	363	円形	25	22	46		E7
S	364	円形	33	31	26		E7
S	365	円形	40	32	27		E7
S	366	楕円形		35	35		E6
S	367	楕円形	30	25	16		F6
S	368	楕円形	80	65	17		F6
S	369	円形	22	21	21		F6
S	370	楕円形	34	29	15		F6
S	371	楕円形	25	20	14		F6
S	372	楕円形	34	27	24		F6
SK	373	楕円形	230	123	35		D5
S	374	円形	34	27	27		F6
S	375	不整形	72	35	24		F6
S	376	楕円形	32	29	37		F6
S	377	円形	34	29	27		F6
S	378	楕円形	50	39	17		F5
S	379	円形	34	34	29		D6
S	380	円形	32	30	16		D5
S	381	円形	30	28	25		C5
S	382	円形	31	30	43		C5
S	383	円形	38	35	37		C5
	384						
	385						
	386						
	387						
	388						
S	389	円形	35	29	20		D6
SK	390	楕円形	220	90	80	土部器片出土、竪出土。遺構時期は不明	D4
	391						
S	392	不整形	40	32	20		F6
S	393	円形	42	40	19		F6
S	394	楕円形	25	18	15		F6
S	395	楕円形	35	29	29		F6
S	396	長方形	57	52	20		E7
S	397	円形	26	22	26		E5
	398						
S	399	円形	30	30	24		E7
S	400	楕円形	35	30	27		E7
	401						
	402						
SK	403	楕円形	197	113	20	不整の長方形	D5
S	404	楕円形	54	48	35		D5
S	405	円形	26	25	22		D5

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	406	円形	30	25	17		D5
S	407	円形	34	30	18		D5
S	408	円形	-	24	31		D6
S	409	円形	-	26	17		D6
S	410	円形	28	25	23		C5
S	411	円形	30	28	17		C5
S	412	円形	31	30	29		C5
S	413	楕円形	30	25	19		D6
S	414	楕円形	34	27	28		D6
S	415	楕円形	37	24	19		C6
S	416	楕円形	26	21	21		D6
S	417	円形	46	45	19		E6
S	418	不整形	70	50	26	長方形の土坑を切る	D5
S	419	円形	31	30	26		D5
SK	420	長方形	460	65	50	不整の長方形、S-276 との範囲は不明	C4
SK	421	長方形	320	90	15	不整の長方形	C4
S	422	円形	28	2	18		D5
SX	423	不整形	254	167	29	形状、土層から側木根と推定される	D3
S	424	不整形	-	36	30	S-238 と重複	E7
S	425	楕円形	35	28	30		E6
S	426	不整形	95	18	50		E6
S	427	楕円形	36	22	30		E7
	428						
S	429	楕円形	37	30	32		F6
S	430	楕円形	144	71	34		G6
SE	431	楕円形	153	110	-	覆土中層から多量の木片等出土。漆器・土師瓦土器片、銅出土。中近世 SE	F7
SX	432	楕円形	245	75	80	覆土上層から多量の漆器・曲物等木製品、木柱、礎、陶器片・石臼が出土	G6
SX	433	長方形	237	189	30	SX-49 に規模が近似しており方形型穴状遺構か、SD-9 に切られる	G6
S	434	円形	70	65	42		G6
S	435	楕円形	48	27	50		F6
S	436	不整形	39	33	24		F6
S	437	楕円形	65	44	30		F6
	438						
S	439	楕円形	28	21	21		D6
S	440	円形	28	27	17		D6
S	441	円形	25	22	19		D6
S	442	円形	50	43	38		D6
S	443	楕円形	35	30	19		E7
S	444	不整形	46	44	39		F6
S	445	不整形	46	40	45		F6
	446						
S	447	円形	32	29	24		C6
S	448	円形	32	27	17		E6
S	449	円形	46	40	17		E6
S	450	不整形	-	-	32	S-105 と重複	E6
S	451	不整形	-	20	16		E6
S	452	不整形	-	24	14		E6
S	453	不整形	-	-	23		E6
S	454	不整形	-	-	7		E6
S	455	楕円形	-	22	20		E6
S	456	楕円形	-	24	4		E6

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	457	楕円形	34	27	20		E6
S	458	楕円形	27	20	33		E6
S	459	円形	29	25	12		E6
S	460	円形	37	37	27		F6
S	461	不整形	-	27	25	S-186 と重複	E6
S	462	円形	30	25	28	S-481 と重複	E6
S	463	円形	36	30	26		E6
S	464	楕円形	-	34	20		E6
S	465	楕円形	-	32	14		E6
S	466	円形	27	21	1		E6
S	467	円形	30	30	18		F6
S	468	円形	35	30	33		F6
S	469	円形	32	32	15		F6
S	470	円形	38	28	12		F6
S	471	円形	30	26	22		F6
S	472	楕円形	26	21	18		F6
S	473	円形	34	30	12		F6
S	474	円形	35	34	23		F6
S	475	楕円形	29	23	10		F5
S	476	円形	29	26	9		F5
S	477	不整形	84	50	20		F5
S	478	円形	20	18	22		F6
S	479	円形	27	25	20		F6
S	480	円形	26	28	38		E6
S	481	不整形	-	20	13	S-462 と重複	E6
S	482	円形	30	25	11		E5
	483						
	484						
	485						
S	486	不整形	-	28	51		E5
S	487	不整形	-	-	41		E5
S	488	円形	27	24	33		E5
S	489	円形	34	33	32	古代土師器・須恵器片出土	F5
S	490	楕円形	42	34	38		I3
S	491	楕円形	35	29	19		E5
S	492	円形	29	25	37		F5
S	493	不整形	-	42	21	S-323 と重複	E5
S	494	不整形	-	43	33	S-323 と重複	E5
S	495	円形	30	25	18		F5
S	496	円形	37	31	21		E5
S	497	楕円形	42	-	32		F4
S	498	楕円形	49	-	25		F4
S	499	楕円形	45	-	39		F4
SE	500	円形	77	72	92	覆土上層から多量の土器出土。奈良・平安SE	G4
S	501	円形	44	40	32		F4
S	502	不整形	50	35	21		F4
S	503	楕円形	45	38	26		F4
S	504	円形	51	50	53		F4
S	505	円形	30	27	18		F4
	506						
S	507	円形	35	30	17		F4

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	508	円形	32	32	32	覆土から古銭 (9～11) 出土	F4
S	509	円形	30	26	13		F4
S	510	楕円形	26	22	16		F4
S	511	円形	36	31	72		F4
S	512	円形	43	43	16		G4
S	513	円形	28	28	14		G4
S	514	楕円形	35	26	18		G6
S	515	楕円形	32	26	38		G6
S	516	楕円形	40	26	22		G6
S	517	円形	25	22	22		G6
S	518	円形	28	27	19		G6
S	519	楕円形	67	50	22		G6
S	520	円形	18	18	8		G5
S	521	円形	30	27	24		G5
S	522	円形	40	34	28		G6
S	523	楕円形	50	35	31	SD-8 と重複	G6
S	524	円形	18	17	12		G6
S	525	円形	16	15	39		G6
S	526	楕円形	29	24	9		G6
S	527	楕円形	62	50	21		G6
S	528	楕円形	45	30	15		G4
S	529	円形	34	30	19		G6
SK	530	楕円形	198	159	30	緩やかな掘り込み	G6
S	531	円形	35	35	34		F4
S	532	円形	37	33	23		F4
S	533	不整形	35	27	13		F4
S	534	楕円形	35	25	32		F5
S	535	円形	33	29	27		F5・6
S	536	楕円形	185	74	139	S-539 と重複	G5
S	537	楕円形	31	25	26	S-433 と重複	G6
S	538	楕円形	40	33	26		G5
S	539	楕円形	35	28	54	S-536 と重複	G5
S	540	楕円形	56	47		古代須恵器片出土	F5
S	541	円形	35	34	60		F5
	542						
SE	543	楕円形	246	222	167	下部の東西壁が大きく抜ける。陶器片・磁石出土。中近世 SE	H12
	544						
S	545	円形	33	32	45		H11
S	546	楕円形	56	28	51		H11
S	547	円形	21	20	36		H11
S	548	円形	30	24	37		H11
S	549	円形	35	27	58		H11
S	550	円形	45	37	61		H11
S	551	楕円形	45	32	34		H11
S	552	円形	39	36	37		H11
S	553	楕円形	46	38	78		H12
S	554	楕円形	31	23	37		H12
S	555	方形	31	29	64		H11
SK	556	長方形	154	76	40	S-557 に切られる	H11
S	557	円形	44	39	41	SK-556 より新	H11
S	558	楕円形	25	20	16		H11

第3章 西根2道路

道橋名	道橋 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	559	不整形	128	-	13	S-560・561と重複	H11
S	560	不整形	40	34	48	S-559・561と重複	H11
S	561	不整形	-	69	48	S-559・560と重複	H12
SK	562	長方形	238	91	15	やや大盛の長方形土坑	H12
S	563	橋門形	46	29	41		H11
S	564	長方形	31	27	45		H12
S	565	円形	30	29	15		H12
S	566	円形	25	25	36		H12
S	567	円形	30	25	17		H12
S	568	円形	23	23	21		H12
S	569	円形	25	23	14		H12
S	570	円形	47	42	31		H12
S	571	不整形	53	25	27		H12
SK	572	不整形	228	100	35	ビッドより古い	H12
S	573	不整形	30	25	39		H12
S	574	不整形	22	20	28		H12
S	575	方形	32	28	39		H12
S	576	長方形	165	54	10		H11
S	577	橋門形	33	27	16		H11
S	578	円形	31	29	45		H12
S	579	円形	27	24	16		H12
S	580	円形	33	32	39		H12
S	581	円形	43	43	15		H12
S	582	円形	35	35	35		H12
S	583	橋門形	40	30	32		H12
S	584	橋門形	50	43	25		H12
S	585	橋門形	57	40	51		H12
S	586	橋門形	30	16	28		H12
S	587	円形	26	26	23		H12
S	588	橋門形	25	18	16		H12
S	589	橋門形	28	25	30		H12
S	590	円形	31	29	36		H12
S	591	円形	38	31	39		H12
S	592	橋門形	50	38	45		H12
S	593	円形	34	31	44		H12
S	594	橋門形	35	32	46		H12
S	595	橋門形	25	22	34		H12
S	596	橋門形	33	25	26		H12
S	597	円形	33	30	36		H12
S	598	橋門形	36	30	36		H12
S	599	円形	27	26	34		H13
SE	600	円形	-	88	79	断面は円筒状	H12
S	601	円形	33	32	14		G4
S	602	不整形	30	30	13	S-604と重複	G4
S	603	橋門形	32	28	12		G4
S	604	不整形	33	26	12	S-602と重複	G4
S	605	円形	24	20	15		G5
S	606	橋門形	37	27	46		G4
S	607	円形	70	70	16		G4
S	608	不整形	29	22	15		G4
S	609	円形	35	33	9		G4

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (cm)	短径 (cm)	深さ (cm)	備考	グリップ
S	610	楕円形	44	34	40		G4
S	611	楕円形	47	37	55		H5
S	612	円形	49	46	42		H4
S	613	円形	43	43	24		H4
S	614	楕円形	55	45	14		H4
	615						
	616						
S	617	円形	52	49	22	断面から石出土	G4
S	618	楕円形	41	34	15		G4
S	619	円形	24	19	13		G4
S	620	不整形	35	30	12		G4
S	621	円形	33	29	16		G4
S	622	円形	44	44	61		H4
S	623	円形	34	32	19		G5
S	624	円形	37	34	21		G5
S	625	楕円形	76	70	30		H4
S	626	楕円形	58	40	47		H4
S	627	円形	42	40	28		H4
S	628	円形	45	42	43		H4
S	629	円形	37	35	21		H4
S	630	円形	30	26	37		H5
S	631	円形	35	31	16		H5
S	632	円形	67	65	10		H4
S	633	円形	46	44	11		H4
S	634	円形	49	20	25		H4
S	635	円形	43	35	40		H5
S	636	円形	25	20	16		H5
S	637	円形	40	39	55		H5
S	638	円形	-	45	51		H5
S	639	円形	-	25	18		H5
S	640	円形	38	38	11		H5
S	641	円形	37	35	11		G5
S	642	円形	43	33	26		H4
S	643	円形	32	30	20		H4
S	644	円形	40	34	19		H5
S	645	円形	36	35	16		H4
S	646	円形	46	44	13		H5
S	647	円形	45	40	12		H5
S	648	円形	44	40	37		H5
S	649	円形	42	30	22		H5
S	650	円形	46	43	30		H5
SE	651	円形	90	72	91	多量の木片、籾、内耳土器片・板脚が覆土より出土。中近世 SE	H5
SE	652	円形	89	80	88	多量の木片、籾、土師瓦土器が覆土より出土。中近世 SE	H5
S	653	円形	62	58	71		H5
S	654	円形	36	32	25		H5
S	655	円形	26	25	18		H5
S	656	円形	30	27	21		H5
S	657	円形	40	35	35		H5
S	658	円形	32	26	21		H5
S	659	円形	44	40	29		H5
S	660	円形	42	41	25		H5

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	661	楕門形	43	40	10		H5
S	662	不整形	54	48	17		H5
S	663	不整形	35	25	19		H5
S	664	楕門形	51	40	15		H5
S	665	円形	28	28	19		H5
S	666	楕門形	38	35	30		H5
S	667	楕門形	37	31	40		H5
	668						
S	669	不整形	45	32	38		H5
S	670	不整形	37	36	45		H5
SE	671	円形	140	125	220	壁に今や段がある	H3
	672						
S	673	楕門形	47	38	23		H5
S	674	楕門形	27	22	25		H5
S	675	楕門形	21	-	26		H5
S	676	楕門形	41	39	29		H5
S	677	楕門形	19	-	21		H5
S	678	楕門形	46	42	12		H6
S	679	楕門形	49	45	47		H6
S	680	楕門形	45	39	49		H6
S	681	楕門形	51	47	34		H6
	682						
	683						
S	684	円形	30	29	17		H5
S	685	楕門形	36	30	11		H5
S	686	不整形	37	24	27		H5
S	687	不整形	38	25	47		H5
S	688	不整形	42	40	37		H5
S	689	楕門形	55	49	56		H5
S	690	楕門形	46	32	37		H5
S	691	楕門形	52	45	27		H5
S	692	楕門形	47	42	15		H5
S	693	楕門形	39	35	40		H5
S	694	楕門形	39	35	21		H5
	695						
	696						
	697						
S	698	楕門形	43	32	38		H5
	699						
S	700	楕門形	62	48	32		H5
S	701	楕門形	57	43	50	古代直造源片出土	H5
S	702	円形	17	16	40		H5
S	703	楕門形	34	30	28		H5
SK	704	不整形	91	79	27	古代直造源片出土	H5
S	705	楕門形	36	35	29		H5
S	706	円形	42	42	40		H6
S	707	不整形	47	42	35		H6
S	708	不整形	55	53	41		H6
S	709	不整形	10	9	49		H6
S	710	円形	33	32	24		H5
S	711	不整形	54	53	22		H5

道橋名	道橋No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	712	不整形	45	33	21		H5
S	713	不整形	52	35	41		H5
S	714	不整形	27	25	19		H5
S	715	橋門形	28	25	10		H5
S	716	円形	31	30	35		H5
S	717	橋門形	39	33	40		H5
S	718	円形	26	25	19		H5
S	719	円形	40	39	52		H6
S	720	橋門形	84	83	18		H5
S	721	円形	40	38	22		H5
S	722	円形	23	20	24		H5
S	723	円形	31	31	19		H5
S	724	不整形	40	30	27		H6
S	725	円形	35	33	17		H5
S	726	不整形	49	40	22		H5
S	727	不整形	61	25	35		H5
S	728	方形	39	35	31		G6
S	729	不整形	34	30	37		G6
S	730	不整形	26	10	20		G6
S	731	不整形	43	31	39		G6
S	732	橋門形	37	31	20		G6
S	733	方形	35	25	27		G5
S	734	橋門形	32	26	31		G5
S	735	橋門形	36	31	22		G5
S	736	橋門形	22	18	28		G5
S	737	円形	30	28	20		G5
S	738	円形	28	26	28		G5
S	739	円形	26	25	30		G5
S	740	円形	52	49	22		G5
S	741	円形	31	31	17		G5
S	742	円形	30	30	26		G5
S	743	橋門形	30	26	29		H6
S	744	不整形	51	50	23	SX-49 のビットか	G6
S	745	橋門形	33	31	15		G6
S	746	橋門形	25	20	26		G6
S	747	橋門形	27	23	13		H6
S	748	橋門形	28	25	21		H6
S	749	円形	20	19	13		H6
S	750	不整形	28	11	19	S-750 ないし北のビットは SX-49 間違か	G6
S	751	円形	34	32	22		G4
S	752	円形	43	43	27		G4
S	753	橋門形	46	45	28		I5
S	754	円形	36	35	25		I5
S	755	橋門形	27	25	28		I5
S	756	円形	11	10	18		I5
S	757	橋門形	26	24	13		I5
S	758	不整形	37	32	38		I5
S	759	不整形	33	32	26		I5
S	760	橋門形	45	35	30		I5
S	761	橋門形	43	40	39		I6
S	762	円形	32	31	40		I6

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	763	楕円形	36	32	33		H5
S	764	楕円形	32	25	26		H5
S	765	楕円形	33	31	13		H5
S	766	楕円形	50	41	13		H5
S	767	楕円形	53	45	41		H6
S	768	楕円形	39	33	20		H5
S	769	楕円形	43	40	21		H5
S	770	楕円形	53	48	13		H5
SE	771	楕円形	118	113	71	覆土上へ中層から多量の礫出土	H6
S	772	円形	52	51	39		H6
S	773	楕円形	32	29	27		H5
S	774	円形	31	30	28		H5
S	775	楕円形	39	36	37		H6
S	776	楕円形	44	16	15		H5
S	777	不整形	70	60	46	不整の廻り込みが連続しており、A・Bとする	H6
	778						
	779						
	780						
	781						
S	782	楕円形	50	20	23		H5
	783						
S	784	楕円形	75	65	20	古代土層薄片出土	H5
S	785	不整形	49	40		底面が深く未調査、SEの可能性あり。須恵器・土師器出土。奈良・平安SEか	H5
S	786	不整形	37	35	14		H5
S	787	楕円形	67	34	34		H5
	788						
S	789	不整形	28	25	29		H4
S	790	楕円形	28	27	19		H4
	791						
S	792	楕円形	42	26	57		H7
S	793	円形	30	25	38	内耳土層片出土	H7
S	794	円形	29	26	55		H7
S	795	円形	23	18	48		H7
S	796	楕円形	27	19	20		H7
S	797	円形	27	25	22		H7
S	798	不整形	34	-	24		H7
S	799	不整形	40	-	34		H7
SX	800	方形	281	264	88	SD-20を切る。長方形の廻り込み中に本特による区画、中に円形の廻り込み、SEか	H6
S	801	円形	36	35	42		H9
S	802	方形	35	33	39		H9
S	803	円形	29	25	32		H9
S	804	円形	43	37	34		H9
S	805	円形	32	26	22		H9
S	806	円形	30	29	21		H9
S	807	楕円形	40	30	41		H9
S	808	円形	30	28	28		H9
S	809	円形	41	38	42		H9
S	810	円形	39	34	42		H9
S	811	円形	34	33	39		H9
S	812	円形	48	43	51		H9
S	813	方形	40	34	56		H9

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	814	不整形	65	49	37		H9
S	815	方形	33	32	37		H9
S	816	方形	29	28	52		H9
S	817	方形	30	25	29		H9
S	818	方形	33	30	48		H9
S	819	円形	40	35	36		B
S	820	円形	35	32	53		B
S	821	楕円形	35	26	41		B
S	822	楕円形	29	24	23		B
S	823	円形	35	28	48		B
S	824	円形	37	31	53		B
S	825	楕円形	42	28	20		B
S	826	円形	31	31	31		B
S	827	円形	33	31	34		B
S	828	楕円形	32	25	22		B
S	829	楕円形	57	48	47		H8
S	830	円形	31	30	25		H8
S	831	楕円形	40	31	23		H8
S	832	楕円形	35	32	30		H8
S	833	楕円形	29	20	24		H9
S	834	楕円形	35	27	37		H9
S	835	円形	30	27	22		H9
S	836	不整形	26	-	38	S-1008 と重複	H9
S	837	円形	35	34	52	本柱出土	H9
S	838	不整形	30	29	47		H9
S	839	不整形	40	26	38		H9
S	840	楕円形	50	38	35		H9
S	841	方形	25	25	28		H9
S	842	円形	31	27	28		H9
S	843	楕円形	45	35	42		H9
S	844	円形	34	33	43		H9
S	845	楕円形	66	28	50	本柱出土	H9
S	846	円形	30	29	28		H9
S	847	円形	29	29	30		B
S	848	楕円形	43	34	48		H9
S	849	楕円形	70	45	58		H8
S	850	円形	37	31	40		H9
S	851	円形	25	25	30		H9
S	852	楕円形	34	25	46		H8
S	853	円形	28	25	28		H8
S	854	円形	18	14	27		H9
S	855	楕円形	55	35	37	S-45 と重複	H9
S	856	円形	28	28	33		B
S	857	不整形	80	40	13		B
S	858	方形	34	27	42		H8
S	859	楕円形	45	37	31		H8
S	860	楕円形	50	45	31		H8
S	861	不整形	56	49	50		
S	862	不整形	39	20	29		
S	863	楕円形	30	28	42	礎土から古銭出土	B
S	864	楕円形	43	39	34		B

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	865	楕円形	31	25	31		H8
S	866	楕円形	35	32	50		H8
S	867	楕円形	39	32	53		H8
S	868	円形	22	19	19		H8
S	869	円形	35	35	48		H8
S	870	楕円形	35	30	40		H8
S	871	不整形	61	59	25		H8
S	872	円形	32	27	63		H8
S	873	不整形	64	46	57		H8
S	874	楕円形	40	32	46		H8
S	875	不整形	37	30	42		H8
S	876	不整形	54	49	33		H8
S	877	不整形	26	25	39		H8
S	878	円形	36	30	38		H8
	879						
	880						
	881						
S	882	不整形	30	19	16		H8
S	883	不整形	29	24	23		H8
S	884	楕円形	46	40	53		H8
S	885	楕円形	50	38	40		H8
S	886	楕円形	54	44	61		H8
	887						
S	888	不整形	30	27	26		H8
S	889	不整形	74	38	62		H8
S	890	不整形	75	43	38		H8
	891						
	892						
S	893	方形	52	46	56		H8
S	894	楕円形	54	47	38		H8
S	895	楕円形	50	37	38		H8
	896						
S	897	不整形	587	37	35		H8
S	898	不整形	-	20	37		H8
S	899	不整形	45	-	32		H8
S	900	円形	26	26	42		H8
S	901	楕円形	50	33	29		H7
S	902	円形	20	18	15		H7
S	903	円形	27	27	30		H7
S	904	円形	28	25	42		H7
S	905	円形	30	29	58		H7
S	906	円形	34	27	46		H7
S	907	楕円形	38	29	40		H7
S	908	不整形	57	35	17		H7
S	909	円形	27	27	50		H7
S	910	円形	24	22	10	土師質土器出土	H7
S	911	楕円形	60	29	22		H7
S	912	楕円形	52	29	23		H7
S	913	円形	28	25	38		H7
S	914	円形	20	16	49		H7
S	915	円形	21	17	50		H7

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	916	楕円形	42	35	50		H7
S	917	楕円形	52	31	44		H7
S	918	楕円形	56	34	43		H7
S	919	円形	49	42	52		H7
S	920	楕円形	35	32	40		H7
S	921	楕円形	36	34	44		H7
S	922	楕円形	47	46	40		H7
S	923	楕円形	40	34	52		H7
S	924	円形	40	36	60		H7
S	925	不整形	70	45	57	本柱出土	H7
S	926	楕円形	33	29	57		H7
S	927	楕円形	36	30	55		H7
S	928	円形	33	31	33		H7
S	928	楕円形	27	23	19		H7
S	930	不整形	51	29	53		H7
S	931	楕円形	42	38	21		H7
S	932	楕円形	31	26	28		H7
S	933	不整形	53	31	36		H8
S	934	不整形	36	25	38		H8
S	935	楕円形	39	35	40		H8
S	936	楕円形	32	27	43		H7
S	937	楕円形	40	31	61		H8
S	938	円形	32	29	43		H8
S	939	楕円形	65	60	39		H8
S	940	不整形	73	45	54		H8
S	941	楕円形	34	29	29		H9
S	942	楕円形	37	37	20		H8
S	943	不整形	63	20	29	本片・石目出土	H9
S	944	楕円形	39	35	29		H9
S	945	不整形	118	26	22		H9
S	946	不整形	49	42	34		H9
S	947	不整形	70	21	40		H9
S	948	不整形	80	37	58		H9
S	949	楕円形	37	36	22		H9
S	950	円形	15	15	17		H9
S	951	楕円形	38	36	54		H9
S	952	楕円形	28	24	20		H9
S	953	楕円形	37	36	41		H9
S	954	楕円形	61	40	46		H9
S	955	楕円形	21	20	17		H9
S	956	円形	36	36	26		H9
S	957	不整形	46	26	23		H9
S	958	楕円形	30	28	20		H9
S	959	不整形	-	-	24	S-960 と重複	G9
S	960	円形	29	28	41		G9
S	961	不整形	-	-	19	SD-26 と重複	H9
S	962	楕円形	51	47	61		H9
S	963	楕円形	38	24	41		H9
S	964	不整形	48	44	99		H9
S	965	円形	28	27	16		H9
	966						

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
	967						
S	968	円形	36	35	55		H9
S	969	楕円形	30	27	35		H9
S	970						
	971						
S	972	楕円形	43	34	40		H9
S	973	楕円形	27	23	19		H9
	974						
S	975	円形	24	24	19		H9
S	976	楕円形	33	27	22		H9
S	977	楕円形	28	26	37		H9
S	978	楕円形	55	29	18		G10
S	979	楕円形	40	27	12		H9
S	980	不整形	46	18	55		H9
S	981	方形	26	23	37		H9
S	982	楕円形	27	25	43		H9
S	983	楕円形	30	29	19		H9
S	984	楕円形	35	21	31		H9
S	985	楕円形	26	24	21	土師質土器出土	H9
S	986	楕円形	36	31	49		H7
S	987	楕円形	32	30	36		H9
S	988	円形	23	22	31		H9
S	989	楕円形	24	21	29		H10
S	990	楕円形	60	46	18		H10
	991						
	992						
S	993	楕円形	36	20	29		H10
S	994	楕円形	24	19	26		H10
S	995	楕円形	25	21	49		H10
S	996	方形	52	50	36		H9
S	997	楕円形	27	25	44		H9
S	998	円形	30	24	51		H9
S	999	円形	27	27	53		H9
S	1000	楕円形	72	22	47		H9
S	1001	楕円形	40	34	30		H9
S	1002	楕円形	50	26	38		H9
S	1003	不整形	55	45	56		G9
S	1004	不整形	25	19	19	S-960 と重複	G9
S	1005	不整形	40	17	15		G9
S	1006	楕円形	35	30	35		G9
S	1007	不整形	52	25	16		G9
S	1008	不整形	39	-	31	S-836 と重複	H9
SK	1009	楕円形	90	88	61	SD-27 を切る	H10
S	1010	長方形	120	104	23	SD-27 に切られる	H10
SK	1011	長方形	309	76	50	ゼットより古いSK	H9
S	1012	楕円形	24	20	42		H9
S	1013	方形	32	30	33		H8
S	1014	不整形	50	46	48		H8
S	1015	不整形	73	24	51		H8
S	1016	不整形	74	49	53		H8
S	1017	不整形	21	-	20	S-831 と重複	H8

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリップ
S	1018	円形	24	20	15		H8
S	1019	円形	35	31	34		H8
S	1020	円形	26	20	25		H8
S	1021	楕円形	35	29	52		H8
S	1022	不整形	57	20	36		H8
S	1023	円形	49	46	49		H8
	1024						
SX	1025	不整形	243	118	55	断面も不整形の形状	H10
S	1026	楕円形	44	34	42		H8
S	1027	円形	44	28	29		G8
S	1028	方形	35	29	41		G8
S	1029	楕円形	73	61	36		G8
S	1030	方形	37	29	29		G8
S	1031	円形	43	38	55		H8
S	1032	楕円形	26	20	24		H8
S	1033	楕円形	22	17	38		H8
S	1034	円形	36	35	35		H8
S	1035	不整形	47	41	37		H8
S	1036	楕円形	69	50	50	土師質土器出土	H8
S	1037	不整形	60	42	45		H8
S	1038	円形	29	26	26		H8
	1039						
S	1040	方形	32	28	46		H10
S	1041	不整形	152	97	34		H10
S	1042	楕円形	43	30	27		H10
S	1043	不整形	38	30	42		H10
S	1044	円形	27	23	53		H10
S	1045	方形	56	49	20		G8
S	1046	円形	50	46	29		G8
S	1047	不整形	218	191	72		H7
S	1048	円形	28	26	34		G7
S	1049	不整形	39	32	31		G7
S	1050	円形	76	74	30		G7
S	1051	楕円形	33	30	36		G7
S	1052	円形	25	25	27		G7
S	1053	楕円形	34	24	17		G7
S	1054	楕円形	46	34	47		H7
S	1055	楕円形	97	80	57		G7
S	1056	円形	25	25	20		G7
S	1057	円形	43	42	5		H7
S	1058	円形	24	21	26		H7
S	1059	円形	20	17	13		H7
S	1060	楕円形	37	33	51		H7
S	1061	楕円形	40	37	47		H7
S	1062	円形	29	28	45		H7
S	1063	楕円形	34	29	22		H7
	1064						
S	1065	不整形	30	24	56		I7
S	1066	不整形	60	24	51		I7
S	1067	楕円形	35	30	63		I7
S	1068	不整形	68	51	53		I8

第3章 西根2道跡

遺構名	遺構No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	1069	不整形	60	25	31		H8
S	1070	円形	29	28	33		H8
S	1071	楕円形	91	45	50		H8
S	1072	円形	22	21	23		H8
S	1073	方形	31	29	39		H8
S	1074	楕円形	26	22	36		H8
S	1075	楕円形	35	34	35	ビットのローム層より石礫が出土	H8
S	1076	楕円形	25	24	46		H8
S	1077	方形	38	38	41		H8
S	1078	不整形	76	18	15		H8
S	1079	楕円形	47	32	26		H8
S	1080	不整形	78	70	58		H8
S	1081	楕円形	39	38	42		H8
S	1082	楕円形	29	25	17		H8
S	1083	楕円形	30	30	23		H8
S	1084	不整形	90	84	41		G9
	1085						
	1086						
S	1087	円形	35	33	48		H7
S	1088	円形	31	31	21		H7
S	1089	不整形	72	67	64		H7
S	1090	不整形	55	48	50		H7
S	1091	不整形	28	27	30		H10
S	1092	不整形	45	30	18		H10
	1093						
	1094						
	1095						
S	1096	方形	47	35	42		H8
S	1097	楕円形	26	23	20		H8
S	1098	不整形	59	43	18	S-1099 と重複	H8
S	1099	不整形	-	40	50	SD-26・S-1098 と重複	H8
S	1100	方形	46	41	58		H8
S	1101	楕円形	23	21	38		H8
S	1102	楕円形	40	24	47	SD-26 と重複	H8
S	1103	不整形	60	42	27	SD-26 と重複	H8
	1104						
S	1105	楕円形	55	36	51		H7
S	1106	円形	45	45	42		H7
S	1107	不整形	65	56	52		H7
S	1108	不整形	111	70	30		H7
	1109						
	1110						
S	1111	不整形	46	40	18		H8
S	1112	不整形	35	34	30		H8
S	1113	方形	55	54	13		H8
S	1114	不整形	53	19	32		H8
	1115						
S	1116	円形	102	98	28		G8
S	1117	円形	45	42	53		H9
S	1118	円形	23	22	23		H9
S	1119	円形	25	23	28		H9

遺構名	遺構 No.	形状	長径 (m)	短径 (m)	深さ (m)	備考	グリッド
S	1120	楕円形	29	22	35		H9
SK	1201	不整形	-	112	48	ゼットより古い	H2
S	1202	方形	33	31	41		H2
S	1203	方形	26	23	24		H2
S	1204	方形	37	37	34		H2
S	1205	方形	44	43	34		H2
S	1206	方形	22	22	18		H2
S	1207	円形	23	19	27		H2
S	1208	方形	30	26	49		H3
S	1209	楕円形	38	33	25		H2
SD	1210	-	4.6m	30	84	掘り込みは不整。覆土より漆器・土師質土器片・石皿・石臼出土。中近世 SD	H3
S	1211	楕円形	36	22	27		H2
S	1212	楕円形	50	34	31		H2
S	1213	楕円形	30	21	13		H2
S	1214	方形	31	25	34		H2
S	1215	方形	26	26	29		H2
S	1216	楕円形	30	23	11		H2
S	1217	楕円形	31	26	41		H2
	1218						
	1219						
	1220						
S	1221	楕円形	31	25	23		H3
S	1222	楕円形	31	25	22		H3
S	1223	楕円形	22	20	45		H2
	1224						
S	1225	楕円形	35	31	42	土師質土器出土	H2
S	1226	不整形	44	28	51		H1
	1227						
	1228						
S	1229	楕円形	23	20	21		H7
S	1230	楕円形	50	27	51		H7
S	1231	円形	37	36	52		H7

第5節 自然科学分析

(1) 西根2遺跡出土木製品の樹種同定

小林克也・佐々木由香（パレオ・ラボ）

1. はじめに

西根2遺跡は三疊山麓の東斜面から三杉川に向かってなだらかに下る台地と低地の境目に位置する。検出された遺構は、旧石器時代の石器剥片散布地1地点、古墳時代から平安時代にかけての竪穴住居7軒、古代から中世にかけての溝跡6条、井戸跡約20基などである。ここでは、中世末から近世初頭にかけての溝跡や井戸跡から出土した木製品、古墳時代後期の竪穴住居跡出土の柱の樹種同定を行い、木製品の木材の選択性について検討した。なお、切片採取は小林・佐々木、同定および本文作成は小林が行った。また同定にあたり、森林総合研究所の能城修一氏の御教示を得た。

2. 試料と方法

試料は、中世末から近世初頭の井戸跡や溝跡から出土した漆器椀、曲物、木樋、樋？、板状木製品、不明木製品が29点、古墳時代の竪穴住居跡の柱が1点の計30点である。

材組織の切片採取では、木取りを観察しながら直接木材から片刃の剃刀を用いて材の横断面（木口）・接線断面（板目）・放射断面（柃目）の3断面を採取し、ガムクロラルで封入し永久プレパラートを作製した。同定はこれらのプレパラートを光学顕微鏡下で40～400倍で検鏡し、現生標本と対比して行った。なおプレパラートは、（株）パレオ・ラボに保管されている。

3. 結果

同定の結果、針葉樹のヒノキ、アスナロ、モミ属、カラマツ、マツ属複雑管束亜属、スギの6分類群が、広葉樹のクリ、ブナ属、コナラ属アカガシ亜属（以下アカガシ亜属）、トチノキの4分類群が検出された。また、組織の保存状態が悪く、ヒノキ科までしか同定ができなかったものがあった。

アスナロが最も多く13点で、スギが3点、ヒノキ科、カラマツ、マツ属複雑管束亜属、クリ、ブナ属が2点と続き、ヒノキ、モミ属、アカガシ亜属、トチノキが1点産出した。表1に樹種同定結果を、付表1に一覧を示す。

表1 西根2遺跡出土木製品の樹種同定結果

樹種	漆器椀	曲物		木樋		板状木製品	不明木製品	柱	合計
		浅盤	深盤	枡板	樋?				
ヒノキ							1		1
アスナロ		9	1	1	1	1			13
ヒノキ科		1	1						2
モミ属		1							1
カラマツ		1				1			2
マツ属複雑管束亜属							2		2
スギ		1			2				3
クリ	1						1		2
ブナ属	2								2
コナラ属アカガシ亜属								1	1
トチノキ	1								1
合計	4	13	2	1	3	2	4	1	30

以下に同定された材の記載を記し、図版に1分類群1点の光学顕微鏡写真を示す。

(1) ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Sieb. et Zucc.) Endl. ヒノキ科 図版1 1a-1c (No.30)

仮道管および樹脂細胞、放射柔細胞によって構成される針葉樹材である。放射組織は単列で、1～15細胞高になる。分野壁孔は小型のヒノキ型～トウヒ型で、1分野に2個存在する。

ヒノキは福島県以南の暖温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。材は木理通直でやや軽軟、加工しやすい強度に優れた耐朽性が高い。

(2) アスナロ *Thuja dolabrata* Sieb. et Zucc. ヒノキ科 図版1 2a-2c (No.37)

仮道管および樹脂細胞、放射柔細胞によって構成される針葉樹材である。晩材は量が少ない。分野壁孔は小型のヒノキ型～スギ型で、1分野に2～4個存在する。放射組織に樹脂が多い。

アスナロは温帯に分布する常緑高木の針葉樹である。針葉樹の中では比較的軽軟で、切削等の加工は比較的容易である。

(3) モミ属 *Abies* マツ科 図版1 3a-3c (No.4)

仮道管および放射柔細胞、放射仮道管によって構成される針葉樹材である。早材から晩材への移行は緩やかである。放射組織は放射柔細胞によって構成され、放射柔細胞の壁は厚く、数珠状末端壁となる。放射柔細胞の分野壁孔はスギ型で1分野に1～4個存在し、放射柔細胞の縁辺には放射仮道管が存在する。

モミ属には北海道に分布するトドマツ、亜高山帯など高標高域に分布するシラビソ、オオシラビソ、ウラジロモミ、低標高域に分布するモミなどがあられいずれも常緑高木である。材はやや軽軟で、切削その他の加工は容易で、割裂性も大きい。

(4) カラマツ *Larix kaempferi* (Lamb.) Carriere 図版1 4a-4c (No.8)

仮道管および垂直、水平樹脂道を取り囲むエビセリウム細胞、放射柔細胞および放射仮道管によって構成される針葉樹材である。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管によって構成され、放射仮道管の壁孔口が広く、壁孔縁は丸みを帯びる。

カラマツは、本州中部の温帯上部から亜高山帯に分布する落葉高木の針葉樹である。材は重硬で、切削加工等は困難である。

(5) マツ属複雑管束亜属 *Pinus* subgen. *Diploxylon* マツ科 図版1 5a-5c (No.50)

仮道管および垂直、水平樹脂道を取り囲むエビセリウム細胞、放射柔細胞および放射仮道管によって構成される針葉樹材である。放射組織は放射柔細胞と放射仮道管によって構成される。放射仮道管の内壁の肥厚は重鋸歯状を呈す。放射柔細胞の分野壁孔は意状となる。

マツ属複雑管束亜属には、アカマツとクロマツがある。どちらも温帯から暖帯にかけて分布し、クロマツは海の近くに、アカマツは内陸地に育成しやすい。材質は類似し、重硬で切削等の加工は容易である。

(6) スギ *Cryptomeria japonica* (L.fil.) D. Don スギ科 図版1・2 6a-6c (No.11)

仮道管および樹脂細胞、放射柔細胞によって構成される針葉樹材である。晩材は量が多い。放射組織は1列で、2～18細胞高になる。分野壁孔は孔口の大きく開いたスギ型で、1分野に2～3個存在する。

スギは大高木へと成長する常緑針葉樹で、天然分布は東日本の日本海側に多い。比較的軽軟で切削などの加工が容易な材である。

(7) クリ *Castanea crenata* Sieb. et Zucc. ブナ科 図版2 7a-7c (No.36)

大型の道管が年輪の始めに数列で並び、孔圈外では径を減じた道管が緩やかな火災状に配列する環孔材である。放射組織は単列同性である。道管の穿孔は単穿孔を有する。

クリは北海道の石狩、日高以南の温帯から暖帯にかけての山林に分布する落葉中高木の広葉樹である。材は重硬で耐朽性が高い。

(8) ブナ属 *Fagus* ブナ科 図版2 8a-8c (No.62)

小型の道管が複数複合する散孔材である。道管は階段穿孔と単穿孔を有する。大型の放射組織の幅は11列以上あり、ほぼ同性であるが、まれに異性のものがみられる。

ブナ属にはブナイヌブナがあり、冷温帯の山林に分布する落葉高木の広葉樹である。代表的なブナの材は重硬で強度があるが、切削加工は困難でない。

(9) コナラ属アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科 図版2 9a-9c (No.67)

やや大きい厚壁の道管が単独で放射方向に並ぶ放射孔材である。軸方向柔細胞は1～3列になり、放射状に並ぶ。道管の穿孔は単穿孔を有する。放射組織は単列同性のものと集合放射組織がみられる。

コナラ属アカガシ亜属にはアカガシやツクバネガシなどがあり、暖帯に分布する常緑高木の広葉樹である。材は重硬、強靱で耐水性があるが、切削加工は困難である。

(10) トチノキ *Aesculus turbinata* Blume トチノキ科 図版2 10a-10c (No.46)

中型の道管が、単独ないし2～3個放射状に接合する散孔材である。道管は単穿孔を有し、内腔にはらせん肥厚がみられる。放射組織は単列異性である。

トチノキは分布の北限は北海道南部で、九州まで広く分布するが、東北に多くみられる落葉高木の広葉樹である。材はやや軽軟で、切削加工は極めて容易である。

4. 考察

中世末から近世初頭の木製品では、曲物、木樋、板状木製品等の板状に加工された成品に針葉樹を、漆器碗に広葉樹を利用するという傾向がみられた。特に曲物では、アスナロが多くみられた。アスナロは、針葉樹の中では比較的軽軟で加工は容易な部類に入る。その加工の容易さから、当道跡では曲物の用材として利用されていたと考えられる。

また、漆器ではブナ属2点、クリ1点、トチノキ1点が産出した。12～15世紀の全国の割りものの樹種には、全国的にクスノキ、クリ、カツラなどの樹種が使用され、特に近畿地方以東ではブナ、トチノキといった樹種を利用し、曲物にはヒノキ属、スギ属を用いる例が多く確認されている(山田, 1993)。当道跡も曲物にはアスナロ、スギを利用し、割りものにはブナ属、トチノキが利用されていた。

古墳時代後期の竪穴住居跡から出土した柱は、コナラ属アカガシ亜属であった。アカガシ亜属は暖帯に分布する常緑広葉樹で、強靱で耐水性がある材である。現在の当道跡近辺の自然植生をみると、アカガシ亜属であるツクバネガシやウラジロガシが優占する地域でもある(環境庁, 1988)。そのため当道跡の古墳時代後期には、自然植生としてアカガシ亜属が存在し、その樹木を利用していたことが考えられる。

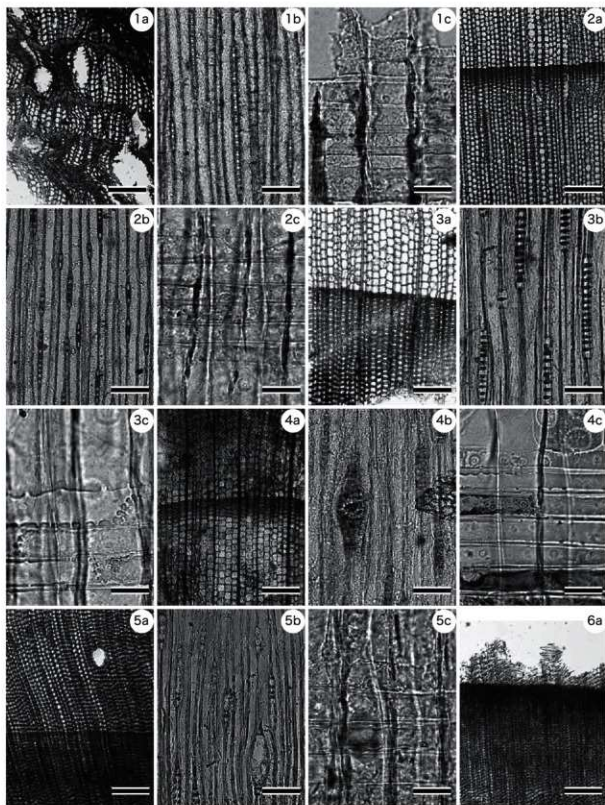
しかし中世から近世初頭では、アカガシ亜属は利用されていない。その要因としては、アカガシ亜属よりも針葉樹の方が利用しやすかった、アカガシ亜属が周辺森林から減少したなどの要因が考えられる。

引用文献

- 山田昌久(1993) 日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成-用材から見た人間・植物関係史, 242p, 植生史研究 特別第1号,
環境庁(1988) 環境庁自然保護局植生調査報告書(栃木県), 57p.

表1 西根2 遺跡出土木製品の樹種同定結果

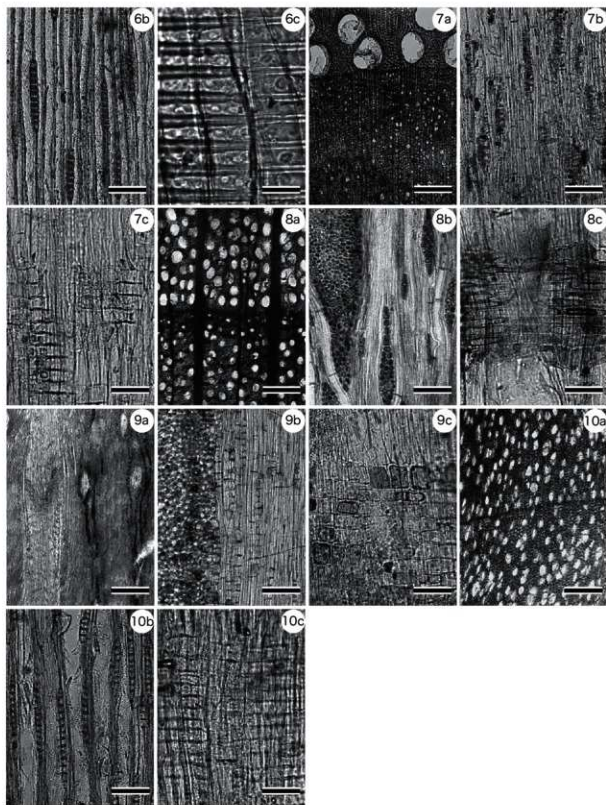
遺構番号	部種	樹種	木取り	備考
SE-36	曲物底板	モミ属	板目	
SE-36	曲物底板	アスナロ	板目	
SE-36	曲物底板	アスナロ	板目	
SE-36	曲物底板	アスナロ	板目	
SE-36	曲物底板	カラマツ	板目	径 8.3cm
SE-36	木桶枠板	アスナロ	板目	
SE-36	桶?	アスナロ	追板目	
SE-36	桶?	スギ	追板目	
SE-36	桶?	スギ	板目	
SE-52	曲物底板	ヒノキ科	板目	側面に穿孔2ヶ所
SE-100	曲物底板	アスナロ	板目	
SE-113	曲物底板	アスナロ	板目	
SE-113	不明木製品	ヒノキ	板目	穿孔あり 釘痕?
SE-122	不明木製品	クリ	板目	加工あり
SE-122	曲物底板	アスナロ	板目	
SE-330	曲物底板	アスナロ	板目	内面及び側面に漆付着
SE-431	漆器桶	クリ	横木取り	3破片、同一個体
SE-431	板状木製品	アスナロ	追板目	穿孔
SE-431	板状木製品	カラマツ	板目	大きい、3破片
SX-432	漆器桶	トチノキ	横木取り	2破片、同一個体
SX-432	漆器桶	ブナ属	横木取り	
SX-432	曲物底板	スギ	板目	
SX-432	曲物底板	アスナロ	板目	
SX-432	不明木製品	マツ属履縫管束節属	芯持ち丸木	穿孔2ヶ所
SX-432	不明木製品	マツ属履縫管束節属	芯持ち丸木	穿孔2ヶ所
SD-1210	漆器桶	ブナ属	板目	複数破片、同一個体
不明	曲物底板	アスナロ	板目	樹皮あり、図示不可
不明	曲物側板	ヒノキ科	板目	65-1と同一個体
SD-1210	曲物側板	アスナロ	板目	
SI-02	柱	コナラ属アカシガ節属	芯持ち丸木	20×40cm 正底



図版 1 西根2遺跡出土木製品の光学顕微鏡写真 (1)

1a-1c. ヒノキ (No.30) 2a-2c. アスナロ (No.37) 3a-3c. モミ属 (No.4) 4a-4c. カラマツ (No.8)
5a-5c. マツ属複雑管束亜属 (No.50) 6a. スギ (No.11)

a: 横断面 (スケール=250 μ m) b: 接線断面 (スケール=100 μ m) c: 放射断面 (スケール=25 μ m)



図版2 西根2遺跡出土木製品の光学顕微鏡写真(2)

6b-6c, スギ(No.11) 7a-7c, クリ(No.36) 8a-8c, プナ属(No.62) 9a-9c, コナラ属アカガシ亜属(No.67)
 10a-10c, トチノキ(No.46)
 a: 横断面(スケール=250 μ m) b: 接線断面(スケール=100 μ) c: 放射断面(スケール=6:25 μ m
 7-10: 50 μ m)

(2) 西根2遺跡から出土した大型植物遺体

佐々木由香・バンドリ スタルシヤン (パレオ・ラボ)

1. はじめに

西根2遺跡は栃木県下都賀郡岩舟町に位置する旧石器時代から近世の遺跡である。遺跡は三疊山麓の東斜面から三杉川に向かってなだらかに下る台地と低地の境目に立地する。ここでは中世後期から近世初期のピットから取り上げられた大型植物遺体の同定を行い、周辺植生または利用植物について検討した。

2. 試料と方法

試料は、遺構別に現場で取り上げられた種実である。これらはピットである SE-50、SE-100、SK-390、SX-432、SX-433 の5遺構から出土した。

種実の同定は、肉眼および実体顕微鏡下で行った。なお、接合するものは完形1点として計数した。同定された試料は(財)とちぎ生涯学習財団埋蔵文化財センターで保管されている。

3. 結果と考察

同定の結果、針葉樹のモミ葉、広葉樹のツクバネガシ葉とモモ核が得られた。

遺構別の産出数を記載する。

SE-50：覆土中からモモ核の破片が3点得られた。

SE-100：覆土中の No.1 からモモ核が1点得られた。

SK-390：覆土中からモミ葉とツクバネガシ葉が2点ずつ得られた。

SX-432：覆土中～上層からモモ核11点と破片3点得られた。

SX-433：覆土中からモモ核1点得られた。

モモ核はSK-390以外の4遺構から出土した。モモは栽培植物で、半割のものが数点含まれるが、内部の仁を利用するために明らかに叩いたと考えられる核は見当たらなかった。つまり、若干の欠損はあっても、概ね縫合線に沿って綺麗に半分に割れた1/2片であり、発芽ないし堆積物の圧力によると考えられる。モモは食用残渣である可能性と、何らかの祭祀的な行為の結果、遺構に残った可能性などある。

モミは常緑針葉樹で、秋田県以南に分布し、ツクバネガシは福島県いわき市以南に分布する常緑広葉樹であるが、関東地方ではまれに分布する。山地の沢沿いなどに生育する。周辺遺跡の例では、縄文時代の遺跡であるが、東京都東村山市下宅部遺跡でツクバネガシの葉が比較的多く産出した(米倉ほか, 2006)。モミやツクバネガシの葉が産出したことから、遺構の周辺にこれらの樹木が生育していたことが推定される。葉は残存状況が良ければ種までの同定が可能な場合が多い。こうした樹種と堆積物の花粉分析や大型植物遺体分析を組み合わせることによって、周辺植生を詳細に検討することが可能になると考えられる。

表1 西根2遺跡から出土した大型植物遺体（ ）は破片を示す

分類群	部位	SE-60	SE-100	SK-390	SX-432		SX-433
		覆土	No.1	覆土	覆土	上層	覆土
モミ	葉			(2)			
ツクバネガシ	葉			(2)			
モモ	核	(3)	1		3	(1) 8	(2) 1

以下に同定された分類群の記載を行い、図版に写真を掲載して同定の根拠とする。

(1) モミ *Abies firma* Sieb. et. Zucc. 葉 マツ科

扁平の線形で、葉の背面の中央部には縦方向に筋があり、先端は2裂して針状に鋭く尖る。葉柄は欠いている。残存長 18.5～19.0mm、幅 3.1～3.8mm。

(2) ツクバネガシ *Quercus sessilifolia* Blume 葉 ブナ科

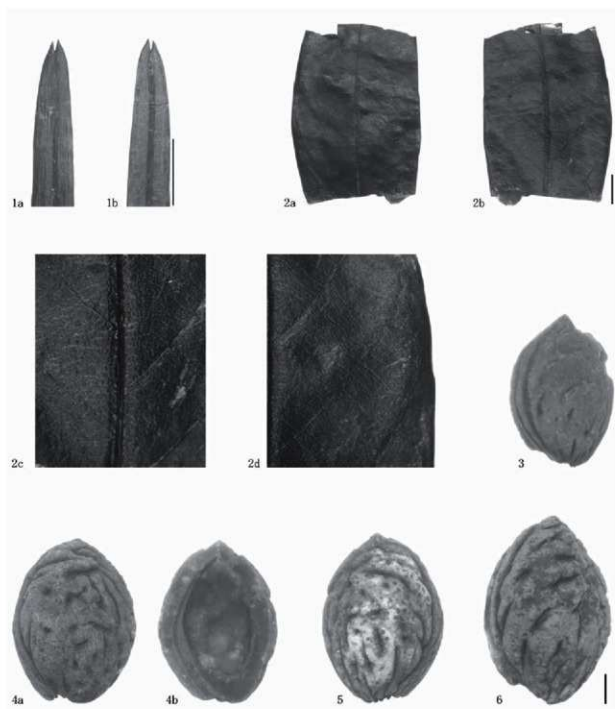
革質で厚く、完形ならば広披針形または楕円形で先は鋭く尖る。緑はほぼ全緑で、完形ならば先端に鋸歯がある。主脈は裏面に突出する。側脈は交互状。残存長 3.1cm、幅 2.3cm。

(3) モモ *Prunus persica* (L.) Batsch. 核 バラ科

茶黄～黄白色で、卵形～楕円形。表面には不規則に流れるような溝と穴がある。先が尖り、下端に大きな臍がある。また片側側面には縫合線に沿って深い溝が入る。長さ 24.9～32.2mm、幅 18.5～22.0mm、厚さ 13.7～17.6mm。

引用文献

米倉浩司・鈴木三男・佐々木由香 (2006) 下宅部遺跡から出土した縄文時代後期の炭化石の同定、下宅部遺跡調査団編「下宅部遺跡Ⅰ(Ⅰ)」: 340-345, 東村山市遺跡調査会。



図版1 西根2遺跡から出土した大型植物遺体

スケール 1-2b・3-6: 5mm、2c・2d は任意

1. モミ葉 (SK-390)、2. ツクバネガシ葉 (SK-390)、3. モモ核 (SE-100)、4-6. モモ核 (SX-432 上層)

(3) 木製品付着物および縄の材質分析

藤根 久 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

西根2遺跡の調査では、中世後期から近世初期の遺構から曲物底板および箱の一部と考えられる板状木製品が出土した。これらの曲物底板および板材木製品の内面には褐色～黒色物が付着していた。曲物底板には側面にも付着しており、内面付着物は縁に沿って厚く見られた。

ここでは、これら褐色～黒色の付着物および縄2点の材質を調査するため、赤外分光分析を行った。

2. 試料と方法

試料は、SE-330 から出土した曲物底板と SE-431 から出土した板状木製品の褐色～黒色の付着物 2 試料、SE-431 から出土した縄 2 試料の合計 4 試料である (図版 1)。なお、褐色～黒色の付着物は製品から直接試料を採取した。

表 1 分析試料の詳細および結果

試料No	遺構名	部種	付着部位	試料の特徴	結果	備考
39	SE-330	曲物底板	内面・側面	褐色～黒色	漆	樹種アスナロ
43	SE-431	板状木製品	内面	黒色	漆	樹種アスナロ。穿孔あり、陥状?
45	SE-431	縄	-	褐色	種子葉鞘の茎	
59	SE-431	縄	-	褐色	種子葉鞘の茎	

付着物は、採取した部分から薄く削り取った後、押しつぶして厚さ 1mm 程度に裁断した臭化カリウム (KBr) 結晶板に挟み、油圧プレス器を用いて約 7 トンで加圧整形した。また、縄試料は、一部 (1mm 角程度) を採取して乾燥した後、同様に加圧整形した。

測定は、フーリエ変換型顕微赤外分光光度計 (日本分光製 FT/IR-410、IRT-30-16) を用いて透過法により赤外吸収スペクトルを測定した。

3. 結果および考察

図 1 に、赤外吸収スペクトル図を示す (試料が実線、生漆が点線で示す)。縦軸が透過率 (%R)、横軸が波数 (Wavenumber (cm-1); カイザー) である。なお、スペクトルは、ノーマライズしてあり、吸収スペクトルに示した数字は、現生の生漆またはシュロ繊維の赤外吸収位置を示す (表 2)。

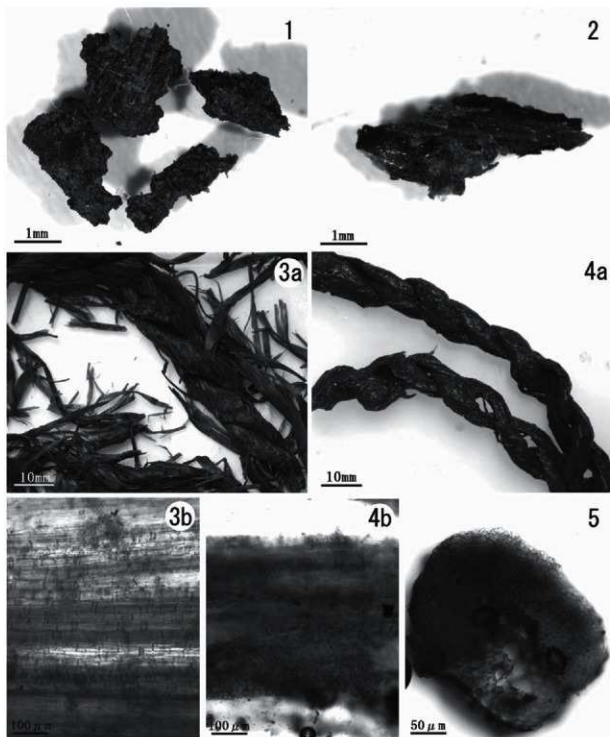
表2 生漆および繊維の赤外吸収位置とその強度

吸収No	生漆 (No.6～8 ウルシオール)		吸収No	シュロ繊維 (1)		吸収No	シュロ繊維 (2)	
	位置	強度		位置	強度		位置	強度
1	2925.48	28.534	1	2915.84	66.583	11	1163.83	65.425
2	2854.13	36.217	2	2853.17	66.305	12	1073.19	65.231
3	1710.55	42.035	3	1715.37	66.862	13	1025.94	65.100
4	1633.41	48.833	4	1650.77	66.727	14	992.20	65.597
5	1454.06	47.195	5	1604.48	66.356	15	899.63	70.468
6	1351.86	50.803	6	1507.10	67.396	16	853.35	71.572
7	1270.86	46.334	7	1454.06	66.134	17	808.03	72.088
8	1218.79	47.536	8	1373.07	65.509	18	752.10	69.515
9	1087.66	53.843	9	1330.64	65.701	19	705.82	67.450
10	727.03	75.389	10	1247.72	65.428	20	659.54	64.845

赤外分光分析を行った結果、試料No.39とNo.43の付着物は、生漆の成分であるウルシオールの吸収ピーク (No.6～No.8) の一部と一致したことから、漆と同定された。

曲物底板は内面および側面に沿って漆が付着しており、縁にはダマ状になっていたことから、漆が塗られた製品というよりも、生漆など加工途中の漆を入れた容器と考えられる。板状木製品は黒色を呈しており、穿孔がある縁にそって塗りがみられなかったことから、組み合わせてみえない部分には塗られていない、すなわち箱状の漆塗容器であったと推定される。

一方、縄繊維は、麻繊維やイネ茎あるいはシュロ繊維と比較した結果、シュロ繊維に近い吸収スペクトルを示した。しかし、生物顕微鏡による組織の観察では、試料はいずれも維管束が散在する「不斉中心柱」であることから、単子葉類の茎の可能性が高い (図版1-5)。なお、シュロ繊維は、現生標本の断面観察から中心に維管束があることから、シュロ繊維の可能性は低いと考えられる (図版1-6)。なお、No.45とNo.59の縄繊維は、類似した組織を示すことから、同じ種類の可能性が高いと推察される。



図版1 付着物および縄試料（現生含む）の実体および生物顕微鏡写真

1. 曲底板付着物 (No. 39) 2. 板状木製品付着物 (No. 43) 3a. 縄 (No. 45) 4a. 縄 (No. 59) 3b. 縄繊維 (No. 45) 4b. 縄繊維 (No. 59) 5. 現生シュロ繊維

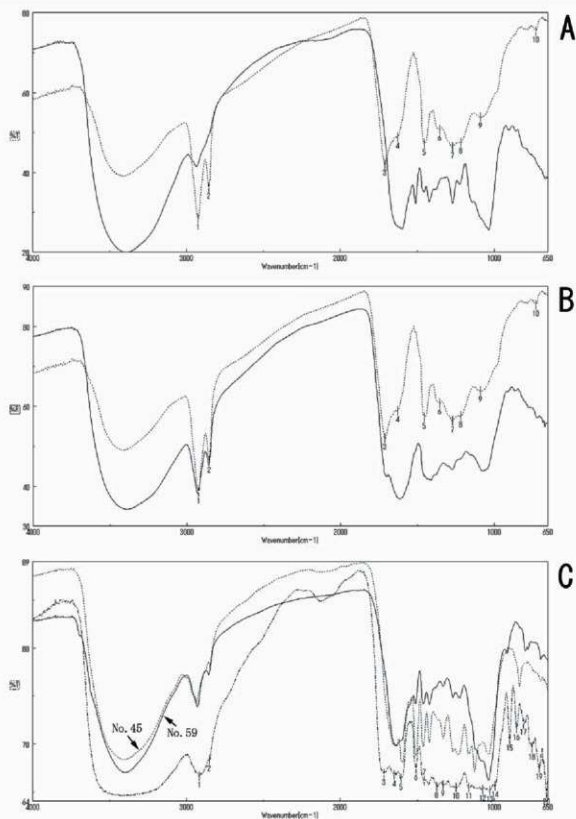


図1 付着物および繊維試料の赤外吸収スペクトル図

- A. 曲物底板付着物 (No. 39) のスペクトル図 (点線の番号: 生漆の吸収)
 B. 板状木製品付着物 (No. 43) のスペクトル図 (点線の番号: 生漆の吸収)
 C. 繊維試料 (No. 45, 59) のスペクトル図 (点線の番号: シュロ繊維の吸収)

(4) 西根2遺跡出土漆器の分析・保存処理

財団法人元興寺文化財研究所

1. はじめに

本稿では、平成20年度におこなった西根2遺跡出土漆器4点についての分析・保存処理の概要を報告する。今回行った分析・保存処理は、財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センターからの委託を受け、財団法人元興寺文化財研究所がおこなったものである。

2. 保存処理前における資料の状態

以下に、各資料の保存処理前の状態について記す。

・SX-432 №20 (№1 椀) クリ

劣化が著しく、木胎は脆弱で軟化し、漆膜の多くは木胎より剥離した状態であった。剥離した漆膜は薄く、細片となっていた。資料本体は大きく2分割となり、ほかに小破片2点について本体に接合できることが確認できた(写真1)。



写真1 SX-432 №20 保存処理前

・SX-432 №41 (№2 蓋) ヤナギ属

劣化が著しく、そのため木胎が脆弱で軟化しながらも全体の形状をかなり維持している状態であった。内外面とも赤色漆が施され、高台裏面には黒色漆で線描が施されている。外面は漆膜の遺存率が良く、一部はすでに木胎から剥離していた(写真2)。漆膜の表面には細かなクラックが生じ、木胎の収縮にともなって漆膜全体に撓みが生じ、諸所に木胎からの浮きが見られた。内面は漆膜の約4割が失われており、下地のみの状態であった。



写真2 SX-432 №41 保存処理前

・SE-431 №10 (№3 椀) ブナ属

木胎、漆膜とも遺存状態は比較的良好であった。外面は黒漆に赤色文様が施され、内面は黒漆地にわずかに赤色文様が残る。資料は大きく7分割となり、そのうち2点は接合できることが確認できた。



写真3 SE-431 №10 保存処理前

・SD-1210 (№4 椀) ブナ属

特に木胎の劣化が著しく、多くは失われており、いずれの破片も漆膜によって形状を保っている状態であった。内外面は赤色漆で、外面中央に黒色漆で文様が施されていた。木胎の劣化や収縮にともない漆膜も波打った状態となっており、部分的にカールして割れやすくなっていた。全体は9分割となっており、木胎が失われていることから、保存処理前段階での破片同士の接合関係は確認が困難であった。



写真4 SD-1210 №4 保存処理前

3. 保存処理方法の選択と処理工程

(財)元興寺文化財研究所では、漆器の保存処理方法として主に真空凍結乾燥法を用いているほか、近年は資料の状態により糖アルコール法による処理もおこなっている。出土木製品の保存処理方法を選択する際に通常基準とされるのは資料の劣化状態や樹種、木取り等であるが、漆器の場合、漆膜と木胎の状態も加味されて判断される。今回処理をおこなった資料はいずれも木胎と漆膜の劣化が著しく、特に漆膜は木胎から剥離しやすい状態であった。したがって、資料をより迅速に安全な状態に維持するために真空凍結乾燥法を採用することとした。実際の保存処理工程は下記のとおりである。

- 1) 保存処理前の資料の状態調査 (写真撮影および観察により資料の状態を記録、確認した)
- 2) クリーニング (資料は脆弱なため、柔らかい筆で慎重にクリーニングを行った) 【写真5-1】
- 3) PEG (ポリエチレングリコール#4000) 20-40% 水溶液含浸 【写真5-2】
- 4) 養生 (PEG 含浸後、予備凍結前に漆膜の剥離を防ぐため保護紙を用いて表面を保護した) 【写真5-3】
- 5) 予備凍結 (真空凍結前に -20℃以下で予備凍結を行った) 【写真5-4】
- 6) 真空凍結乾燥 (遺物中の水分を凍結し、形状を維持したまま氷 (固体状態) を水蒸気 (気体状態) として除去した (昇華))
- 7) 接着・復元 (接着、復元にはエポキシ系樹脂を使用した。また、当初より各資料に見られた漆膜の剥離については免膠を用いて可能な限り接着を行った) 【写真5-5・5-6】
- 8) 保存処理後の資料の状態調査 (写真撮影および観察により保存処理後の状態を記録、確認した)

4. 保存処理後の資料保管について

真空凍結乾燥法で処理を行った資料は、木胎に含浸される樹脂も40%～60%と低濃度であるため処理後の重量が処理前の約半分以下となっている。そのため取り扱いには注意が必要である。また、温湿度の影響を受けやすいため高温、高湿および過乾燥での保管も避ける必要がある。



写真5-1



写真5-2

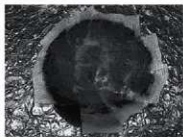


写真5-3



写真5-4



写真5-5



写真5-6

第6節 まとめ

古墳～奈良・平安時代

古墳時代の竪穴住居跡は3軒で、古墳時代後期の遺構である。奈良・平安時代の竪穴住居跡は出土した土器からみると、SI-1以外はほぼ近い時期の遺構と考えられる。数軒の竪穴住居跡、井戸跡、溝跡からなる小規模な集落跡が確認されたことになる。唐沢山を挟む本遺跡西方に位置する栃木西遺跡においても、10世紀前半の竪穴住居跡3軒、溝跡1条等からなる小規模な集落跡が北関道関連調査で確認されている。本遺跡と同様の小規模集落跡と考えられる。

中～近世

本遺跡は主に16世紀代を中心とする時期が想定され、遺構群の変遷としては3時期の変遷が想定される。溝跡は掘立柱建物跡と重複しないことから各遺構群を区画する溝跡と考えられる。区画溝も3時期の変遷があり、調査区内は溝により3区画（SD-25とSD-1210の間も想定すれば4区画）に分割されている。

区画内にはそれぞれ掘立柱建物跡が1～2棟所在し、各時期に方形竪穴遺構が1基伴う。井戸跡や遺物が投棄された遺構であるSX-432は、掘立柱建物跡を避けて区画溝近辺に集中する傾向にある。また、土坑のうち長方形土坑は調査区西端のSD-25近辺に集中している。長方形土坑を墓坑として想定すれば、遺構群の緑辺部に墓坑が位置していることになる。井戸跡、土坑は時期を明確にできない。

なお、SE-431出土の曲物底板は内面及び側面に沿っての漆付着が確認されている。この曲物の縁では漆がダマ状になっていたことから、曲物は生漆など加工途中の漆を入れていた容器と想定されている。また、井戸跡などから漆器や漆器片が出土している。本遺跡は西側の山間地に近接した低台地縁辺に位置しており、遺跡内において漆に関連する作業を行っていた工房跡が存在したことが推測される。

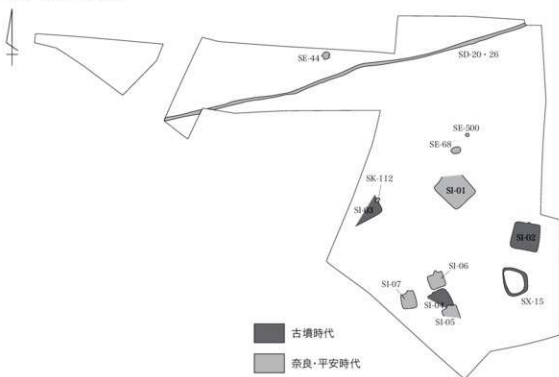
今回の調査区は遺跡の立地する低台地の南端を占める箇所である。本遺跡は、調査区から北側の低台地全面に中世から近世にかけての集落が展開していたものと想定される。集落内は溝で区画され、区画内に掘立柱建物跡や井戸が造られており、そのなかには漆に関連する工房が含まれていたことが想定される。

今回同一報告書で報告の小野寺城跡は本遺跡北東700mに位置している。伝承では小野寺城跡は13世紀前半には廃城になったとされており、今回の報告においても城跡の存続年代は明確になっていない。そのため現状では、本遺跡の集落跡と小野寺城跡とを直接関連づけて想定することは出来ない。

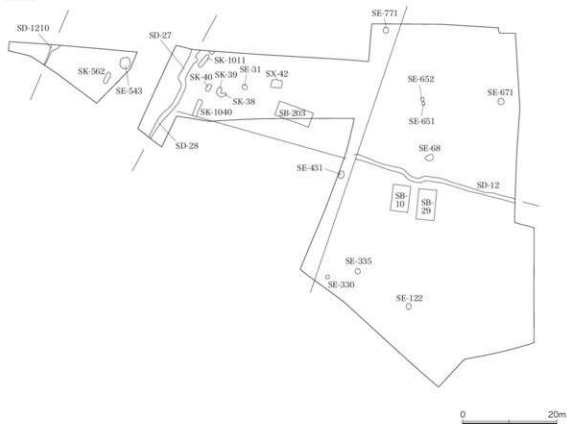
西根2遺跡の出土遺物としては土師質土器、内耳土器、陶器、青磁片等がある。石製品は五輪塔、板碑、石臼、石碇、石鉢、砥石、金属製品は鉄釘、銅銭、木製品は漆器蓋・碗、曲物底板、不明製品、杭、縄、柱がある。

遺物については詳細の検討を行っていないため、大まかな時期で想定する。SD-8出土の菊皿は16世紀後半、同遺構の菊花文をもつ壺は16世紀前半、SD-9瀬戸丸碗は16世紀後半、同瀬戸皿は16世紀前半、同志野皿は16世紀後半、SD-1210瀬戸皿は16世紀後半と考えられる。また、SE-50瀬戸鉢は15世紀代、SE-122・256内耳土器は器高が深く15世紀代と考えられる。しかし、大半の内耳土器は器高が低く16世紀代ないしそれ以降のものが多い。土師質土器皿は時期的な幅があるものの、15～16世紀代のものであろう。SE-32からは土師質土器皿、常滑掬口縁部片、内耳土器がまとまって出土している。常滑片は15世紀後半～16世紀、土師質土器皿は16世紀前半と考えられる。本遺跡の中近世遺構は、特に溝跡等は掘り込みが浅いものが多いため、擾乱等による後世遺物の混入も考慮する必要がある。本遺跡の時期は15世紀後半から16世紀代を中心とする時期、中世後半から近世初頭の時期を想定する。

古墳～奈良・平安時代

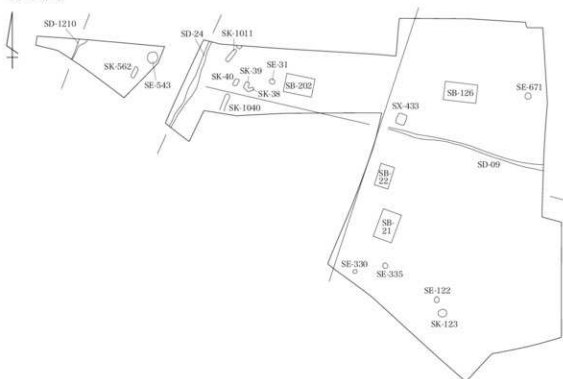


中近世(1)

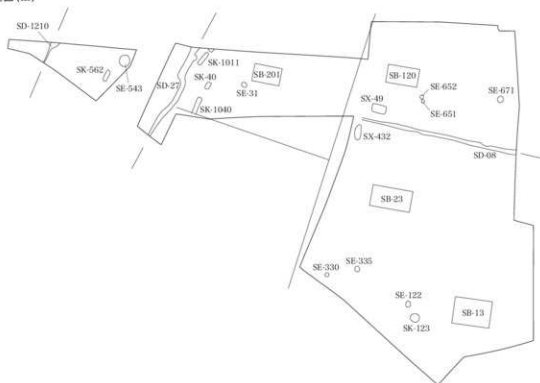


第113図 時代別遺構配置図① (1/800)

中近世(II)



中近世(III)



0 20m

第114図 時代別遺構配置図② (1/800)



第4章 小野寺城跡

第1節 遺跡の概要

まず、遺跡の立地について述べる。

小野寺城跡は、栃木県南部の下都賀郡岩舟町小野寺に所在する。この一帯は、足尾山地の南端が関東平野に連なる部分で、山麓に広がる丘陵が渡良瀬川支流の中小の河川によって開析され、複雑な地形を形作っている。その河川の一つである三杉川は岩舟町北西部を南流し、丘陵の間に南北約3km、東西約800mの沖積地を形成している。この沖積地は南側に低い丘陵が横たわるため、盆地の様相を呈する。小野寺城跡はそのほぼ中央に位置し、三杉川低地の微高地上に存在する。城跡の東端は三杉川によって画され、南側は三杉川旧河道の低湿地に連なり、自然地形を防御に利用した立地になっている。城跡の標高は37mである。

遺跡の保存状態は、古くは『下野國誌』に近世の状況の記載があるが、昭和11年下野史談会発行の『栃木縣史』巻七 古城址編で田代善吉氏が記しており、当遺跡を検討する上での基礎的な資料となっている。これによると、「東西一町五十間、南北五十五間の堡壘ありしも今は崩壊して見るべきものなく一面の田地となった、されど周囲の濠墟の跡僅かにその名残を存じ昔日を忍に足る…云々」とある。土塁の痕跡は現在の尺度に換算すると、1町=60間を109.091mとして、「東西一町五十間」は約200m、「南北五十五間」は約100mとなる。しかし、当時すでに城跡全体の範囲を推定することは困難な状態であったと考えられる。

現在、遺跡の大部分は水田・畑および宅地になっており、中央を東北自動車道がほぼ南北方向に貫いている。また、東北自動車道西側の水田は近年、圃場整備のための造成で旧地割りは変更されている。しかし、その東側は宅地と田畑が混在しているため大規模な改変は受けておらず、土塁と濠の痕跡が現在も残存している。また、後述するが、旧地籍図の地割りから城の「内郭」ではないかと考えられている「方形区画」の南東コーナー部分が僅かに残っている。

先の『下野國志』によると、本城は1156年(保元元年)小野寺義寛の築城とされ、子の通綱が承久の乱(1221)で討死し、廃城となったとされる。小野寺義寛は元来藤原秀郷後裔の首領姓であり、源氏譜代の家人であったが、源為義から下野国都賀郡小野寺保を拝領し、小野寺姓を名乗ったとされる。小野寺氏は、12世紀末の治承・寿永の乱、所謂源平の争乱に際しては最終的に源頼朝方につき、小野寺保を安堵され、鎌倉幕府の御家人となった。嫡子の通綱は1189年(文治五年)の源頼朝の奥州征伐に従軍して活躍したが、1221年(承久3年)承久の乱に際し、宇治川の合戦で討ち死にを遂げたことが『吾妻鏡』に記されている。

通綱の弟、秀通は小野寺氏三代目を継ぎ、その次男の通業は1247年(宝治元年)に起きた宝治合戦に参加したことが、やはり吾妻鏡にみられる。同書にはこの他にも小野寺氏関係の記載がいくつかみられる。断片的な資料ではあるが、小野寺氏が幕府御家人として活躍していたことがうかがわれる。

小野寺氏は通綱の代に、小野寺保以外に奥州に新田郷・羽羽郷・稲庭郷にも領地を与えられており、特に弟秀通の子の代から奥州所領経営の比重が増してゆくと考えられる。そのような中で、秀通の子、八郎は兄の道業から、小野寺氏の本貫地である小野寺保の管理を委されており、下野小野寺氏の祖となった。その後の下野小野寺氏に関しては資料に乏しいが、一族は次第に、佐野家などの被官になっていったとされる。さらに戦国期には関東管領上杉氏、長尾氏、古河公方足利氏、後北條氏などの勢力に翻弄されながらも本領安堵を得て小野寺保を維持し続けたようである。しかし、関ヶ原の戦いでは最終的に西軍に荷担したため領地没収となり、下野小野寺氏は断絶した。

小野寺氏の歴史については、再三述べたように未だ不明な点が多いが、一族の間では領地としての重要性は次第に奥州が中心となり、小野寺保は傍流に継承され、本質地としての由緒以外、実質的な存在意義が希薄になったようにも思われる。また、小野寺城廃城の経緯についても詳細は不明で、二代目で「廃城」になったという伝承自体に、小野寺保の管理が二義的なものになった事実が現れているのではなからうか。

小野寺保の管理の実態についても現時点では不明な点が多い。今回、西根2遺跡で確認された中世遺構は16世紀代を中心とするものであったが、下野小野寺氏とのつながりを示す遺構・遺物は確認できなかった。

第2節 調査の経緯

小野寺城跡は、下都賀郡岩舟町小野寺字堀之内に所在する周知の埋蔵文化財包蔵地(県遺跡番号5378)である。城跡の南方約700mに、東北自動車道から北関東自動車道に分岐する「岩舟ジャンクション(仮称)」が計画され、分岐車線増設のために東北自動車道の一部を拡幅することになった。そのため、当該範囲を発掘調査することになり、平成15年度に確認調査および本調査を実施した。

まず、地形や遺物分布・地割の状況に合わせて調査範囲全域に2m幅のトレンチを設定して確認調査を行った。路線内における当初の調査対象面積は4,500㎡で、このうち合計793㎡をトレンチ調査した。トレンチは東北自動車道の東西両側に設けたものの、ほとんどの箇所では遺構・遺物が認められなかった。唯一、東北自動車道西側北の調査箇所において溝跡が確認されたためこの箇所の精査を行い、同遺構の記録を作成して調査を終了した。

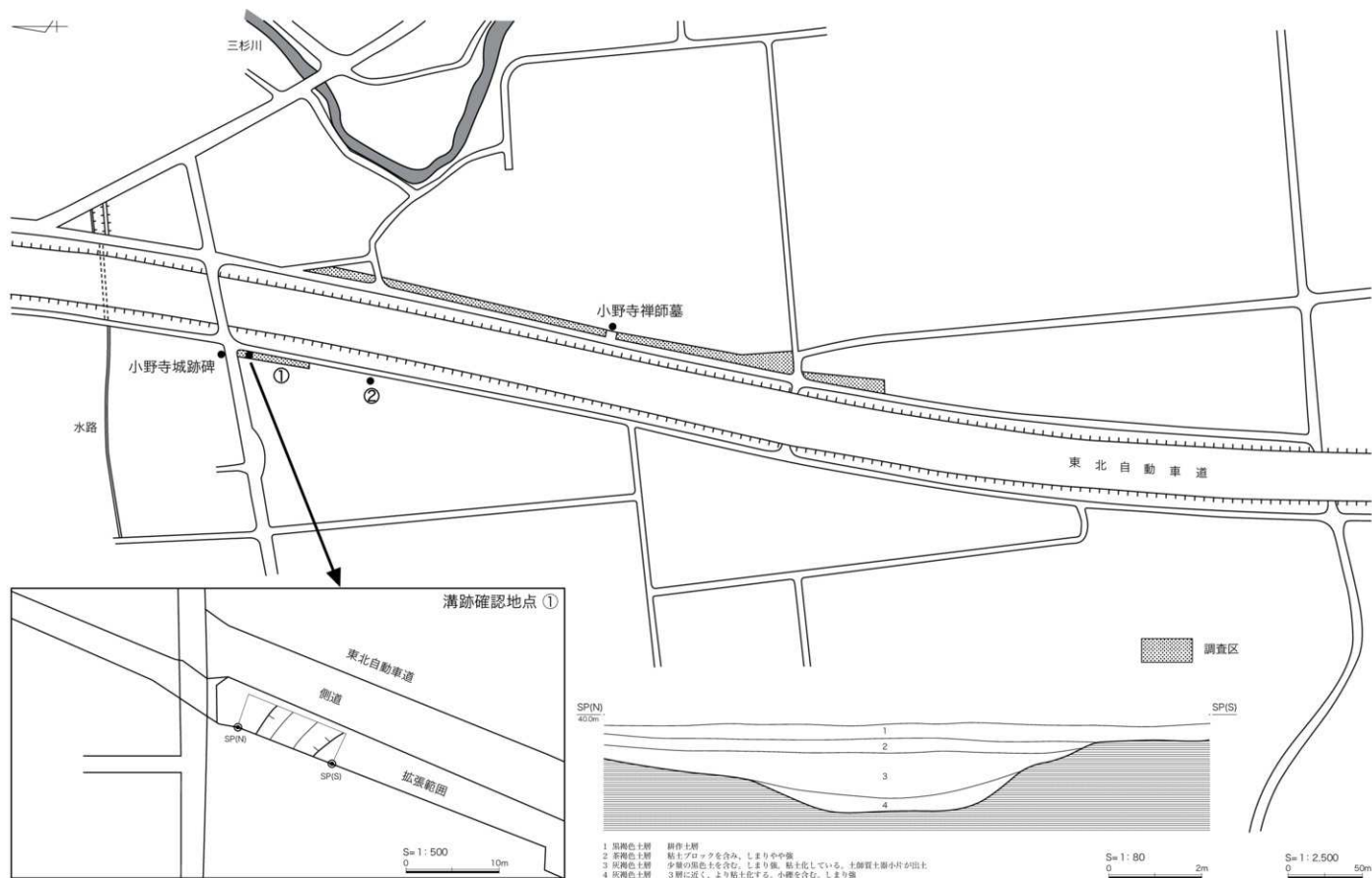
整理作業および報告書作成作業は下記の内容で平成20年4月に開始し、平成21年3月に報告書を刊行して終了した。

平成20年	4月～8月	調査記録(図面・写真等)の整理。
	5月～12月	第二原図の作成。遺物接合・実測 原稿執筆。 遺構・遺物のトレース作業。 作表作業。原稿執筆。
平成21年	1月	図版作業。原稿執筆。
	2月～3月	報告書印刷・製本。

次に、調査の具体的な方法について述べるが、昭和46年1月に東北自動車道建設に伴い栃木県教育委員会によって城跡の一部が発掘調査されているので、その時の調査状況も確認しておきたい。

当時の現地の状況は、上記の「栃木県史」において田代善吉氏が記した昭和初期の様相と大きくは異なっていなかったようで、土塁の痕跡と考えられる土手状の高まりが、水田の境界部分に東西方向に残存していた。また、土手から南側には「堀ノ内」の字名も残っており、城跡の存在を暗示させていた。

東北自動車道は土塁の痕跡の一部を横切る方向に路線が設定されたため、当時は、「堀ノ内」地区の北東に残っていた土手状の高まり部分から北側の低地にかけての範囲について重点的に発掘調査が実施された。



第115図 小野寺城跡遺構図

土手の方向に直行してA、B、C 3本のトレンチが設定された。その結果、土手が「茶褐色」を呈する地山の上に、下から「褐色土」、「黄色土」、「意図的に礫を混入した黄色土」の順に三層に盛り土されていること、さらに、2層目が入念に突き固められて構築されていることなどが判明し、城跡に伴う土塁である可能性は極めて高いと判断された。土塁の規模は残存高で基底部から約1.5 m、基底部の幅3.5 mであった。一方、その北側の低地部分では、調査時の周囲の地表面から約4.5 mの深さの「箱葉研」状の堀跡が確認された。堀の斜面は土塁側では急で、反対側ではやや緩い。土塁の頂部から堀の外縁までを幅幅とすると、およそ12 mになる。そして堀底部から土塁の残存部分の最高所までの比高差は7.3 mに達し、想像以上に大がかりな工事が行われていることが明らかになった。以上の通り、昭和46年度の発掘調査では、「館の周囲に構築された」と考えられる堀跡と土塁の形状・構造の一部が確認された。

今回発掘調査の対象となった範囲は、第115図に示したとおりである。東北自動車道の拡幅部分が対象となり、道路の東側側道に沿って第1調査区、西側側道の西に第2調査区を設定した。

第1調査区は東西16～5 m、南北410 mの範囲である。第一調査区設定の目的は、以下の2点である。

- ①昭和46年に調査された土塁・濠跡以南の状況を確認し、城跡全体の南北の大きさを確認する。
- ②土塁の南方に存在するとされる「主郭」（詳細は後述する）の位置や形状を確認する。

(1)については、現在も土塁と濠の一部が東北自動車道の東側側道の脇に残っており、それより南側に城跡の中心部分になると推測される。そこで、調査区は「主郭」とされる地点を北端とし、南は三杉川低地に臨む地点にまで延長して設定した。ここでは城跡の南を画する濠・土塁などの痕跡が検出される確率が高いと判断したためである。

(2)における「主郭」とは、旧地割りに残された方形の区画を指す。旧地籍図を見ると、昭和46年度に発掘調査した地点の南西に、比較的大い道路に囲まれた、一辺100 m程度の正方形の「区画」が確認できる(第116図)。これは昭和46年に調査された濠跡と方向が一致し、従来から城跡に関連する何らかの遺構と考えられてきた。戦後、占領軍によって撮影された小野寺地区の航空写真にも輪郭が明瞭に現れており、東北自動車道建設以前にはそのまま形を留めていた。その後、圃場整備などによって地割りが改変されたが、区画の南東コーナーだけが現在も東北自動車道の東側に残っている。小野寺城跡に関するこれまでの研究では、この区画を小野寺城の「主郭」とみなし、内側にもう一重堀を巡らす「回字形」の縄張りをも想定する説もある。確かに、区画の西辺の中程に一箇所外側に突出する箇所が認められ、中世居館跡に見られる所謂「馬出し」のような施設の痕跡を想起させる。そのため、今回の調査で、この区画の性格や規模などを確認する必要がある。

なお、第1調査区の中程には、側道に接して二代目城主小野寺路綱の墓と伝わる供養塔があるが、これは東北自動車道建設に際し現在地に移設されたものである。

次に、第2調査区であるが、大きさは東西5 m、南北50 mの範囲である。調査区の北端は昭和46年の調査地点から南西に約100 m離れた、側道西側に設定した。これは、上記の「主郭」とされる方形区画の北辺のほぼ中央にあたり、区画の外縁部分を確認するために設けられた。また、この調査区より南側は昭和50年代に圃場整備の工事を行っており、大部分が改変を受けているため、今回の調査範囲からは除外している。なお、その工事の際に第2調査区北端から東北自動車道の西側側道に沿って約70 m南の地点で用水路から土器(土師質土器)や瓦の破片、礎と思われる材木片などが出土したという。また、用水の両側が勾高くなっていたとも伝えられており、ここに東西方向の濠や土塁が存在した可能性が高い。



第116図 小野寺城跡旧地籍図(約 1/3,000)

第3節 発見された遺構と遺物

両調査区とも、重機による表土除去後、遺構の精査に入った。

第1調査区では耕作土直下で地山の面に達した。当遺跡が三杉川の旧氾濫原に立地するため、二次堆積のローム層上面で遺構確認を行った。その結果、当調査区では城跡と関連する遺構は全く検出されなかった。従って、方形区画の南東コーナーと考えられた箇所に濠は存在しないことが判明した。

これに対し、第2調査区では北端に近い部分で濠の北東コーナー部分（第115図①）が発見された。濠の規模は巾6m、深さ1.5mである。これにより、旧地割りや昭和20年代の航空写真などから推定される位置に濠が存在することが確かめられた。しかし、濠が予想した地点よりも30mほど西側で南に折れ曲がること明らかになった。

以上の所見に基づき、これまでの調査結果や旧地割り・地形なども勘案した上で、今回の調査のまとめを行う。また、推測も交え、小野寺城全体についても若干の検討を加えたい。

まず、第2トレンチで濠の北東コーナー部分が確認された地点を旧地割り図（第116図）上に①で示し、その周辺の旧地割りを観察してみたい。すると、図中に網掛けして示したように、これまで城跡の一部と考えられていた方形区画の北西コーナーを共有する形で、それより一回り小さい区画が見えてくる。すなわち、当初の区画の北西コーナーを起点にし、①を北東コーナーとして、濠の痕跡を想起させる狭長な土地が「ロ」字形に連続しているのである。さらに、先述の圃場整備の際に遺物が出土した地点（②）も、この痕跡上に存在するため、ここに濠で囲まれた、内法の一辺約70m程度の方形区画が、あらたに想定できそうである。この部分は当遺跡が立地する微高地先端部分のほぼ中央に位置することから、城跡の中核部分に関連した遺構とも考えられる。

なお、昭和46年の調査で確認された北側の濠については今回は調査の対象とならなかったが、南側に土塁を持つことから、この区画の外濠的要素の強い遺構と考えられる。本遺跡は、三杉川右岸の低地に、北西から南東に向かって半島状に突出した微高地の先端に立地しているため、北側の地形から分離するための濠と土塁が必要だったと推測される。城跡の西と南は低地に面しているため、防衛には自然地形を利用していると考えられよう。今回の第2調査区では南端に濠などの遺構は確認されなかった。西側でも濠跡の痕跡を示すような地割りは明確には判らない。東には三杉川が蛇行しながら南流するが、旧氾濫原は低地となり、旧地割り図にも明瞭に形を留めている。これらから判断すると三杉川の流路はおそらく当時から大きくは動いておらず、段丘を利用した防衛がなされていたのであろう。

なお、先に挙げた田代善吉氏の『『栃木縣史』巻七 古城址編』では「東西一町五十間、南北五十五間の堡壘ありしも…」とあり、南北方向にも土塁が存在したことが記されている。現在、地表にその痕跡は存在せず、これまでの調査でも確認されていない。従って詳細は不明であるが、上記の通り城跡の東側は三杉川を防衛に利用していると考えられるので、微高地に連なる北西側に濠と一緒に設けられていたと推測するのが妥当であろう。

以上から、本遺跡は、濠で圍繞された70m四方の内郭を有し、その廻りに外郭部分を巡らす構造であり、伝承のとおり城跡（館跡）と考えられる。年代を示す遺物が出土していないので、築造時期や存続期間などについては、現在のところ確定できない。

主要参考文献

- 1850 (嘉永3年)河野守弘『下野國誌』
- 1936 田代善吉『栃木縣史』巻七 古城址編 下野史談会
- 1972 橋本澄朗「7.小野寺城跡」東北縦貫自動車道埋蔵文化財発掘調査報告書 日本道路公団東京支社
栃木県教育委員会
- 1975 「小野寺城」『栃木の城』下野新聞社
- 1979 荒川重雄・和久井紀明「小野寺城 284」『日本城郭大系』第4巻 茨城・栃木・群馬 新人物往來社
- 1984 荒川善夫「第一章 第二節下野の莊園と武士 小野寺保と小野寺氏」『栃木県史』通史編3 中世
栃木県史編さん委員会
- 1998 阿部昭ほか『県史9 栃木県の歴史』山川出版社
- 1998 安田元久編『吾妻鏡人名総覧』吉川弘文館
- 2005 須藤聡「下野国中世武士団の成立-治承・寿永の乱以前の実情」『知られざる下野の中世』随想社
- 2006 塙静夫「六県南部地域 小野寺城跡」『とちぎの古城を歩く-兵どもの足跡を求めて-』下野新聞社

写 真 图 版



西根2遺跡遠景（東上空から）



西根2遺跡遠景（東半部、南上空から）



西根2遺跡遠景（西半部、西上空から）



西根2遺跡遠景（西半部、東上空から）



SI-01 完掘 (東から)



SI-01 セクション (南西から)



SI-02 完掘 (南から)



SI-02 セクション、遺物出土状態 (南東から)



SI-02 カマド完掘 (南から)



SI-02 カマド完掘 (南東から)



SI-02 柱穴 P3 木柱出土状態 (南から)



SI-02 床下調査状況 (南東から)



SI-03 完掘 (南東から)



SI-03 セクション (南東から)



SI-03 炭化物出土状態 (南東から)



SI-03 床下調査状況 (南東から)



SI-04 完掘 (南から)



SI-04 セクション (南東から)



SI-04 カマド完掘 (南から)



SI-04 貯蔵穴完掘 (南から)



SI-05 完掘 (南から)



SI-05 セクション (南から)



SI-05 遺物出土状態 (南から)



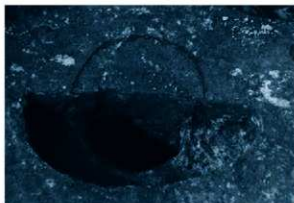
SI-05 カマド完掘 (南から)



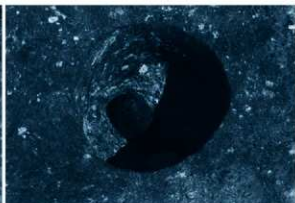
SI-05 カマドセクション (南から)



SI-05 カマド遺物出土状態 (南から)



SI-05 柱穴 P1 セクション (南から)



SI-05 柱穴 P3 木柱出土状態 (南から)



SI-06 完掘 (南から)



SI-06 完掘 (南から)



SI-06 遺物出土状態 (南から)



SI-06 セクション (東から)



SI-06 遺物出土状態 (南東から)



SI-06 カマド完掘 (南から)



SI-06 床下完掘 (南から)



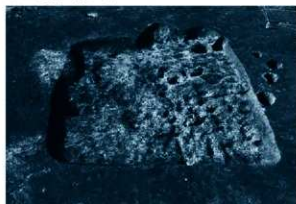
SI-06 床下調査状況 (東から)



SI-07 完掘 (南から)



SI-07 カマド完掘 (南から)



SI-07 床下完掘 (南から)



SI-07 床下調査状況 (南東から)



SD-08 遺物出土状態 (東から)



SD-08 セクション (東から)



SD-09 遺物出土状態 (東から)



SD-08・09 全景 (東から)



SB-10 完掘 (南から)



SB-10 完掘 (南から)



SD-11・12 完掘 (西から)



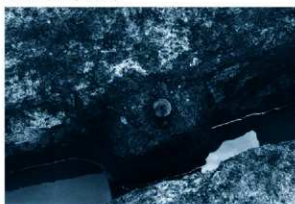
SX-15 完掘 (南から)



SD-20 全景 (西から)



SD-20 全景 (北西から)



SD-20 遺物出土状態 (南から)



SD-26 遺物出土状態 (西から)



SE-32 完掘 (南から)



SE-36 完掘 (南から)



SE-36 セクション (南から)



SE-37 完掘 (南から)



SX-41 完掘 (南から)



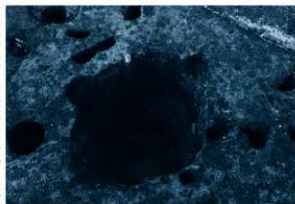
SX-42 完掘 (南から)



SK-43 完掘 (南から)



SK-43 セクション (南から)



SE-44 完掘 (南から)



SE-44 セクション (南から)



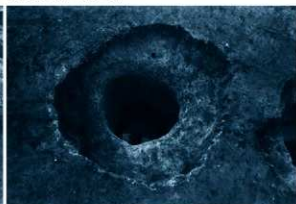
SK-48 完掘 (東から)



SE-50 完掘 (南から)



SE-50 セクション (南から)



SE-52 完掘 (南から)



SE-52 底面遺物出土状態 (南から)



SE-52 セクション (南から)



SE-100 完照 (南から)



SE-100 セクション (南から)



SE-100 底面遺物出土状態 (南から)



SE-100 底面遺物出土状態 (南から)



SE-122 完照 (南から)



SE-122 セクション (南から)



SE-122 断面 (南から)



SE-122 調査状況 (南から)



SK-123 完照 (南から)



SK-123 セクション (南から)



SK-123 調査状況 (南から)



SK-123 断面 (南から)



SE-330 完照 (南から)



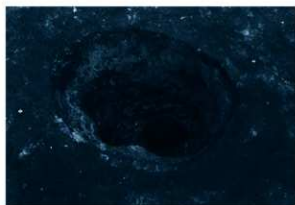
SE-330 セクション (南から)



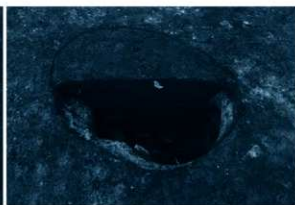
SE-330 遺物出土状態 (東から)



SE-330 断面 (南から)



SE-335 完掘 (南から)



SE-335 セクション (南から)



SE-335 遺物出土状態 (東から)



SK-390 完掘 (南から)



SK-390 セクション (南から)



SX-432 完掘 (南から)



SX-432 遺物出土状態 (東から)



SX-432 遺物出土状態 (南から)



SE-431 完照 (南から)



SE-431 セクション (南西から)



SE-431 断面 (南から)



SE-431 遺物出土状態 (南から)



SE-431 遺物出土状態 (南から)



SE-431 遺物出土状態 (南から)



SE-431 遺物 (縄) 出土状態 (南から)



作業風景 (東から)



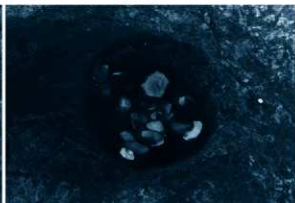
SX-433 完掘 (南から)



SX-433 セクション (東から)



SE-500 完掘 (南から)



SE-500 遺物出土状態 (南から)



SE-500 遺物出土状態 (西から)



SE-500 遺物出土状態 (南から)



SK-704 完掘 (南から)



SK-704 セクション (南から)



SE-651・652 完掘 (南から)



SE-651 セクション (南から)



SE-651 遺物出土状態 (南から)



SE-652 セクション (南から)



SE-652 遺物出土状態 (南から)



SE-771 遺物出土状態 (南から)



SE-771 断面 (南から)



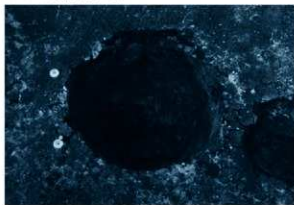
作業風景 (南から)



SX-800 完掘 (南から)



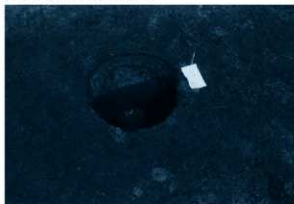
SX-800 完掘 (西から)



S-75 遺物出土状態 (南から)



S-189 柱根出土状態 (南から)



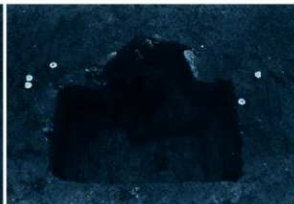
S-279 セクション (南から)



S-279 遺物出土状態 (南から)



S-279 断面遺物出土状態 (南から)



S-279 断面 (南から)



S-280 遺物出土状態（南から）



S-280 断面遺物出土状態（南から）



S-281 断面（南から）



S-281 遺物出土状態（南から）



S-281 断面遺物出土状態（南から）



S-281 断面（南から）



S-785 遺物出土状態（南から）



S-984・985 遺物出土状態（南から）



グリッド H8 旧石器調査状況 (南東から)



S-1075 旧石器出土状態 (南から)



SD-08・09・12 全景 (東から)



SD-08・09・12・14 全景 (西から)



SD-20 全景 (東から)



SD-24・25・27 全景 (北から)



SD-26 全景 (東から)



作業風景 (西から)



調査区東半部完掘状況（東から）



調査区東半部完掘状況（北から）



調査区東半部完掘状況（南東から）



調査区東半部完掘状況（北西から）



調査区東半部完掘状況（南西から）



調査区西半部完掘状況（南東から）



調査区西半部完掘状況（北東から）



作業風景（東から）



小野寺城跡遠景（南上空から）



小野寺城跡遠景（西上空から）



調査区東部、調査前風景（南から）



調査区西部、調査前風景（南から）



調査区西部、調査前風景（北から）



調査区西部、調査前風景（南から）



調査区西部、調査前風景（南から）



調査区西部、調査前風景（西から）



調査区西部近辺風景（南から）



調査区東部近辺風景（西から）



調査区東部トレンチ掘削状況（南から）



調査区東部トレンチ掘削状況（南から）



調査区東部トレンチ掘削状況（北から）



調査区西部、遺構調査状況（南から）



調査区西部、遺構完掘（南東から）



調査区西部、遺構完掘（南東から）



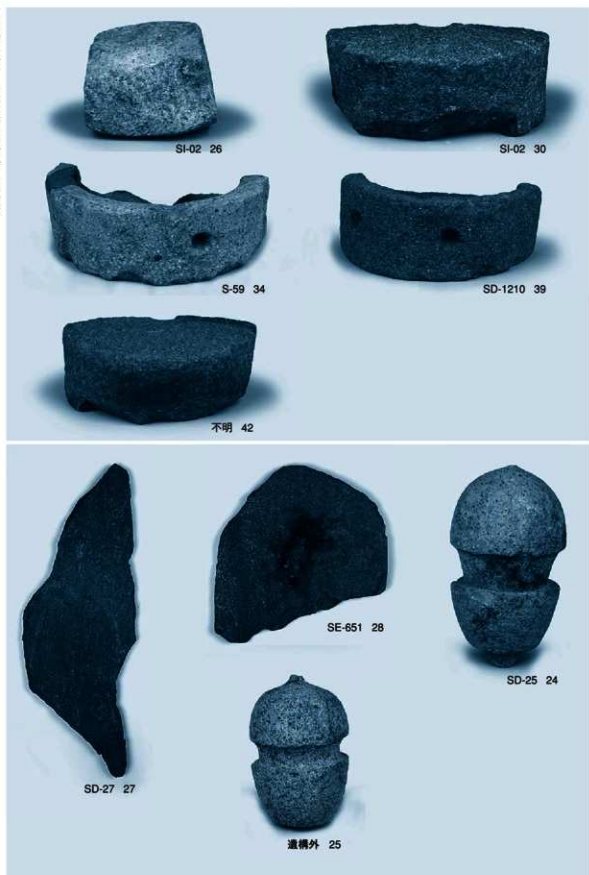
調査区西部、遺構完掘（南から）

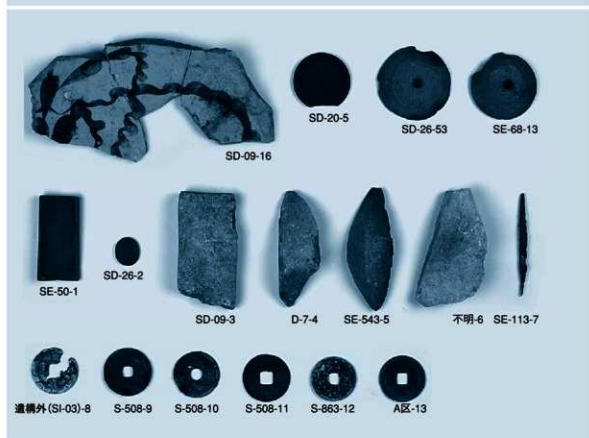
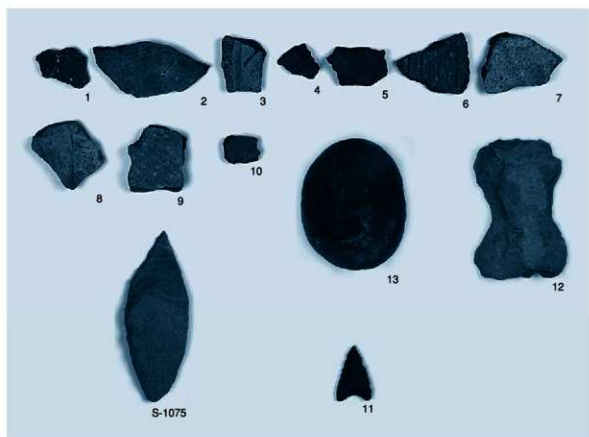


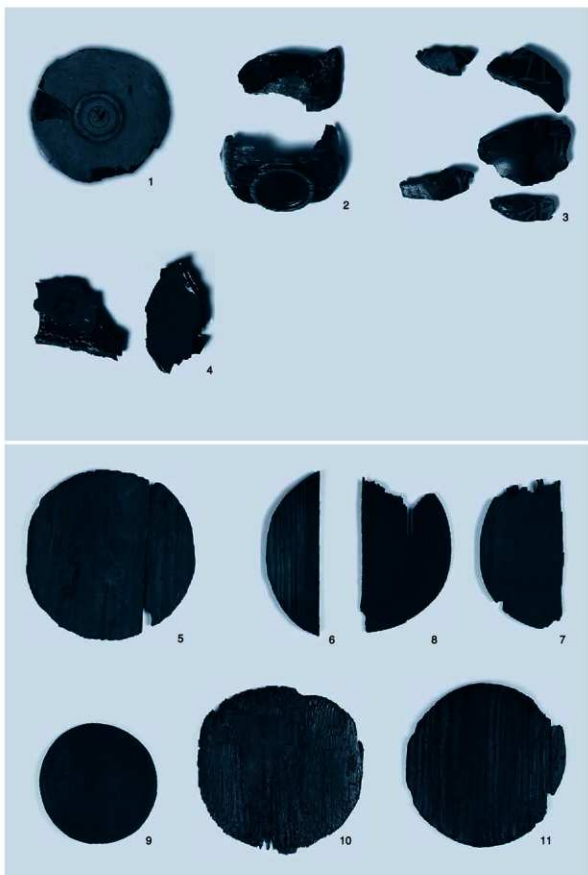
調査区西部、遺構完掘（北から）

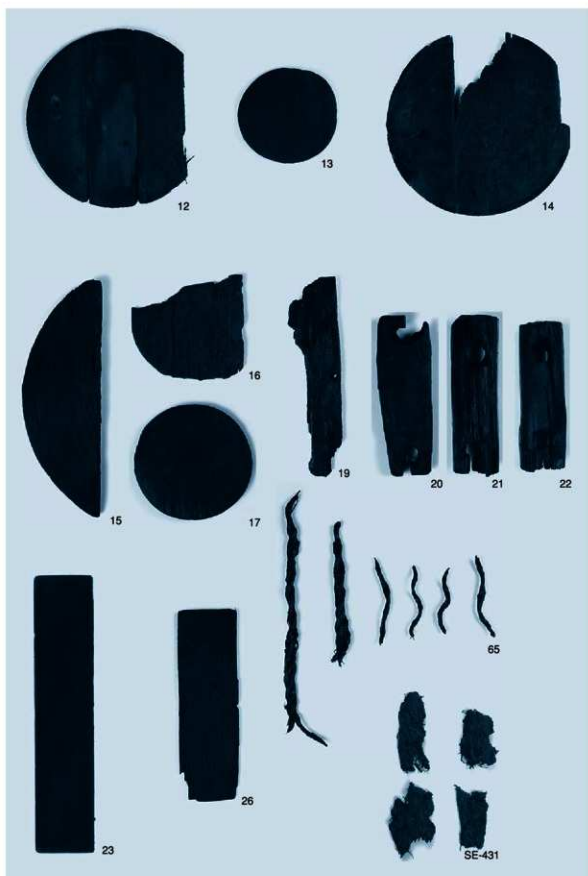














1 (SI-02)



2 (S-170)



3 (S-170)



4 (S-189)



5 (S-279)



6 (S-281)



7 (S-355)



9 (S-837)



8 (SX-432)



10 (S-925)



11 (不明)

報告書抄録

ふりがな	にしねにいせき・おのでらじょうあと				
書名	西根2遺跡・小野寺城跡				
副書名	北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告Ⅱ				
巻次	12				
シリーズ名	栃木県埋蔵文化財調査報告				
シリーズ番号	第320集				
編著者名	進藤敏雄・仲山英樹				
編集機関	財団法人とちぎ生涯学習文化財団埋蔵文化財センター				
所在地	〒329-0418 栃木県下野市紫474 番地 Tel 0285-44-8441				
発行機関	栃木県教育委員会 財団法人とちぎ生涯学習文化財団				
発行年月日	西暦2009年3月19日(平成21年3月19日)				

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にしねにいせき 西根2遺跡	しもつがでん 下都賀郡 岩舟町 大字小野寺 あびに、はな 字西根・花見堂	09367		36° 20' 59"	139° 37' 20"		4,620 ㎡	道路(北関東自動車道)建設
おのでらじょうあと 小野寺城跡	しもつがでん 下都賀郡 岩舟町 大字小野寺 あびに、やう 字堀ノ内	09367		36° 21' 19"	139° 37' 32"		793 ㎡	道路(北関東自動車道)建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
西根2遺跡	集落	旧石器 縄文 古墳 奈良・平安	堅穴住居4軒 堅穴住居跡3軒、井戸跡3基、溝跡1条、土坑1基	石器(尖頭器) 縄文土器・石器 土師器・須恵器・柱材 土師器・須恵器・瓦・紡錘車	
		中近世	掘立柱建物跡11棟、溝跡14条、井戸跡18基、不明遺構10基、土坑24基、小穴979基	陶器・磁器・土師質土器・内耳土器・石製品(石臼、砥石、板碑、五輪塔)・木製品(漆器・曲物・杭・柱など)・縄・古銭・鉄釘・植物遺体(葉、莖)	
小野寺城跡		中世	溝跡1条		

要約	西根2遺跡は三疊山に連なる山塊山裾の低台地上に位置する。主な遺構は古墳後期～奈良・平安時代の堅穴住居跡7軒と、中近世の掘立柱建物跡、井戸跡等からなる遺構群で時期は16世紀代が中心である。特に漆器蓋・碗など木製品の出土が多く、同時期の縄も出土している。 小野寺城跡は東北道脇の拡幅部のみの調査のため、確認された遺構は溝跡1条である。城跡は13世紀代まで存続していたとされる。				
----	--	--	--	--	--

北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一覧

- I 「一本松遺跡・文珠山遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 230 集 1999 年 3 月
II 「杉村・磯岡・磯岡北」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 241 集 2000 年 3 月
III 「八剣遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 254 集 2001 年 3 月
IV 「谷向・国谷馬場・中の内・惣宮・鍋小路」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 255 集 2001 年 3 月
V 「上神主・茂原 茂原向原 北原東」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 256 集 2001 年 3 月
VI 「権現山遺跡・百目鬼遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 257 集 2001 年 3 月
VII 「西赤堀遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 304 集 2007 年 3 月
VIII 「峰高前遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 308 集 2007 年 9 月
IX 「高島遺跡群」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 309 集 2008 年 3 月
X 「下陰遺跡 I」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 310 集 2008 年 3 月
XI 「西物井遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 316 集 2009 年 3 月
XII 「西根 2 遺跡・小野寺城跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 320 集 2009 年 3 月
XIII 「谷向遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 321 集 2009 年 3 月
XIV 「五雲遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 322 集 2009 年 3 月
XV 「原北遺跡・茅堤北遺跡・伊勢崎 III 遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 323 集 2009 年 3 月
XVI 「曲田遺跡・馬場先遺跡」 栃木県埋蔵文化財調査報告第 324 集 2009 年 3 月

栃木県埋蔵文化財調査報告第 320 集

西根 2 遺跡・小野寺城跡

—北関東自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告XII—

発行 栃 木 県 教 育 委 員 会

宇都宮市埴田 1-1-20
T E L 028 (623) 3425

財団法人とちぎ生涯学習文化財団

宇都宮市埴田 1-8
T E L 028 (643) 1011

平成 21 年 3 月 19 日発行

編集 財団法人とちぎ生涯学習文化財団
埋蔵文化財センター

下野市紫 474 番地
T E L 0285 (44) 8441

印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷
